

III. 調查結果

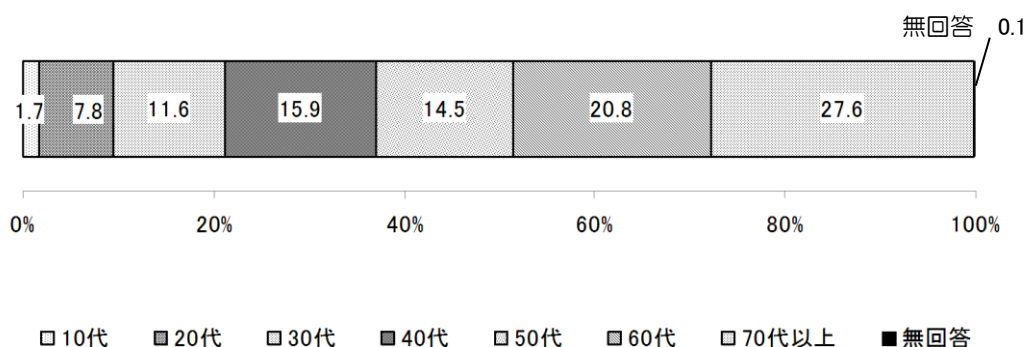
A あなた自身について

問1 あなたの年齢は（〇は1つ）

「70代以上」が27.6%と最も高く、次いで「60代」が20.8%、「40代」が15.9%となっています。

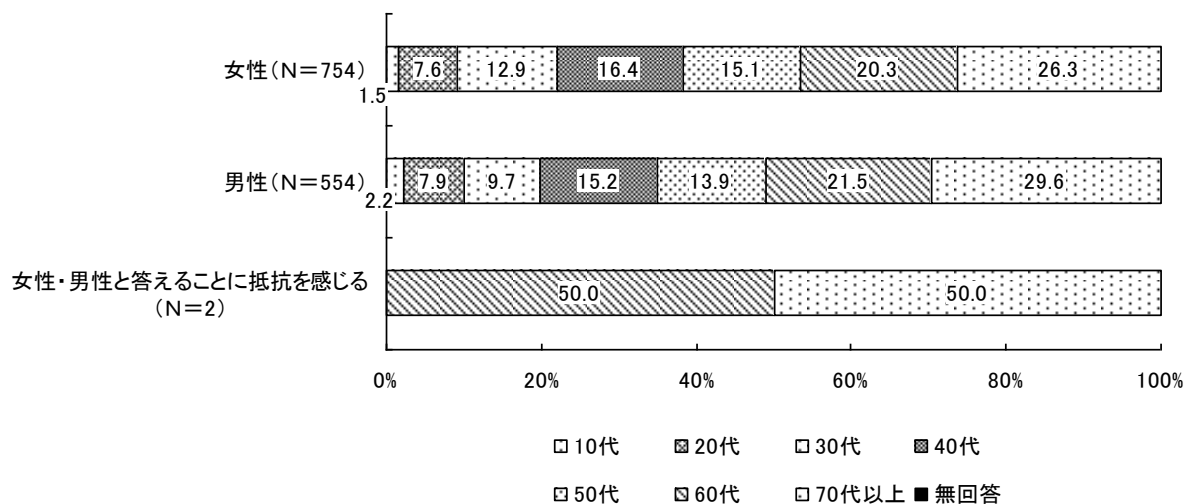
「60代」と「70代以上」で、回答者の約5割を占めています。

<全体>



(N=1,316)

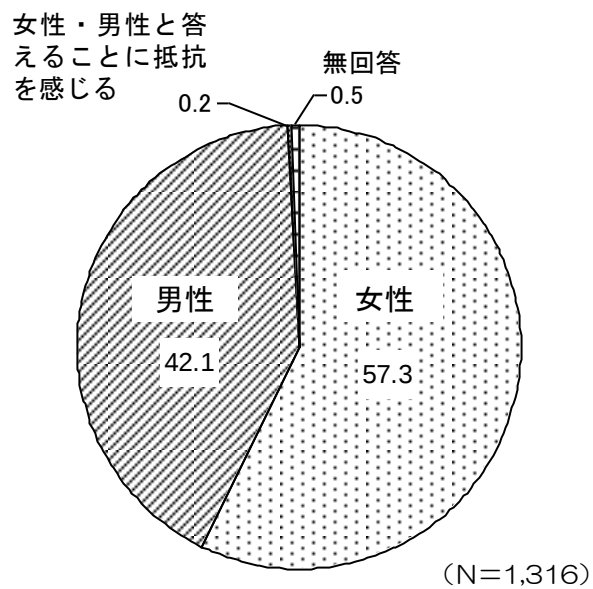
<性別>



問2 あなたの性別は（○は1つ）

「女性」が57.3%、「男性」が42.1%、「女性・男性と答えることに抵抗を感じる」が0.2%となっています。

＜全体＞

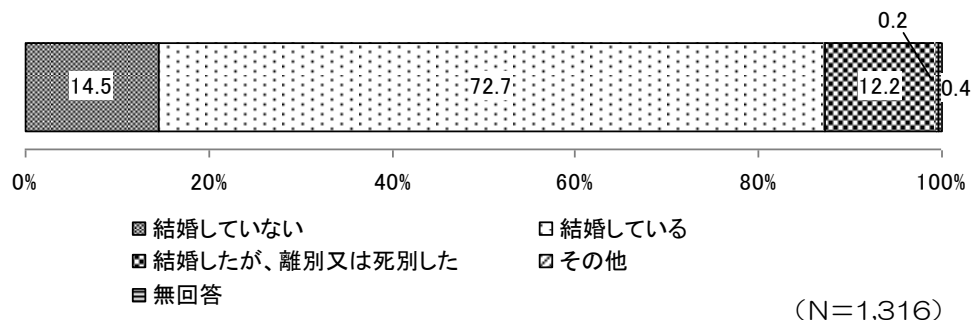


問3 あなたは結婚していますか。(事実婚を含む)(○は1つ)

「結婚している」が72.7%と最も高く、次いで「結婚していない」が14.5%、「結婚したが、離別又は死別した」が12.2%となっています。

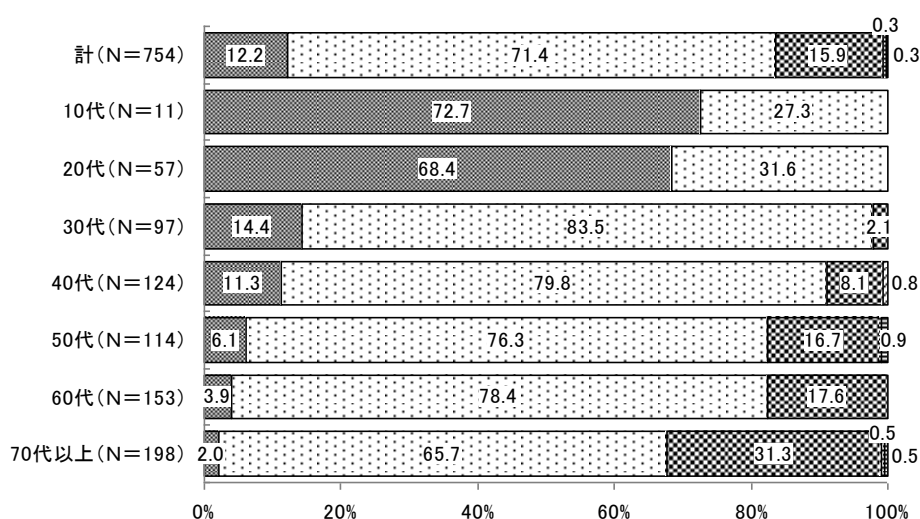
性別・年代別でみると、男女ともに、「結婚していない」は「10代」、「20代」で高く、「70代以上」を除く他の年代で、女性より男性の未婚率が高くなっています。また、女性の「70代以上」は「結婚したが、離別又は死別した」が他の年代に比べて高くなっています。

<全体>

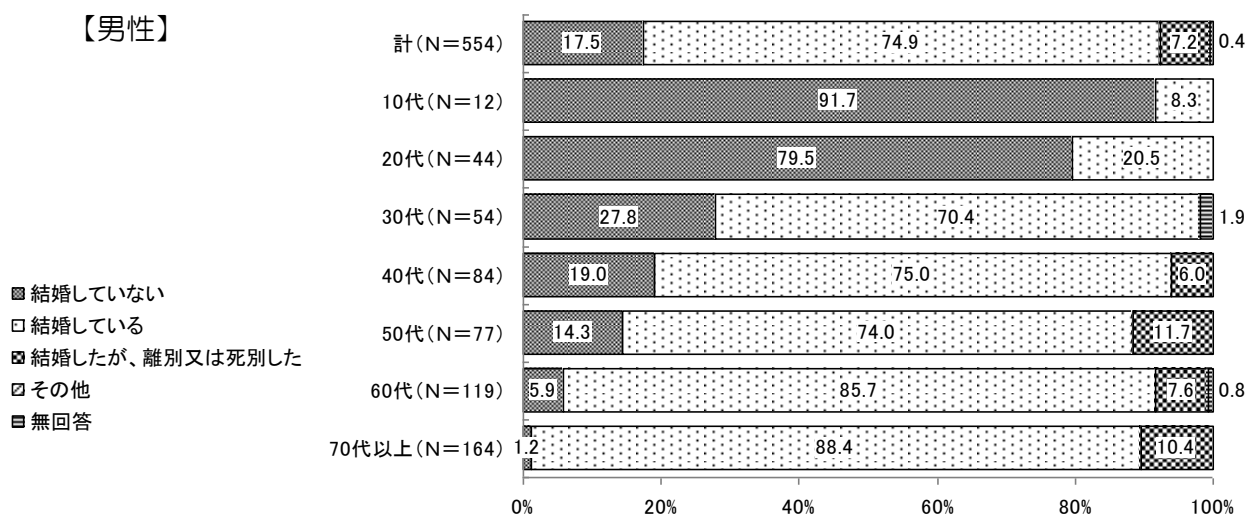


<性別・年代別>

【女性】



【男性】



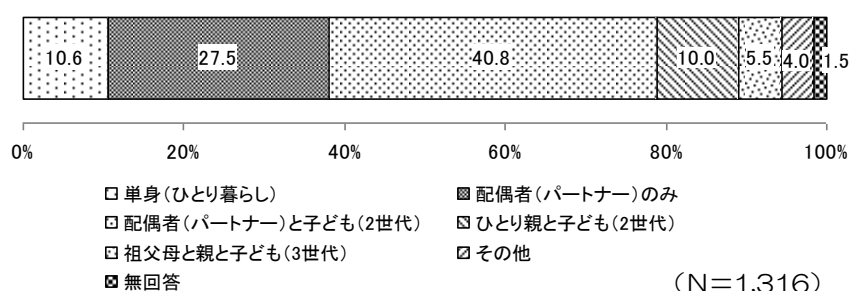
問4 あなたが同居している家族構成は（〇は1つ）

「配偶者（パートナー）と子ども（2世代）」が40.8%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）のみ」が27.5%、「単身（ひとり暮らし）」が10.6%となっています。

性別・年代別でみると、「配偶者（パートナー）と子ども（2世代）」は、女性では「10代」～「50代」で、男性では「10代」、「30代」～「50代」で高くなっています。

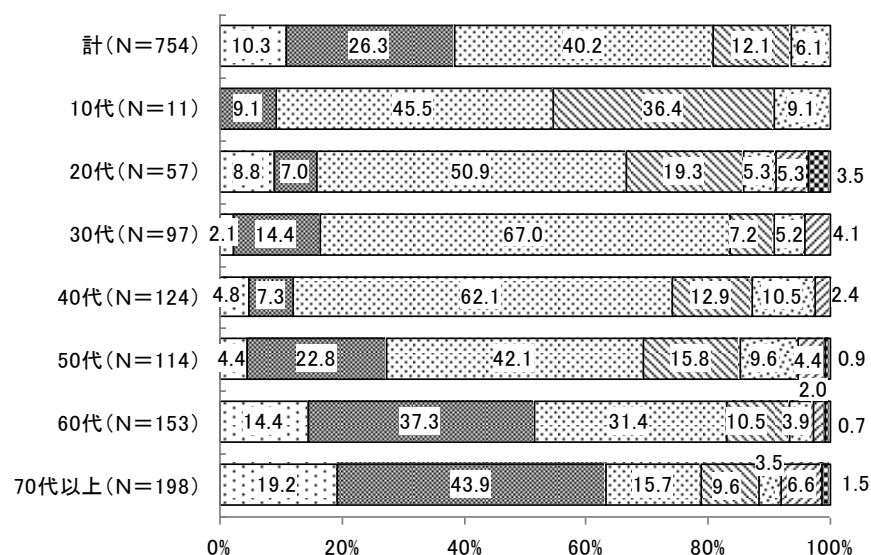
また、「配偶者（パートナー）のみ」は、男女ともに、「60代」、「70代」が他の年代に比べて高く、「単身（ひとり暮らし）」は、女性の「70代」（19.2%）、男性の「50代」（19.5%）で高くなっています。

<全体>



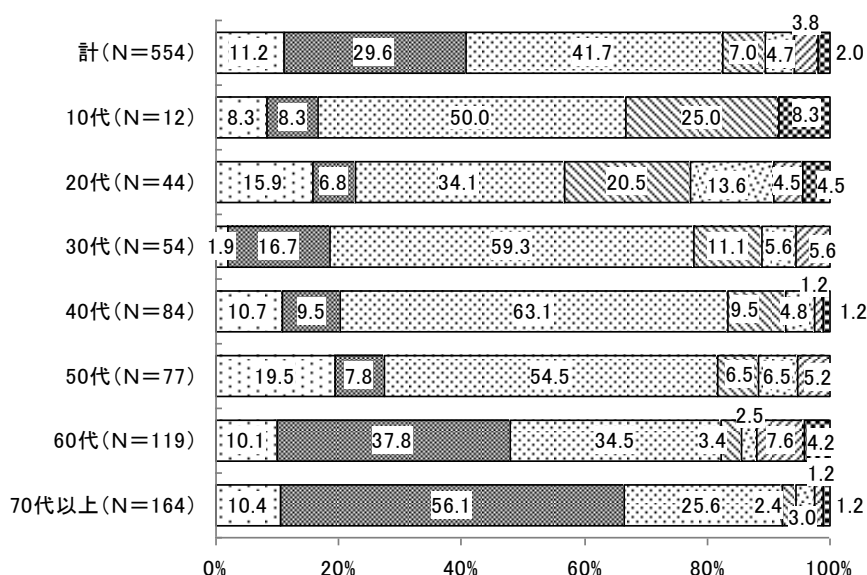
<性別・年代別>

【女性】



【男性】

- ☐ 単身（ひとり暮らし）
- ☒ 配偶者（パートナー）のみ
- ☐ 配偶者（パートナー）と子ども（2世代）
- ☐ ひとり親と子ども（2世代）
- ☐ 祖父母と親と子ども（3世代）
- ☐ その他
- ☒ 無回答

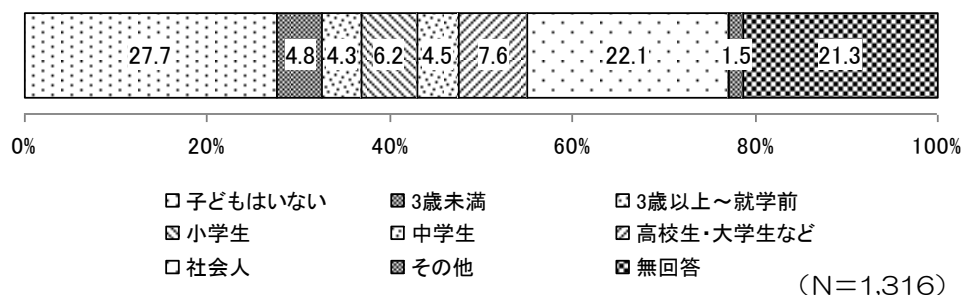


問5 同居しているあなたの一番下のお子さんは（○は1つ）

「子どもはいない」が27.7%と最も高く、次いで「社会人」が22.1%となっています。

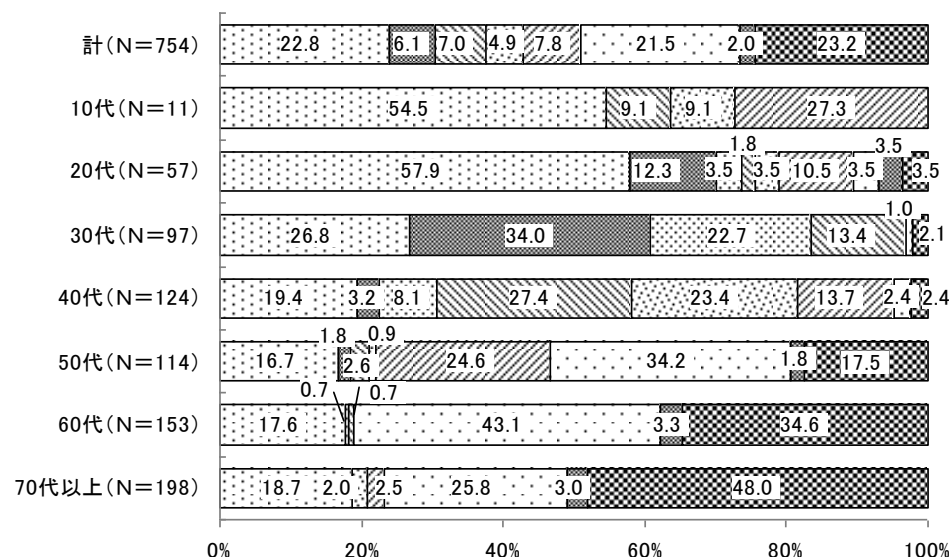
性別・年代別でみると、男女ともに、「子どもはいない」は「10代」、「20代」で高く、「社会人」は「60代」で高くなっています。

<全体>

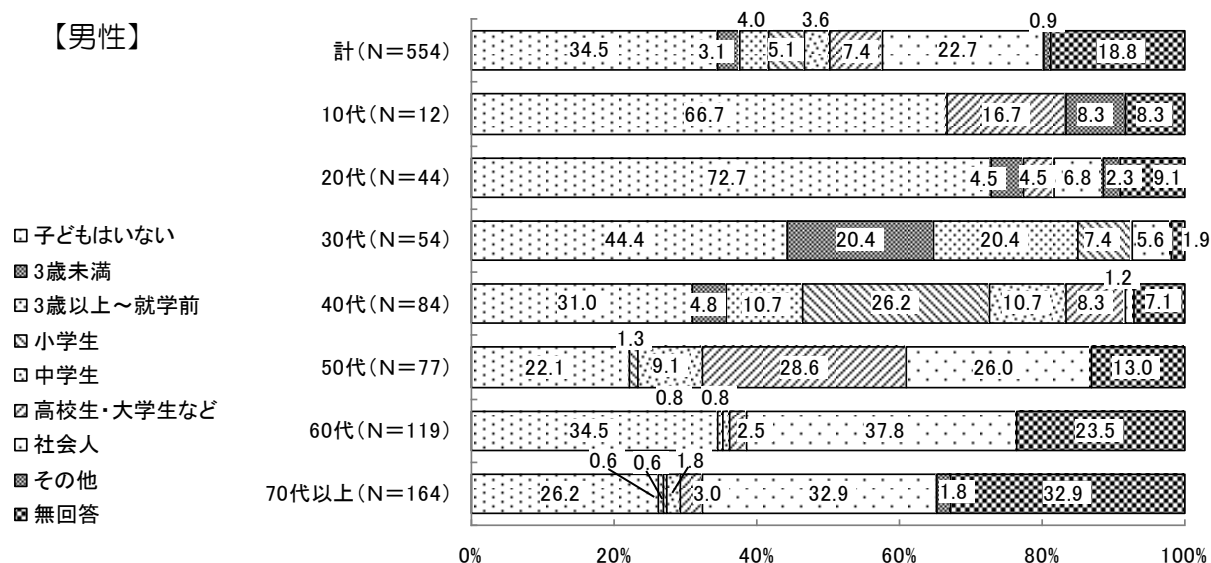


<性別・年代別>

【女性】



【男性】



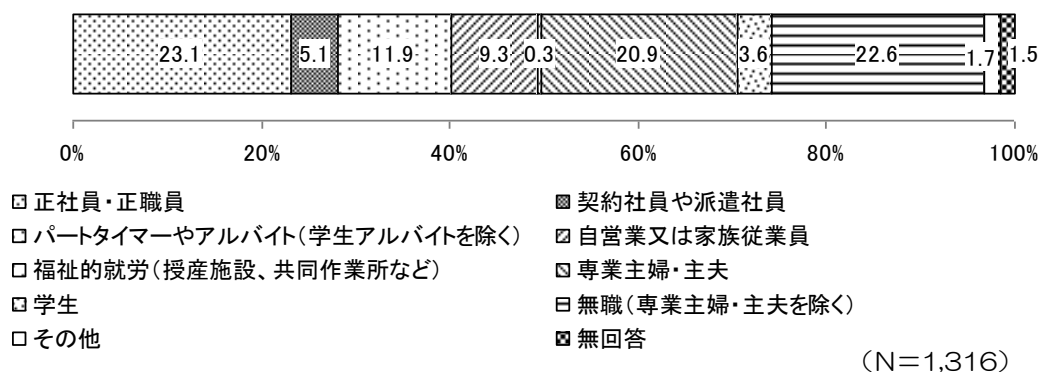
問6 あなたの主な仕事は（〇は1つ）

「正社員・正職員」が23.1%と最も高く、次いで「無職（専業主婦・主夫を除く）」が22.6%、「専業主婦・主夫」が20.9%となっています。

女性は「専業主婦・主夫」が34.6%、男性は「正社員・正職員」が35.9%と、それぞれが最も高くなっています。

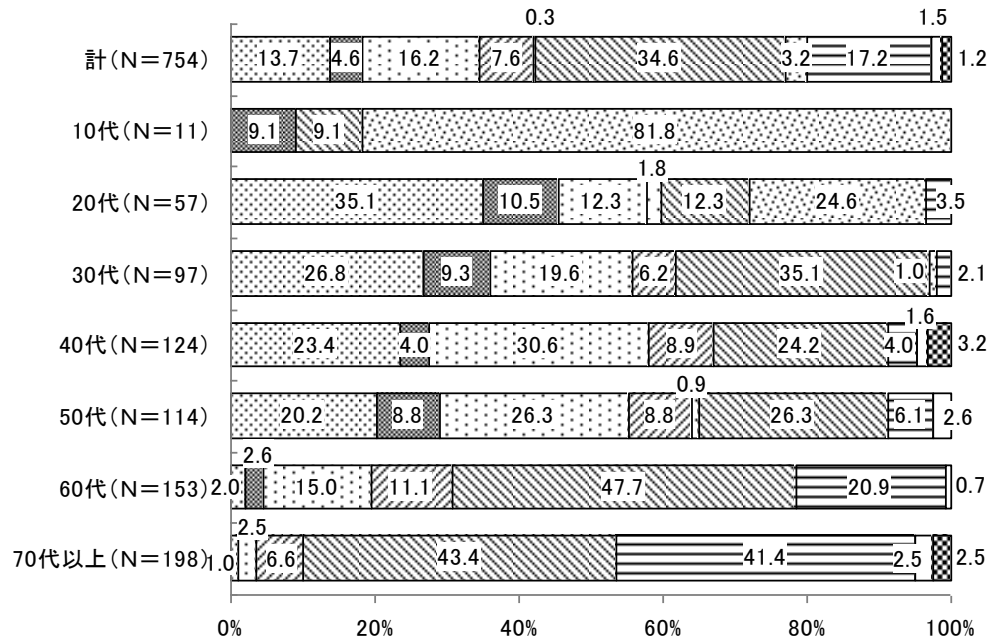
性別・年代別でみると、女性では「専業主婦・主夫」が「60代」、「70代以上」で4割以上となっており、「正社員・正職員」は、年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。男性では「正社員・正職員」が「30代」～「50代」で6割以上となっています。

<全体>

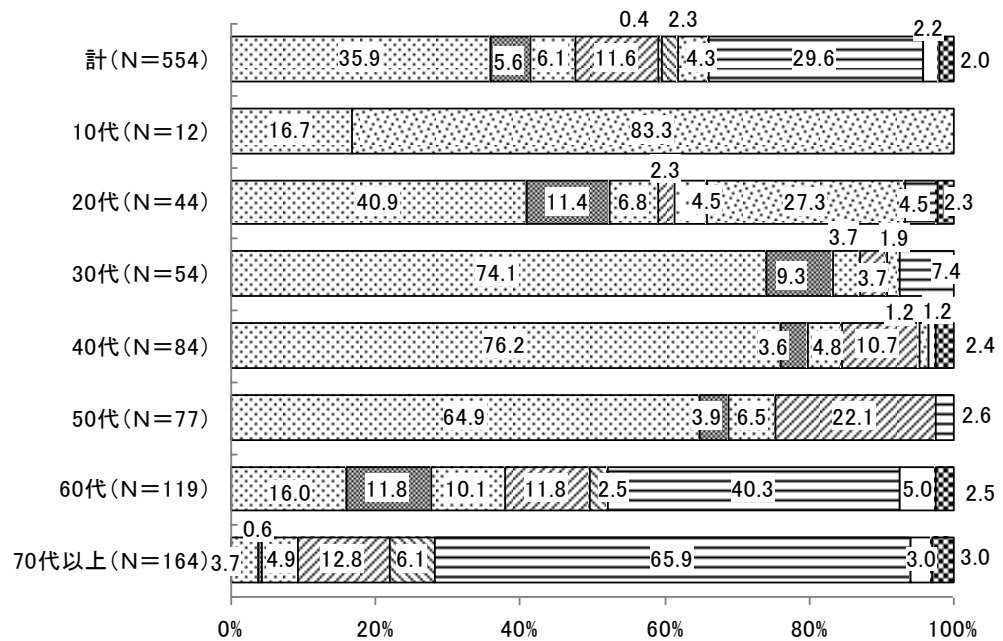


<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 正社員・正職員
- パートタイマーやアルバイト(学生アルバイトを除く)
- 福祉的就労(授産施設、共同作業所など)
- 学生
- その他
- 契約社員や派遣社員
- 自営業又は家族従業員
- 専業主婦・主夫
- 無職(専業主婦・主夫を除く)
- 無回答

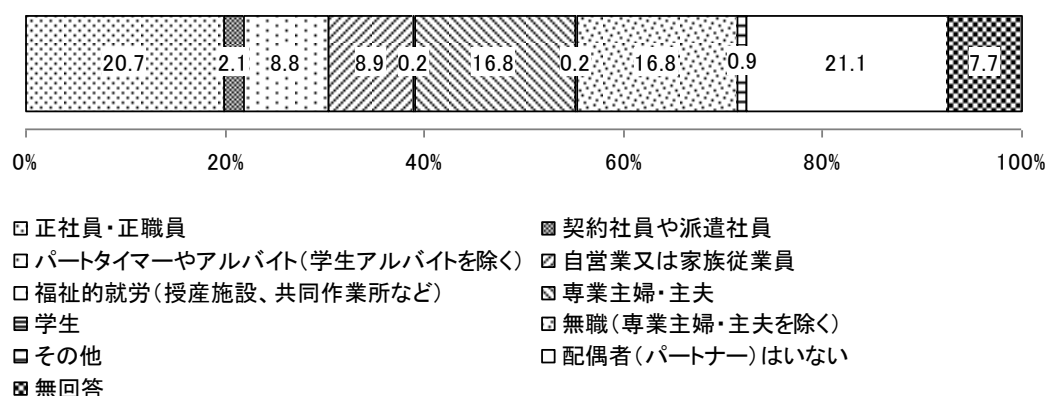
問7 あなたの配偶者（パートナー）の主な仕事は（〇は1つ）

「配偶者（パートナー）はいない」が21.1%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が20.7%、「専業主婦・主夫」と「無職（専業主婦・主夫を除く）」が、ともに16.8%となっています。

女性にとっての配偶者（パートナー）は「正社員・正職員」が30.0%と最も高く、男性にとっての配偶者（パートナー）は「専業主婦・主夫」が27.6%と最も高く、次いで「無職（専業主婦・主夫）」が17.0%となっています。

性別・年代別でみると、女性にとっての配偶者（パートナー）では「正社員・正職員」が「30代」で約7割と最も高くなっており、男性にとっての配偶者（パートナー）では「専業主婦・主夫」と「無職（専業主婦・主夫を除く）」が「60代」、「70代以上」で高くなっています。

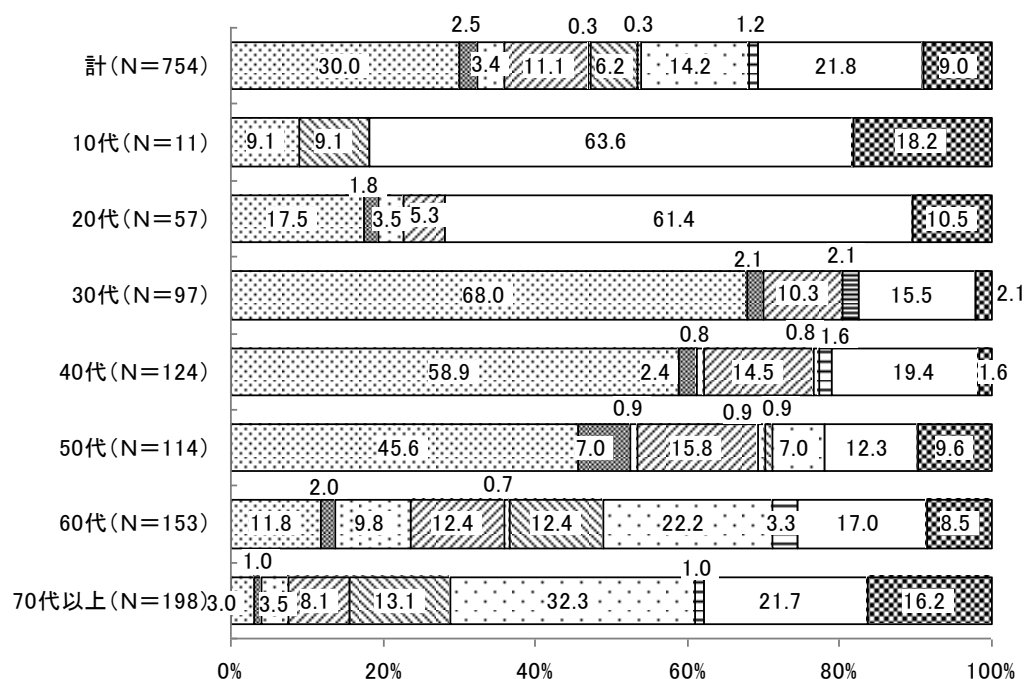
<全体>



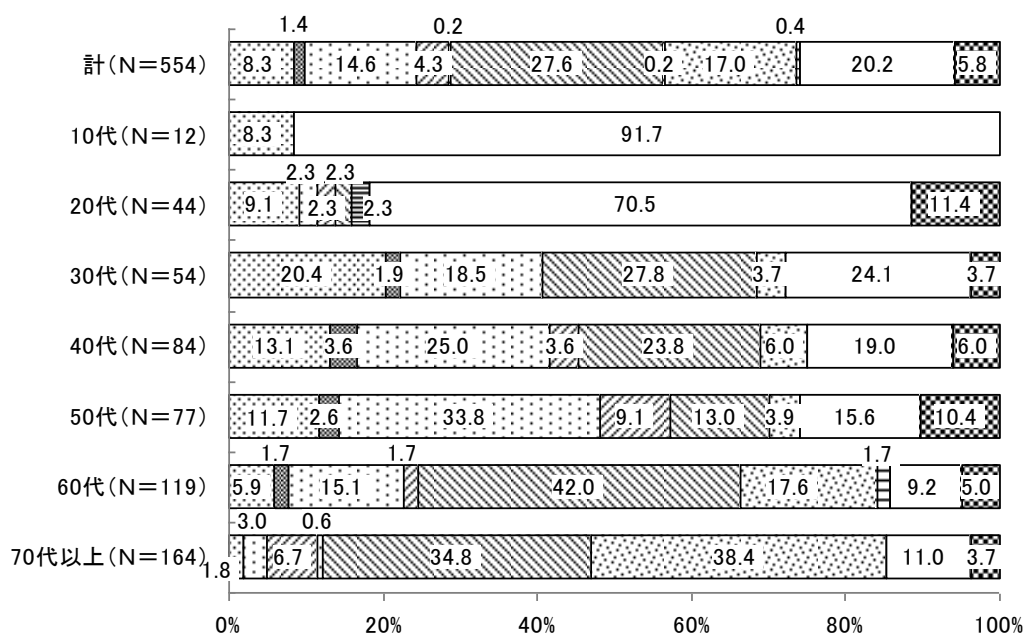
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 正社員・正職員
- パートタイマーやアルバイト(学生アルバイトを除く)
- 福祉的就労(授産施設、共同作業所など)
- 学生
- その他
- 無回答
- 契約社員や派遣社員
- 自営業又は家族従業員
- 専業主婦・主夫
- 無職(専業主婦・主夫を除く)
- 配偶者(パートナー)はいない

問8 昨年（2013年）の年収（税込）はどのくらいですか。（〇はそれぞれ1つつ）

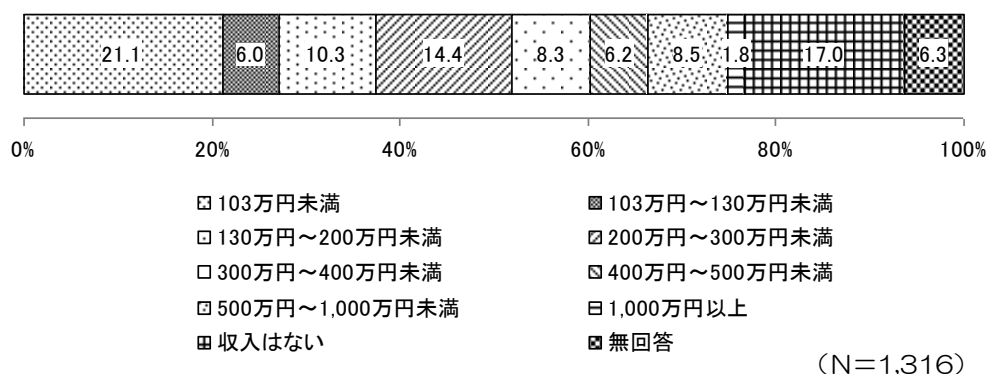
（1）あなたの年収（税込）

「103万円未満」が21.1%と最も高く、次いで「収入はない」が17.0%、「200万円～300万円未満」が14.4%となっています。

女性は「103万円未満」が29.7%と最も高く、次いで「収入はない」が23.9%となっています。男性は「200万円～300万円未満」が20.0%と最も高く、次いで「500万円～1,000万円未満」が16.2%となっています。

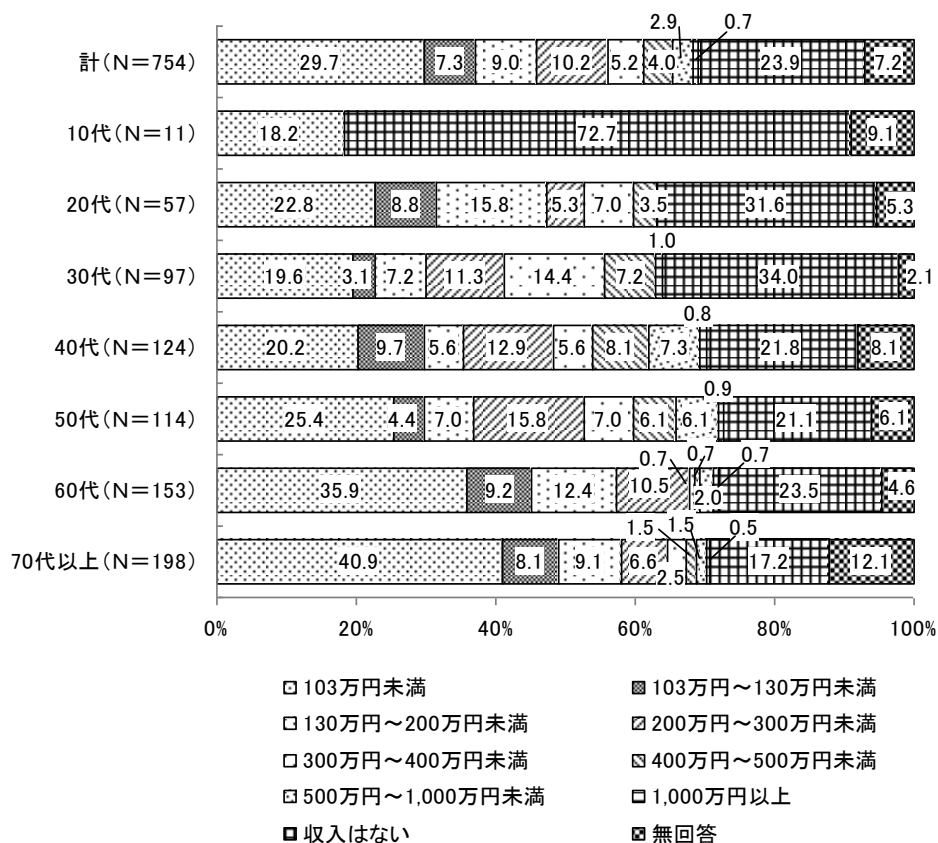
性別・年代別でみると、女性では「103万円未満」が「50代」～「70代以上」で高く、「収入がない」は「10代」～「30代」で高くなっています。男性では「200万円～300万円未満」が「70才以上」で3割を超えており、「103万円未満」が「20代」で2割を超えています。また、「500万円～1,000万円未満」は「40代」（42.9%）、「50代」（33.8%）で高くなっています。

<全体>

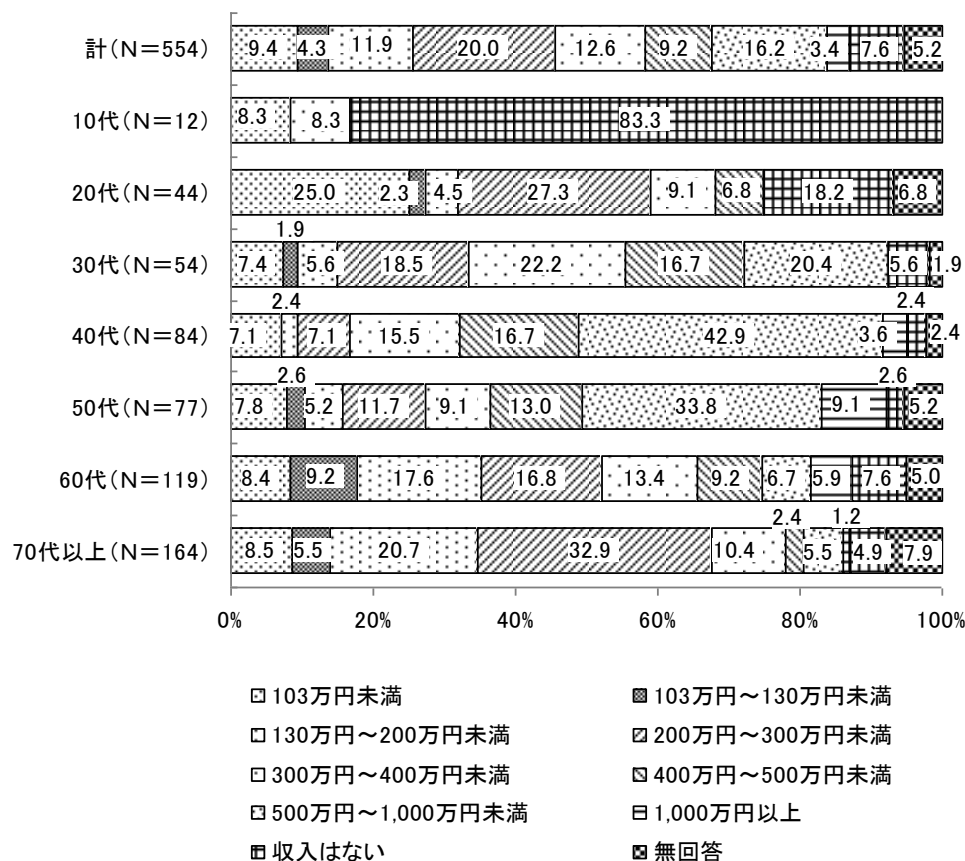


<性別・年代別>

【女性】



【男性】



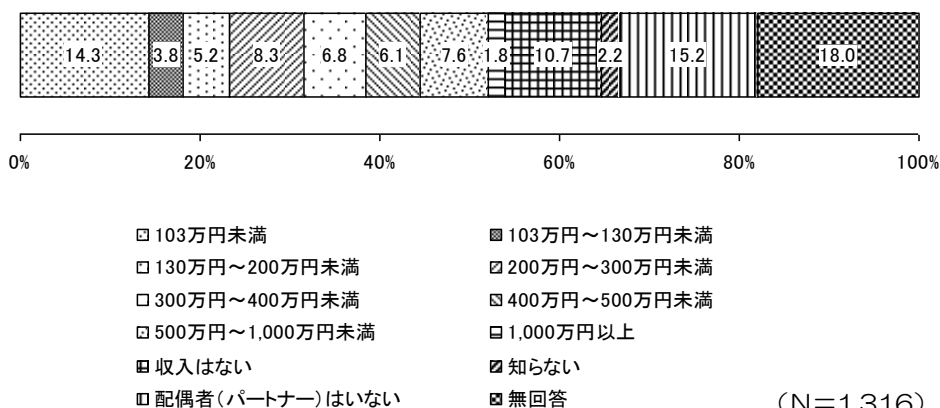
(2) あなたの配偶者（パートナー）の年収（税込）

「配偶者（パートナー）はいない」が15.2%と最も高く、次いで「103万円未満」が14.3%、「収入はない」が10.7%となっています。

女性にとっての配偶者（パートナー）の年収は、「500万円～1,000万円未満」が11.5%と最も高く、次いで「200万円～300万円」が11.3%となっています。男性にとっての配偶者（パートナー）の年収は、「103万円未満」が26.2%と最も高く、次いで「収入はない」が19.1%となっています。

性別・年代別でみると、女性にとっての配偶者（パートナー）では「500万円～1,000万円未満」は「30代」～「50代」で約2割となっており、「200万円～300万円」は「60代」が17.0%と最も高くなっています。男性にとっての配偶者（パートナー）では「103万円未満」は「30代」以上で年代が上がるにつれて、高くなる傾向があります。また、「収入はない」が「30代」、「40代」、「60代」で2割を超えています。

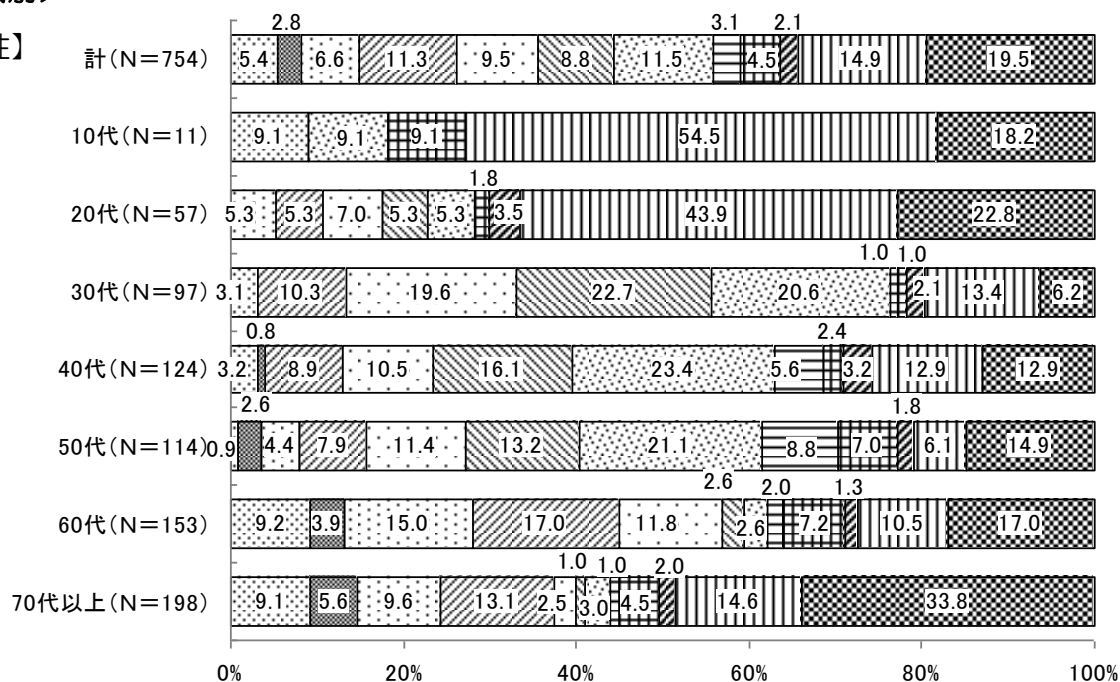
<全体>



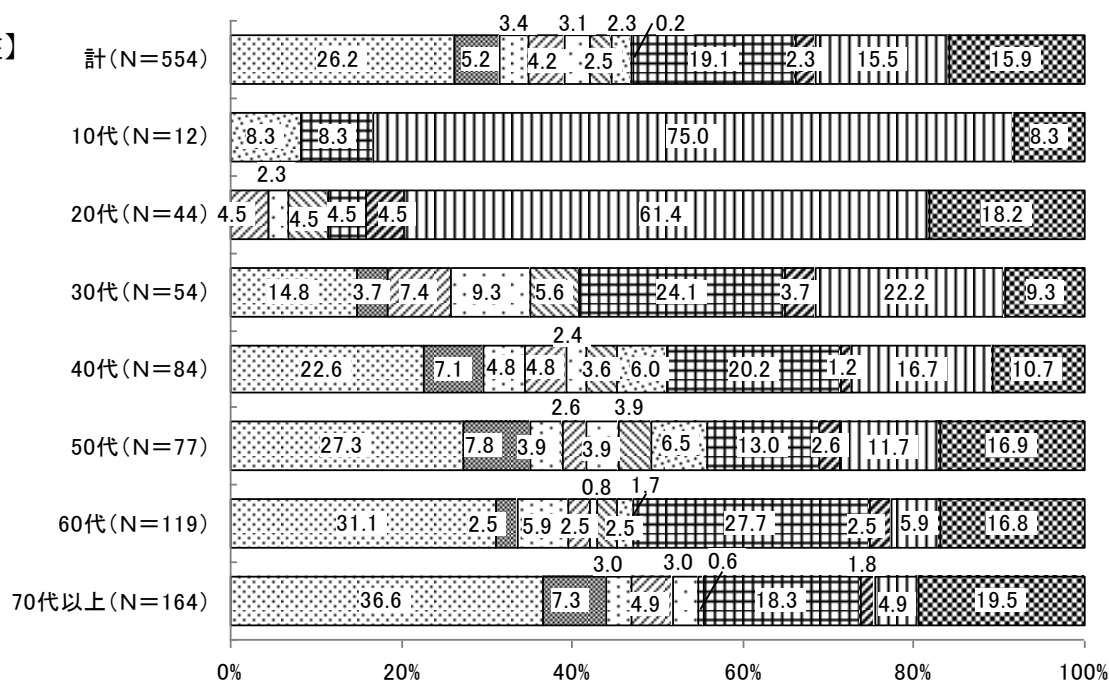
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 103万円未満
- 130万円~200万円未満
- 300万円~400万円未満
- 500万円~1,000万円未満
- 収入はない
- 配偶者(パートナー)はいない
- 103万円~130万円未満
- 200万円~300万円未満
- 400万円~500万円未満
- 1,000万円以上
- 知らない
- 無回答

B 男女平等に関する意識について

問 9 次の①～⑧の各場面において、今の社会は男女の地位が平等になっていると思いますか。

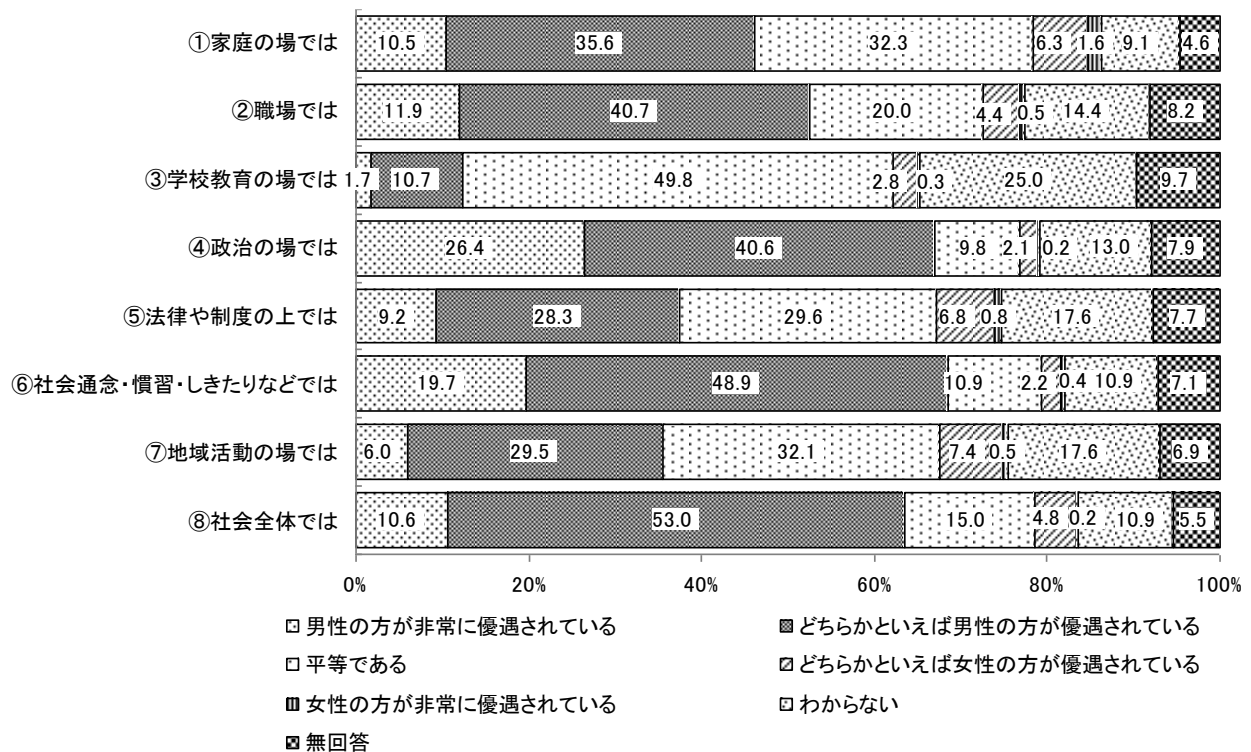
(〇はそれぞれ 1 つずつ)

『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた値)は、「⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは」が 68.6%と最も高く、次いで「④政治の場では」が 67.0%となっています。

すべての場面において、男女ともに、『男性優遇』が『女性優遇』(「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた値)より高くなっています。

また、「平等である」は、「③学校教育の場では」が 49.8%と最も高く、次いで「①家庭の場では」が 32.3%、「⑦地域活動の場では」が 32.1%、「⑤法律や制度の上では」が 29.6%となっています。

<全体>



(N=1,316)

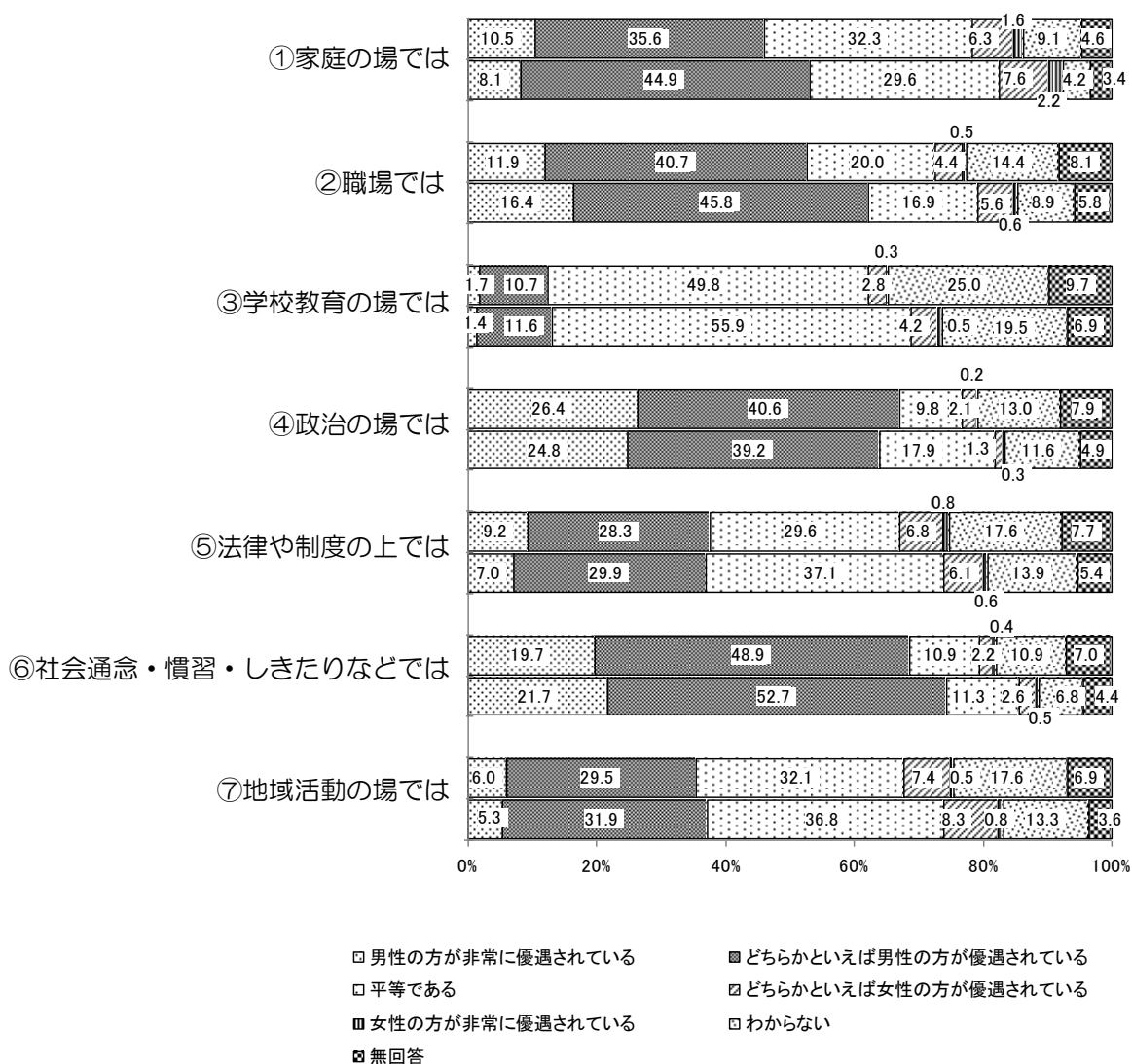
<前回調査との比較>

前回調査と比較すると、『男性優遇』が、「①家庭の場では」が6.9ポイント減少（前回53.0%→今回46.1%）、「②職場では」が9.6ポイント減少（前回62.2%→今回52.6%）、「⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは」が5.8ポイント減少（前回74.4%→今回68.6%）していますが、他の場面については、前回とほぼ同様の結果となっています。

また、「平等である」は、「①家庭の場では」が2.7ポイント増加（前回29.6%→今回32.3%）、「職場では」が3.1ポイント増加（前回16.9%→今回20.0%）しましたが、他の場面については減少しています。

<全体>

様々な場面（図中の①～⑦）での男女平等に対する評価<全体>



※前回調査では、「⑧社会全体では」のデータはありません。

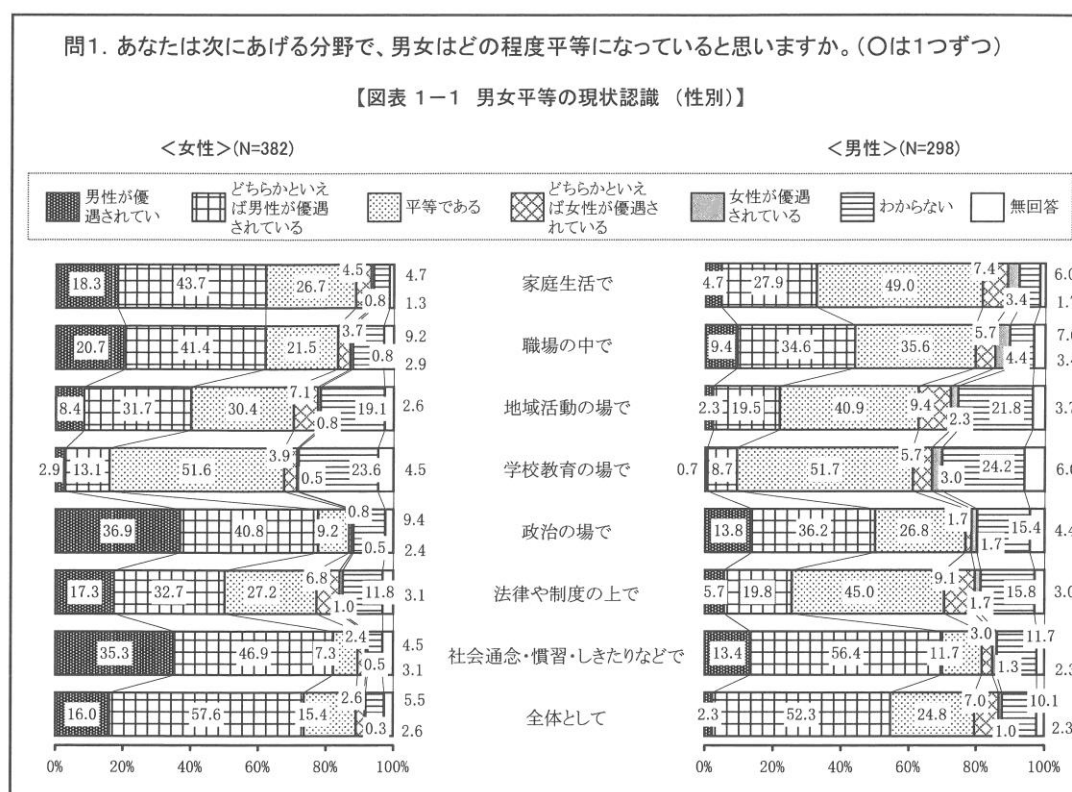
参考：大阪府調査

大阪府調査をみると、男女ともに『男性優遇』が『女性優遇』を上回っており、また、場面別にみると「社会通念・慣習・しきたりなどで」や「政治の場で」において、『男性優遇』の割合が高く、本市と同様の結果となっています。

また、「平等である」についても、「学校教育の場で」の割合が最も高く、本市と同様の結果となっています。

1. 男女の地位の平等について

(1) 男女平等の現状認識



資料：大阪府「男女共同参画に関する府民意識調査」(平成 21 年度)

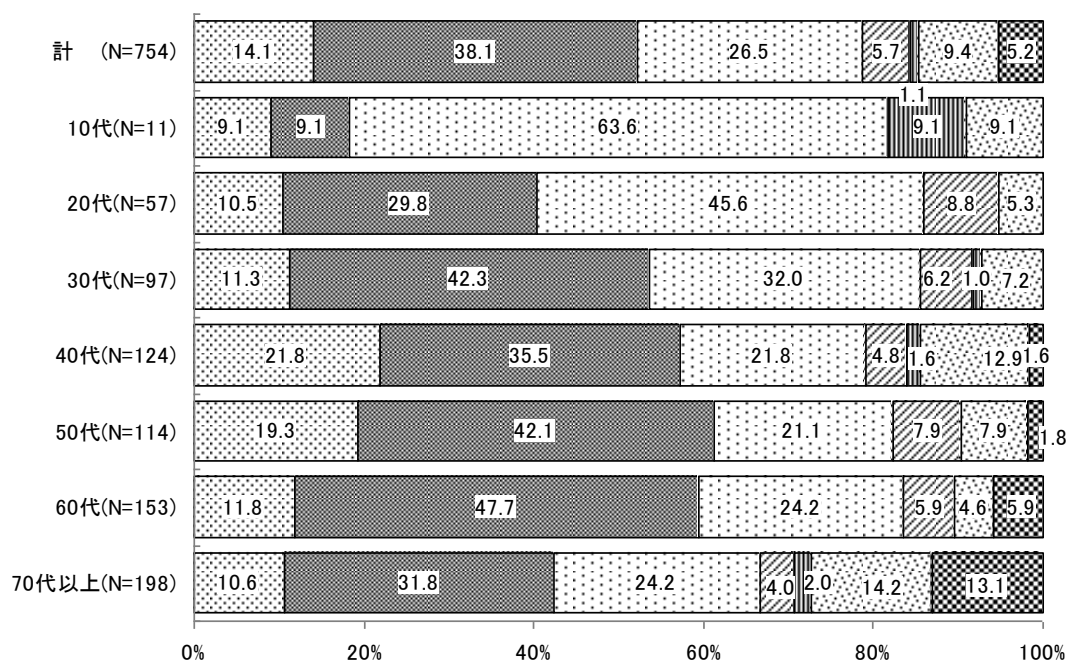
①家庭の間では

『男性優遇』は、女性が52.2%に対し、男性は37.7%と女性が男性を上回っています。

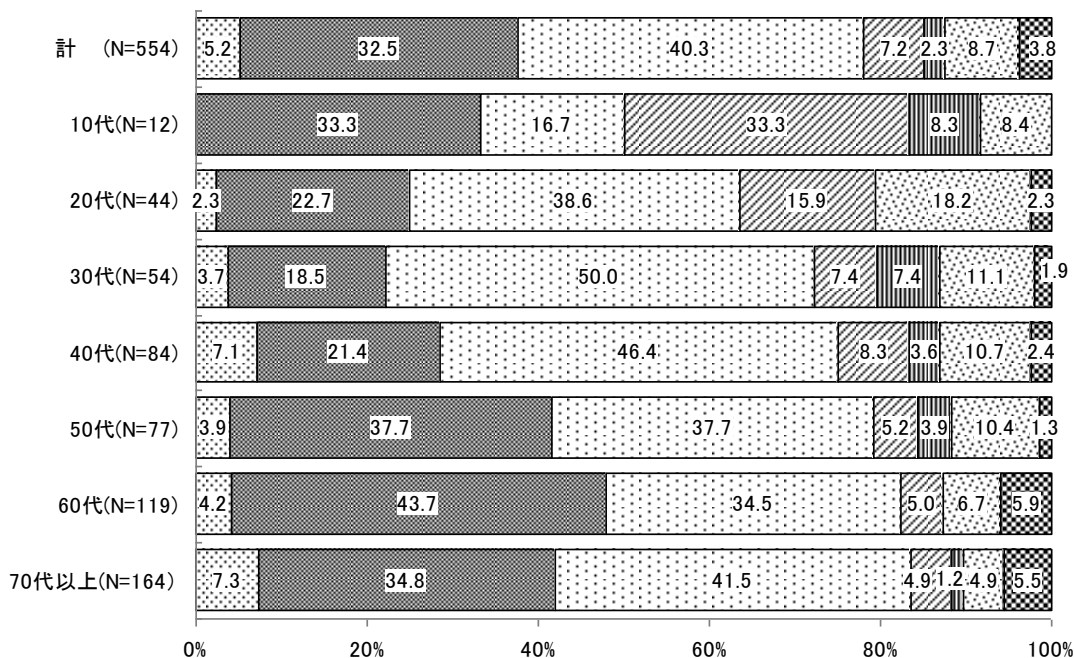
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、女性では「50代」が61.4%、男性では「60代」が47.9%と、それぞれが最も高くなっています。また、男性は、女性に比べて「10代」を除く他の年代では、『男性優遇』と答えた割合が低くなっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

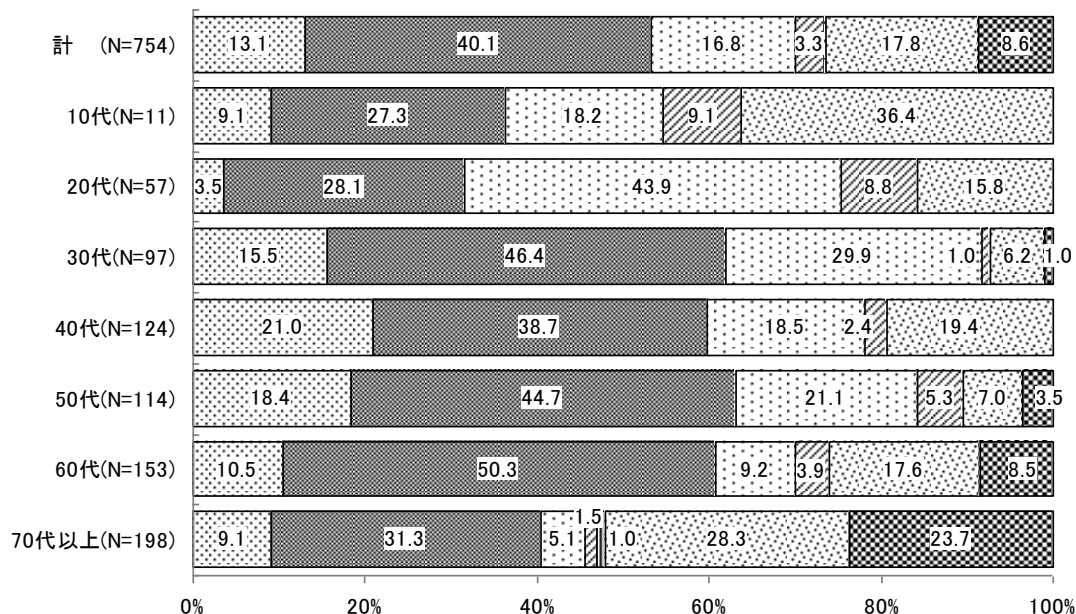
②職場では

『男性優遇』は、女性が53.2%、男性は51.6%と性別による大きな差異はありません。

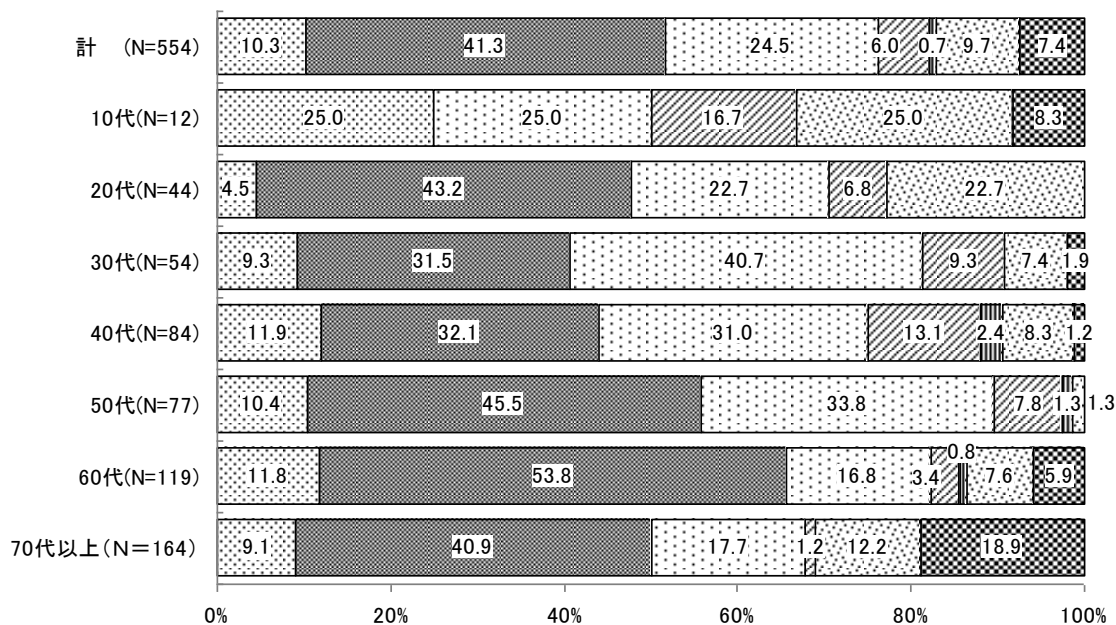
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、女性では「50代」が63.1%、男性では「60代」が65.6%と、それぞれが最も高くなっています。また、「20代」、「60代」、「70代以上」は、男性が女性を上回っています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等である
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

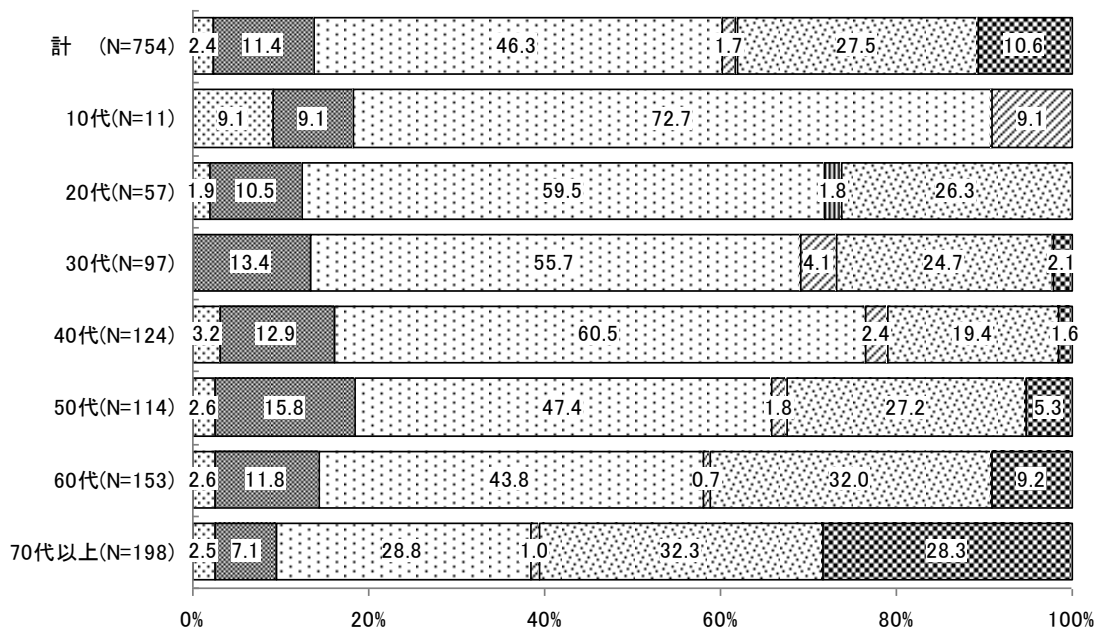
③学校教育の場では

『男性優遇』は、女性が13.8%に対し、男性は10.4%と女性が男性を上回っています。

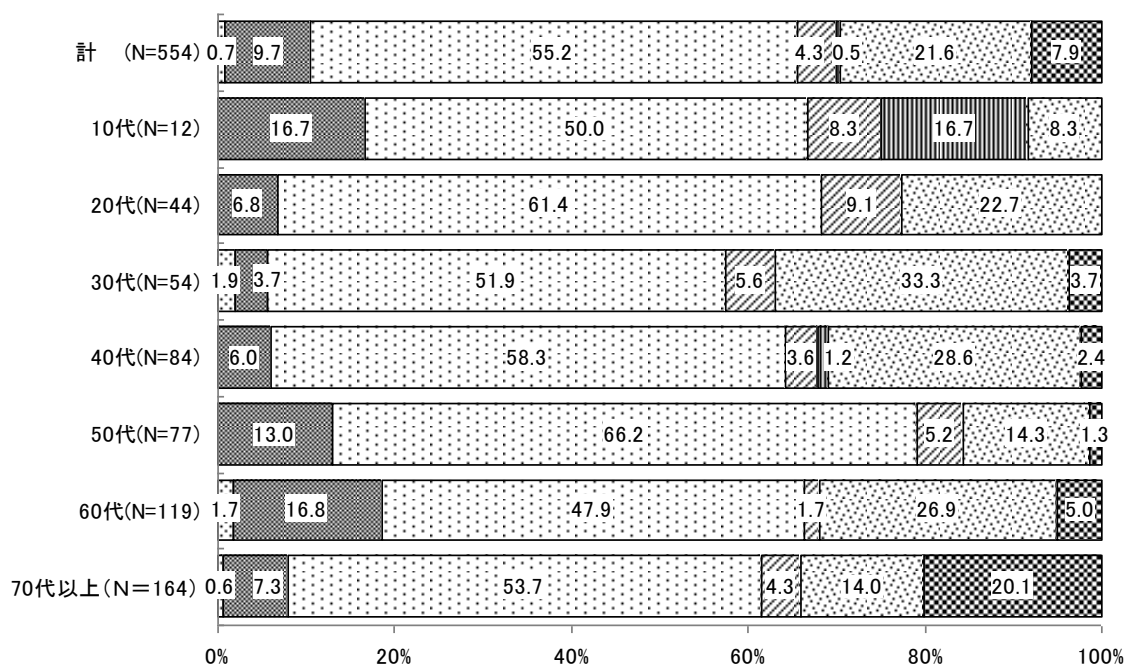
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、男女ともに、すべての年代で2割を下回っています。それに対し、「60代」、「70代以上」の女性を除く、ほとんどの年代で約5割、またはそれ以上の割合が「平等である」となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 男性の方が非常に優遇されている
 □ 平等である
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 ■ 無回答

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 ■ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 □ わからない

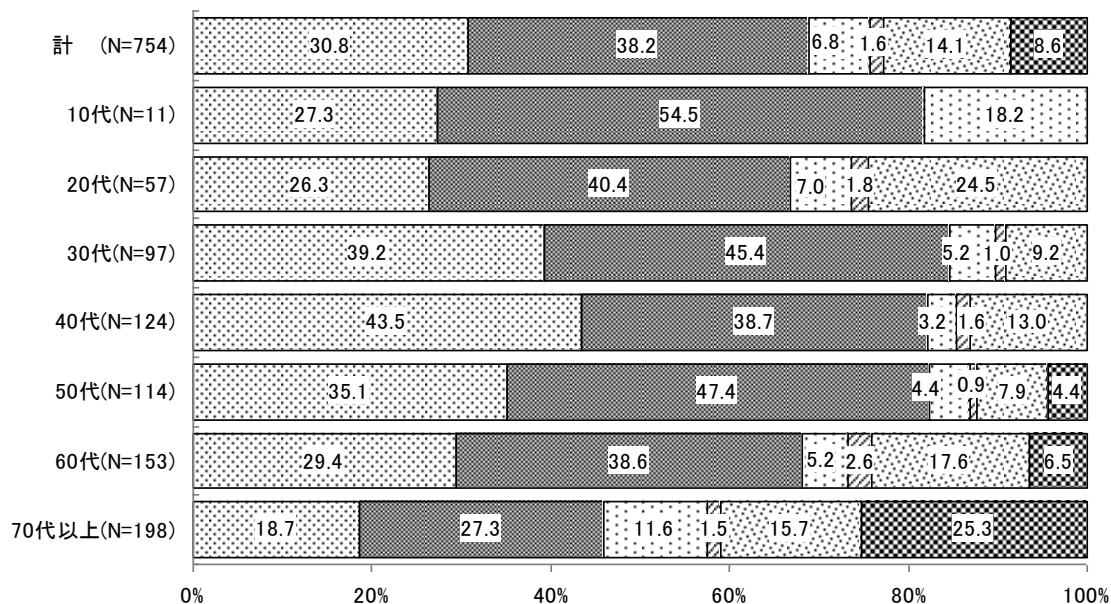
④政治の場では

『男性優遇』は、女性が69.0%に対し、男性は64.8%と女性が男性を上回っています。

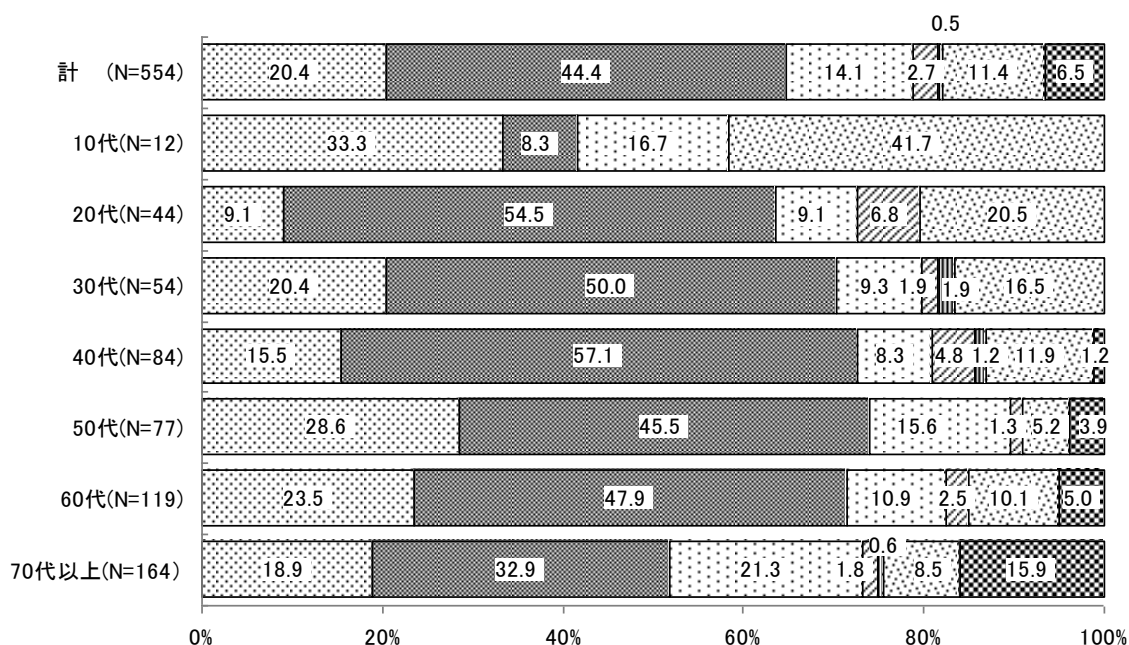
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、男女ともに、「70代以上」が、他の年代と比べて低くなっており、「10代」については、女性が81.8%に対し、男性は41.6%と性別による大きな差異があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 男性の方が非常に優遇されている
 □ 平等である
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 □ 無回答

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 □ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 □ わからない

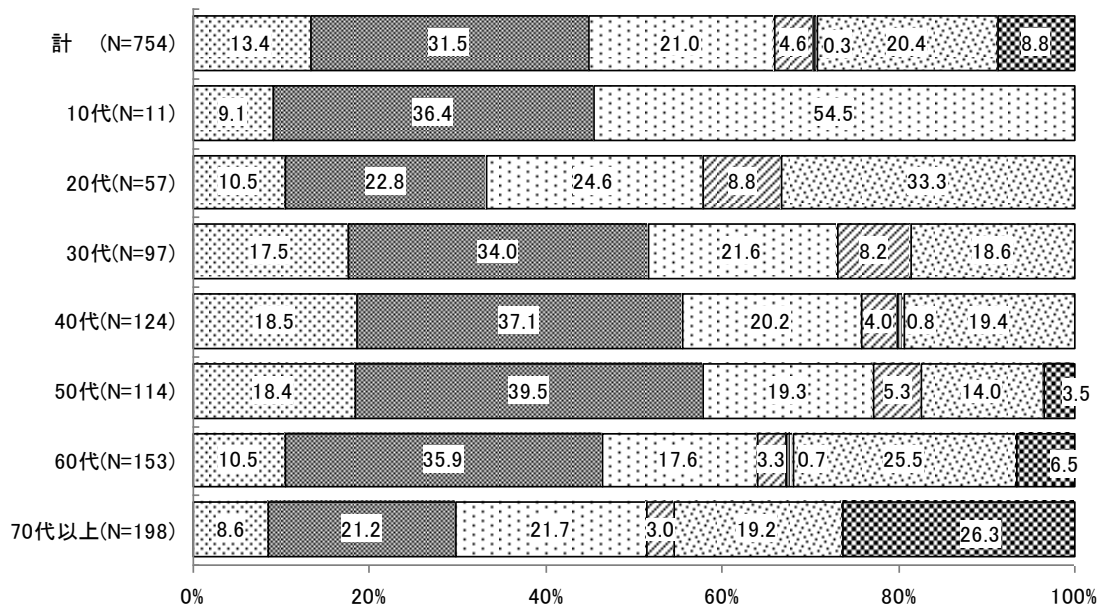
⑤法律や制度の上では

『男性優遇』は、女性が44.9%に対し、男性は27.4%と女性が男性を上回っています。

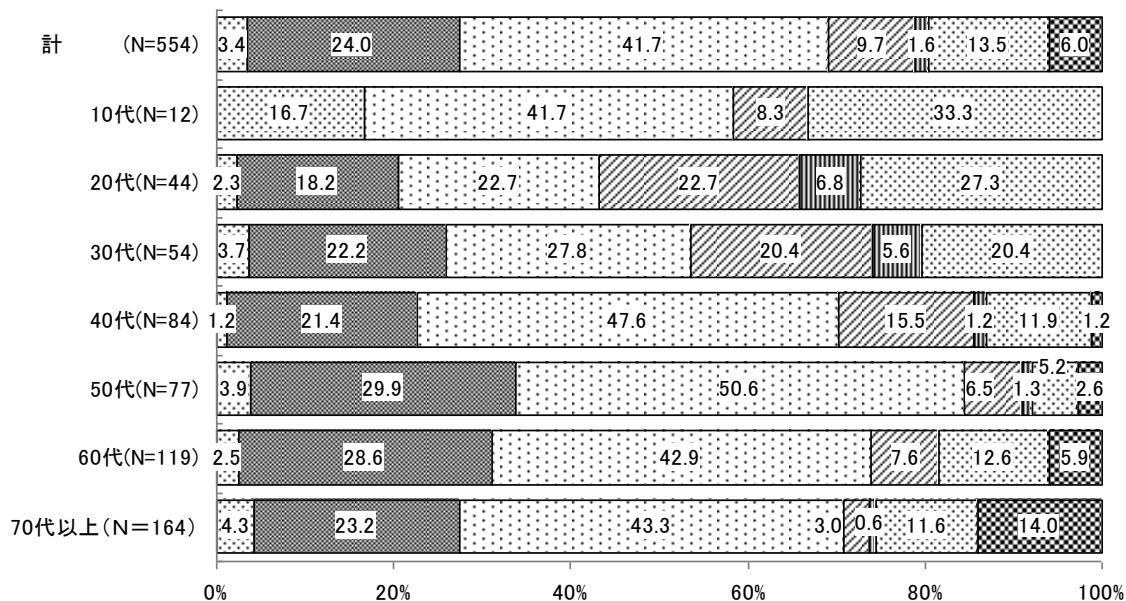
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、女性では「30代」～「50代」が高く、5割を超えています。男性では「30代」、「50代」～「70代以上」が高いものの、約3割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 男性の方が非常に優遇されている
 □ 平等である
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 □ 無回答

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 □ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 □ わからない

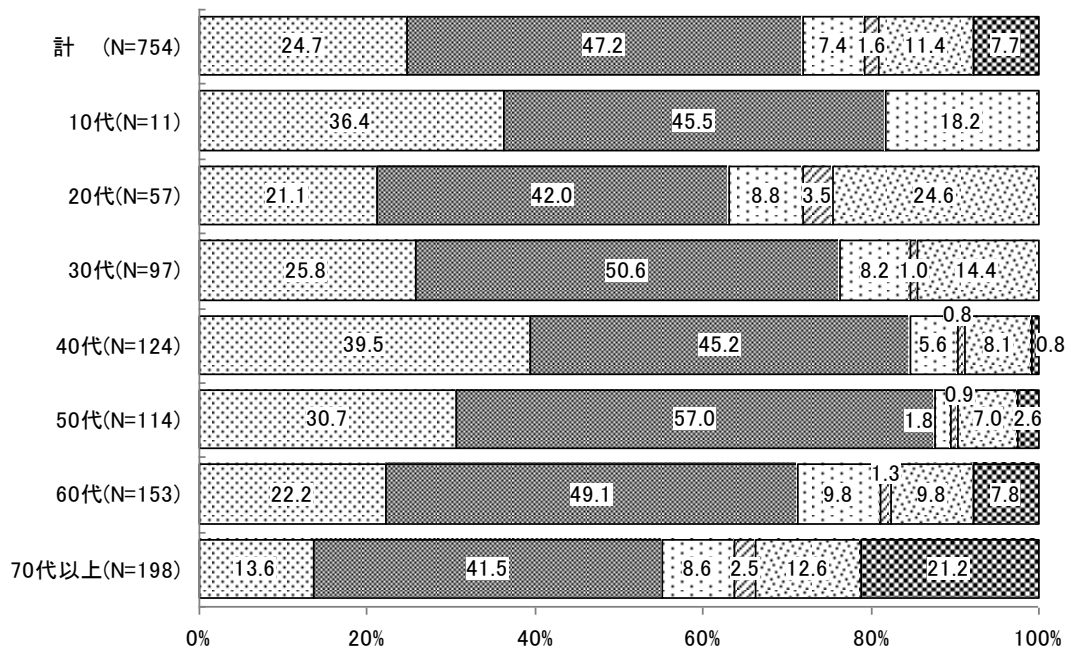
⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは

『男性優遇』は、女性が71.9%に対し、男性は64.6%と女性が男性を上回っています。

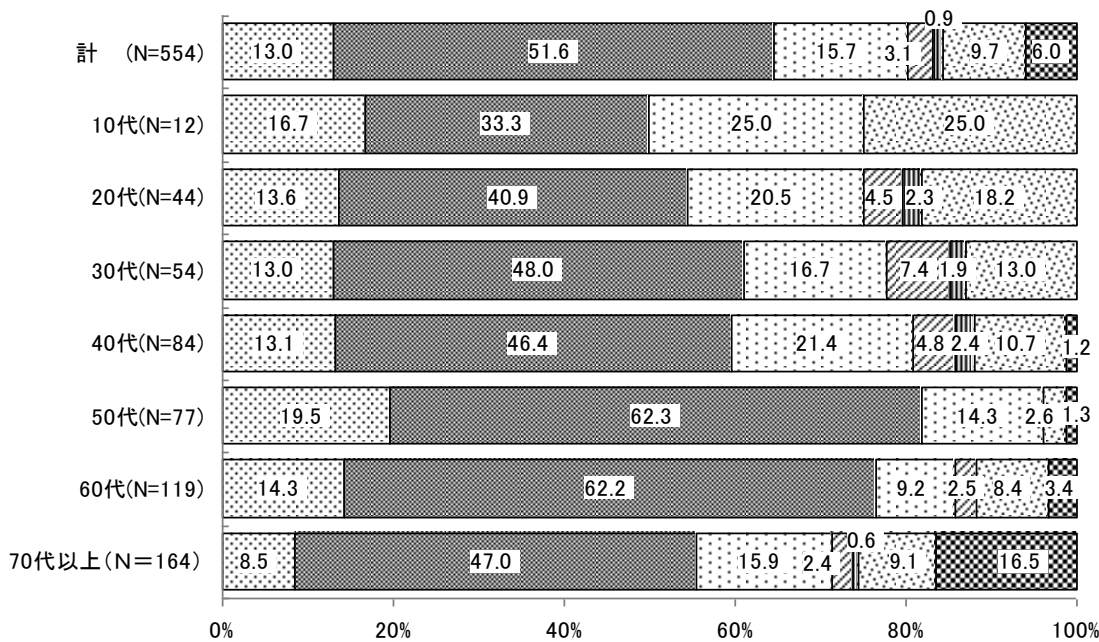
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、特に女性では「10代」、「40代」、「50代」が8割を超えるほか、男性では「50代」、「60代」が約8割とそれぞれ高くなっており、すべての年代において、男女ともに5割以上となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ 男性の方が非常に優遇されている
☐ 平等である
☐ 女性の方が非常に優遇されている
☐ 無回答

☐ どちらかといえば男性の方が優遇されている
☐ どちらかといえば女性の方が優遇されている
☐ わからない

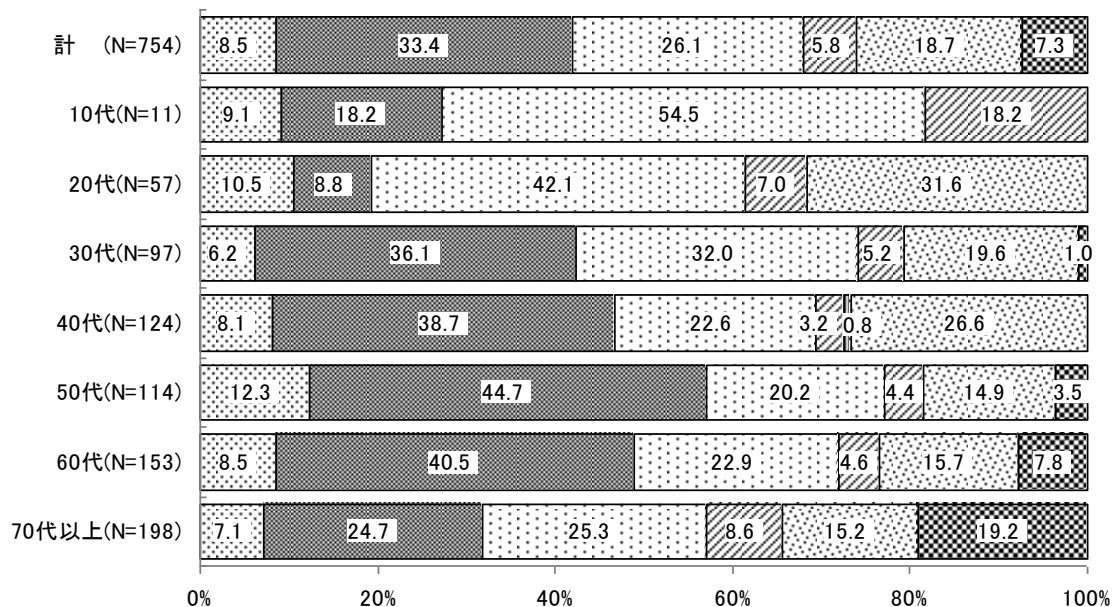
⑦地域活動の場では

『男性優遇』は、女性が41.9%に対し、男性は27.1%と女性が男性を上回っています。

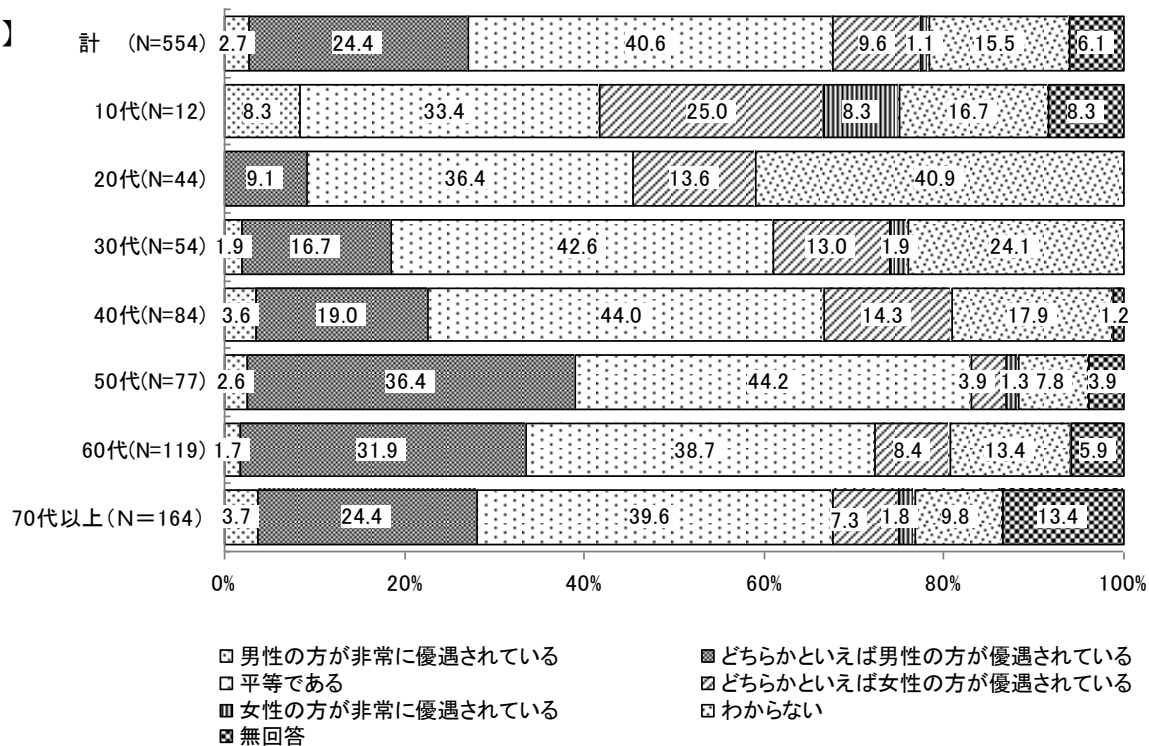
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、男女ともに、「50代」、「60代」が高くなっており、すべての年代において、女性が男性を上回っています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 男性の方が非常に優遇されている
□ 平等である
■ 女性の方が非常に優遇されている
■ 無回答

■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
■ どちらかといえば女性の方が優遇されている
□ わからない

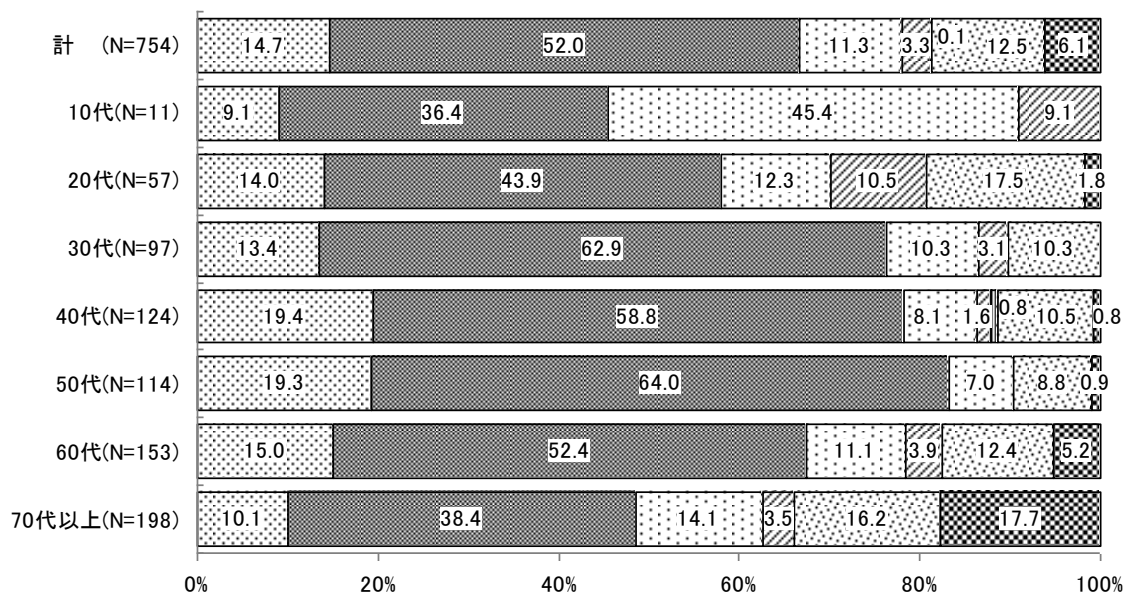
⑧社会全体では

『男性優遇』は、女性が66.7%、男性が60.0%と、男女ともに6割以上となっています。

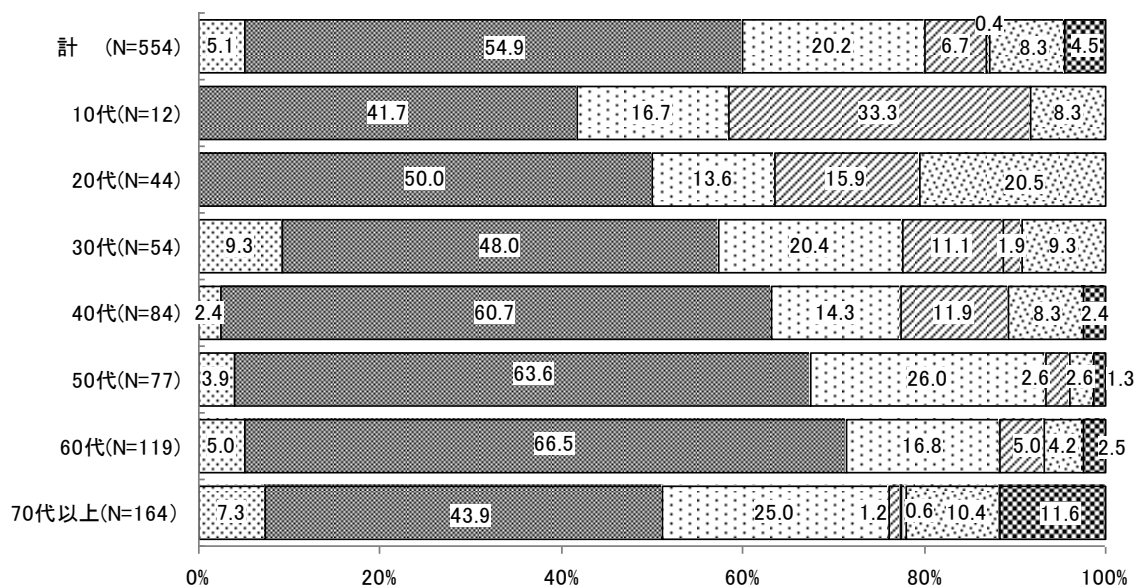
性別・年代別でみると、『男性優遇』は、女性では「30代」～「50代」が高く、男性では「70代以上」を除いては、年代が上がるにつれて、高くなる傾向があります。また、「10代」～「50代」は、女性が男性を上回っていますが、「60代」、「70代以上」では、男性が女性を上回っています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ 男性の方が非常に優遇されている
☐ 平等である
☐ 女性の方が非常に優遇されている
☐ 無回答

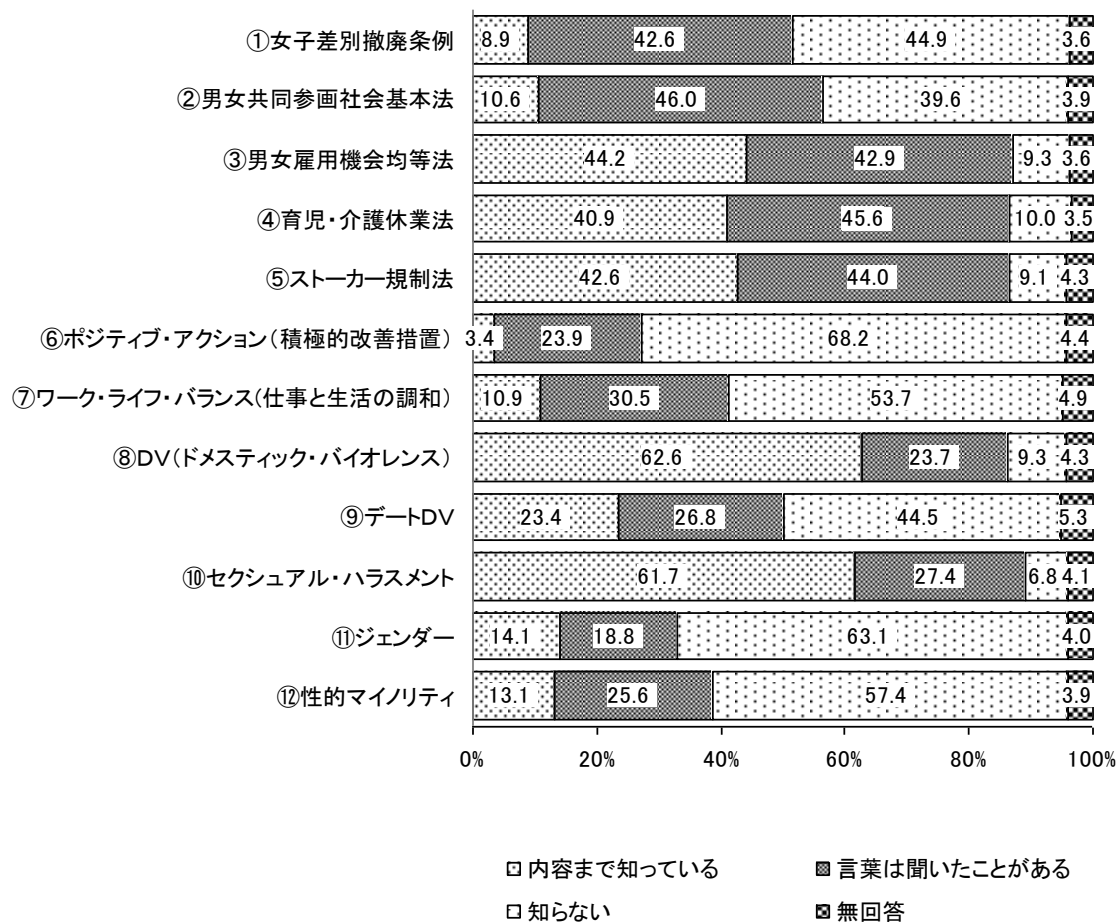
☐ どちらかといえば男性の方が優遇されている
☐ どちらかといえば女性の方が優遇されている
☐ わからない

問 10 次の①～⑫の言葉について、あなたはそれぞれの程度知っていますか。（〇はそれぞれ 1 つずつ）

『知っている』（「内容まで知っている」と「言葉は聞いたことがある」を合わせた値）は、「⑩セクシュアル・ハラスメント」が 89.1%と最も高く、次いで「③男女雇用機会均等法」が 87.1%、「⑤ストーカー規制法」が 86.6%となっています。

一方、「知らない」は、「⑥ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」が 68.2%と最も高く、次いで「⑪ジェンダー」が 63.1%、「⑫性的マイノリティ」が 57.4%となっています。

<全体>



(N=1,316)

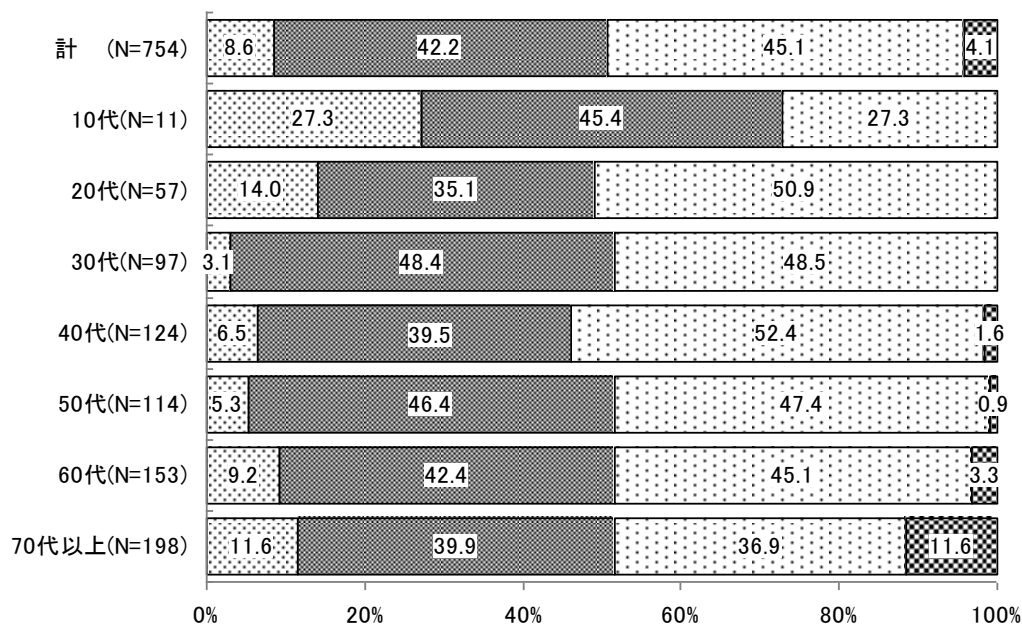
①女子差別撤廃条約

『知っている』は、女性が50.8%に対し、男性は52.7%と男性が女性を上回っています。

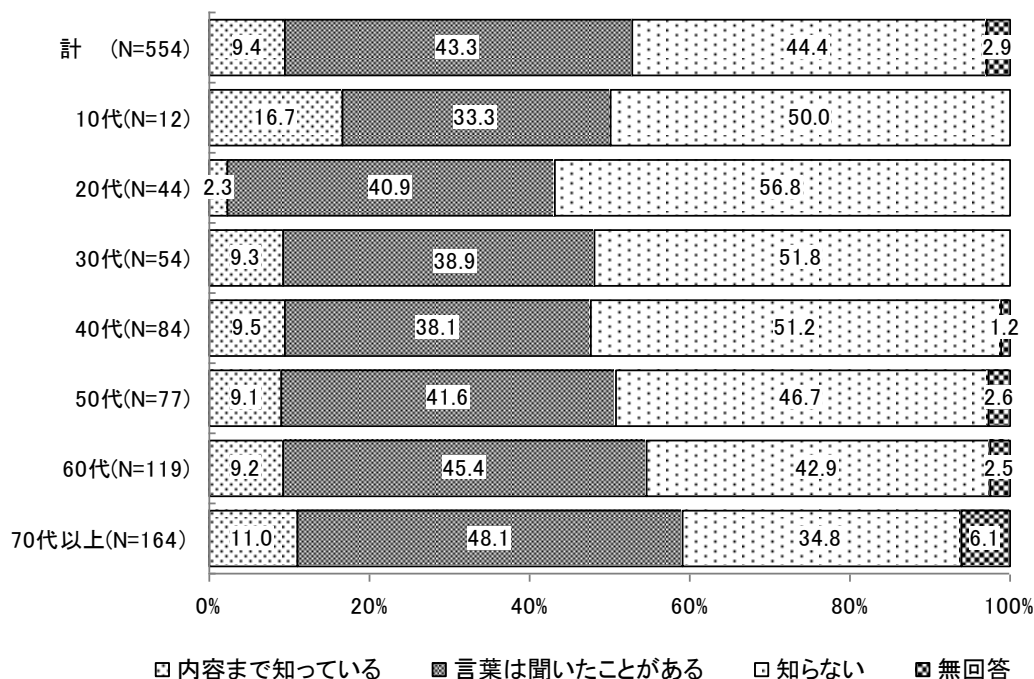
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「10代」が72.7%と最も高く、男性では「70代以上」が59.1%と最も高くなっています。また、男性の「20代」を除く他の年代においては、ほとんどの年代で約5割、またはそれ以上の割合となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



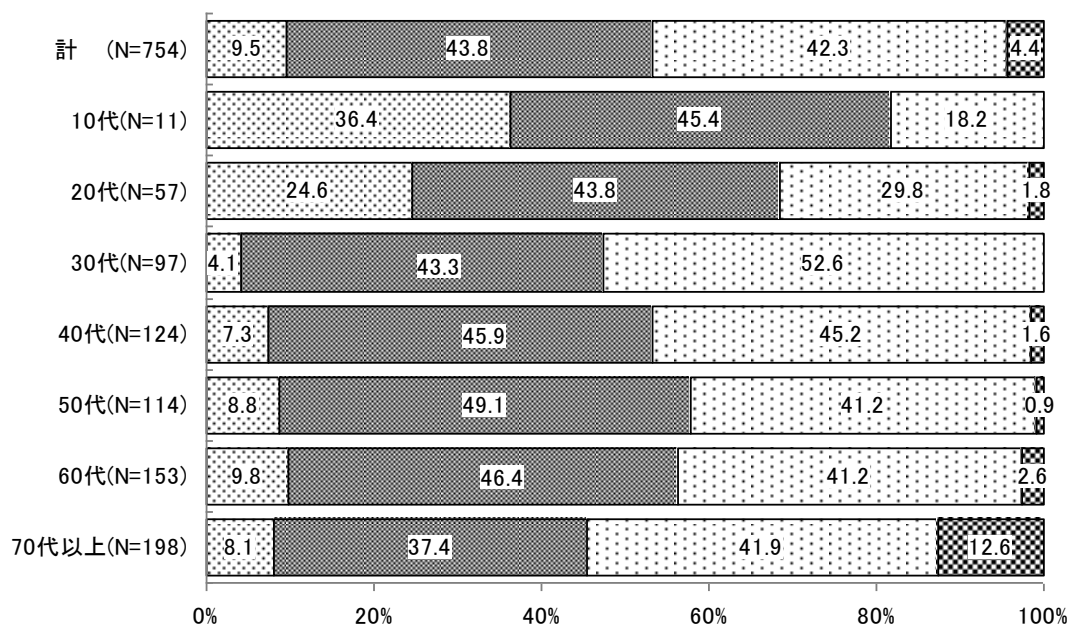
②男女共同参画社会基本法

『知っている』は、女性が53.3%に対し、男性は61.4%と男性が女性を上回っています。

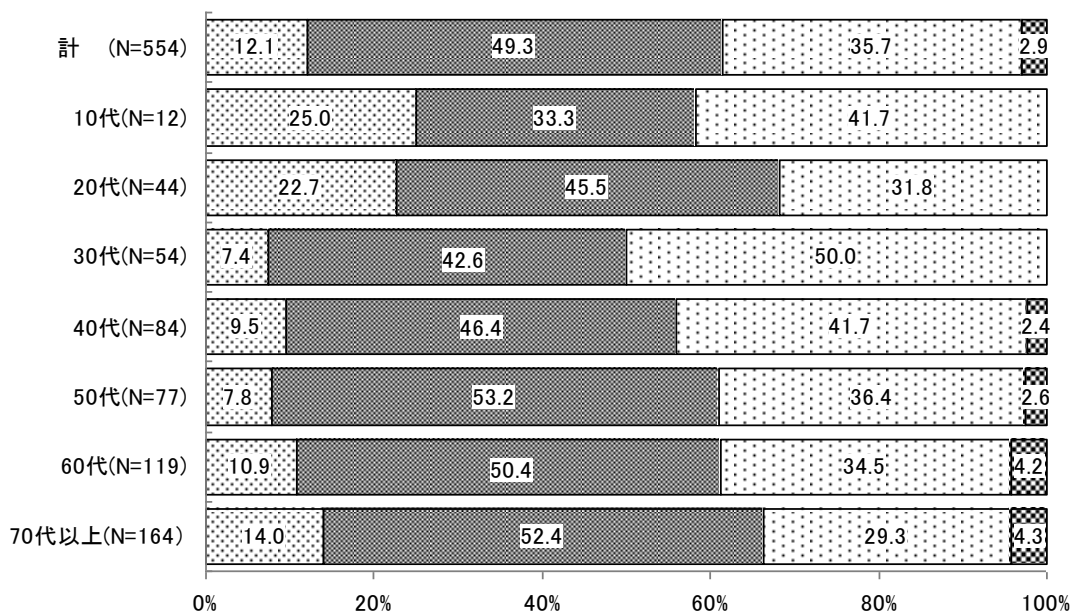
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「10代」(81.8%)、「20代」(68.4%)が他の年代に比べて高くなっています。男性では「20代」(68.2%)に次いで「70代以上」(66.4%)が高くなっており、「30代」以降、年代が上がるにつれて、高くなる傾向があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

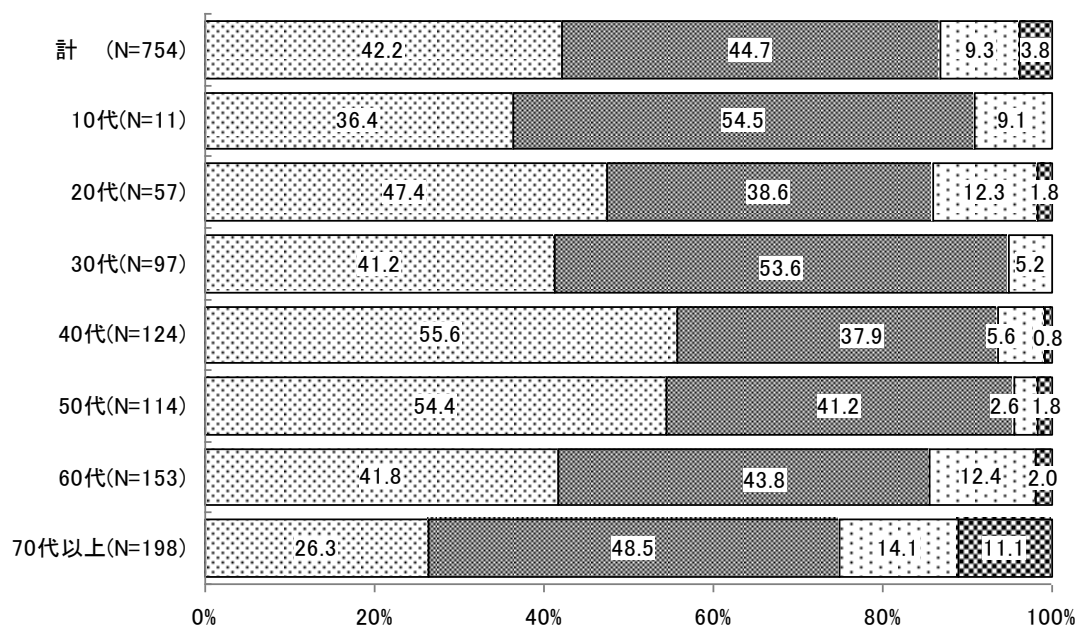
③男女雇用機会均等法

『知っている』は、女性が86.9%、男性が87.5%と、男女ともに約9割となっています。

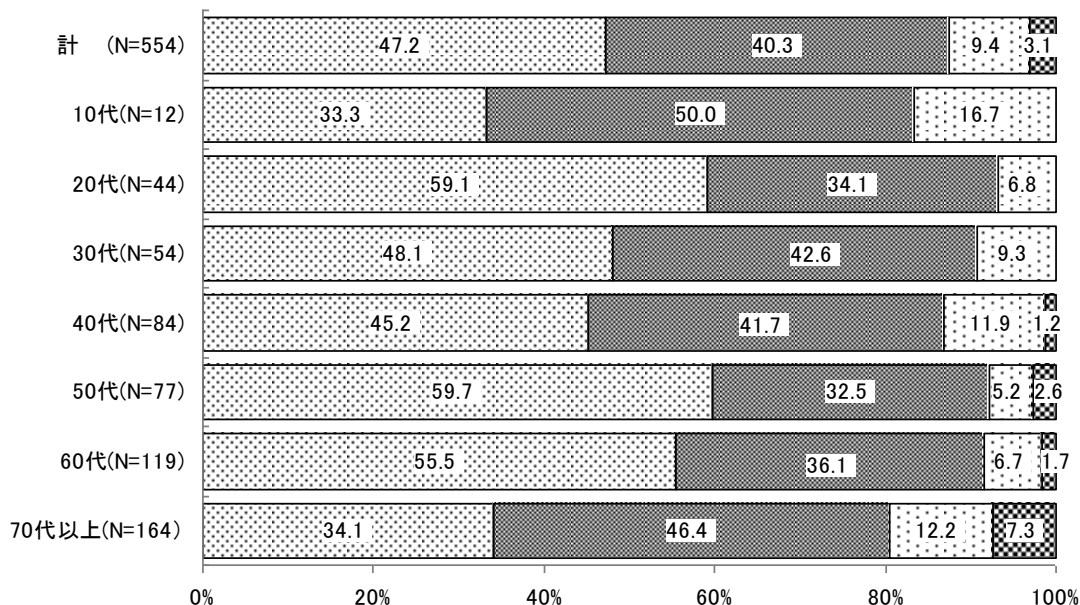
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「10代」、「30代」～「50代」が、男性では「20代」、「30代」、「50代」、「60代」が9割を超えています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

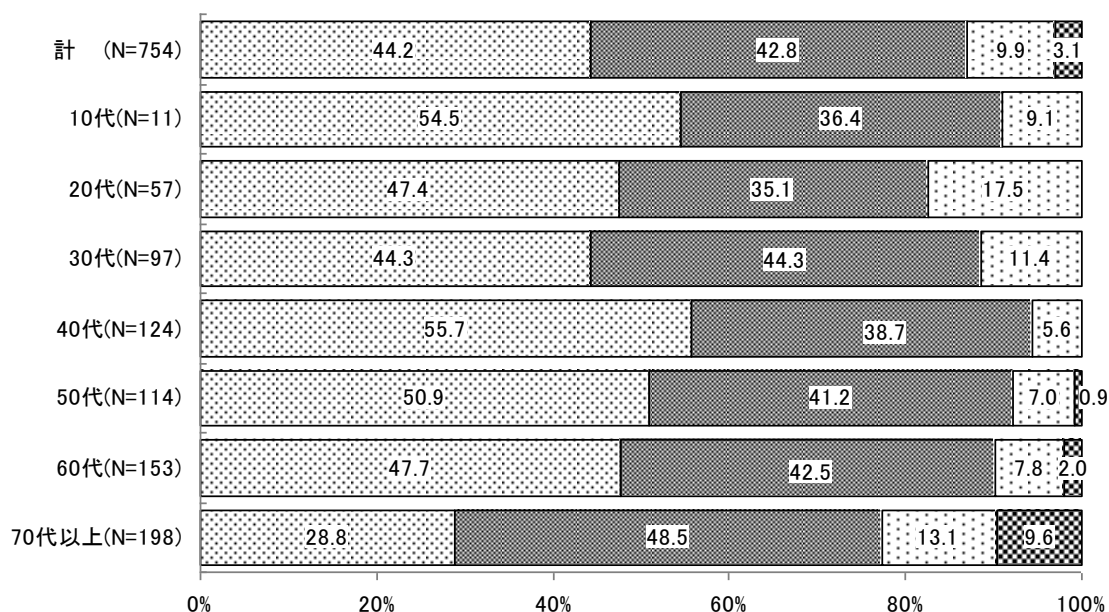
④育児・介護休業法

『知っている』は、女性が87.0%、男性が86.3%と、男女ともに約9割となっています。

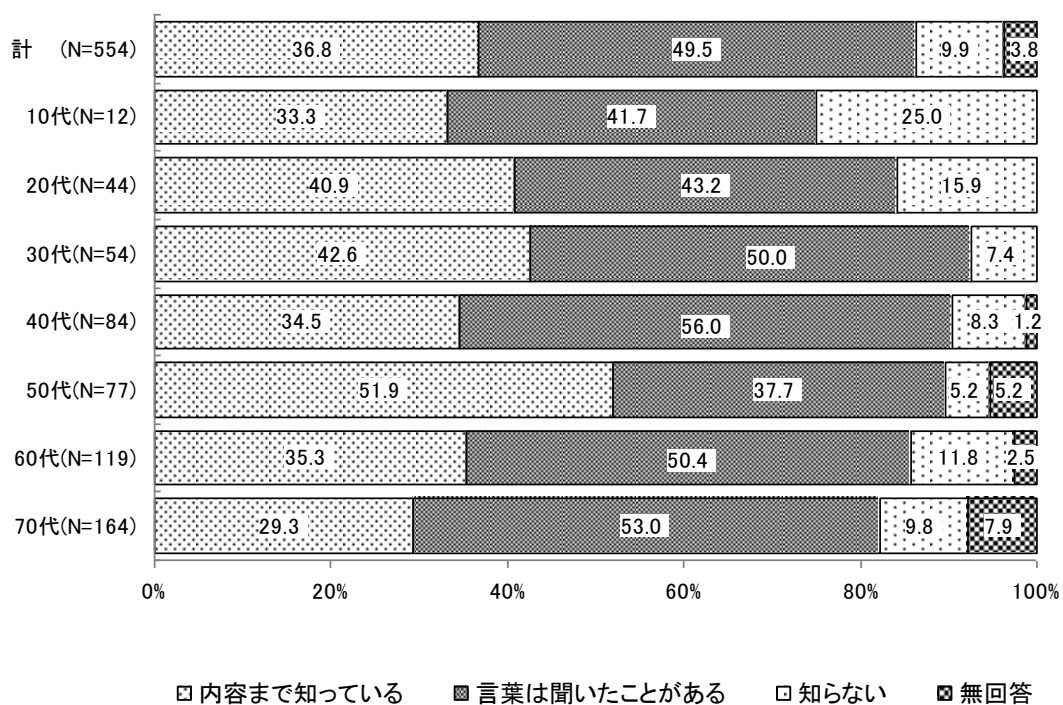
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「10代」、「40代」～「60代」が、男性では「30代」、「40代」が9割を超えています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】

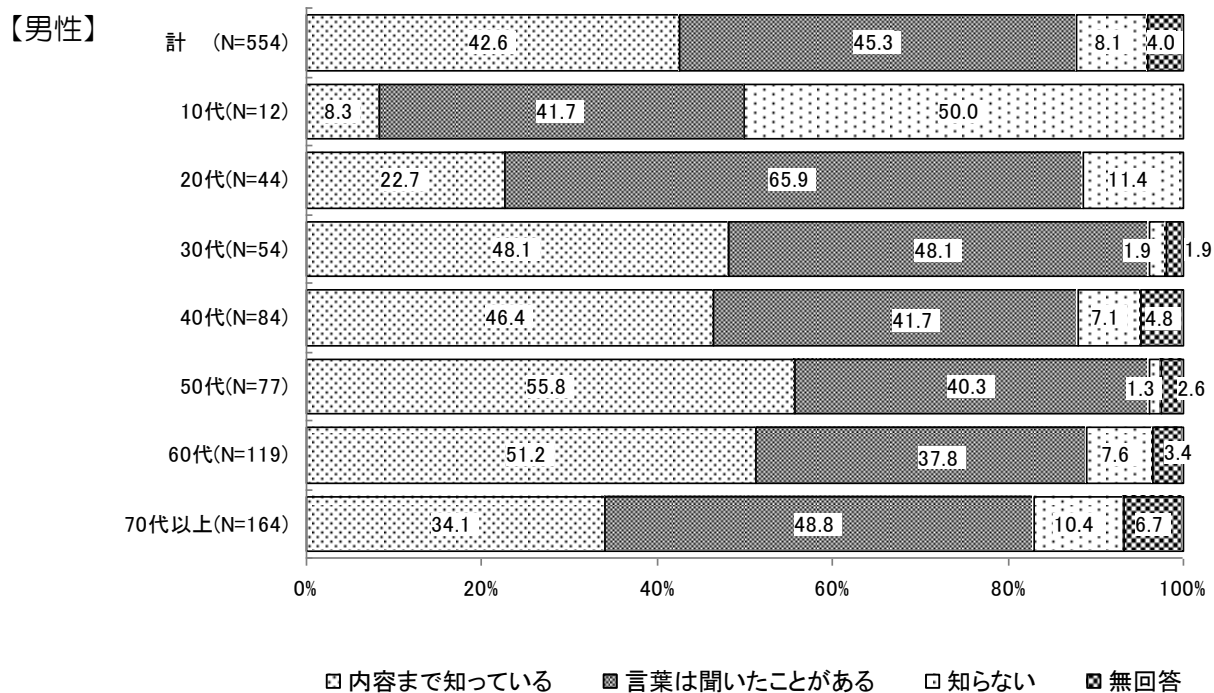
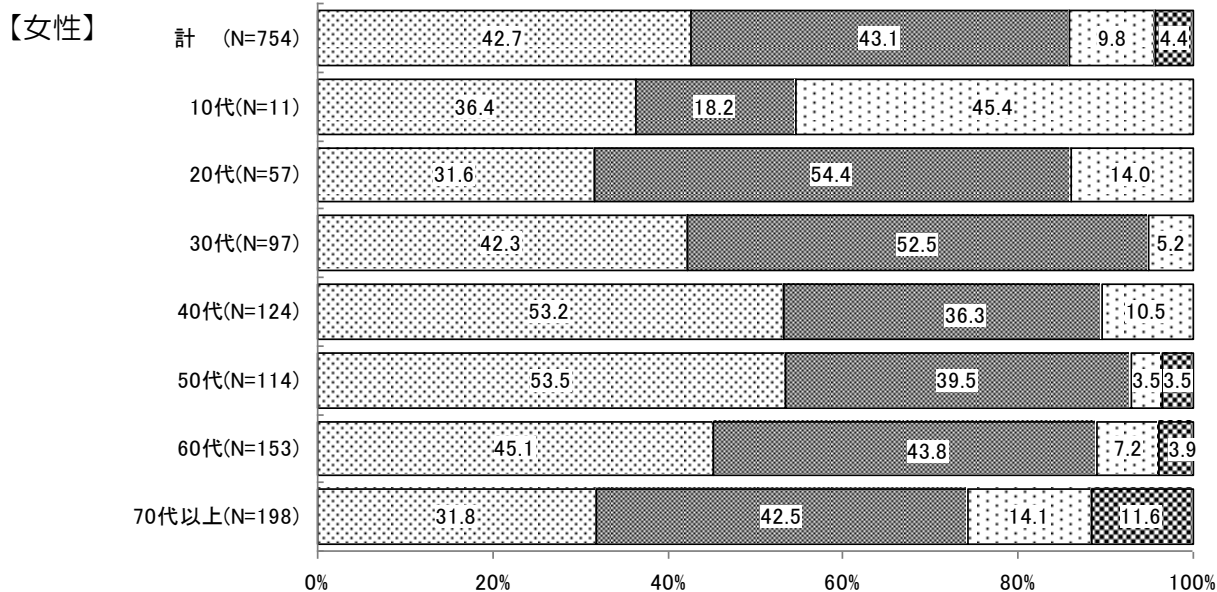


⑤ ストーカー規制法

『知っている』は、女性が85.8%、男性が87.9%と、男女ともに約9割となっています。

性別・年代別でみると、『知っている』は、男女ともに、「10代」、「70代以上」を除く他の年代において、約9割となっていますが、「10代」では約5割となっています。

<性別・年代別>



⑥ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

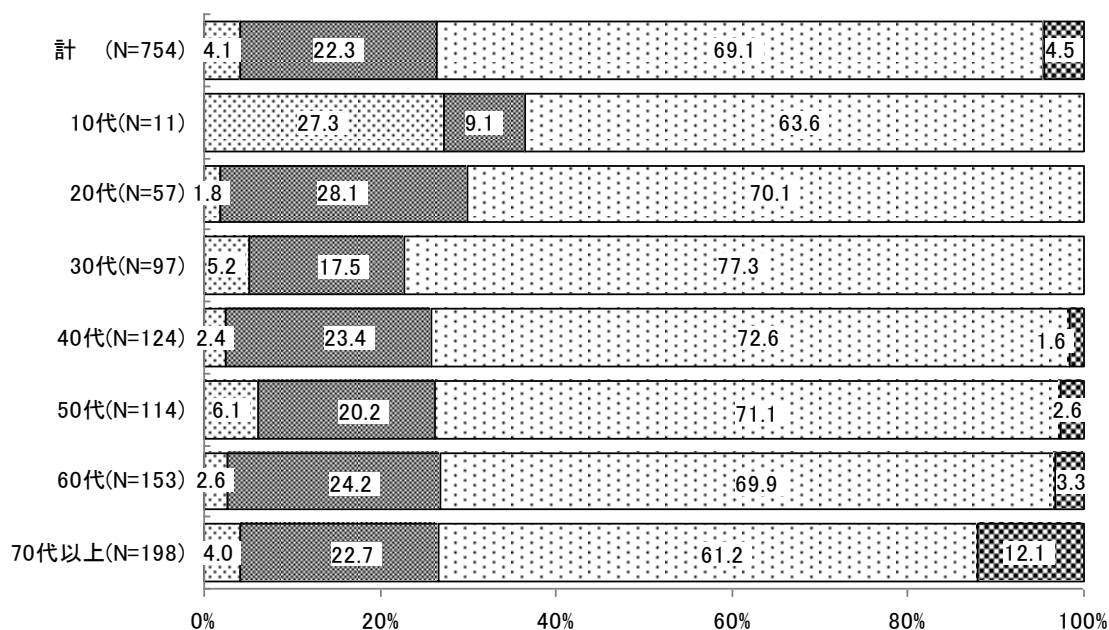
『知っている』は、女性が26.4%、男性が28.9%と、男女ともに3割を下回っています。

性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「10代」が約4割、「30代」を除く他の年代が約3割となっています。男性では「20代」～「40代」のほか、「70代以上」も3割を超えています。

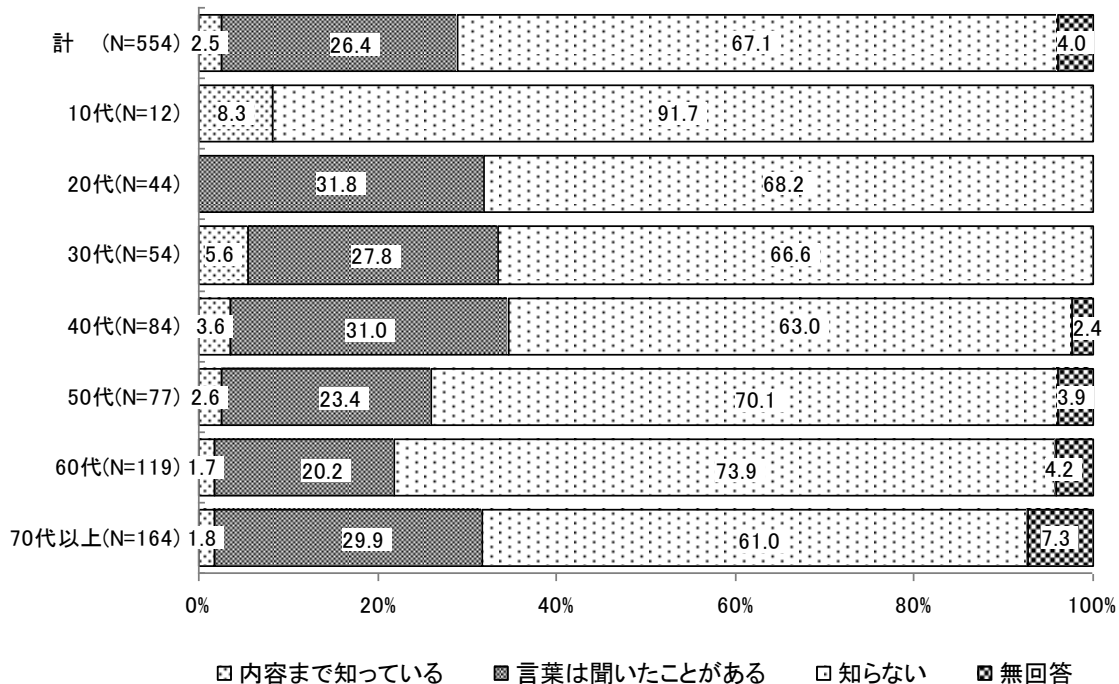
また、「内容まで知っている」は、女性の「10代」が27.3%となっていますが、他の年代では、すべて1割未満となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



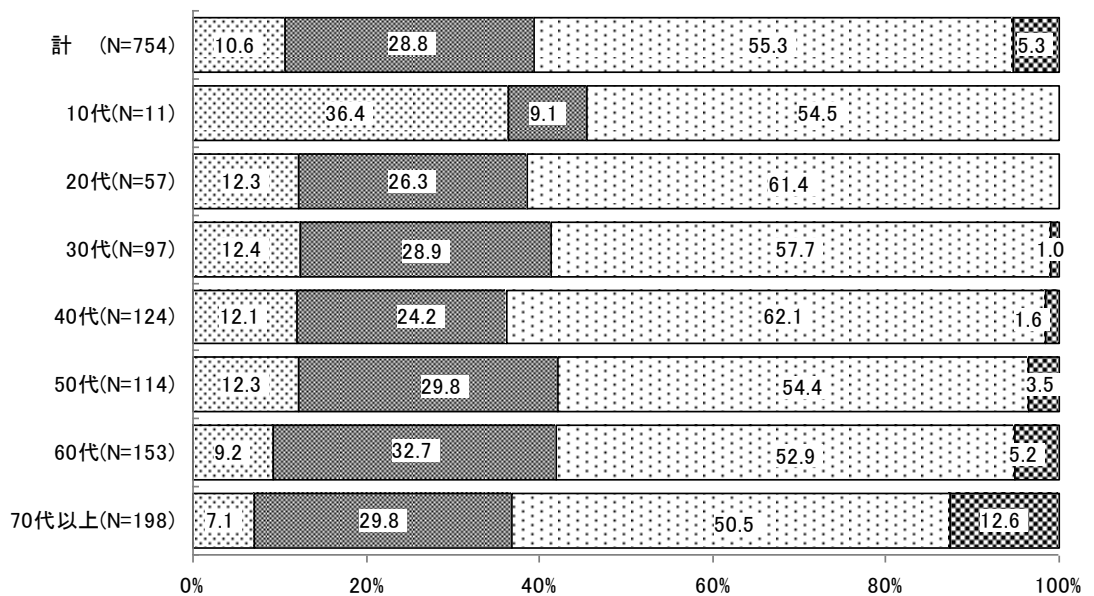
⑦ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

『知っている』は、女性が39.4%に対し、男性は44.4%と男性が女性を上回っています。

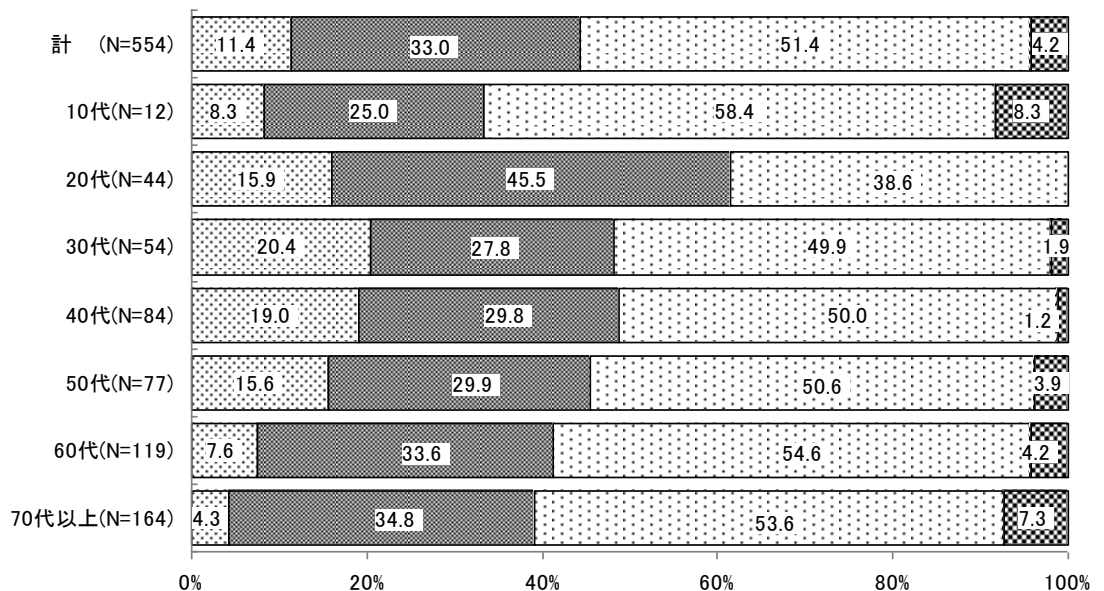
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では、すべての年代で約4～5割となっています。男性では「20代」が約6割、「30代」～「50代」が約5割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

⑧DV（ドメスティック・バイオレンス）

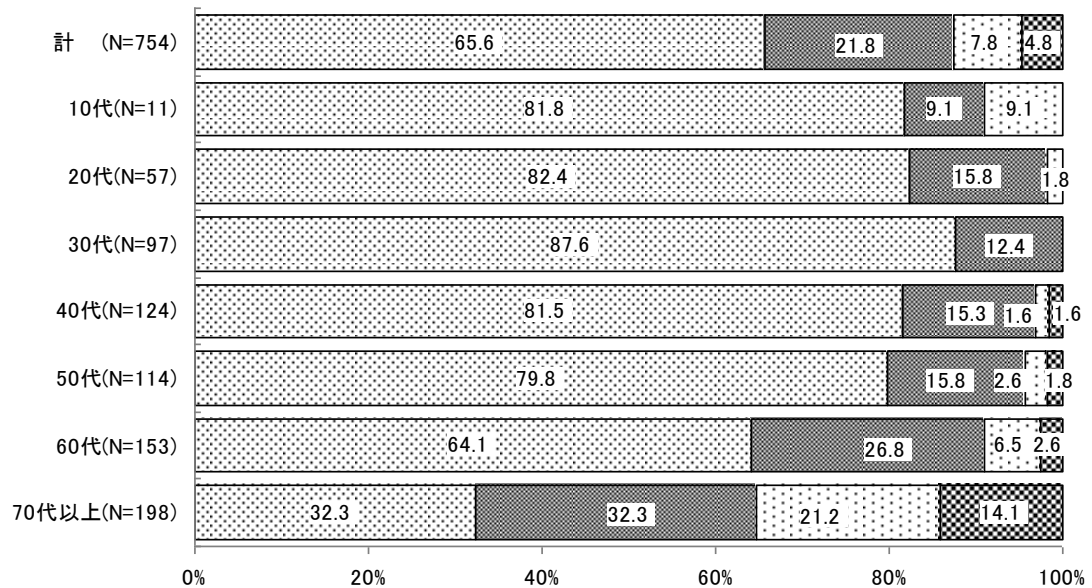
『知っている』は、女性 87.4%、男性 85.2%となっており、男女ともに約9割となっています。

性別・年代別でみると、『知っている』は、「70代以上」を除く他の年代において、男女ともに8割を超えており、女性の「30代」、男性の「10代」については、100%を達成しています。

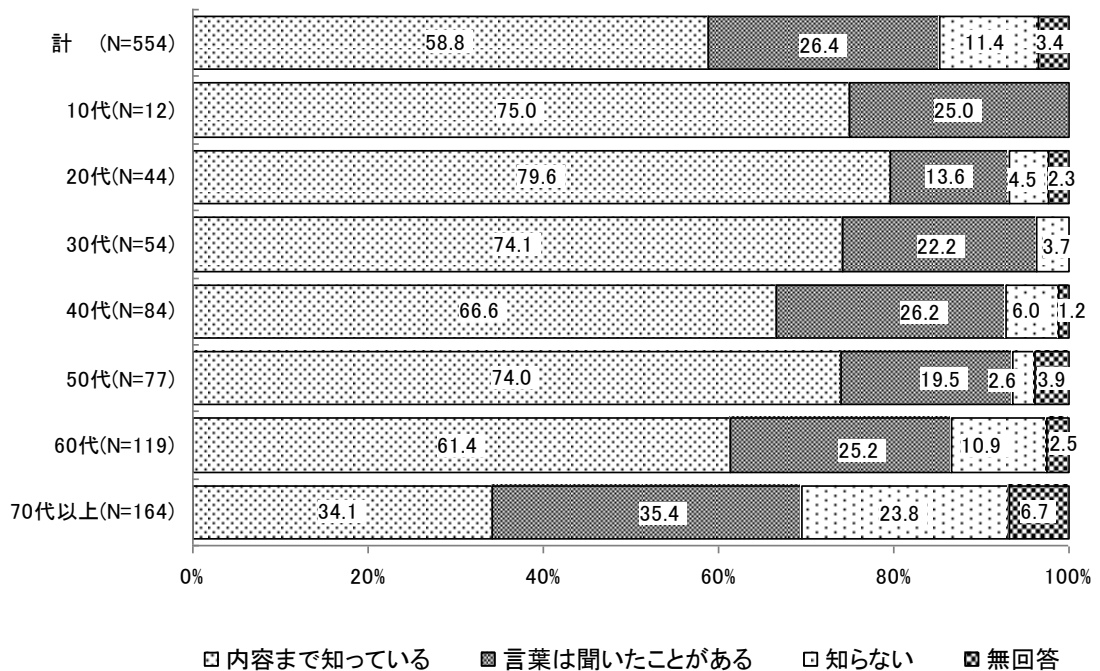
また、「内容まで知っている」は、女性の「10代」～「40代」で8割を超えています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



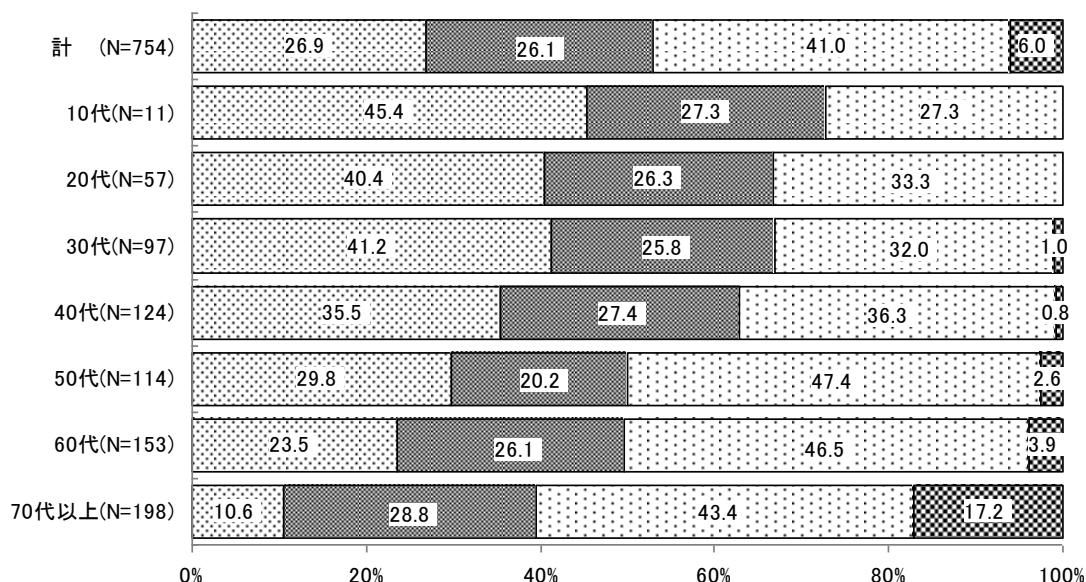
⑨デートDV

『知っている』は、女性が53.0%に対し、男性は47.0%と女性が男性を上回っています。

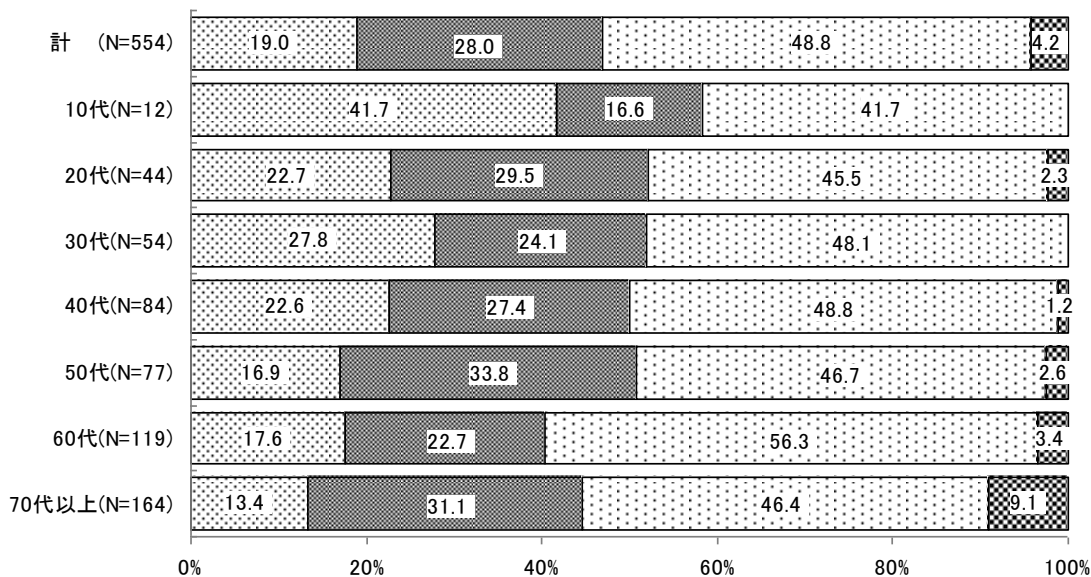
性別・年代別でみると、『知っている』は、男女ともに、ほぼ年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

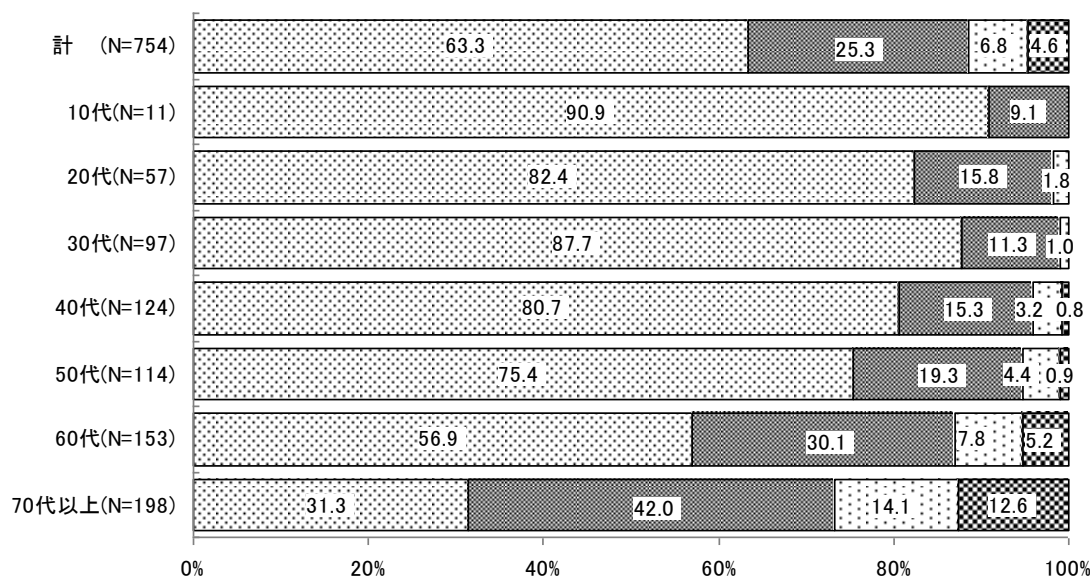
⑩セクシュアル・ハラスメント

『知っている』は、女性が88.6%、男性が90.2%と、男女ともに約9割となっています。

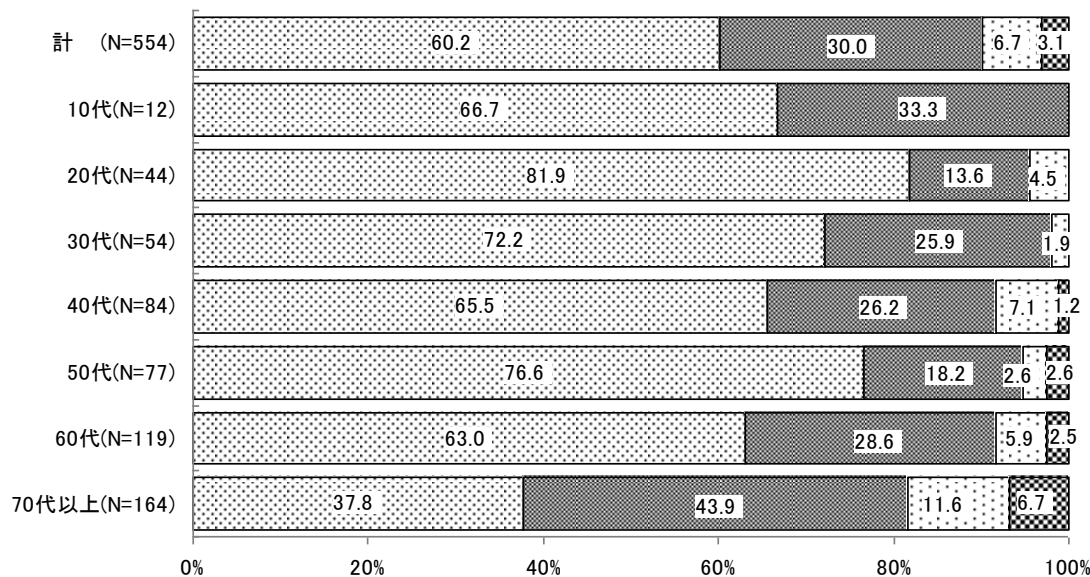
性別・年代別でみると、『知っている』は、女性の「70代以上」を除いては、男女ともに8割を超えており、「10代」については男女ともに100%を達成しています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

⑪ジェンダー

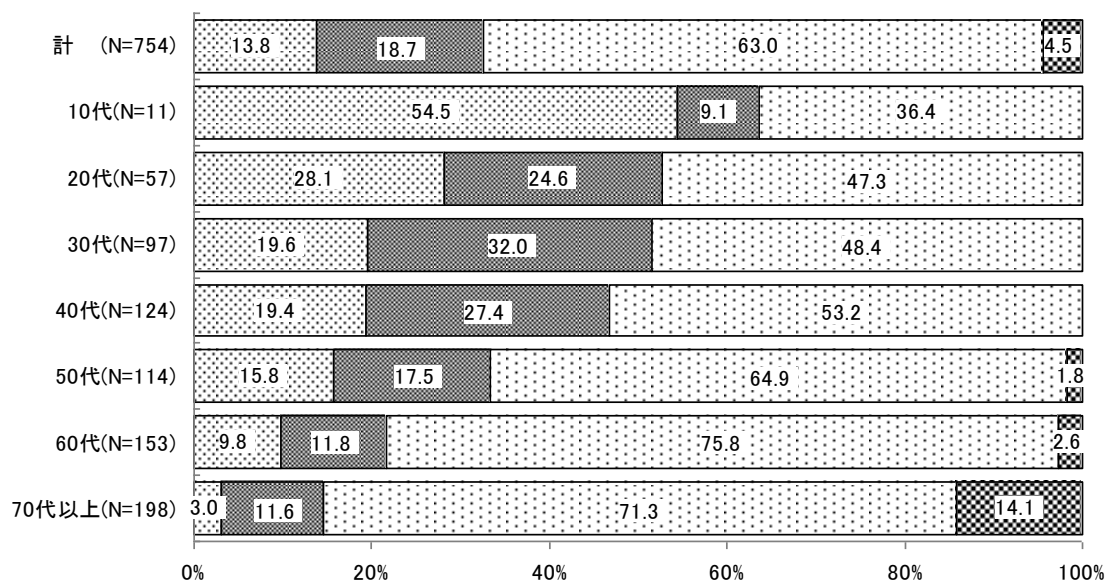
『知っている』は、女性が32.5%、男性が33.9%と、男女ともに約3割となっています。

性別・年代別でみると、『知っている』は、男性の「50代」を除いては、男女ともに、年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

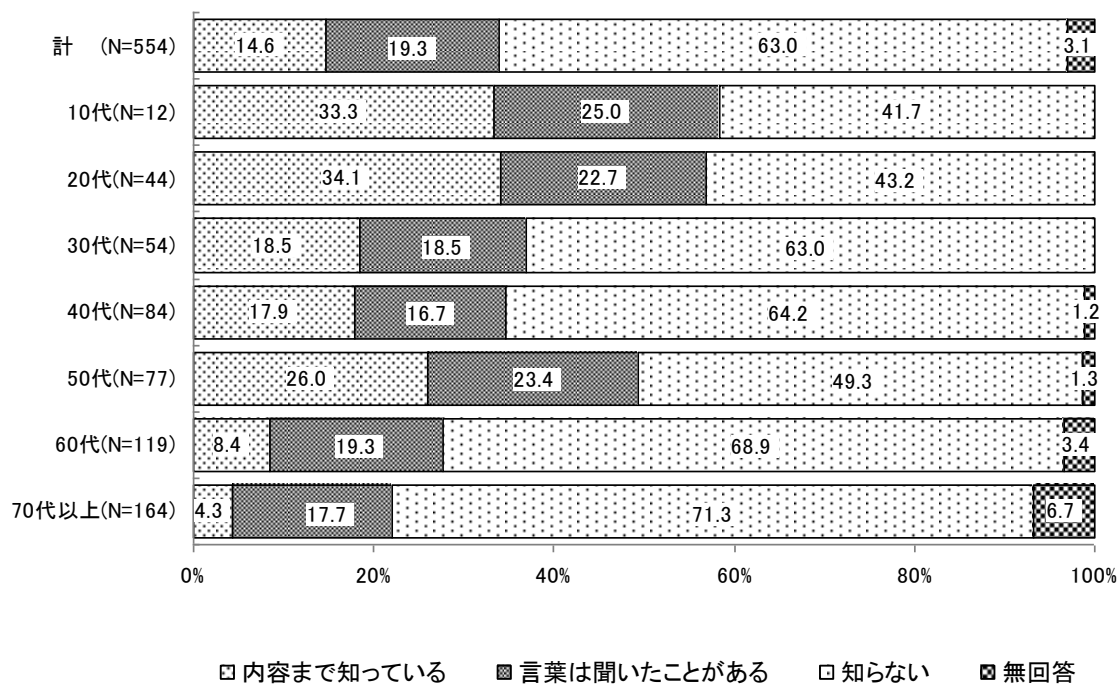
また、「内容まで知っている」は、特に女性の「10代」で高く、5割を超えています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



⑫性的マイノリティ

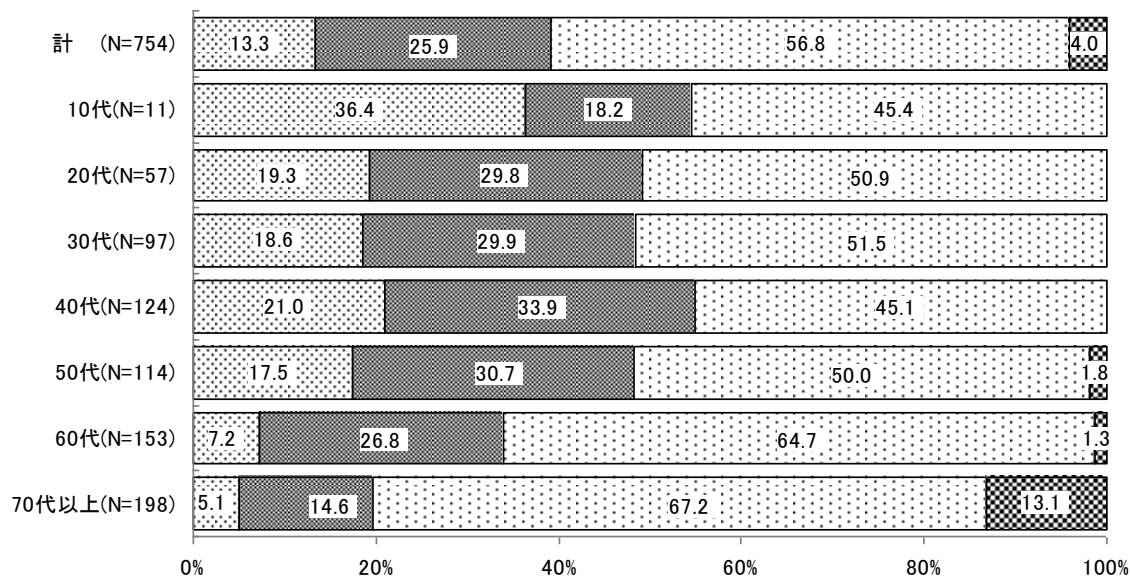
『知っている』は、女性が39.2%、男性が38.7%と、男女ともに約4割となっています。

性別・年代別でみると、『知っている』は、女性では「40代」が54.9%と最も高く、次いで「10代」が54.6%となっています。男性では「50代」が57.2%と最も高く、次いで「20代」が52.3%となっています。

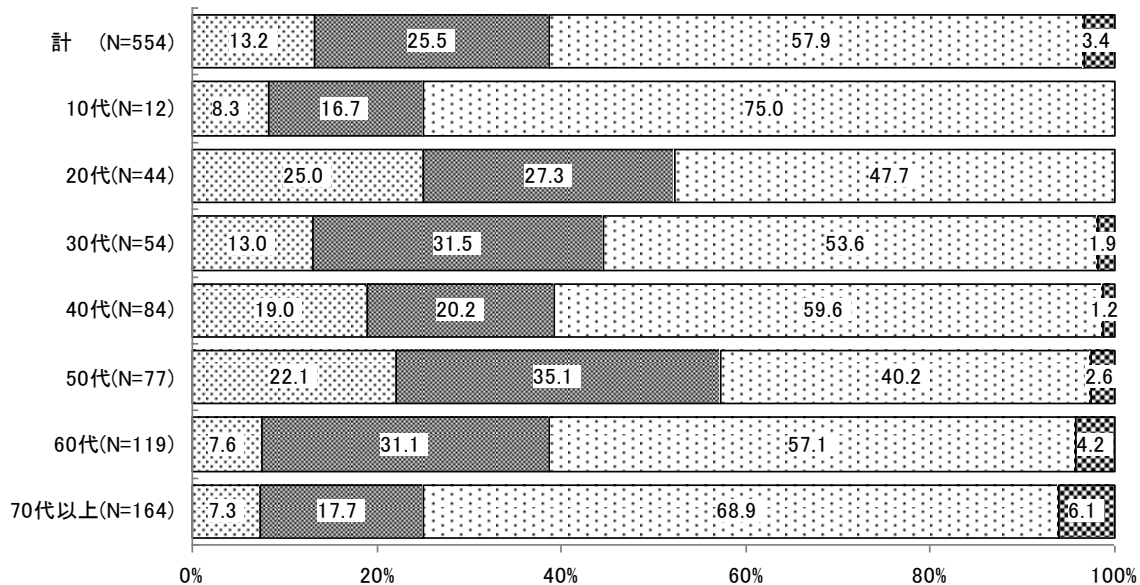
また、「内容まで知っている」は、「10代」の男女間で差異があり、女性が36.4%に対し、男性が8.3%と女性が男性を大きく上回っています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 内容まで知っている ■ 言葉は聞いたことがある □ 知らない ■ 無回答

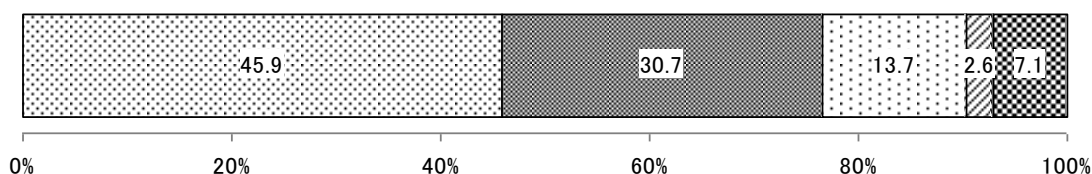
問 11 「男は仕事、女は家庭」というような性別で役割を固定した考え方についてどう思いますか。
(○は1つ)

「同感しない」が45.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.7%、「同感する」が13.7%となっています。

「同感しない」は、女性が51.4%に対し、男性が38.7%と女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、男性の「60代」を除く他の年代において、「同感しない」が最も高くなっており、特に女性の「10代」で約8割となっています。

<全体>

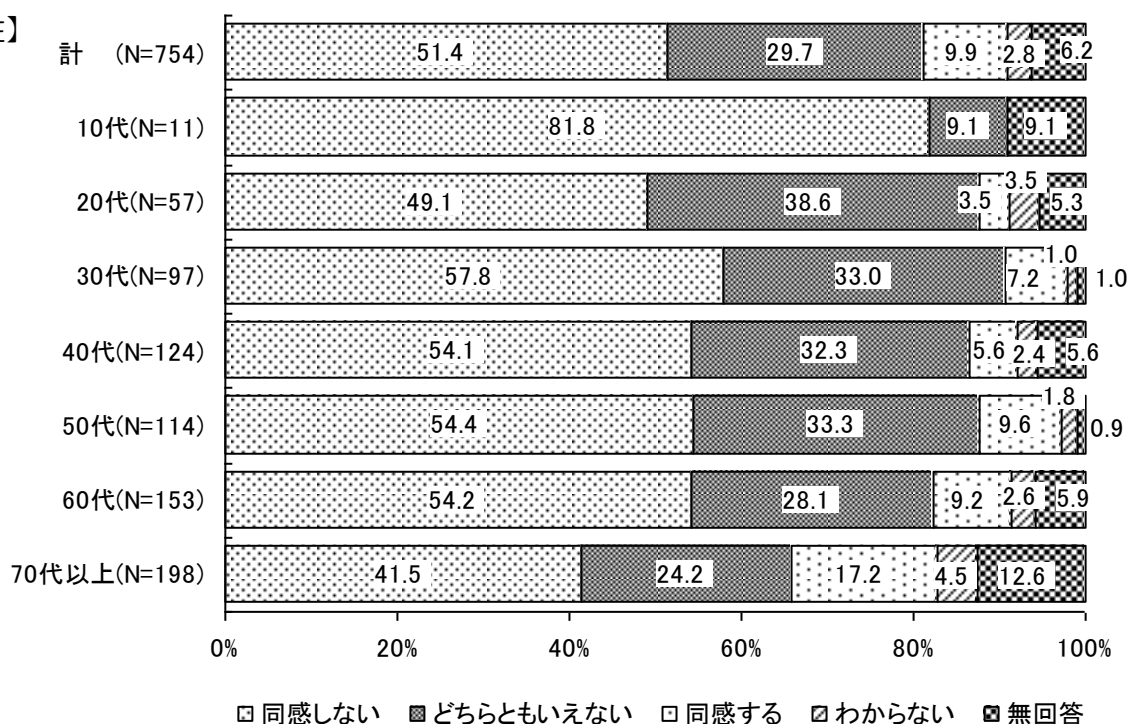


□ 同感しない ■ どちらともいえない □ 同感する ■ わからない ■ 無回答

(N=1,316)

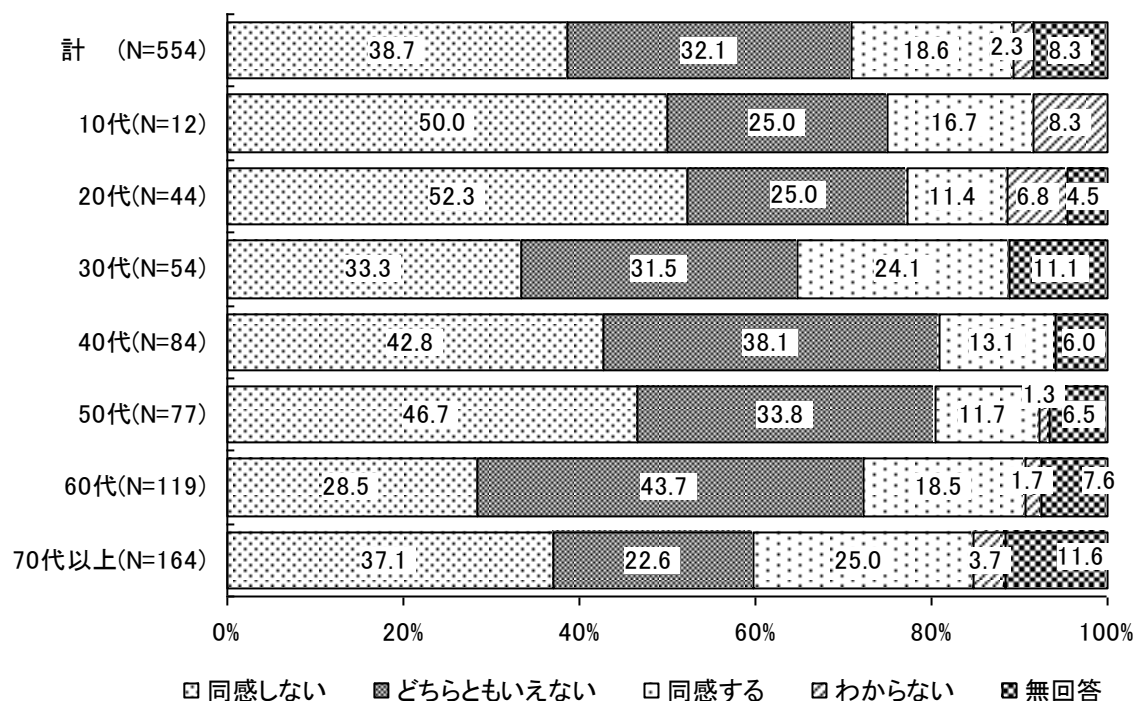
<性別・年代別>

【女性】



□ 同感しない ■ どちらともいえない □ 同感する ■ わからない ■ 無回答

【男性】

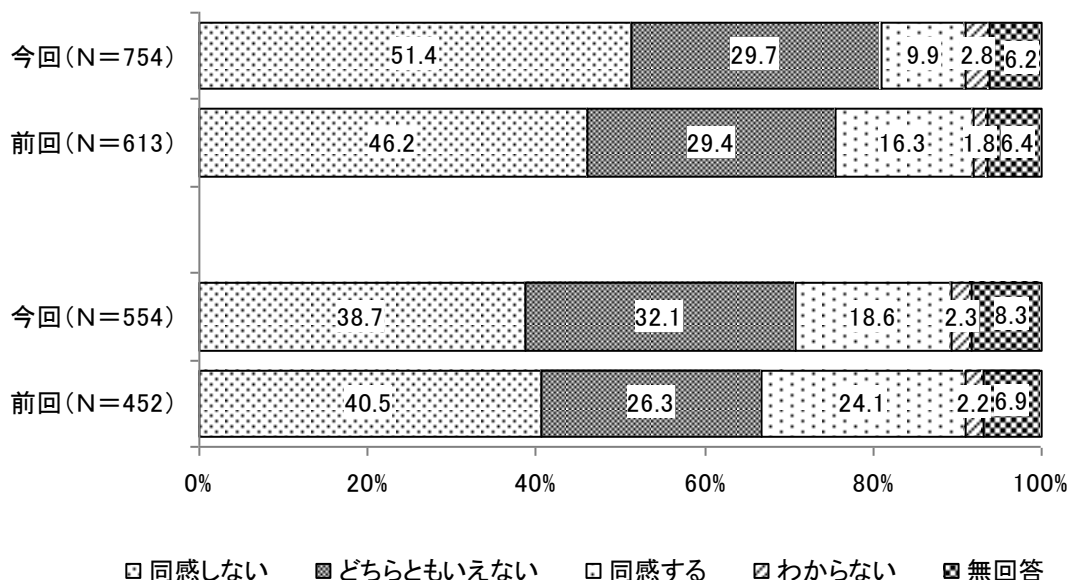


＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、「同意しない」は、女性が 5.2 ポイント増加（前回 46.2%→今回 51.4%）し、男性は 1.8 ポイント減少（前回 40.5%→今回 38.7%）しています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同意するか＜性別＞

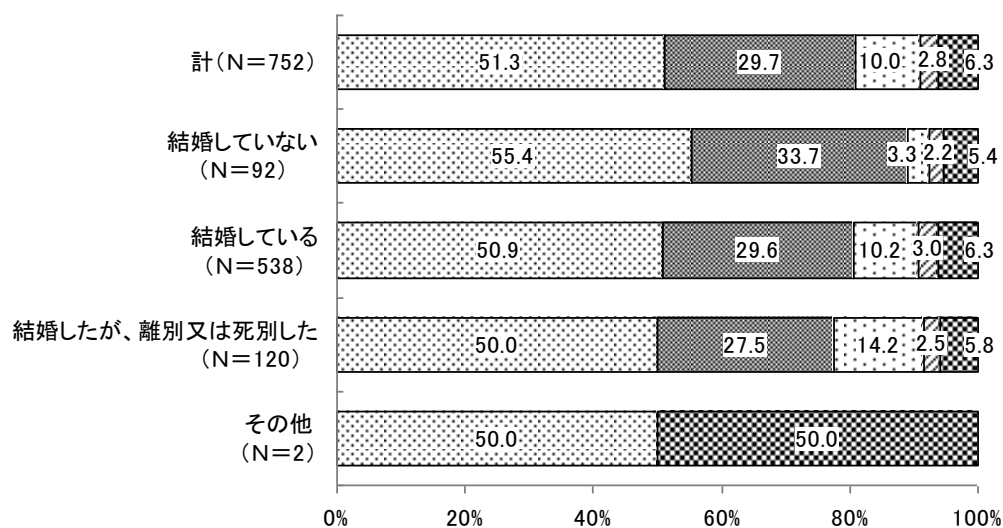
【女性】



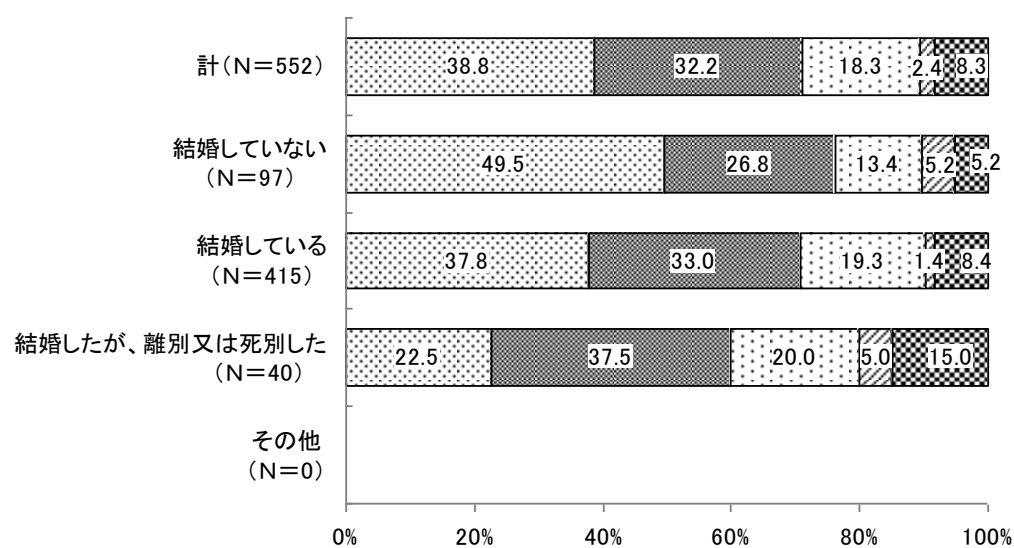
<性別・配偶者の有無別>

男女ともに、「同感しない」は、「結婚している」人に比べ、「結婚していない」人が上回っています。

【女性】



【男性】

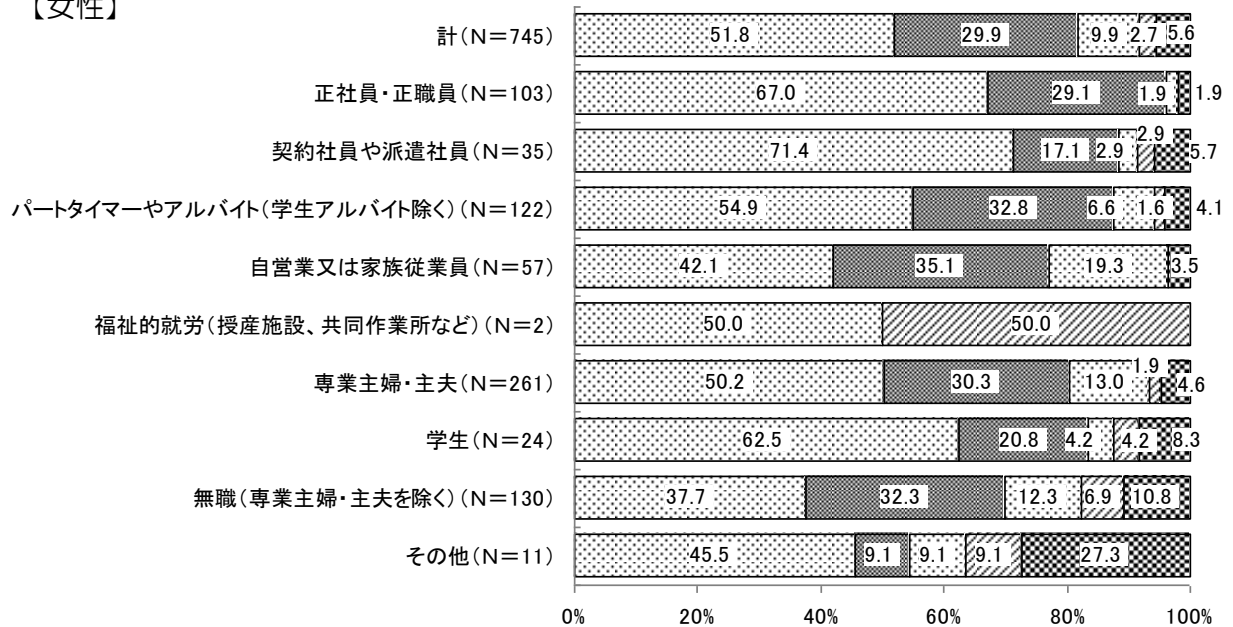


□ 同感しない ■ どちらともいえない □ 同感する □ わからない ■ 無回答

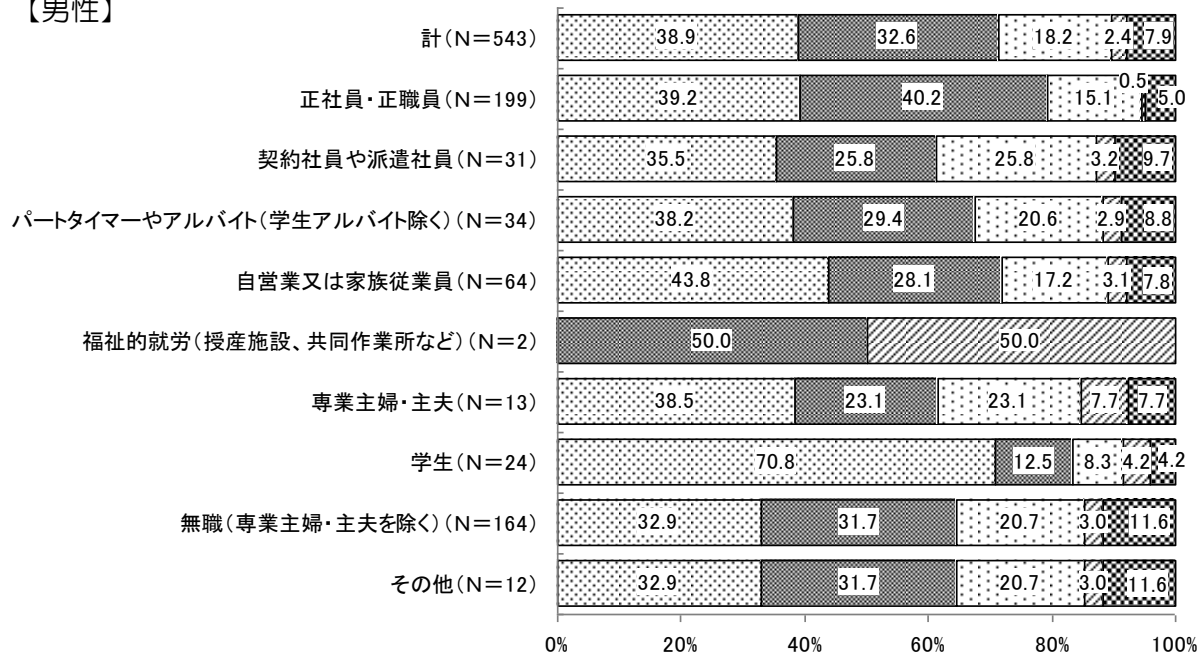
<性別・職業別>

「同感しない」は、女性は「契約社員や派遣社員」が71.4%、男性は「学生」が70.8%と、それぞれが最も高くなっています。

【女性】



【男性】

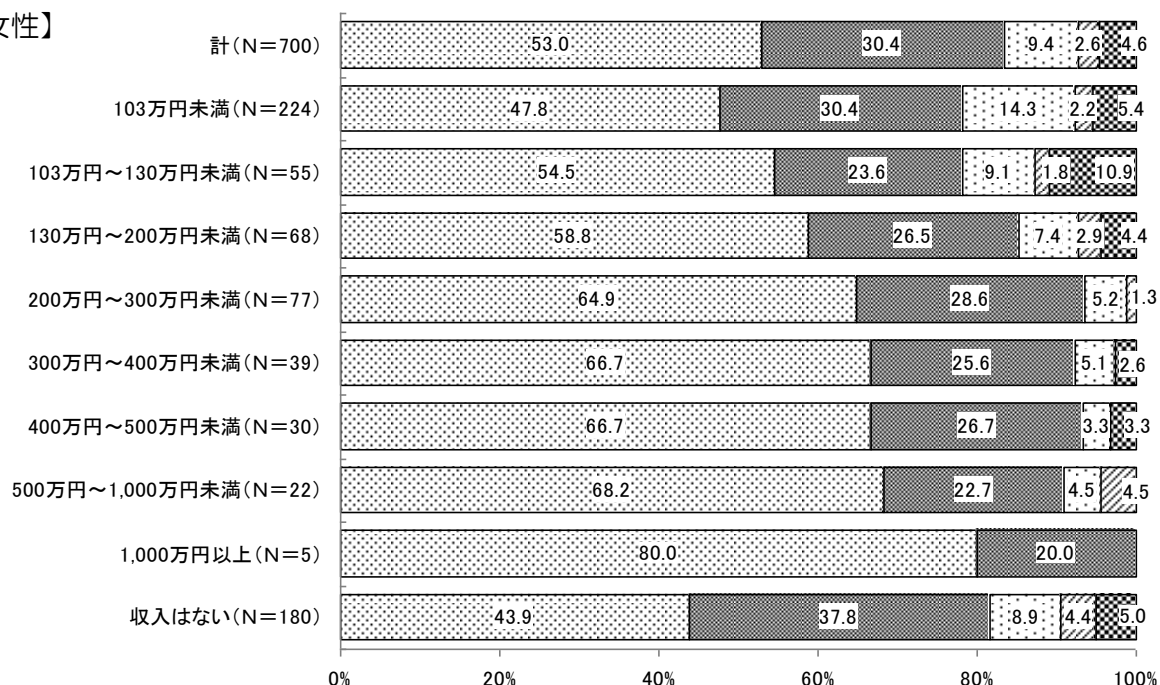


□ 同感しない ■ どちらともいえない □ 同感する □ わからない ■ 無回答

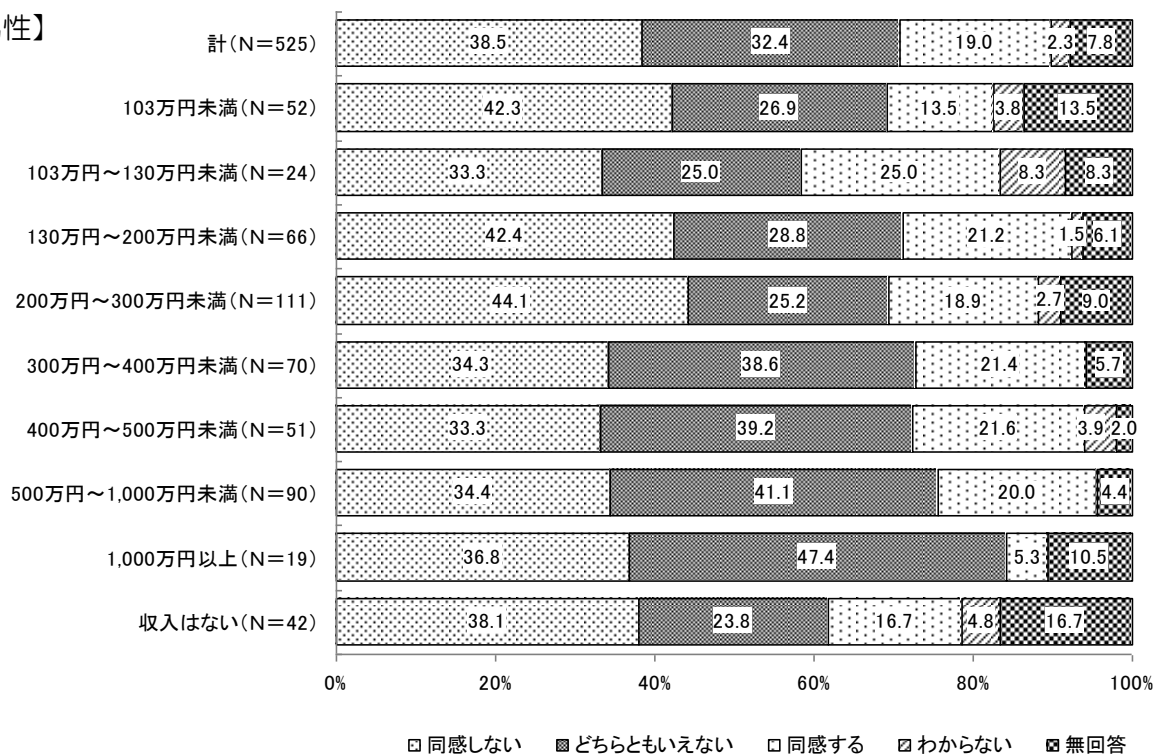
<性別・収入別>

女性は収入が高くなるにつれて、「同感しない」と答えた割合が高くなる傾向があり、男性はすべての区分において、「同感しない」が約3～4割となっています。

【女性】



【男性】



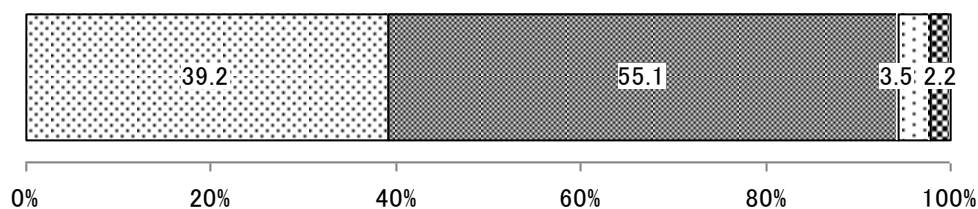
【問11で「1 同感しない」と答えられた方にお尋ねします。】

問 11-1 その理由はなぜですか。（〇は 1 つ）

「男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから」が 55.1%と最も高く、次いで「性別によって役割を固定するのはおかしいから」が 39.2%となっています。

性別・年代別でみると、「性別によって役割を固定するのはおかしいから」は、すべての年代で、男性が女性を上回っており、特に男性の「10代」で8割を超えています。

<全体>

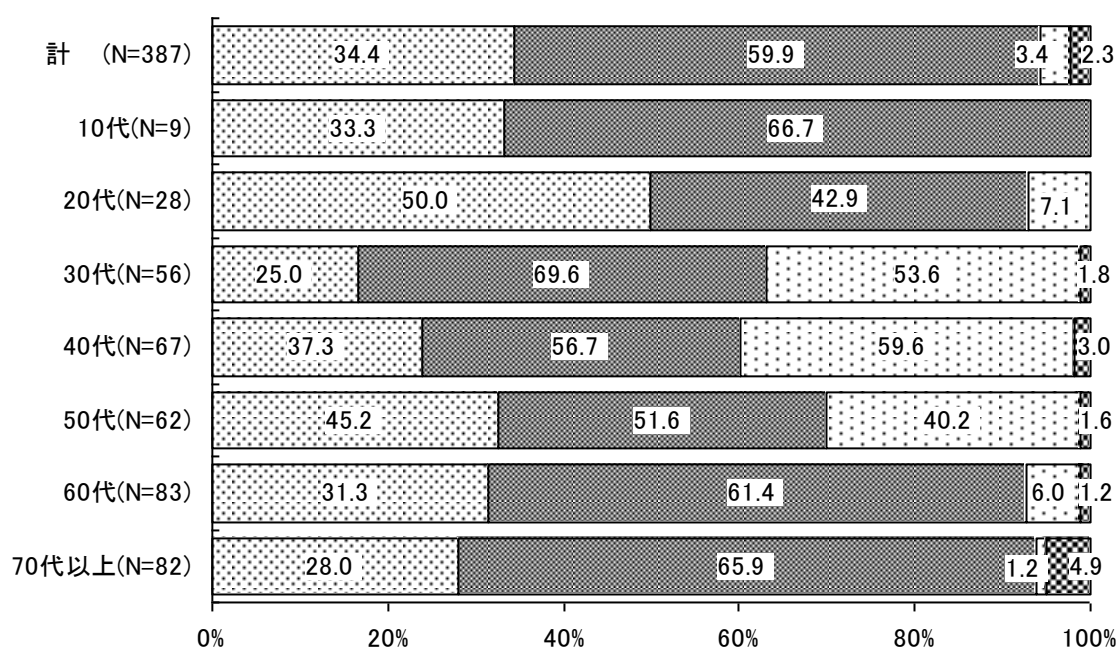


(N=604)

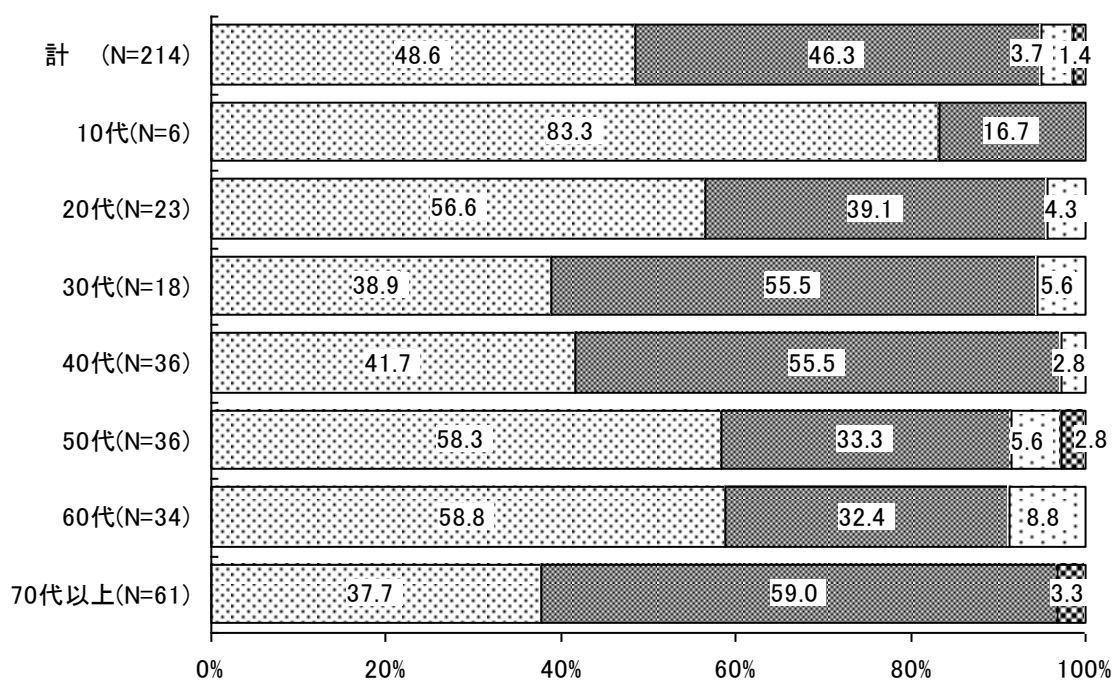
- ☐ 性別によって役割を固定するのはおかしいから
- ☒ 男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから
- ☐ その他
- ☐ 無回答

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- 性別によって役割を固定するのはおかしいから
- 男女がともに働き、ともに家事・子育てをするのは当然だから
- その他
- 無回答

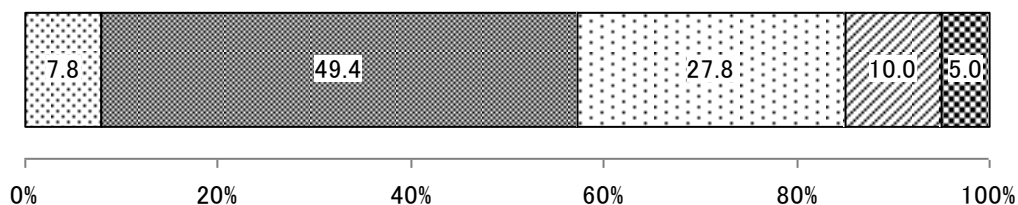
【問 11 で「3 同感する」と答えられた方にお尋ねします。】

問 11-2 その理由はなぜですか。(〇は 1 つ)

「男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから」が 49.4%と最も高く、次いで「役割を分担するほうが効率がよいから」が 27.8%となっています。

性別・年代別でみると、「男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから」は、女性では「20 代」、「60 代」、「70 代以上」が、男性では、「50 代」が高くなっています。また、「役割を分担するほうが効率がよいから」は、女性では「40 代」が、男性では「10 代」～「40 代」が高くなっています。

<全体>



(N=180)

□ 社会の風潮・慣習だから

■ 男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから

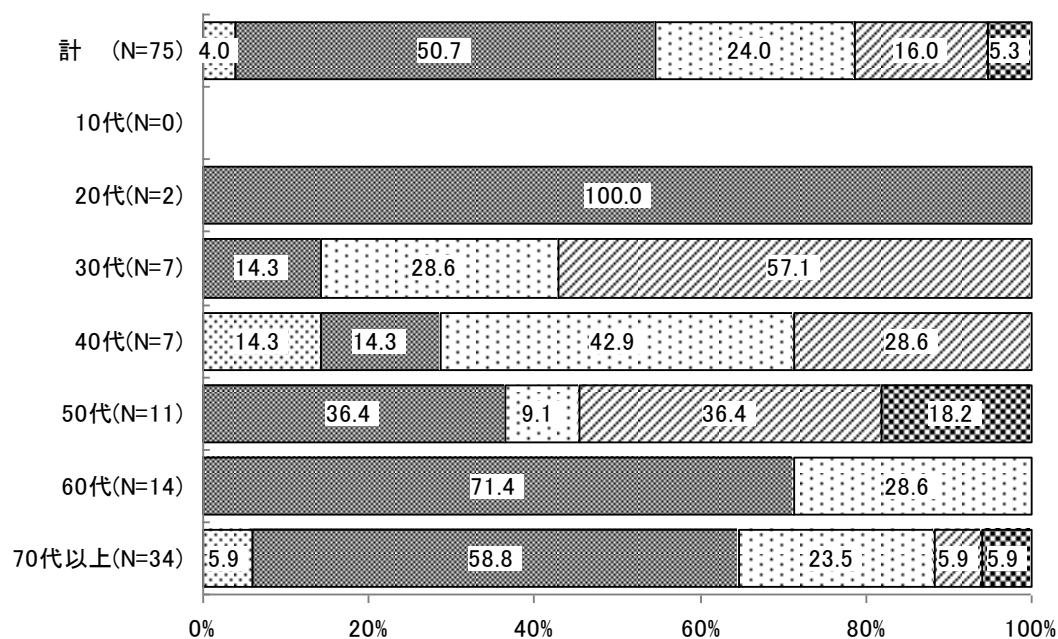
□ 役割を分担するほうが効率がよいから

□ その他

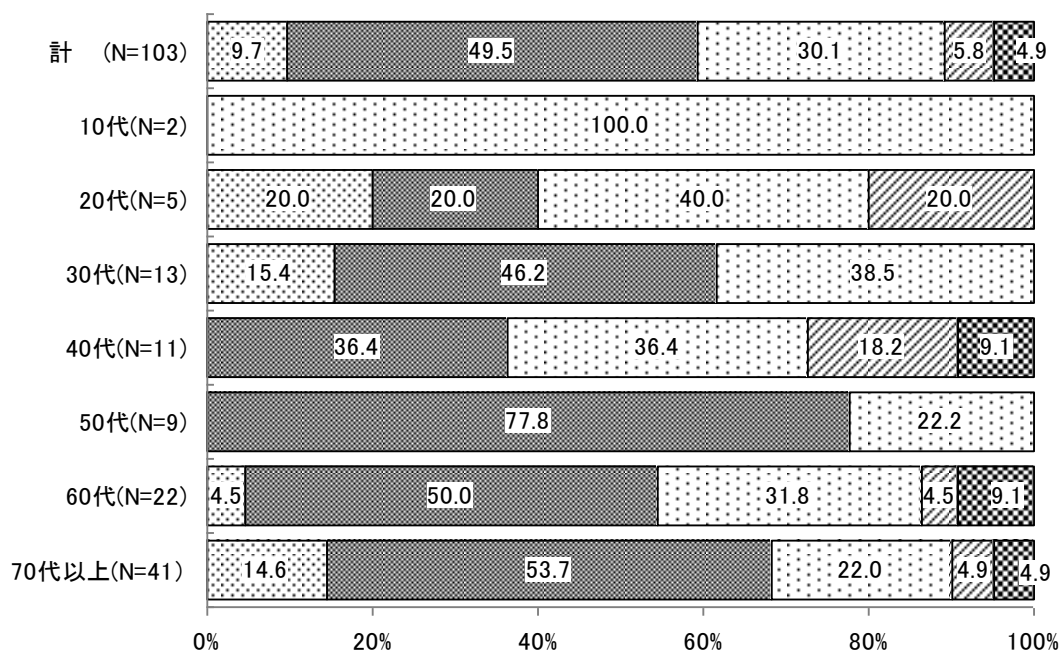
■ 無回答

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 社会の風潮・慣習だから

■ 男性は仕事に、女性は家事・子育てに向いているから

▨ 役割を分担するほうが効率がよいから

▤ その他

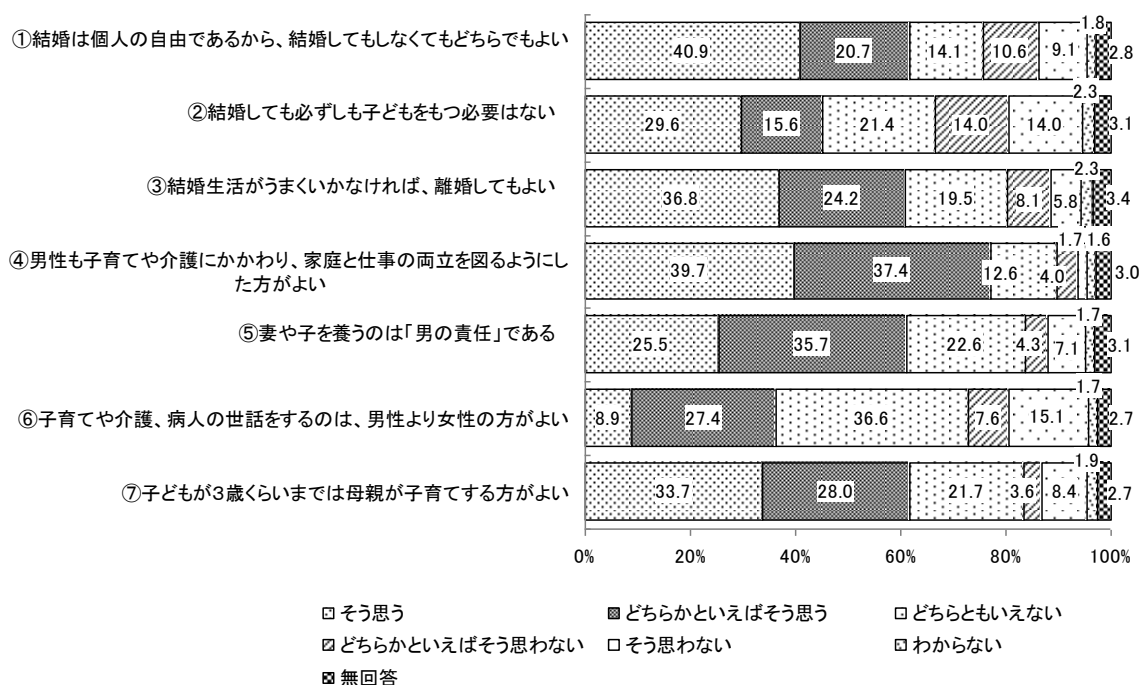
▧ 無回答

問 12 次の①～⑦に示した男女のあり方に関する考え方について、あなたは同感する（そう思う）方ですか。同感しない（そう思わない）方ですか。（〇はそれぞれ1つずつ）

『同感する』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた値）は、「④男性も子育てや介護にかかわり、家庭と仕事の両立を図るようにした方がよい」が約8割であり、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」、「⑤妻や子を養うのは「男の責任である」、「⑦子どもが3歳くらいまでは母親が子育てする方がよい」は、それぞれ約6割となっています。

また、すべての項目において、『同感する』が『同感しない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた値）を上回っています。

<全体>



(N=1,316)

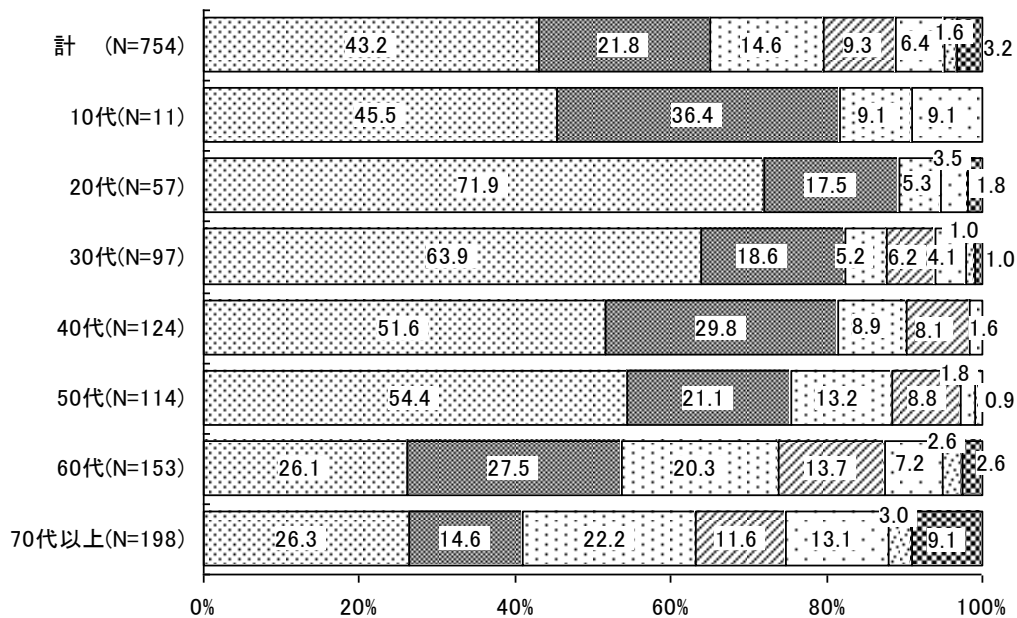
①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

『同感する』は、女性が65.0%に対し、男性は57.2%と女性が男性を上回っています。

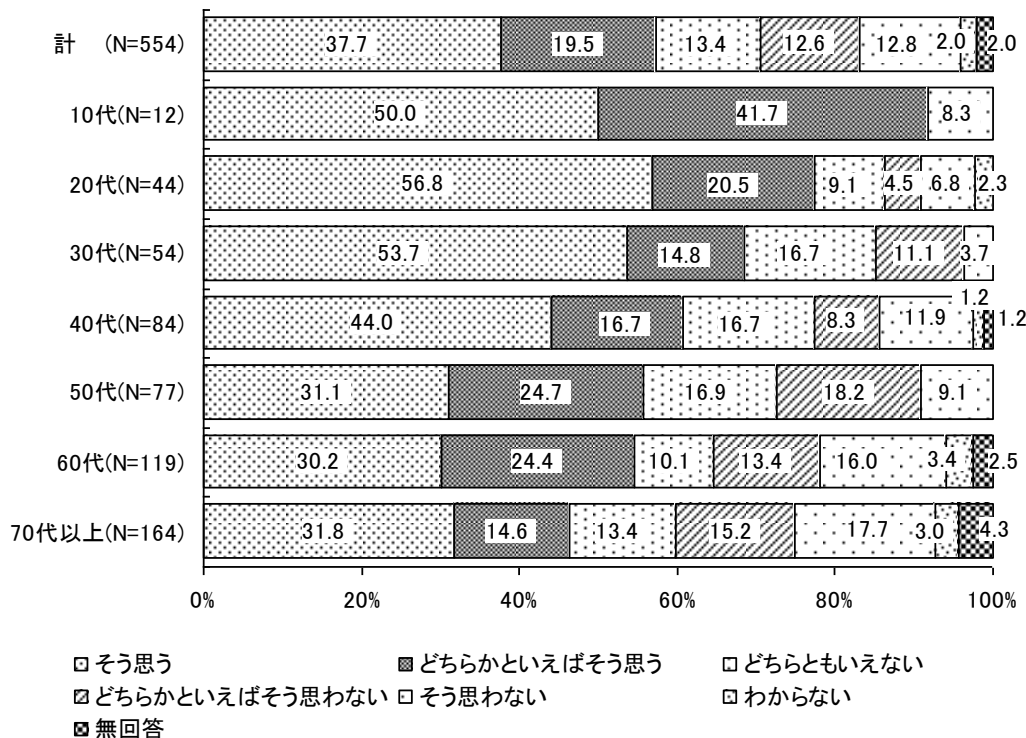
性別・年代別でみると、『同感する』は、女性では「10代」～「40代」が8割を超えています。男性では「10代」が9割を超えており、年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



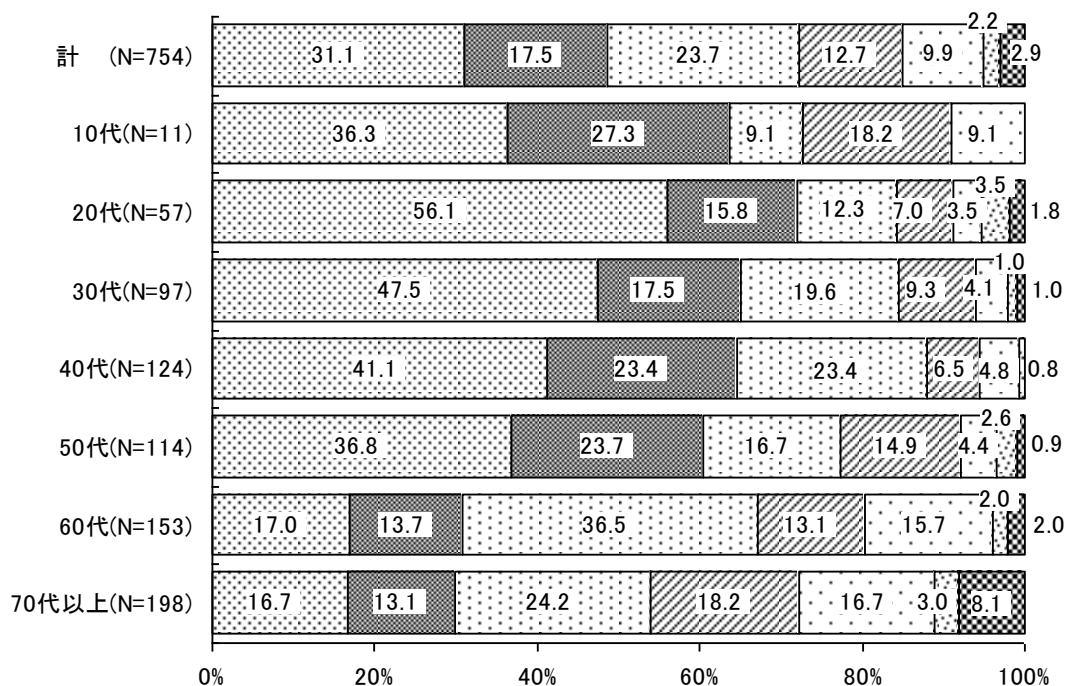
②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない

『同感する』は、女性が48.6%に対し、男性は41.1%と女性が男性を上回っています。

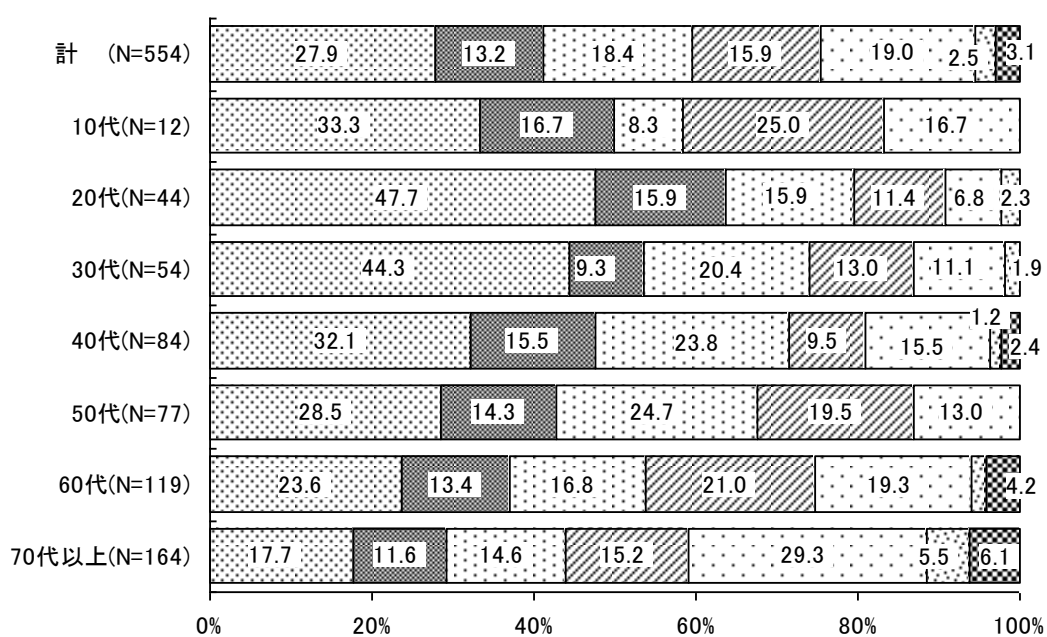
性別・年代別でみると、『同感する』は、男女ともに、「20代」が最も高く、年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ そう思う ☒ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない
☒ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない ☐ わからない
☒ 無回答

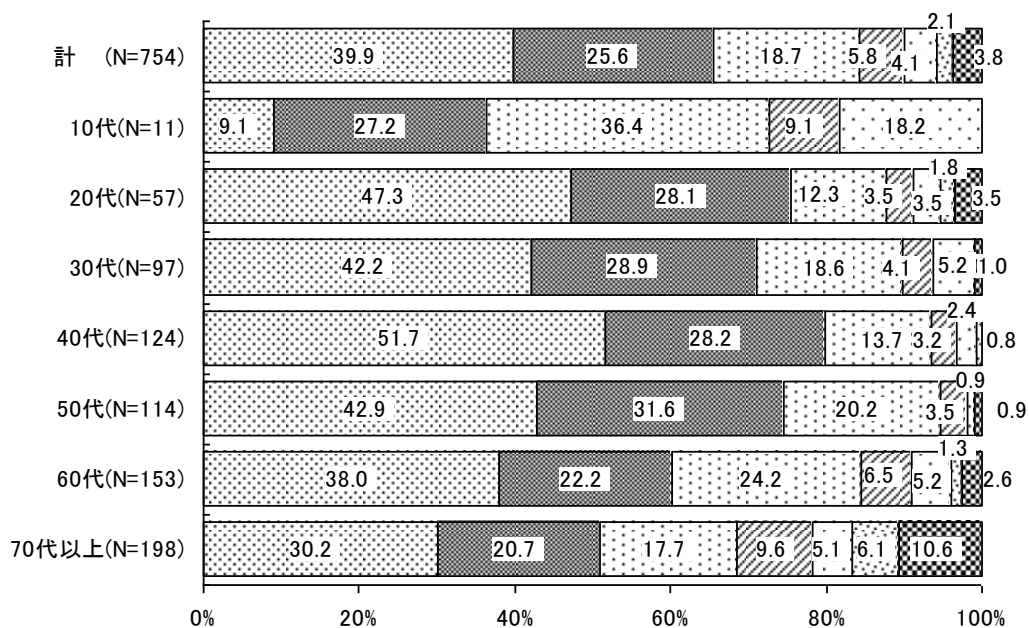
③結婚生活がうまくいかなければ、離婚してもよい

『同感する』は、女性が65.5%に対し、男は55.5%と女性が男性を上回っています。

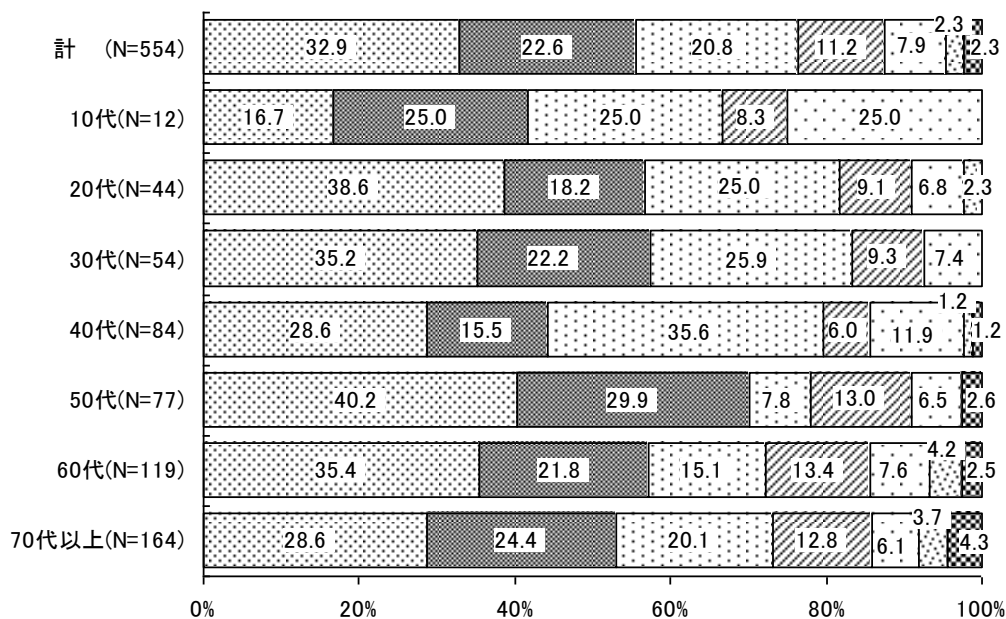
性別・年代別でみると、『同感する』は、女性では「40代」が79.9%、男性では「50代」が70.1%と、それぞれが最も高くなっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ 同意する ☒ どちらかといえば同意する ☐ どちらかといえば同意しない
☒ どちらかといえば同意しない ☐ 同意しない ☐ わからない
☒ 無回答

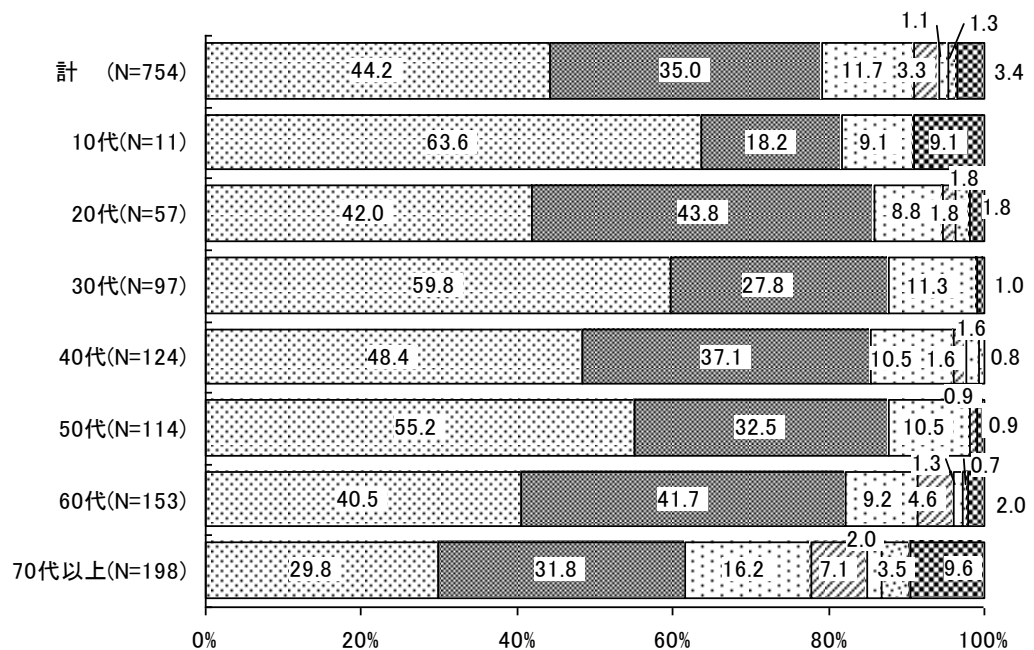
④男性も子育てや介護にかかわり、家庭と仕事の両立を図るようにした方がよい

『同感する』は、女性が79.2%に対し、男性は74.3%と女性が男性を上回っています。

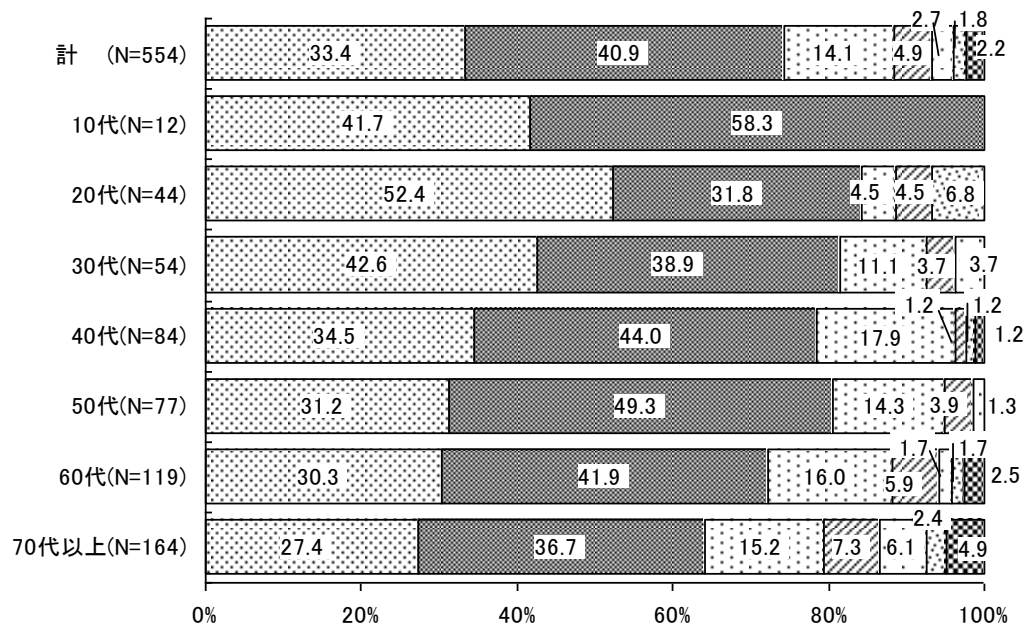
性別・年代別でみると、『同感する』は、「70代以上」を除く他の年代において、女性は8割、男性は7割を超えています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ 同意する ☒ どちらかといえば同意する ☐ どちらともいえない
☒ どちらかといえば同意しない ☐ 同意しない ☐ わからない
☒ 無回答

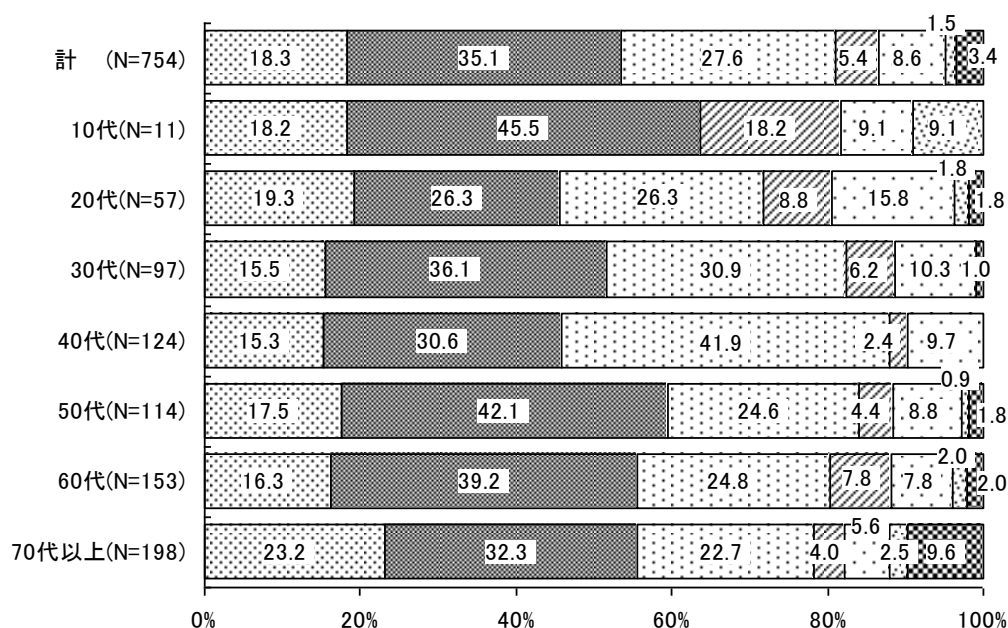
⑤妻や子を養うのは「男の責任」である

『同感する』は、女性 53.4%に対し、男性 71.9%と男性が女性を上回っています。

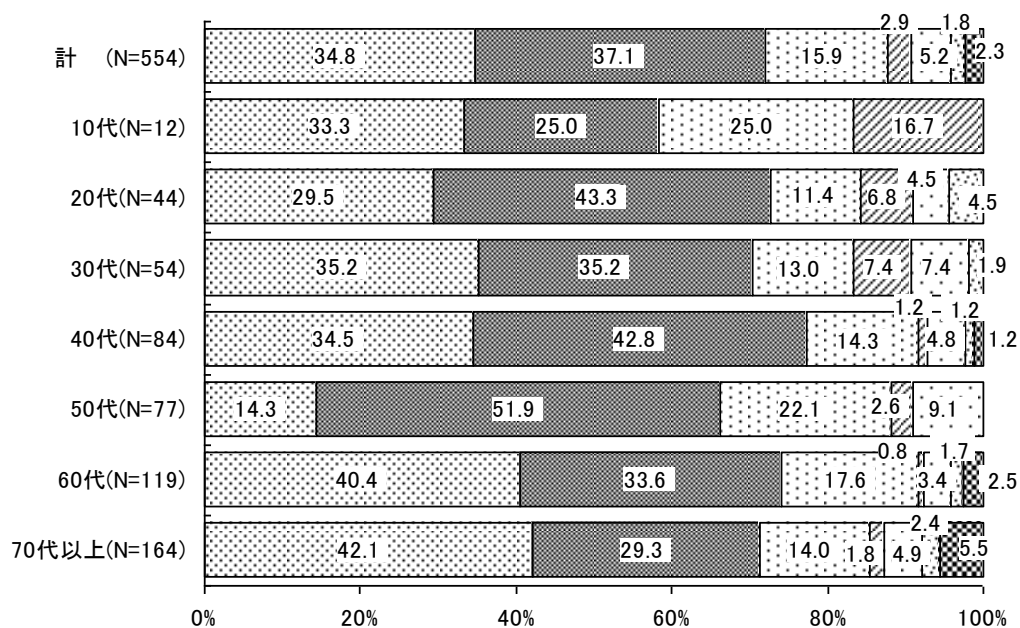
性別・年代別でみると、『同感する』は、「10代」を除く他の年代において、男性が女性を上回っています。また、女性では「10代」、「50代」～「70代以上」が約6割、男性では、「40代」が約8割のほか、「20代」、「30代」、「60代」、「70代以上」が7割以上となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ そう思う ☒ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない
☒ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない ☐ わからない
☒ 無回答

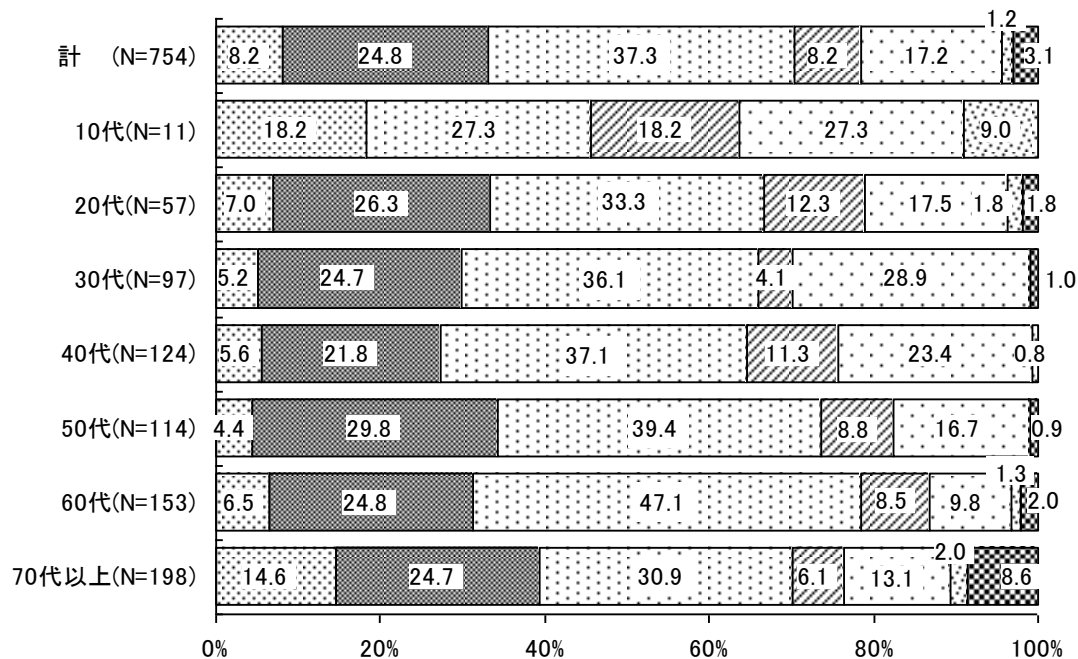
⑥子育てや介護、病人の世話をするのは、男性より女性の方がよい

『同感する』は、女性が33.0%に対し、男性は40.6%と男性が女性を上回っています。

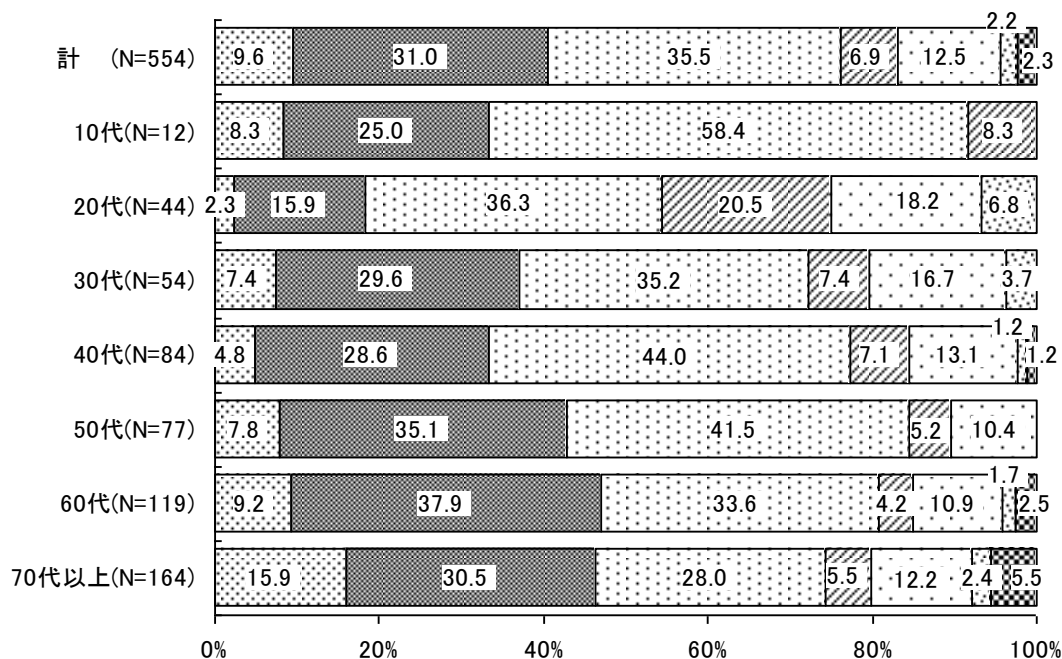
性別・年代別でみると、『同感する』は、「10代」、「30代」～「70代以上」が、男性が女性を上回っています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



☐ そう思う ☒ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない
☒ どちらかといえばそう思わない ☐ そう思わない ☐ わからない
☒ 無回答

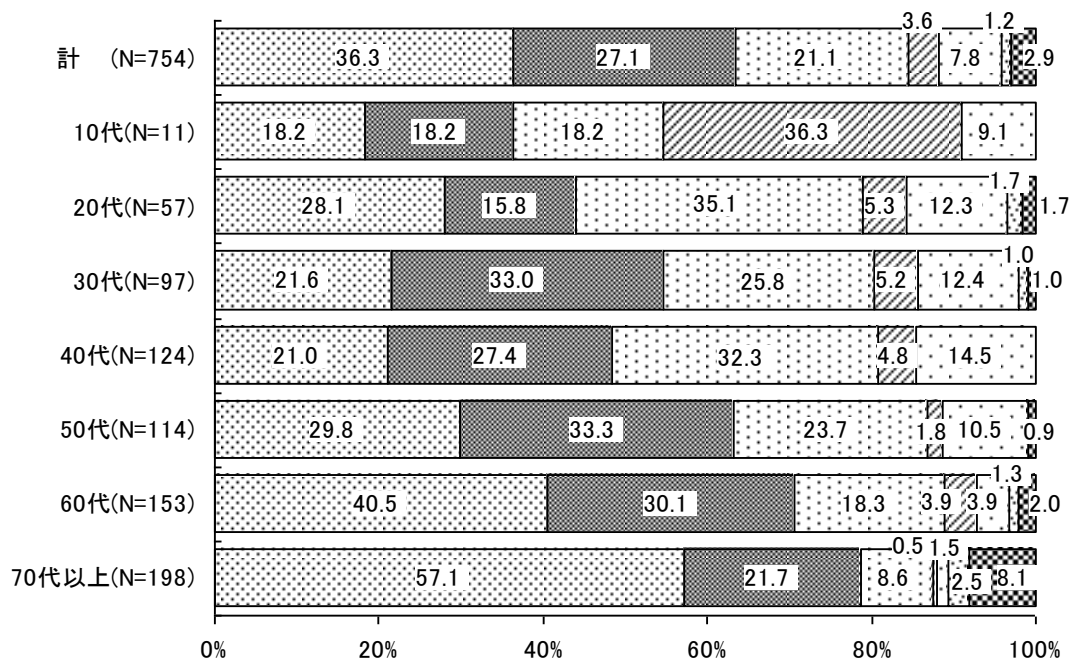
⑦子どもが3歳くらいまでは母親が子育ての方がよい

『同感する』は、男女ともに約6割となっており、性別による大きな差異はありません。

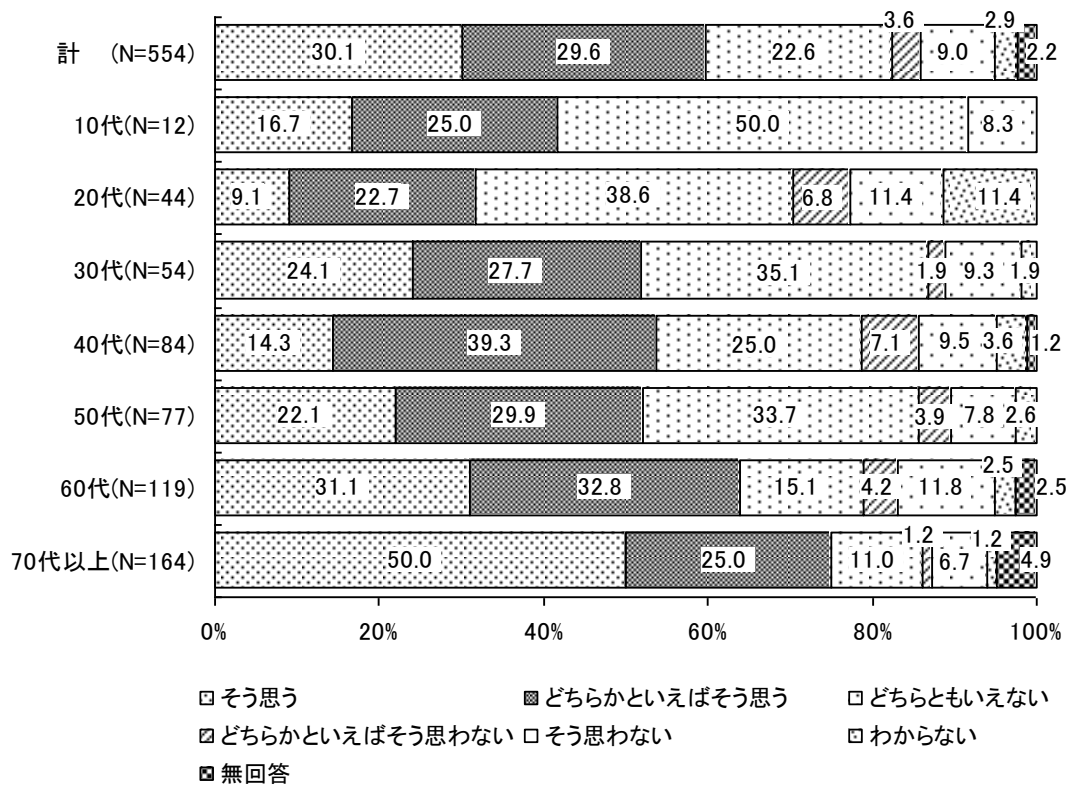
性別・年代別でみると、『同感する』は、男女ともに、ほぼ年代が上がるにつれて、高くなる傾向があります。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】

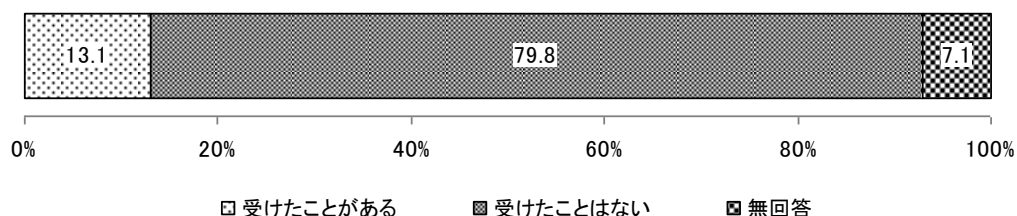


問 13 あなたは、女性・男性であることで、不合理な扱いなどを受けたことがありますか。（〇は 1 つ）

「受けたことがある」と答えた人は 13.1%で、女性が 16.7%に対し、男性は 8.1%と、女性は男性の約2倍となっています。

性別・年代別でみると、「受けたことがある」は、女性では「50 代」が 25.4%、男性では「20 代」が 20.5%と、それぞれが最も高くなっています。

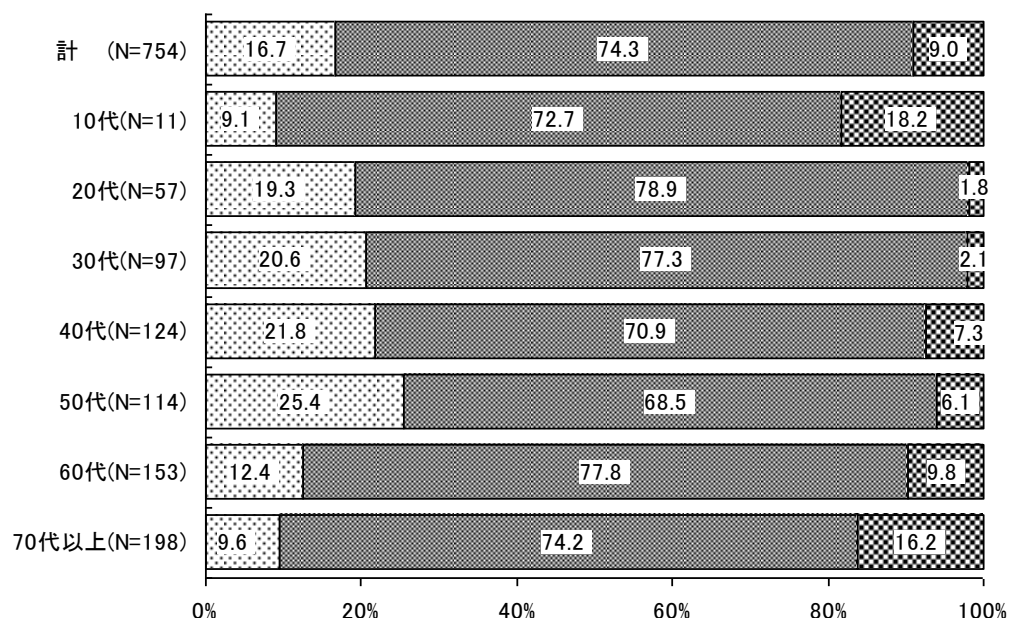
<全体>



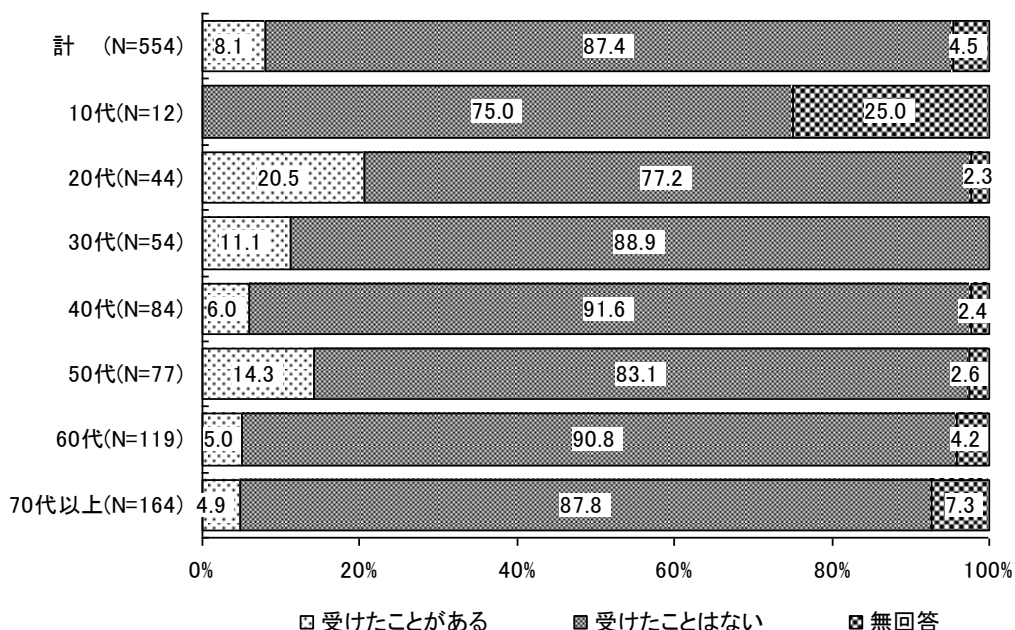
<性別・年代別>

(N=1,316)

【女性】



【男性】



問 13-1 問 13 で「1 受けたことがある」と答えられた方にお尋ねします。差し支えなければ、下記にその内容を記入してください。

(1) 家庭において

性別	年代	自由回答
女性	30 代	・女の子なので親に大学に行かなくてもよいと言われたことがあります。 ・子どもの急な病気で仕事を休んだりするのは、夫や祖父母等にお母さんの仕事だと思われる。
女性	60 代	・夫が、片付けない、動かない、文句が多い、何でも命令する。同じように年を取るの自分のは自分でしてほしい。
女性	40 代	・DV により特別な理由なく暴言や人格を否定する扱いを十数年を受け続け、姑の介護や家事など当たり前のようにさせられた。子育てに関しても全く無理解で金銭面もパートナーが管理し、子どもに関する病院代や衣料代等、必要経費を土下座して何度もお願いしなければもらえなかった。(渡してくれない時も時々あった。)そのうち心身共に疲れ果てロボットの様に子育て、家業、介護をするようになった。
女性	20 代	・家の財産を受け継ぐのは長男という両親の考え方で、女であることで不合理な扱いを受けた。
女性	50 代	・実家では何でも男性が優遇されていた。女性はお風呂は最後に入り、テレビのチャンネル権も無かった。自分の意見が正しいと思えば、兄に暴力をふるわれ、いつもビクビクして育った。結婚して優しい主人なので今はのびのびと暮らしている。
女性	30 代	・夫の実家では男尊女卑の考え方が根付いており、いつも家政婦のように扱われる。お風呂が最後なのは当たり前で、食事でも両親、義兄、主人、子どもが食べた後で義姉と二人で食べている。何を行うにも主人、父親の意見を聞かないといけな。
女性	30 代	・結婚して働きに出るときに「家事を完璧にできないのに働きに出るのはおかしい」と反対された。「女＝家事をするもの」との考えを押しつけられた。
女性	40 代	・主人はお金は自分が稼いだものと言い、子どもの世話、母の介護など、何もしてもらったことがない。働きたいが働かせてもくれないので自由がない。自分の家なのにおびえている日々である。子どものために我慢していますが、子どもが結婚し家を出て行ってしまえば自分はどうすれば良いのか。
女性	60 代	・大学進学について、父から「女やから大学に行くことはない」と言われた。
女性	40 代	・法事で朝から晩までほぼ立ったままの状態で購入しや料理や片付けをする事が年に何回もあった(男性は宴会で飲食する)。結婚するまではあまり感じなかったが、結婚後は姑から、嫁としてこうあるべきと言われ続けてきた。夫も姑の教育(?)のせいか家事はほぼしない。
女性	20 代	・女性は料理・家事が出来て当たり前。男性は出来なくて当たり前。出来るだけで付加価値になる。
女性	60 代	・共働きだが家事の負担が大きかった。長男の嫁なので何かと責任がかかってくるのに尊重はされなかった。

(2) 職場において

性別	年代	自由回答
女性	30 代	・「いつ結婚するのか？」と上司に聞かれた。 ・男性社員より昇格した女性上司に対する会社内の雰囲気が悪くなかった。
男性	40 代	・女性より男性の方が指導が厳しい。パワハラと思われる発言もある。 ・飲み会の会費が女性に比べて高い。
女性	40 代	・結婚後、職探しをしたが、「子どもができたなら辞めるでしょう？」と言われ、職に就くことが難しかった。 ・出産を理由に職を失った。
女性	30 代	・就職試験で、女性だからという理由で面接で断られたことがある(募集要項に男性のみと記載はなかった。)
女性	30 代	・上司からセクハラを受ける。
男性	30 代	・上司からの女性関係での問題。パワハラ、嫌がらせ。
女性	40 代	・接待場面(車内)で、必ず社長の横に座らされる(女性が横にいた方がいいという理由)。
女性	40 代	・職場で男女共同仕事をしていても給与面で待遇が違う。 ・女性という理由で、お茶くみ等の雑用を全てやらされていた。
女性	40 代	・給与や仕事内容について男女に差がある。しかし、子どもが居るので無理も言えず黙っていることも多い。
女性	70 代以上	・会社に勤めていた時、他の男性より能力が上であっても、女性ということで給金が安かった。
男性	40 代	・管理職の女性比率を上げたいために、女性の方が管理職に選ばれた。
女性	60 代	・職場で昇給が男性よりも遅いと感じることがありました。
女性	70 代以上	・よくミスをする男性の方が先に階級が上がったとき、上司に問い合わせると男女の差を言われた。
女性	20 代	・初任給が男性よりも低かった。 ・総合職と一般職と分けて採用された訳でもないのに、勝手に一般職扱いになっていた。
女性	50 代	・「女は面倒くさい、嫌な仕事をだまってやっていたらええんや。」「男の言うこと黙って言うこときいたらええんや。」と言われたことがある。
女性	40 代	・仕事で上司に「たかが事務員のくせに」とばかにされたことがある。
男性	20 代	・女性よりきつい仕事、用事をさせられたことがある。
女性	50 代	・重い物を持つ仕事で、男は重い物を平気で女に持たせる。持てないとそのくらいの物持てないのかと怒鳴り散らす。それなのに男は軽い物を持つ。
女性	50 代	・仕事する上で、自分の働きではなく、女だから男より頼りないと見られていると感じたことがある。

性別	年代	自由回答
女性	40 代	・仕事で何か問題があった時、対応相手が女性だと「男性を呼べ」という場面に多々出くわしました。
女性	40 代	・昇進試験の条件が、転勤できるか否かであった。女性は家庭や子育てで転勤は出来ないため、女性の管理職は独身女性がわずかにいるだけである。
女性	60 代	・新入社員研修で、女子社員には、お茶の出し方、電話の受け方、お辞儀の仕方等の説明はあるが、会社の業務に関する勉強はありませんでした。
男性	30 代	・面倒くさい力仕事ばかり押しつけられる。
女性	30 代	・やりたいことがあり、男性ばかりの中で 1 人で入りました。無視されたり、逆に女性ということで特別扱いされたりしました。同等にやりたかったので、そういった扱いにならないよう人一倍努力して対等に扱ってもらえるようになりました。
女性	30 代	・料理人の世界で働いたとき、男社会の中で、「女だから」や「女のくせに」といった言葉をかけられたことがある。
女性	30 代	・育休後、やんわりと配置転換を命じられた。
女性	40 代	・育児休暇明けで入社した途端に異動を言い渡された。断ったら、退職させますといった内容を遠回しに言われた。
女性	20 代	・結婚 1 年目で「もうすぐ子どもが出来るかもしれないから」とのことで、社内の異動を拒否された。
女性	30 代	・残業ができないので出世に影響する。会社の制度がまだきちんとしておらず、主人の協力も少ないので、家事、育児、仕事と女性側の負担が多すぎる。
女性	30 代	・仕事柄(介護職)結婚して妊娠すると、おのずと退職をせまられる。同時期に妊娠した栄養士の女性が産休育休取得後に正社員として仕事復帰されているのを見て、やるせなくなったことがある。
女性	40 代	・妊娠が分かったと、仕事を辞める方向に持って行かれた。
男性	50 代	・若い時に結婚したこともあり、子どもの発表会や病気をした時、会社の上司よりどちらが大切なかと言われた時がある。仕事を頑張る事ができたのは家族があつてのことだと思い、古い考えは捨てて物事を判断する事が大事である。
女性	20 代	・男性が怒るのは真剣な人、厳しい人となるが、女性が怒るとヒステリー、嫌な女となる事。いつでも女性はにこにこしているのが当たり前というような認識。

(3) 社会全体において

性別	年代	自由回答
男性	20 代	・女性につきまとわれたのに、まわりからは私が無理に連れ回しているように思われた。
女性	20 代	・「女だから」と言われること。
男性	50 代	1.通勤電車での女性車両。2.トイレの装備。3.市中の店のサービス(レディースデイ等)4.食事代は男が払う。5.逆セクハラ(パワハラ)6.レディファースト。
男性	70 代 以上	・男のくせにとよく言われた。
男性	70 代 以上	・自治会の役員、その他地区の活動で、絶対、上の役は男性でという考えは昔から変わらない。
女性	20 代	・性的な嫌がらせ言動を受ける。(街を歩いていて容姿について発言されたり痴漢など。最近ではスマホによる盗撮や公衆トイレの盗撮等)
女性	60 代	・親戚の集まりで経済的にも全て私(妻)の収入でお付き合い(金封等も)し、手土産の準備も私がします。ですが、集まった時は男性ばかりが飲み食いし、輪から離れて常に洗い物等、下働きばかりになるのは常々男社会のゆえんか、と腹立たしくなります。
男性	60 代	・男性には不器用な人間はいないという社会の認識がある。
女性	50 代	・地域の祭りなど女性が参加できないことがある。
女性	40 代	・痴漢
男性	70 代 以上	・早く家内を亡くし、子どもが成長するまで苦労した。父子家庭と母子家庭とで、社会の扱いが異なる。
女性	20 代	・母国ベトナムでは女は喪主はできない。女だけの姉妹なので、もし親が亡くなったときを考えると悲しい。それに比べて日本はとてもいい。

C 家庭生活について

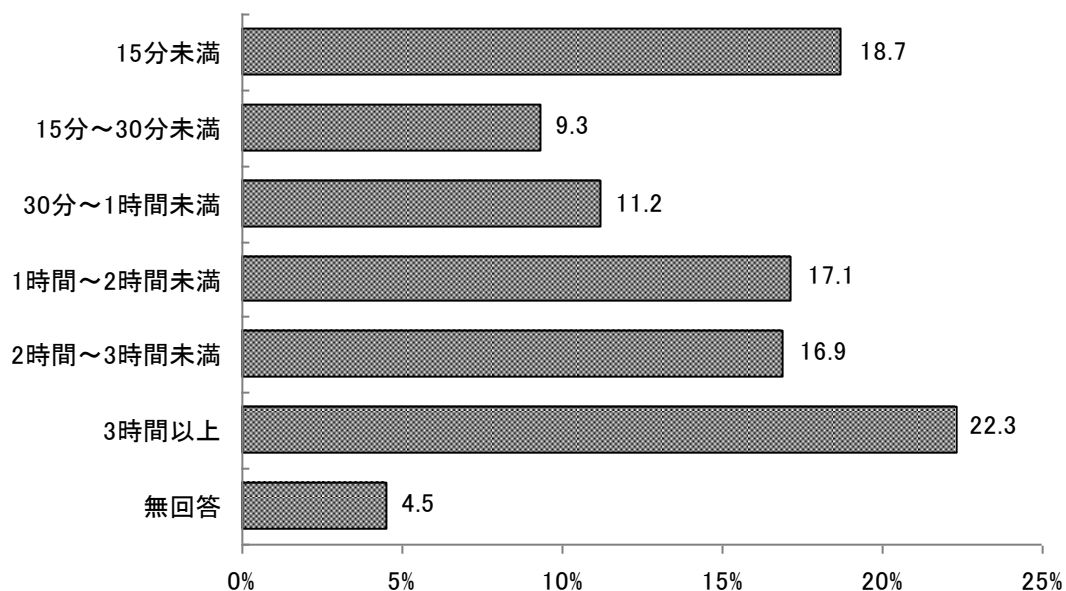
問 14 あなたが家事をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。(〇は1つ)

「3時間以上」が22.3%と最も高く、次いで「15分未満」が18.7%、「1時間～2時間未満」が17.1%となっています。

女性は「3時間以上」と「2時間～3時間未満」が高いのに対し、男性は「15分未満」が最も高くなっています。

性別・年代別でみると、女性では「3時間以上」が「30代」以上で高く、特に「50代」が約5割と最も高くなっています。また、男性では「15分未満」が「10代」で約6割となっているほか、「20代」～「60代」で3割を超えています。

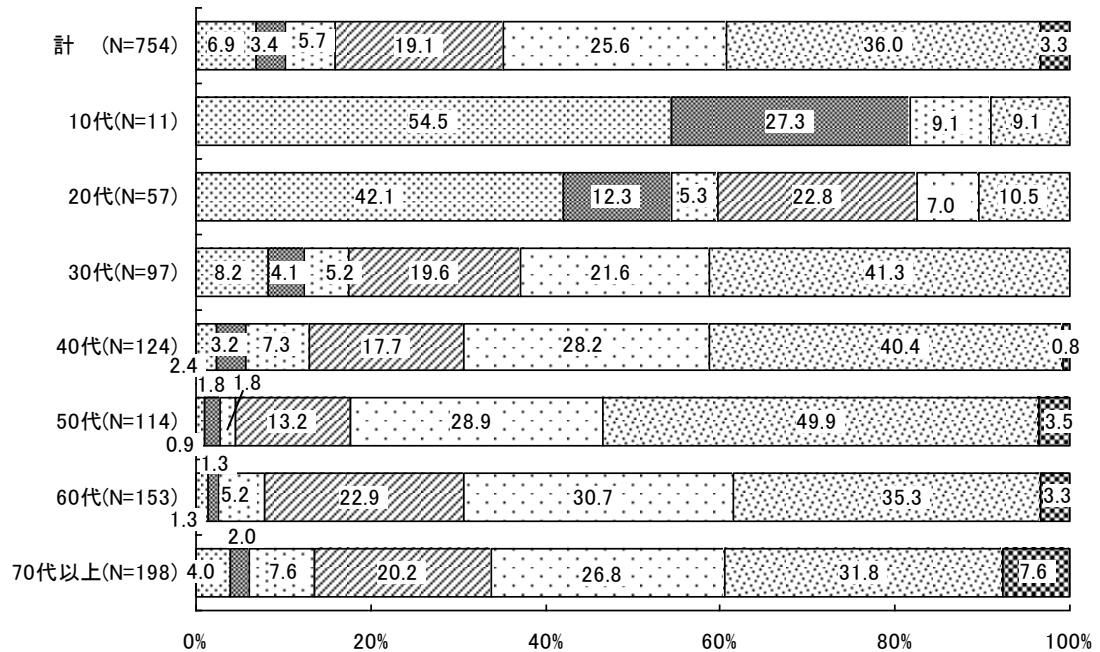
<全体>



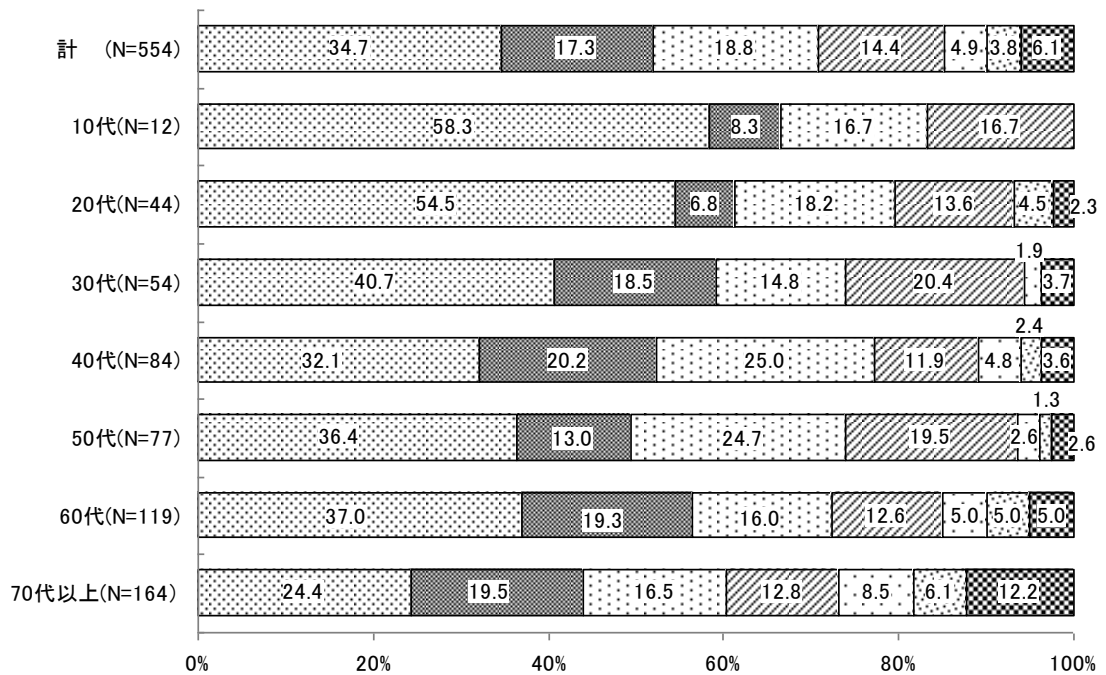
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】

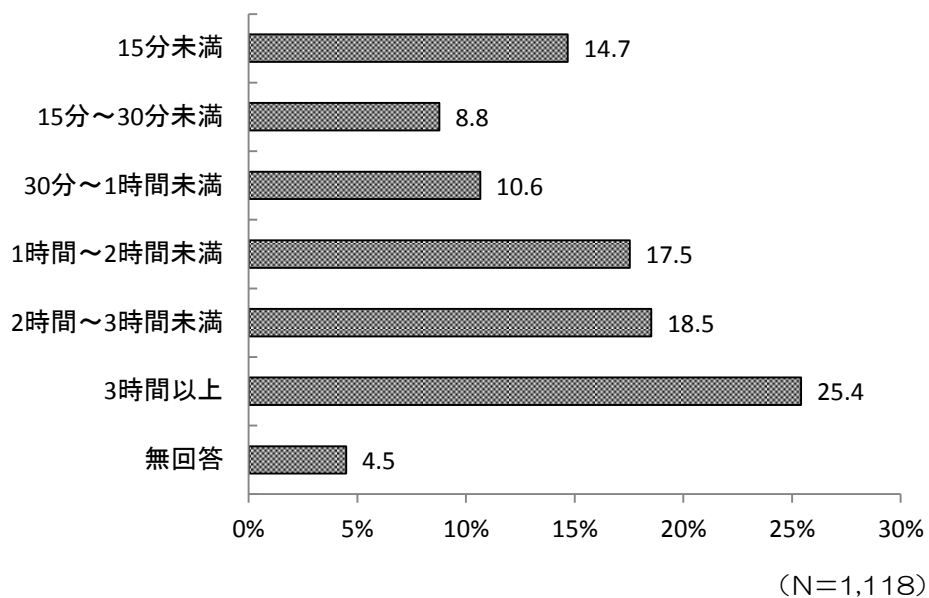


□ 15分未満 ■ 15分～30分未満 □ 30分～1時間未満 ▨ 1時間～2時間未満
 □ 2時間～3時間未満 □ 3時間以上 ▩ 無回答

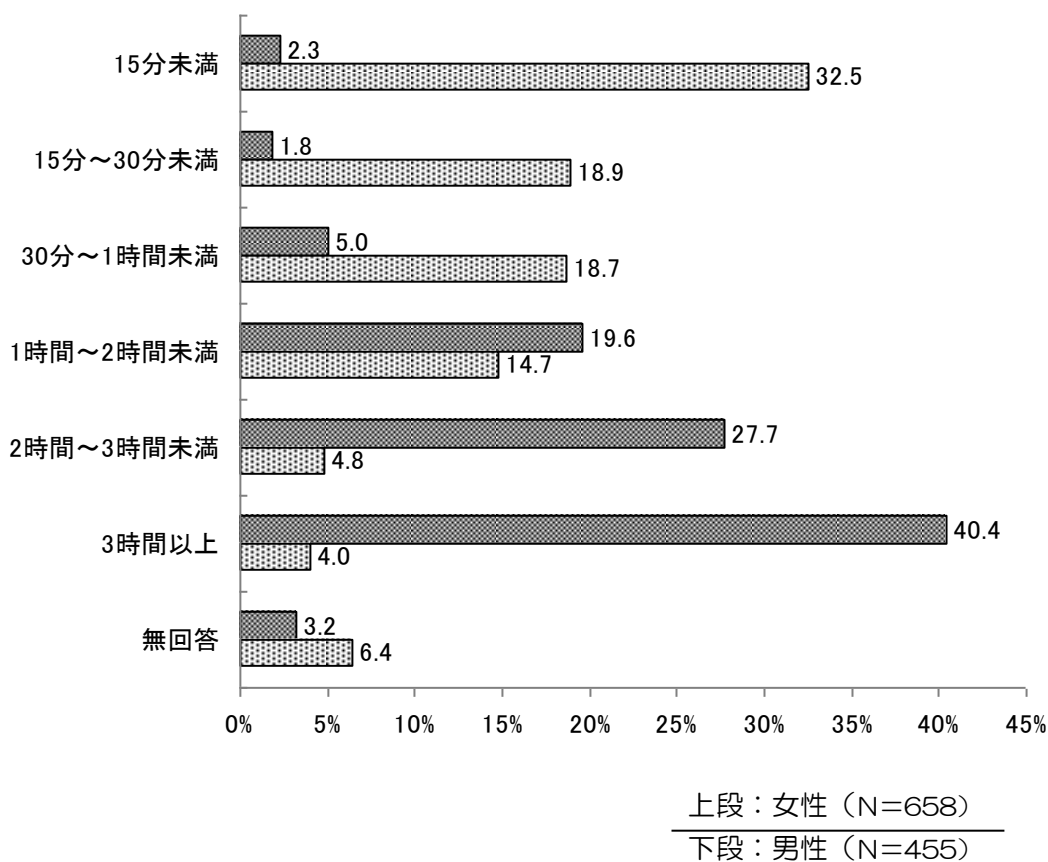
＜配偶者（パートナー）がおられる方の家事をする時間＞

配偶者（パートナー）がおられる方の家事をする時間は、女性は「3時間以上」が40.4%と最も高いのに対し、男性は「15分未満」が32.5%と最も高くなっており、配偶者の有無に関わらず、家事をする時間については性別による大きな差異があります。

＜全体＞



＜性別＞



【配偶者（パートナー）がおられる方にお尋ねします。】

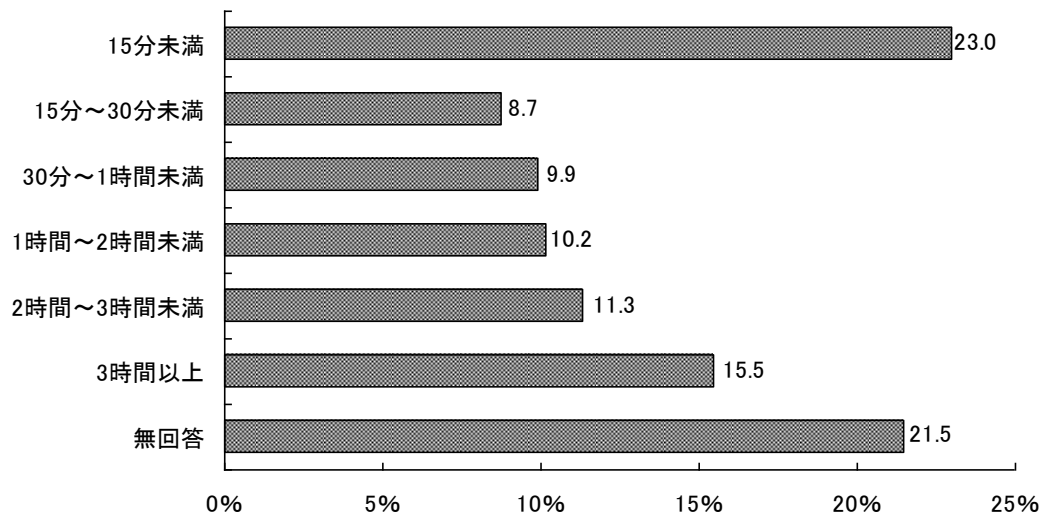
問 15 あなたの配偶者（パートナー）が家事をする時間は、平日・休日を平均して1日どれくらいですか。（〇は1つ）

「15分未満」が23.0%と最も高く、次いで「3時間以上」が15.5%となっています。

女性にとっての配偶者（パートナー）では「15分未満」が38.6%、男性にとっての配偶者（パートナー）では「3時間以上」が35.8%と、それぞれが最も高くなっています。

性別・年代別でみると、女性にとっての配偶者（パートナー）では「15分未満」は「10代」が最も高く約7割、「40代」が約6割、「30代」が約5割となっています。男性にとっての配偶者（パートナー）では「3時間以上」は「10代」を除くと「30代」が最も高く、「40代」、「60代」も約4割となっています。

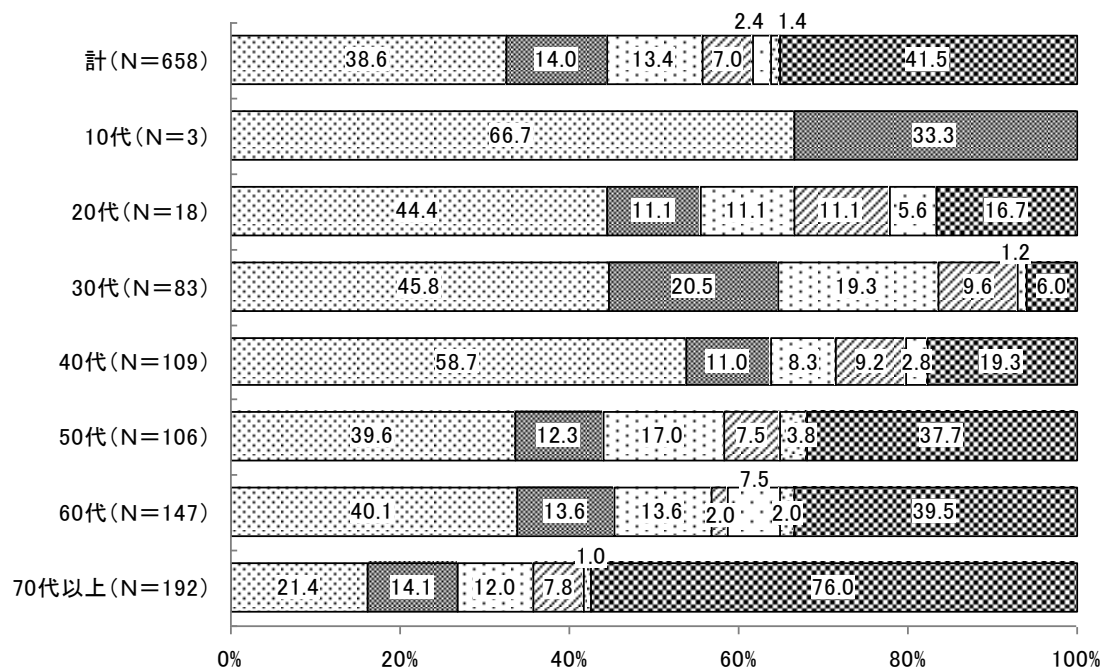
<全体>



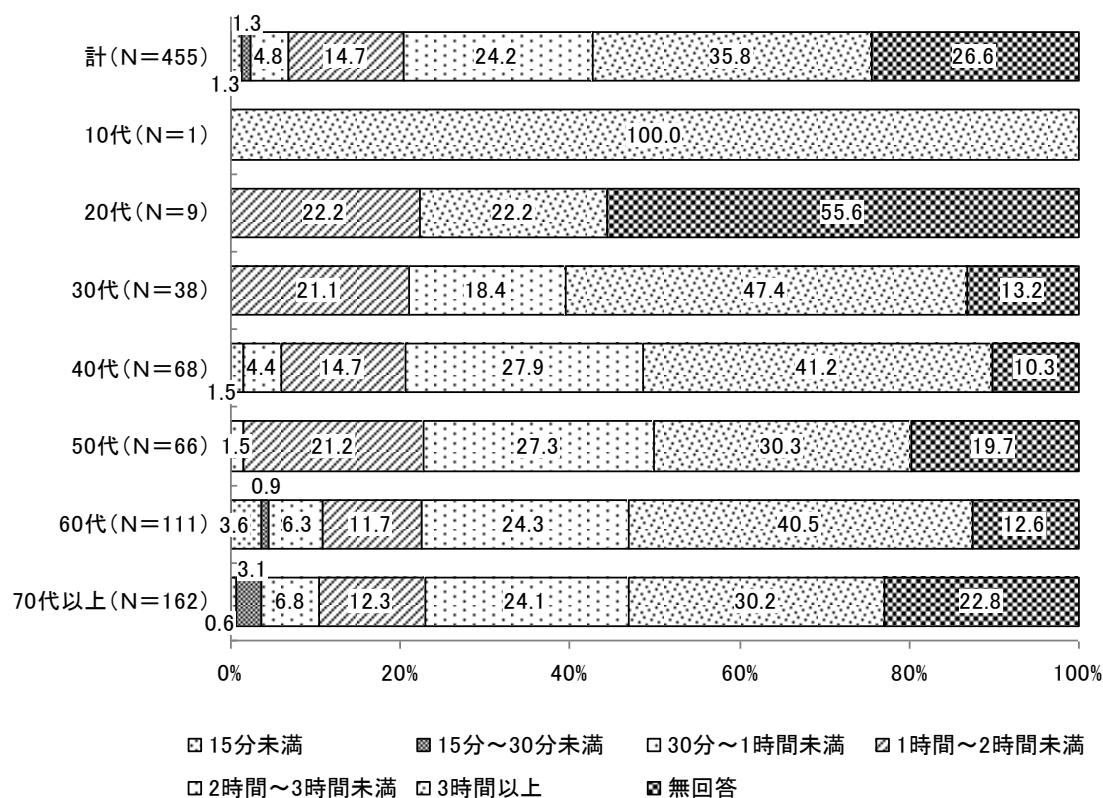
(N=1,113)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



【配偶者（パートナー）がおられる方にお尋ねします。】

問 16 次の①～⑨の項目について、あなたのご家庭では、誰が主に担当されていますか。

（〇はそれぞれ 1 つずつ）

『妻が担当』（「すべて妻が担当」と「主に妻が担当」を合わせた値）は、「②掃除・洗濯をする」、「③食事の支度をする」、「④日々の家計を管理する」といった日常生活における家事の項目が高く、それぞれ約 7 割となっています。

一方、『夫が担当』（「すべて夫が担当」と「主に夫が担当」を合わせた値）は、「①家計における主な収入を得ている」が約 5 割と最も高く、次いで「⑧高額な買い物の決定をする」、「⑨地域活動へ参加する」が、それぞれ約 1～2 割となっています。

＜全体＞

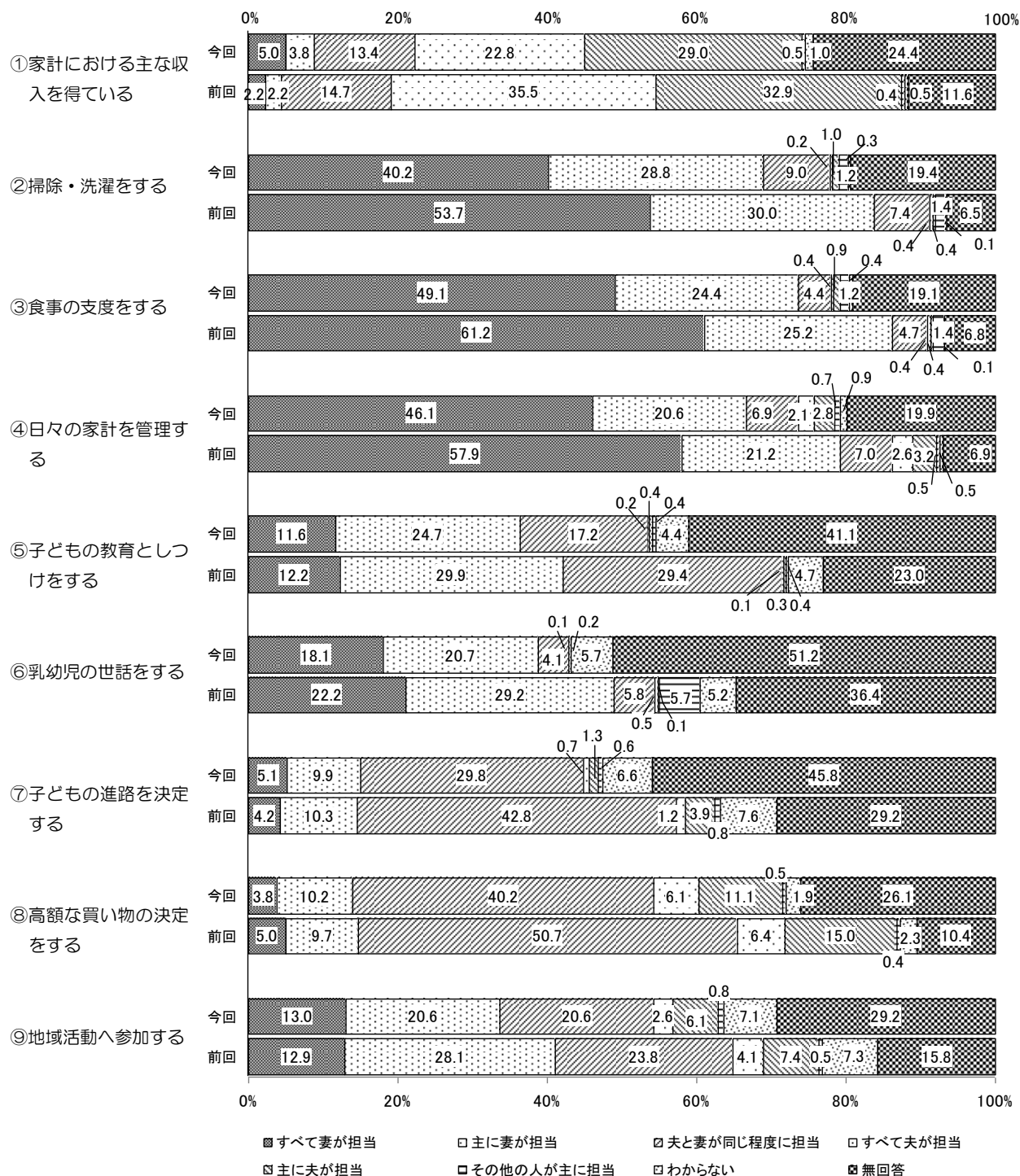


(N=1,113)

＜前回調査との比較＞

前回調査と比較すると、「①家計における主な収入を得ている」は『夫が担当』が16.6ポイント減少（前回68.4%→今回51.8%）したほか、「②掃除・洗濯をする」（前回83.7%→今回69.0%）、「③食事の支度をする」（前回86.4%→今回73.5%）、「④日々の家計を管理する」（前回79.1%→今回66.7%）は、『妻が担当』が減少しており、全体的にみて、『妻が担当』の割合が前回よりも低くなっています。

家庭での様々な場面（図中の①～⑨）における担当＜全体＞



※「①家計における主な収入を得ている」は、前回調査では「1 生活費を得る（稼ぐ）」

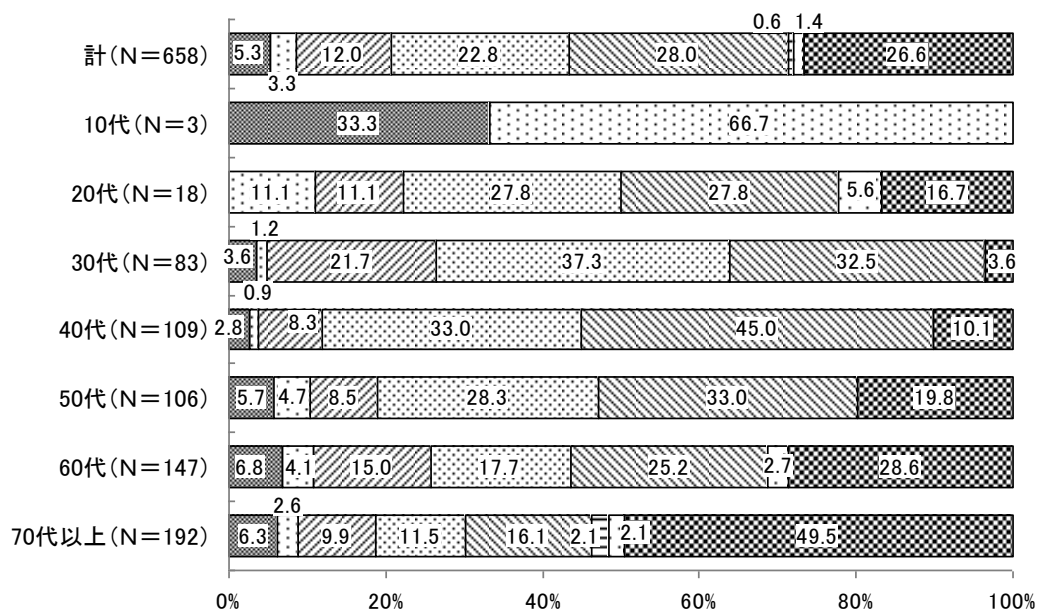
①家計における主な収入を得ている

女性は『妻が担当』が8.6%、『夫が担当』が50.8%であり、男性は『妻が担当』が9.0%、『夫が担当』が53.4%と、性別による大きな差異はありません。

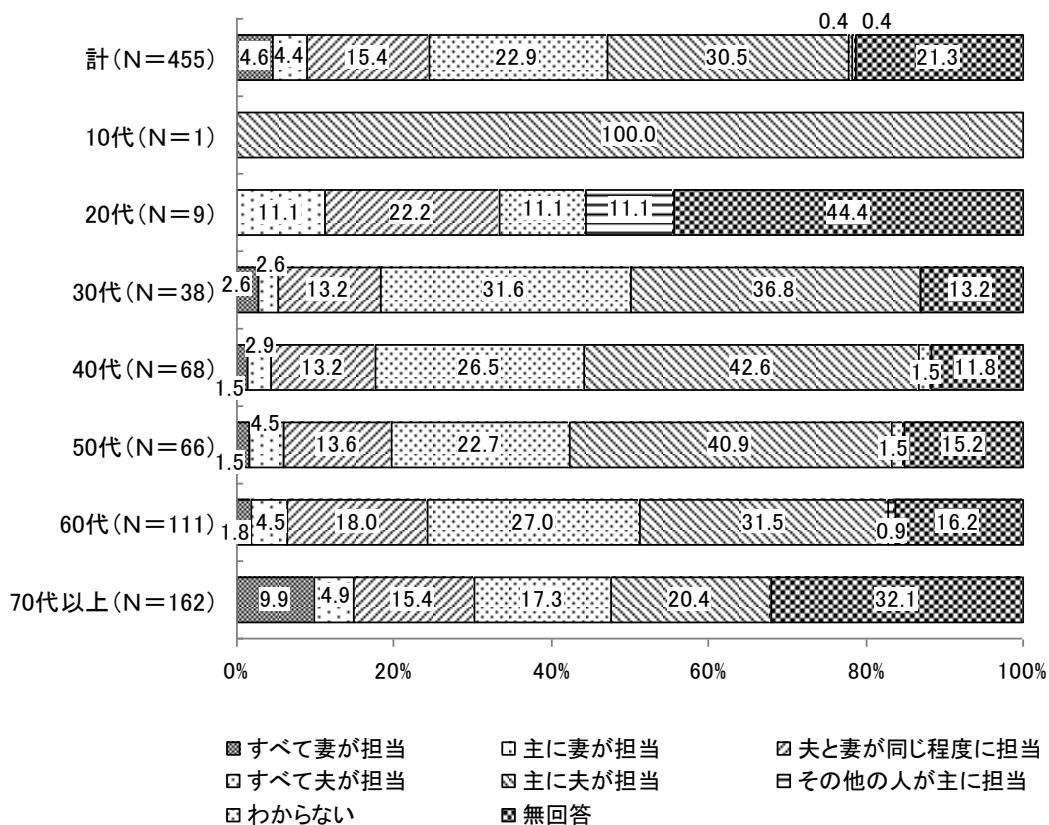
性別・年代別でみると、『夫が担当』は、女性では「30代」～「50代」が6割以上、男性では「30代」～「60代」が約6～7割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



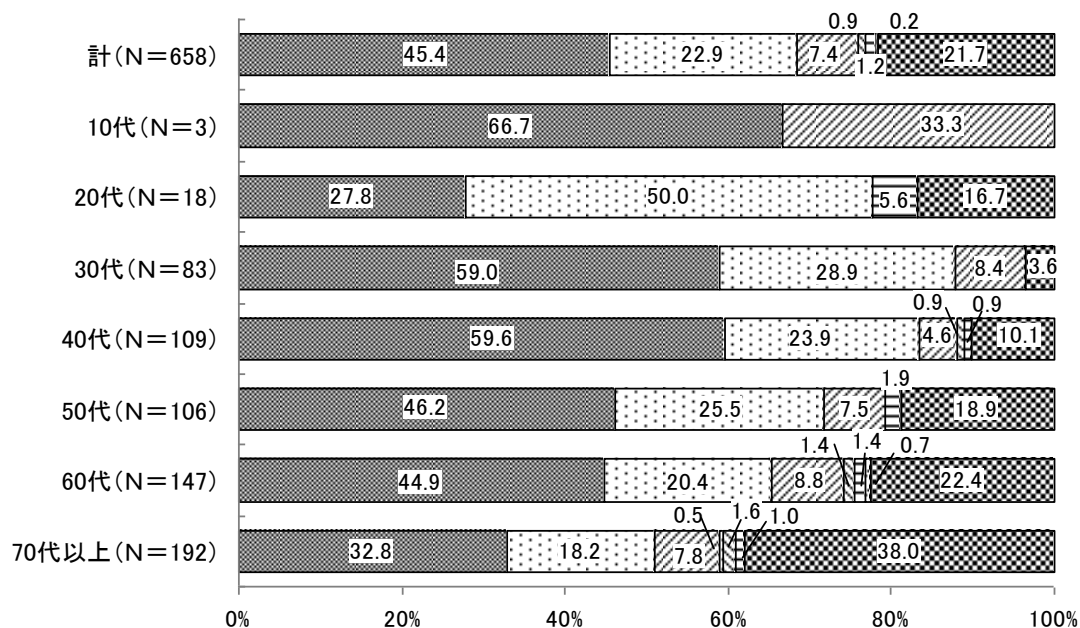
②掃除・洗濯をする

女性は『妻が担当』が68.3%、『夫が担当』が2.1%であり、男性は『妻が担当』が69.9%、『夫が担当』が1.3%と、性別による大きな差異はありません。

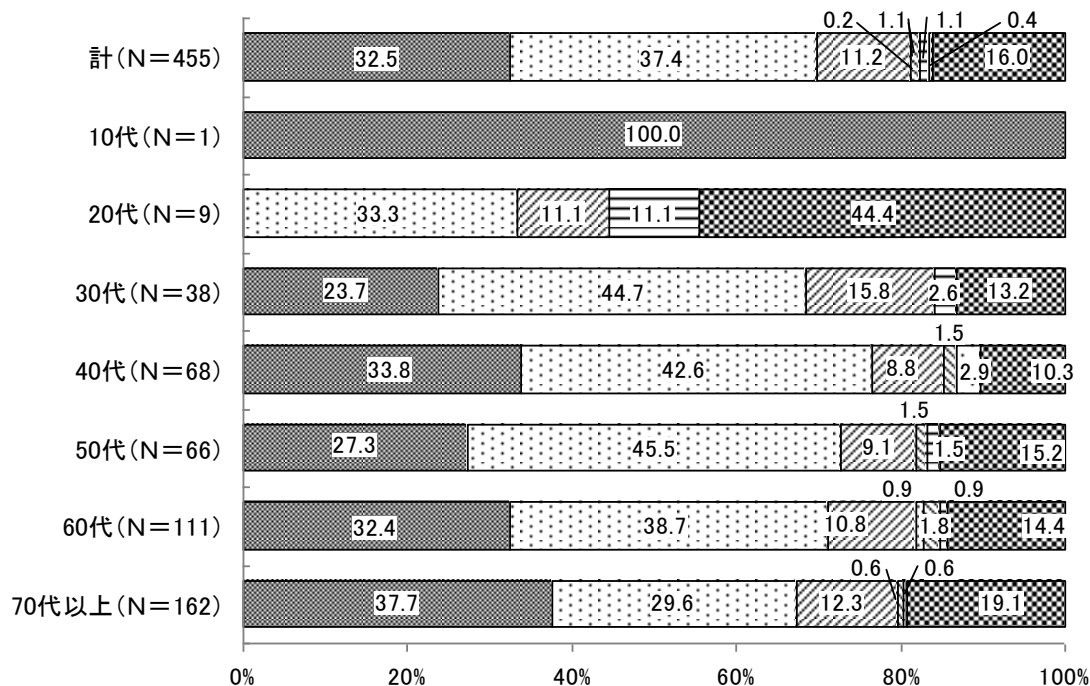
性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「30代」、「40代」が8割以上、男性では「30代」以上の年代で6割以上となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



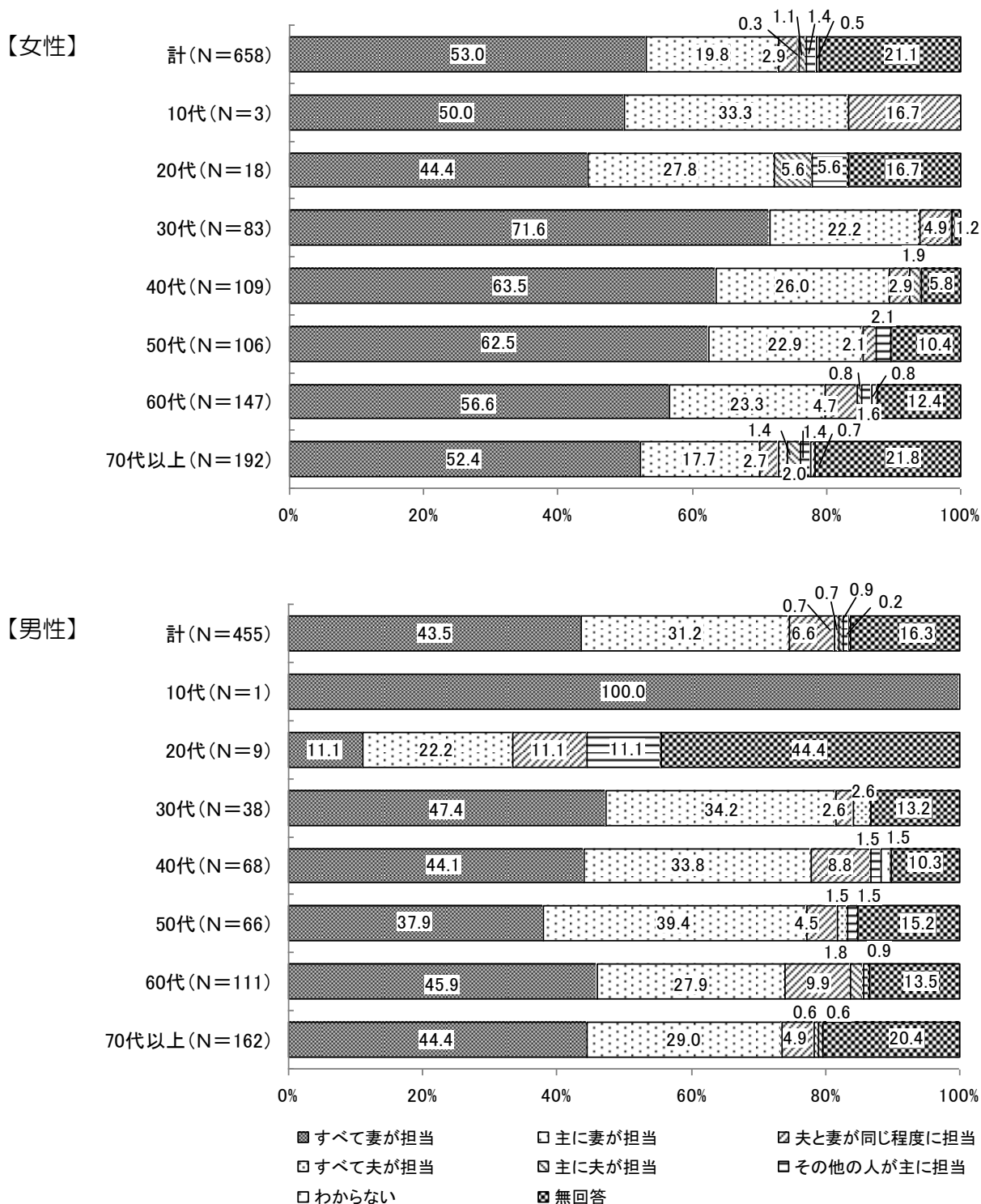
☒ すべて妻が担当 ☐ 主に妻が担当 ☒ 夫と妻が同じ程度に担当
☐ すべて夫が担当 ☐ 主に夫が担当 ☐ その他の人が主に担当
☐ わからない ☒ 無回答

③食事の支度をする

女性は『妻が担当』が72.8%、『夫が担当』が1.4%であり、男性は『妻が担当』が74.7%、『夫が担当』が1.4%と、性別による大きな差異はありません。

性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「30代」～「60代」が約8～9割、男性では「30代」以上の年代で約7～8割となっています。

<性別・年代別>

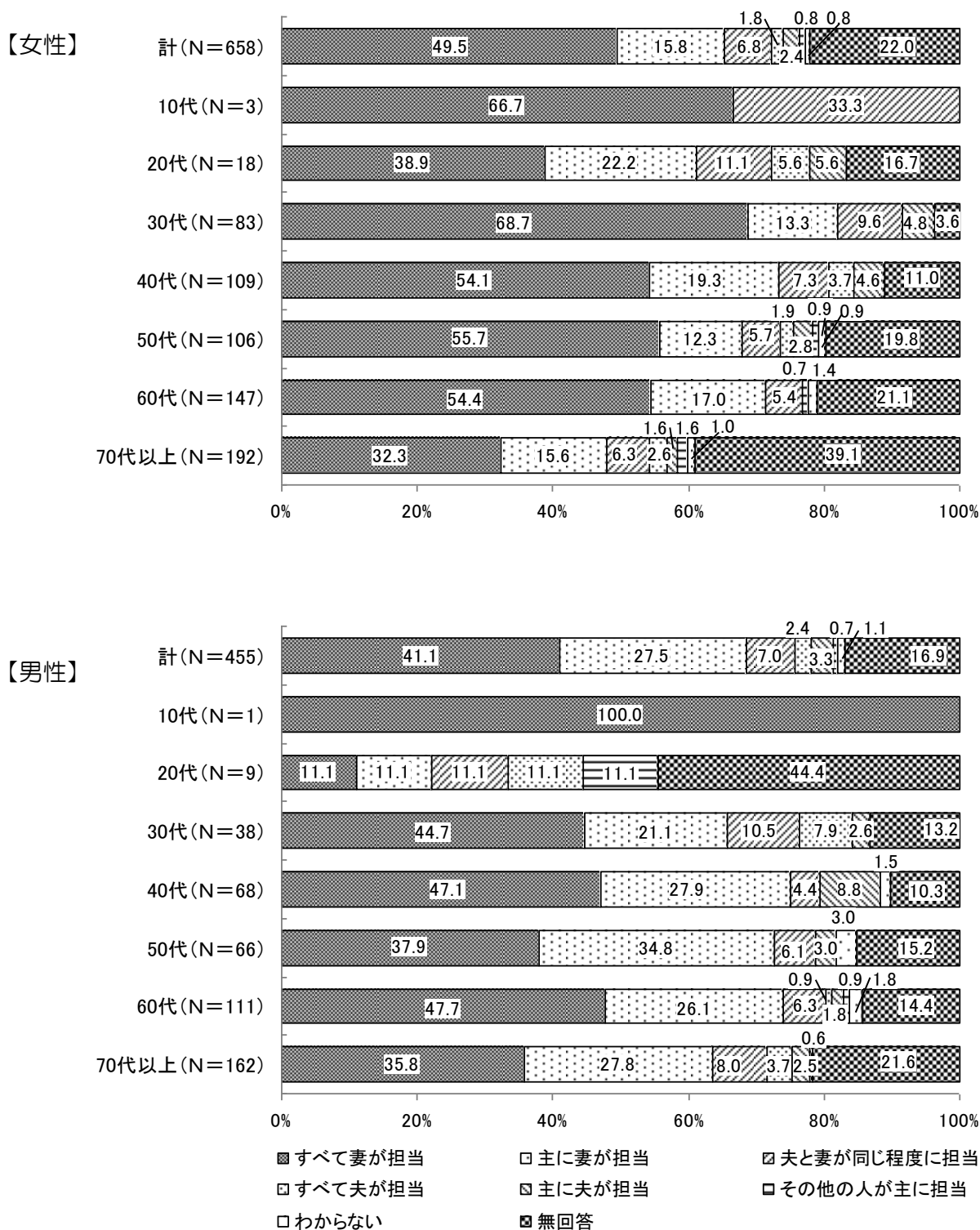


④日々の家計を管理する

女性は『妻が担当』が65.3%、『夫が担当』が4.2%であり、男性は『妻が担当』が68.6%、『夫が担当』が5.7%と、性別による大きな差異はありません。

性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「30代」～「60代」が約7～8割、男性では「40代」～「60代」で7割以上となっています。

<性別・年代別>



⑤子どもの教育としつけをする

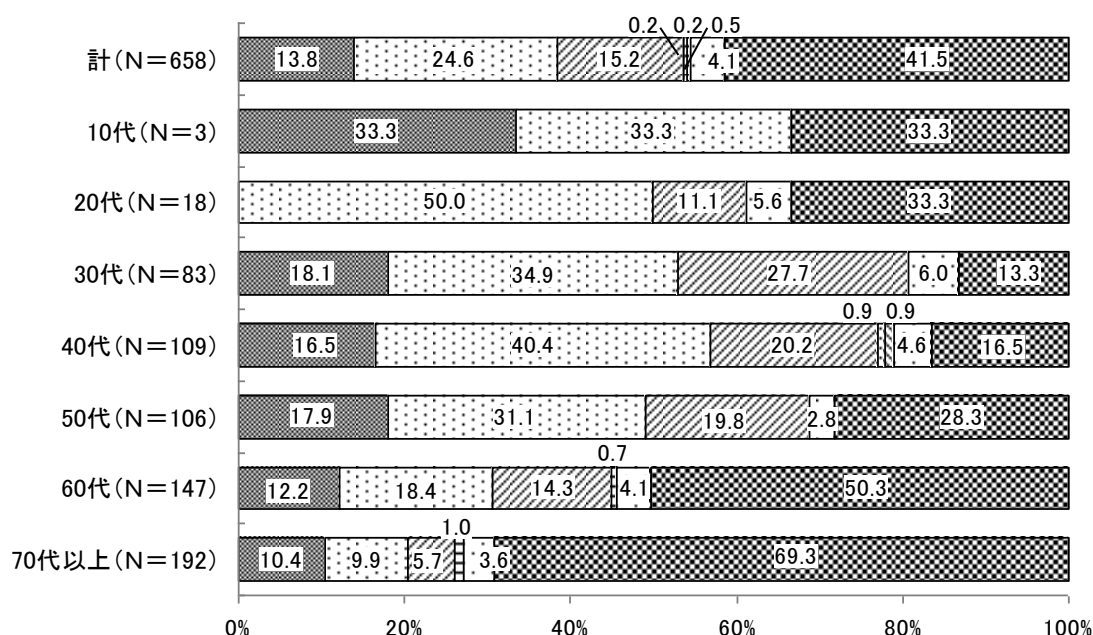
女性は『妻が担当』が38.4%、『夫が担当』が0.4%であり、男性は『妻が担当』が33.2%、『夫が担当』が1.1%と、性別による大きな差異はありません。

性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「20代」～「50代」が約5～6割、男性では「30代」～「50代」が約4～5割となっています。

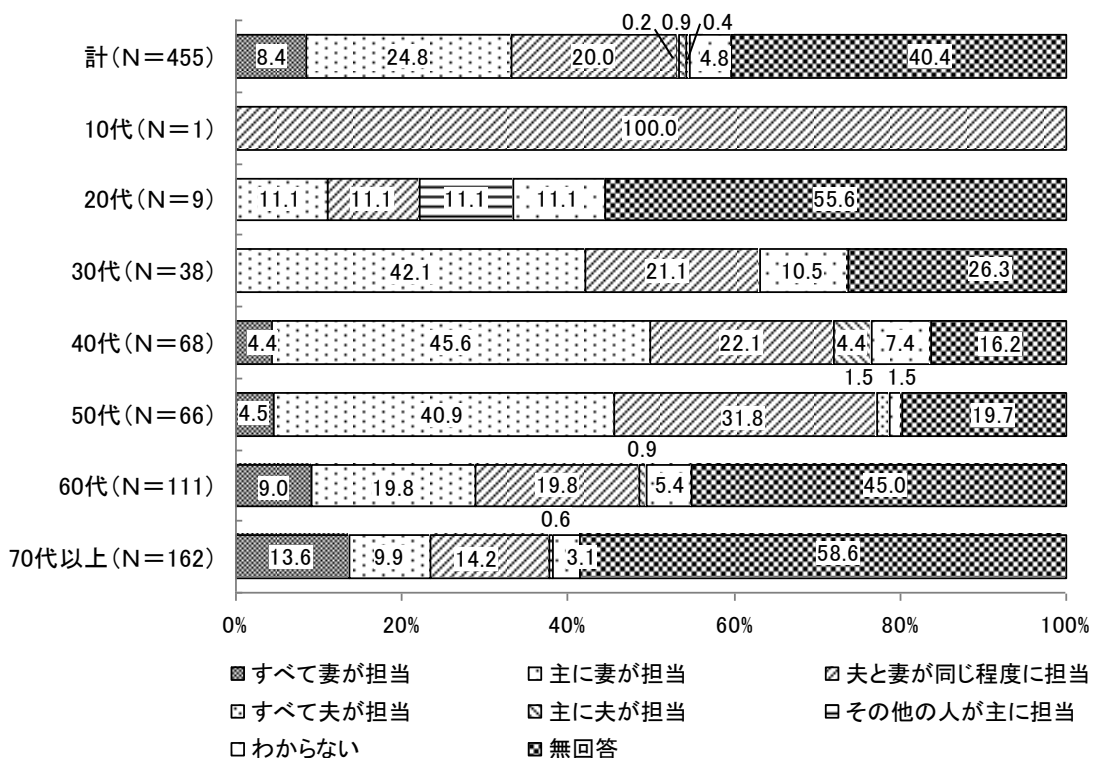
また、「夫と妻が同じ程度に担当」は、女性では、「30代」～「50代」が、男性では「30代」～「60代」が、それぞれ約2～3割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



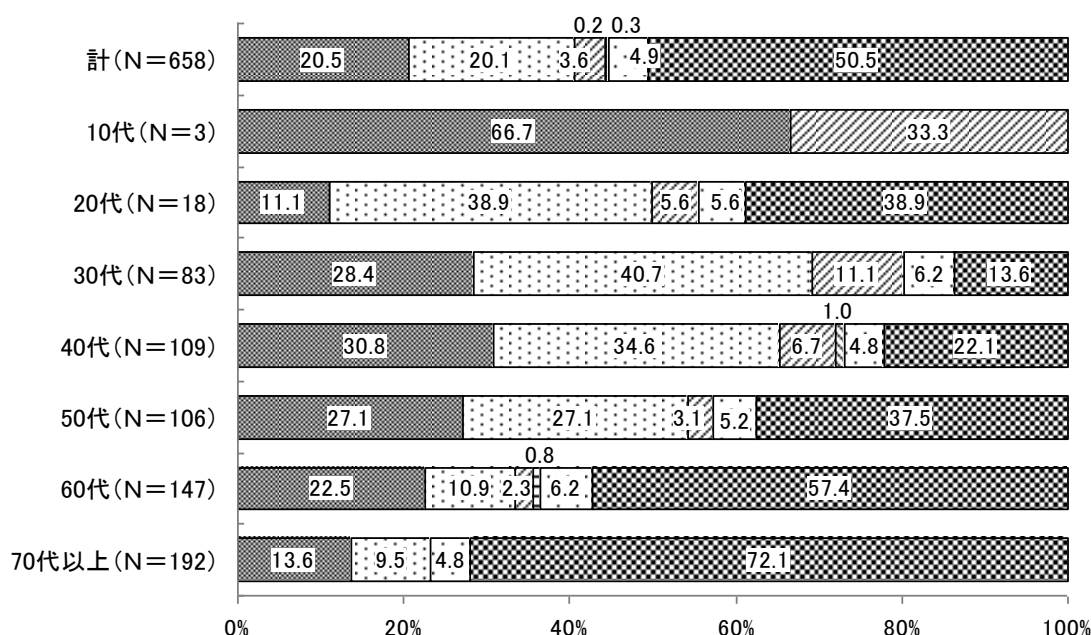
⑥乳幼児の世話をする

女性は『妻が担当』が40.6%、『夫が担当』が0.5%であり、男性は『妻が担当』が36.0%、『夫が担当』が6.8%と、性別によって差異があります。

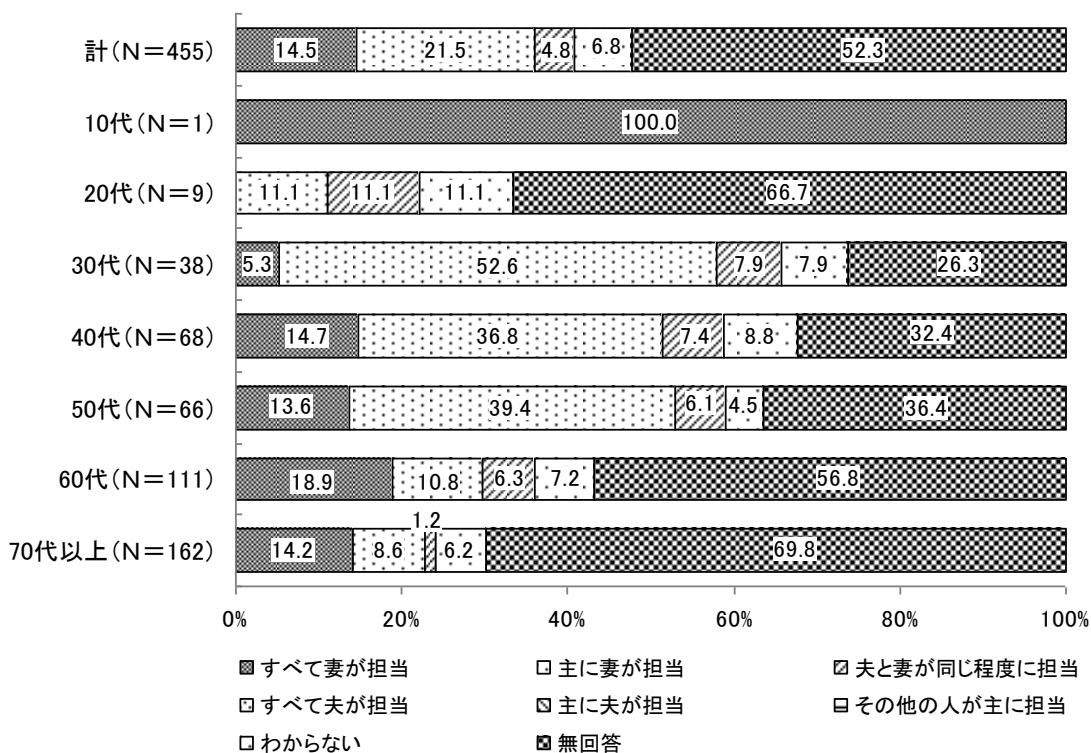
性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「30代」、「40代」が約7割、男性では「30代」～「50代」が約5～6割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



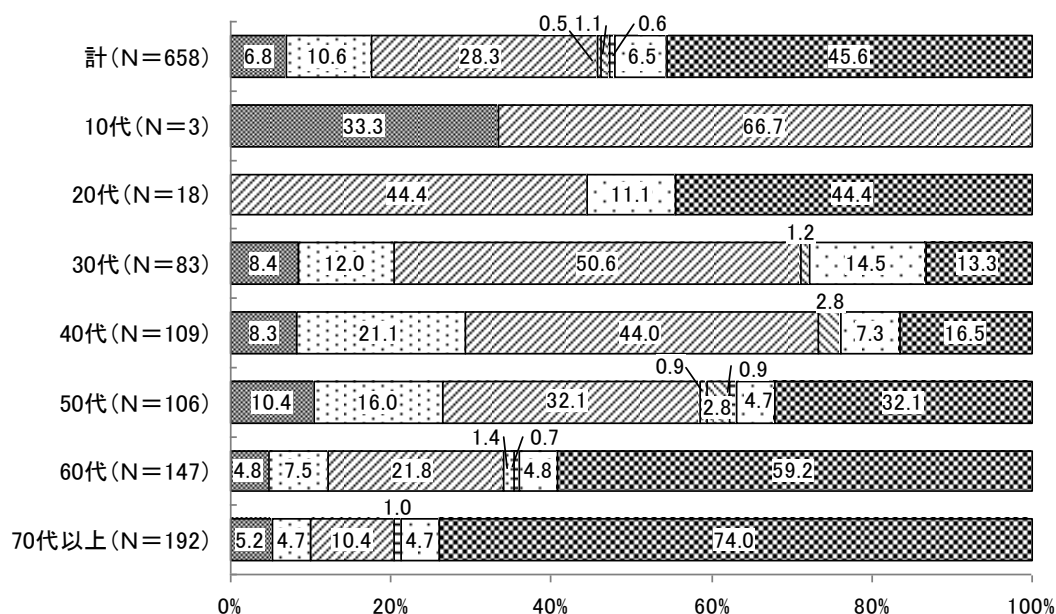
⑦子どもの進路を決定する

女性は『妻が担当』が17.4%、『夫が担当』が1.6%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が28.3%と最も高くなっています。男性は『妻が担当』が11.4%、『夫が担当』が2.9%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が32.1%と最も高くなっています。

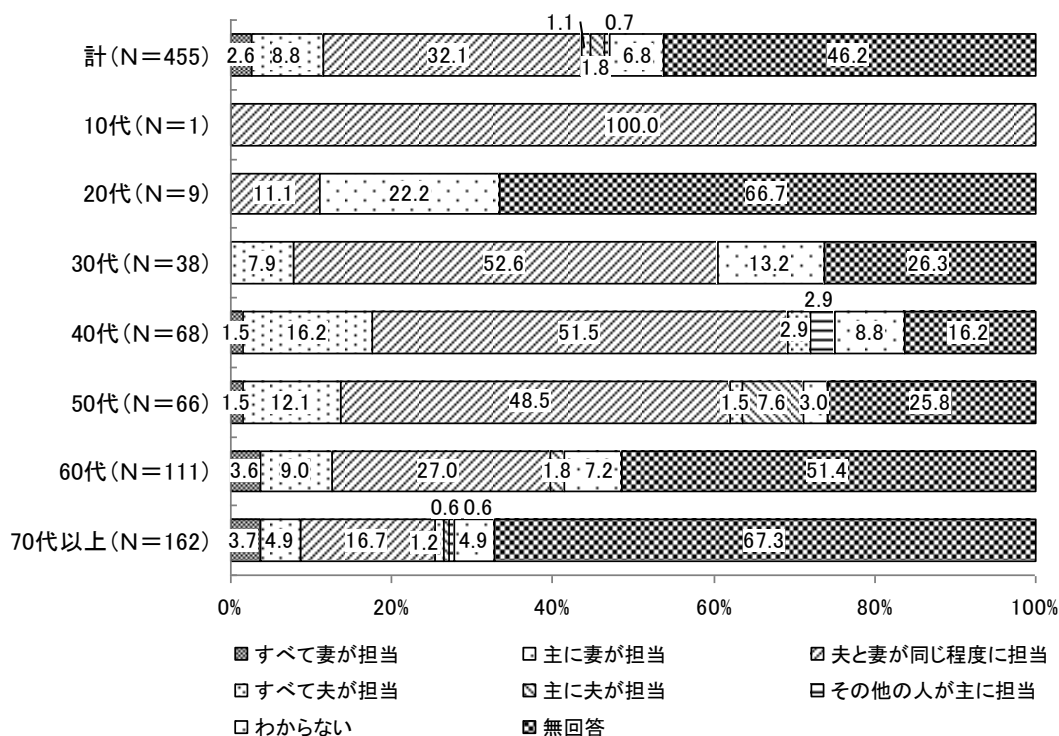
性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「40代」、「50代」で約3割、男性では、「40代」が約2割と最も高くなっています。また、「夫と妻が同じ程度に担当」は、女性では、「20代」～「40代」が約4～5割、男性では「30代」～「50代」が約5割となっています。

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



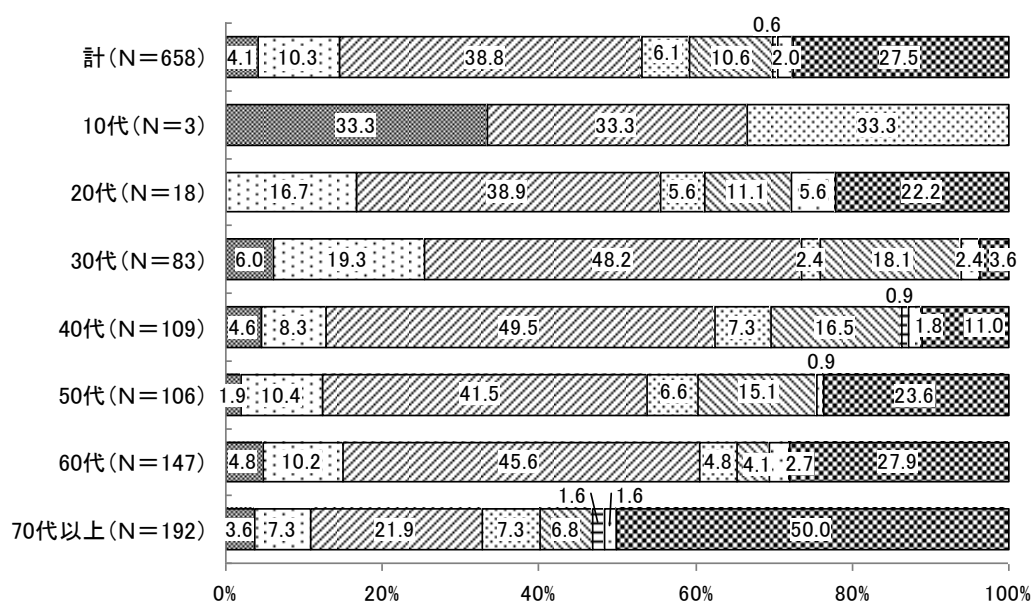
⑧高額な買い物の決定をする

女性は『妻が担当』が14.4%、『夫が担当』が16.7%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が38.8%と最も高くなっています。男性は『妻が担当』が13.4%、『夫が担当』が18.1%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が42.2%となっています。『夫が担当』、「夫と妻が同じ程度に担当」のそれぞれについて、男性が女性を上回っています。

性別・年代別でみると、『夫が担当』は、女性では「20代」～「50代」が約2割、男性では「30代」が約3割、「40代」～「60代」が約2割となっています。また、「夫と妻が同じ程度に担当」は、女性は「30代」、「40代」、「60代」が約5割、男性では「30代」～「60代」が約4～5割となっています。

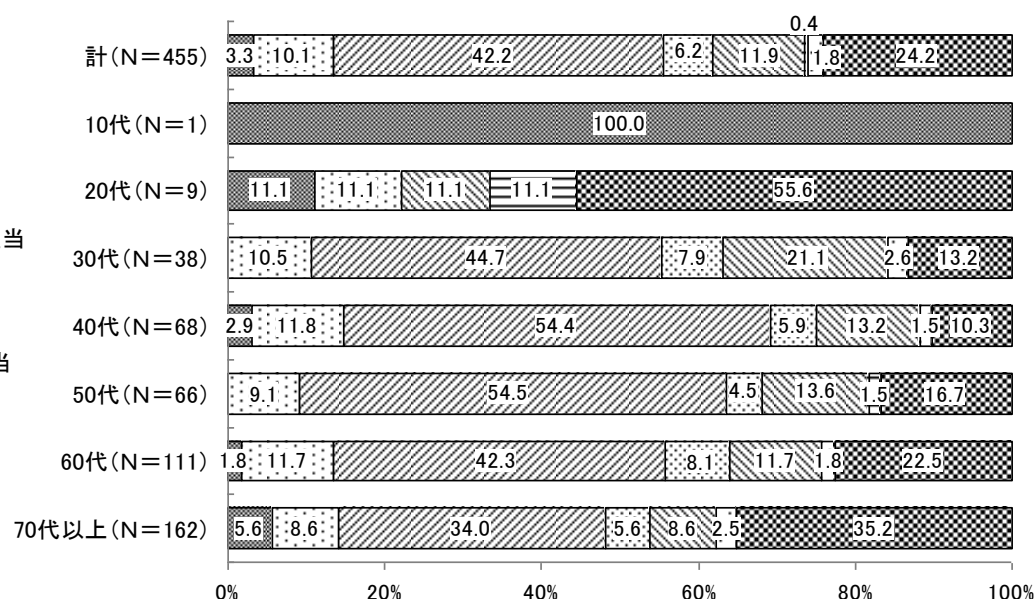
<性別・年代別>

【女性】



【男性】

- すべて妻が担当
- 主に妻が担当
- ▨ 夫と妻が同じ程度に担当
- すべて夫が担当
- ▨ 主に夫が担当
- その他の人が主に担当
- わからない
- 無回答



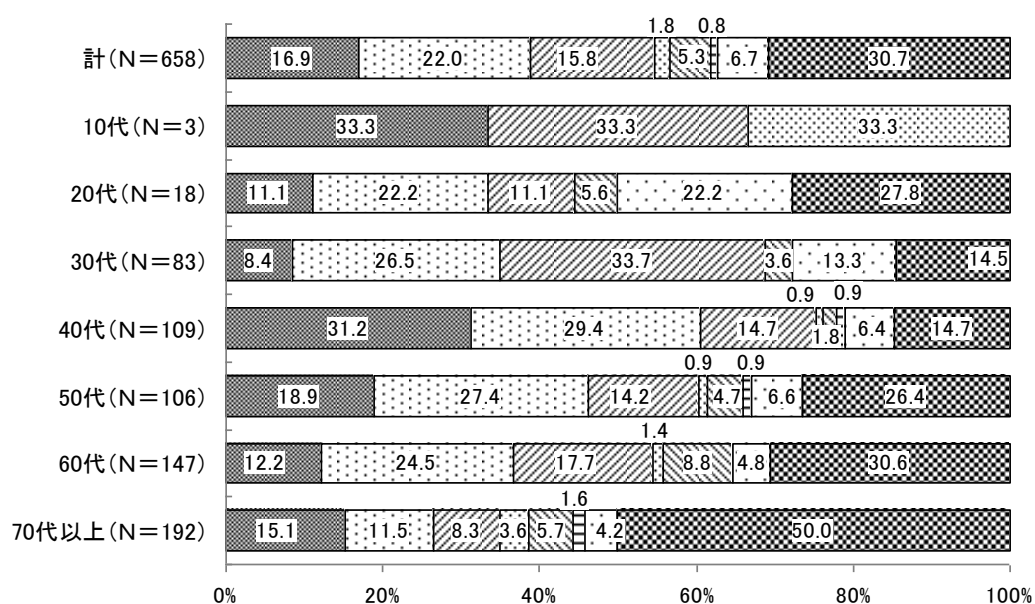
⑨地域活動へ参加する

女性は『妻が担当』が38.9%、『夫が担当』が7.1%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が15.8%となっています。男性は『妻が担当』が26.0%、『夫が担当』が11.0%となっており、また、「夫と妻が同じ程度に担当」が27.5%となっています。

性別・年代別でみると、『妻が担当』は、女性では「40代」、「50代」で約5～6割、男性では「30代」以上の年代で2割以上となっています。また、「夫と妻が同じ程度に担当」は、女性では「30代」が、男性では「30代」～「60代」が、それぞれ約3～4割となっています。

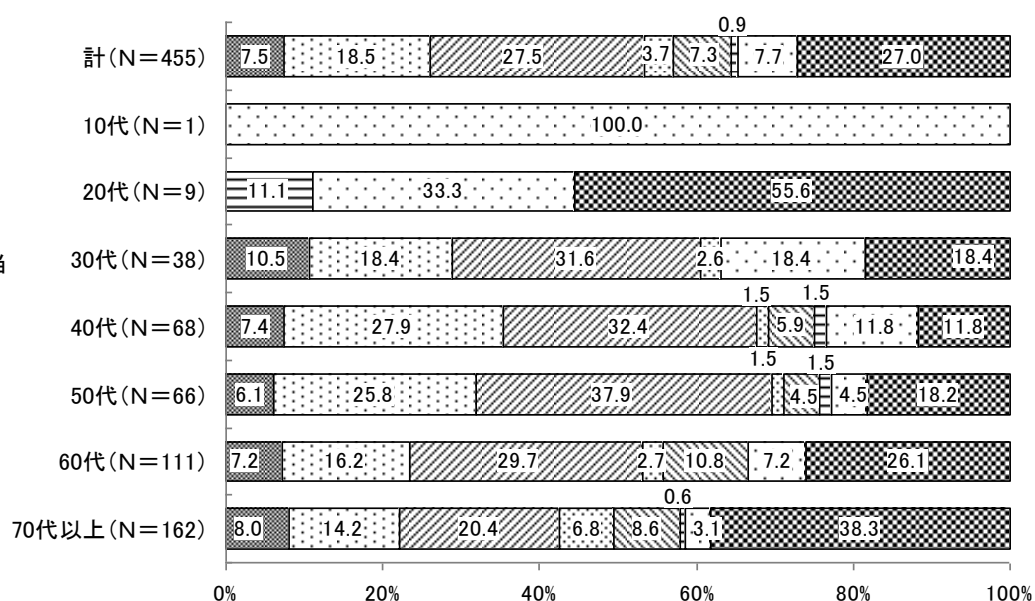
<性別・年代別>

【女性】



【男性】

- すべて妻が担当
- 主に妻が担当
- ▨ 夫と妻が同じ程度に担当
- ▤ すべて夫が担当
- ▥ 主に夫が担当
- その他の人が主に担当
- わからない
- 無回答



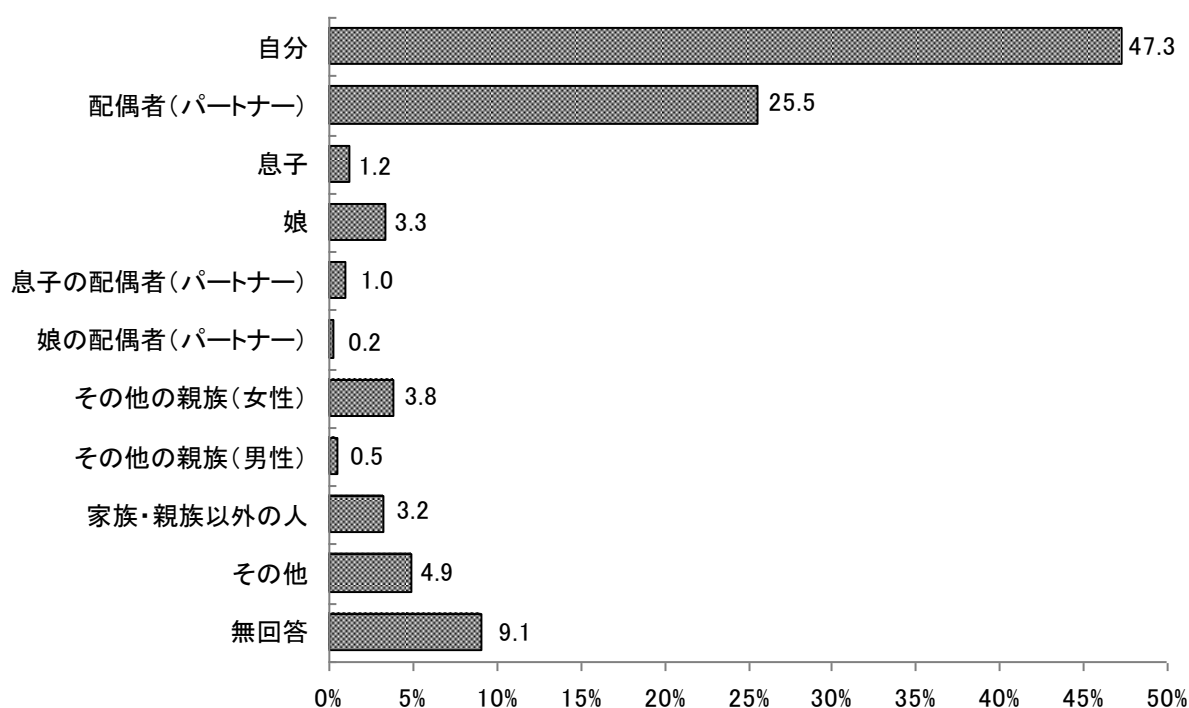
問 17 あなたの家族の中に介護を必要とする人がおられる場合、あるいは、もし、家族が介護を必要とする状態となった場合は、自宅で主に誰が介護をしていますか（することになると思いますか。）（〇は 1 つ）

「自分」が 47.3%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」が 25.5%となっています。

女性は「自分」が 65.3%と最も高く、男性は「配偶者（パートナー）」が 48.6%と最も高く、次いで「自分」が 23.5%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「自分」が「30代」～「50代」で約8～9割、男性では「配偶者（パートナー）」が「30代」以上の年代で約5～6割となっています。また、男性はすべての年代で、「自分」が約2～3割となっており、男女ともに、「その他の親族（女性）」は「10代」が高くなっています。

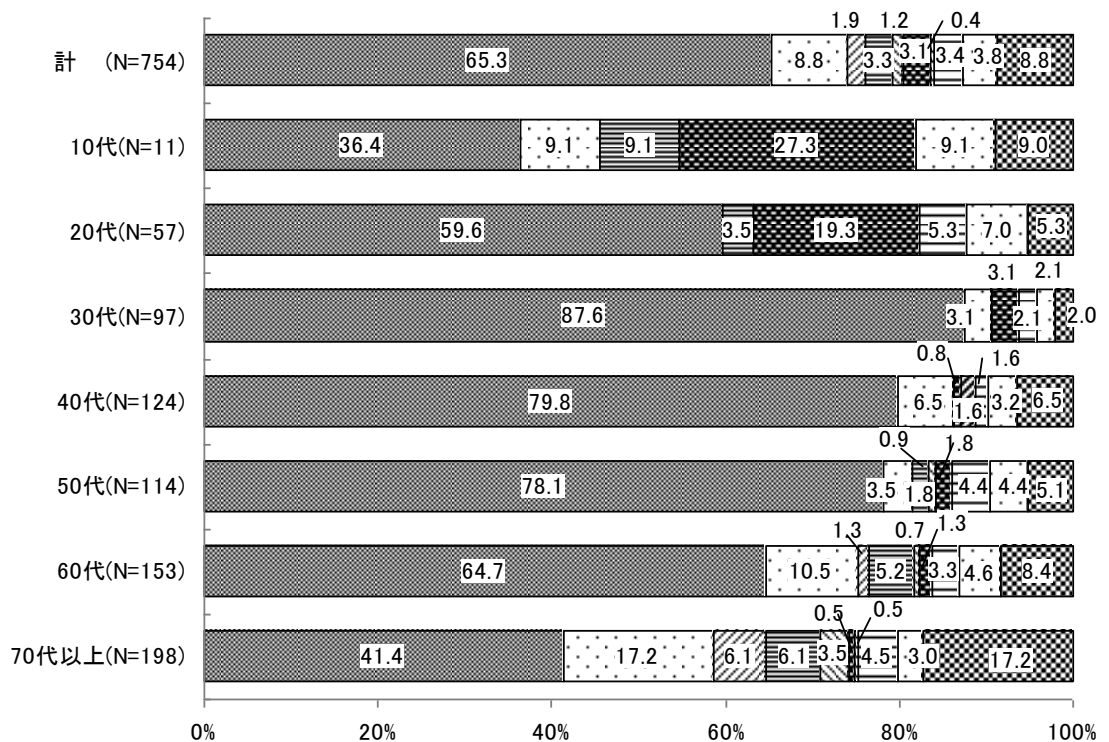
<全体>



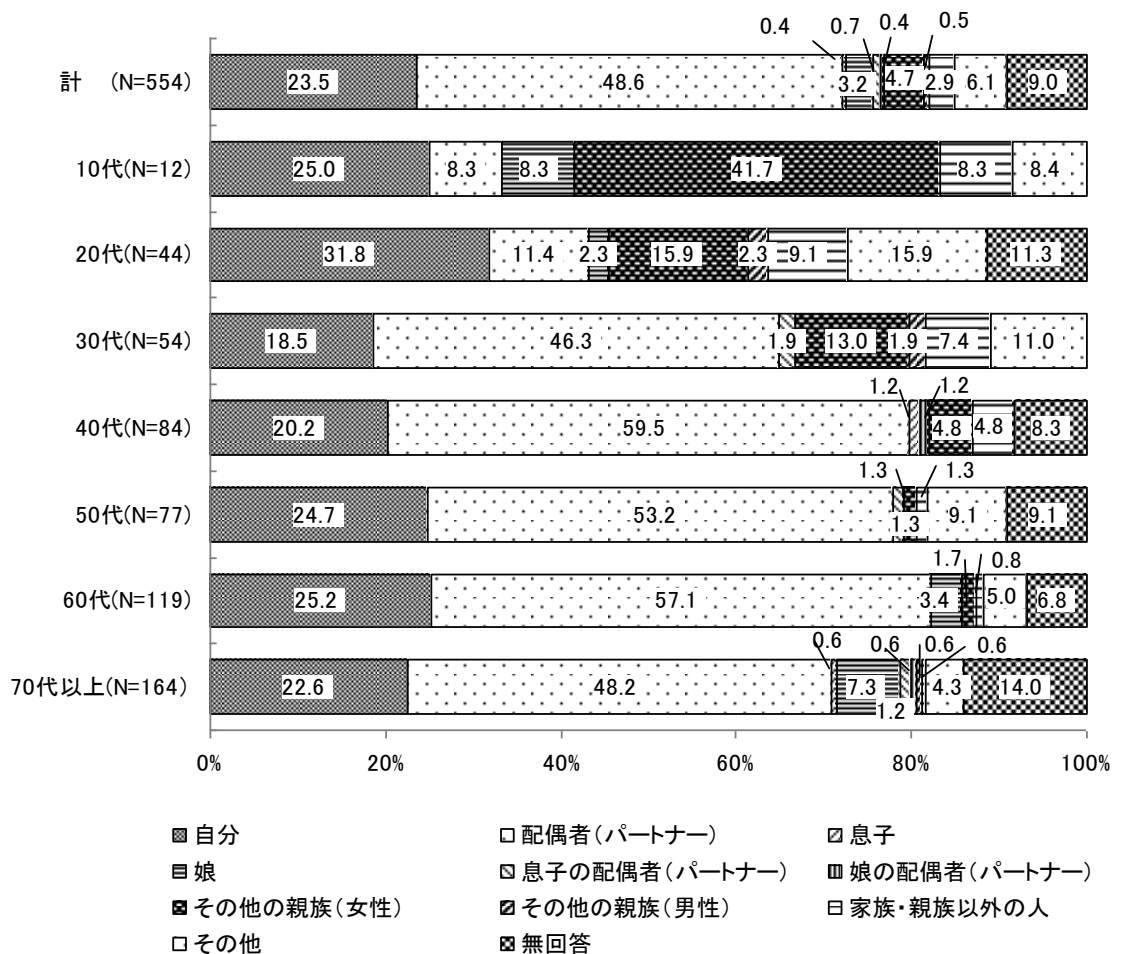
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



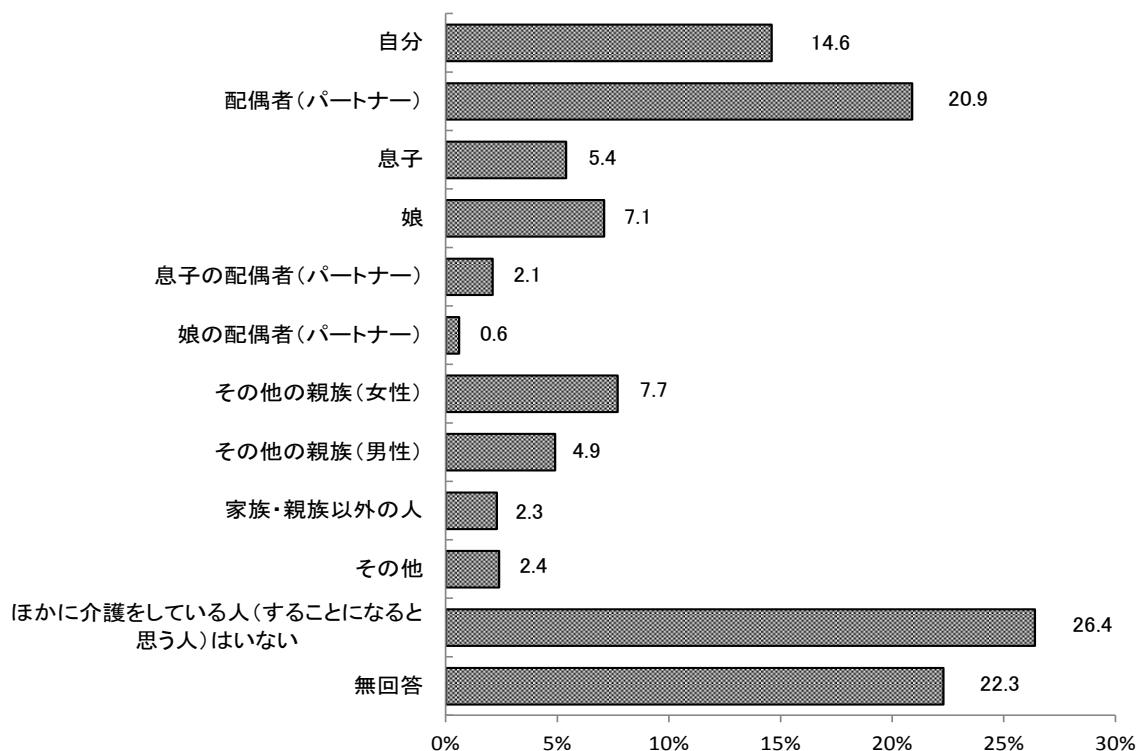
問 17-1 問 17 で選ばれた方以外に、自宅で介護をしている人はいますか。(することになると思う人はいますか。)(〇はいくつでも)

「ほかに介護をしている人(することになると思う人)はいない」が26.4%と最も高く、次いで「配偶者(パートナー)」が20.9%となっています。

女性では「配偶者(パートナー)」が26.1%と最も高く、次いで「ほかに介護をしている人(することになると思う人)はいない」が25.1%となっています。男性では「ほかに介護をしている人(することになると思う人)はいない」が28.0%と最も高く、次いで「自分」が21.7%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「配偶者(パートナー)」が「30代」～「60代」で約3割、「ほかに介護をしている人(することになると思う人)はいない」が「10代」～「50代」で約3～4割となっています。男性では「ほかに介護をしている人(することになると思う人)はいない」が「10代」、「40代」で4割以上となっており、「自分」が「30代」～「50代」で約3割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	自分	配偶者（パートナー）	息子	娘	息子の配偶者（パートナー）	娘の配偶者（パートナー）	その他の親族（女性）	その他の親族（男性）	家族・親族以外の人	その他	ほかに介護をしている人（することになると思う人）はいない	無回答
計（N=754）	9.5	26.1	5.7	6.5	2.1	0.8	8.5	4.4	2.1	2.1	25.1	23.2
10代（N=11）	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	36.4	0.0
20代（N=57）	8.8	7.0	1.8	3.5	0.0	0.0	22.8	10.5	8.8	1.8	29.8	14.0
30代（N=97）	4.1	32.0	4.1	4.1	0.0	0.0	20.6	8.2	2.1	2.1	37.1	5.2
40代（N=124）	8.9	26.6	1.6	8.9	1.6	0.8	10.5	5.6	0.8	3.2	26.6	18.5
50代（N=114）	8.8	33.3	9.6	8.8	2.6	2.6	7.9	4.4	1.8	1.8	28.1	14.0
60代（N=153）	9.8	30.7	8.5	6.5	3.9	0.7	3.3	1.3	2.6	1.3	19.0	30.1
70代以上（N=198）	12.6	21.7	6.1	5.6	2.5	0.5	1.5	2.0	1.0	1.5	19.2	38.9

【男性】

	自分	配偶者（パートナー）	息子	娘	息子の配偶者（パートナー）	娘の配偶者（パートナー）	その他の親族（女性）	その他の親族（男性）	家族・親族以外の人	その他	ほかに介護をしている人（することになると思う人）はいない	無回答
計（N=554）	21.7	14.1	5.1	7.8	2.2	0.4	6.5	5.6	2.5	2.7	28.0	21.1
10代（N=12）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0	8.3	41.7	16.7
20代（N=44）	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	20.5	6.8	4.5	25.0	22.7
30代（N=54）	25.9	5.6	7.4	5.6	0.0	0.0	11.1	13.0	1.9	5.6	35.2	7.4
40代（N=84）	26.2	7.1	1.2	2.4	0.0	0.0	9.5	6.0	6.0	1.2	44.0	9.5
50代（N=77）	28.6	14.3	6.5	3.9	0.0	0.0	13.0	5.2	3.9	2.6	27.3	15.6
60代（N=119）	21.8	15.1	5.0	10.9	4.2	0.8	1.7	2.5	0.8	1.7	29.4	21.8
70代以上（N=164）	18.3	20.7	7.3	13.4	4.3	0.6	0.0	0.6	0.6	2.4	16.5	33.5

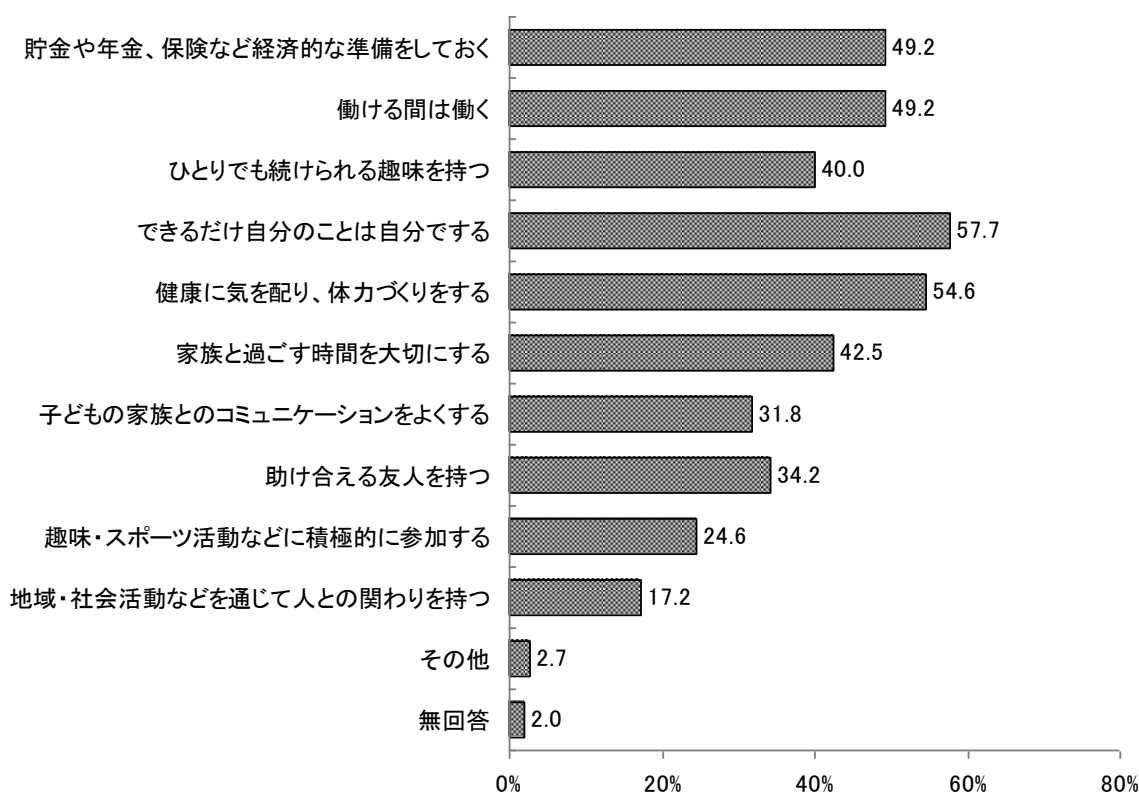
問 18 あなたは人生を楽しく過ごすために、どのようなことを心がけていますか。(〇はいくつでも)

「できるだけ自分のことは自分でする」が57.7%と最も高く、次いで「健康に気を配り、体力づくりをする」が54.6%、「貯金や年金、保険など経済的な準備をしておく」と「働ける間は働く」がともに49.2%となっています。

女性は「できるだけ自分のことは自分でする」が62.9%、「健康に気を配り、体力づくりをする」が55.4%と高く、男性は「健康に気を配り、体力づくりをする」が53.8%、「働ける間は働く」が53.2%と高くなっています。

性別・年代別でみると、女性では「できるだけ自分のことは自分でする」が「60代」、「70代以上」で約8～9割、「健康に気を配り、体力づくりをする」が「60代」で約7割、「50代」、「70代以上」で約6割となっています。男性では、「健康に気を配り、体力づくりをする」が「50代」、「70代以上」で約6割、「働ける間は働く」が「10代」で約7割、「50代」で約8割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	貯金や年金、 保険など経済的な準備 をしておく	働ける間は働く	ひとりでも続けられる趣味を持つ	できるだけ自分のことは自分でする	健康に気を配り、 体力づくりをする	家族と過ごす時間を大切に する	子どもの家族とのコミュニケー ションをよくする	助け合える友人を持つ	趣味・スポーツ活動などに積極 的に参加する	地域・社会活動などを通じて人との 関わりを持つ	その他	無回答
計 (N=754)	51.1	46.0	39.0	62.9	55.4	45.1	35.4	41.0	22.5	18.2	2.9	1.1
10代 (N=11)	72.7	27.3	18.2	36.4	27.3	45.5	36.4	36.4	27.3	9.1	0.0	0.0
20代 (N=57)	45.8	54.4	31.6	40.4	40.4	50.9	14.0	54.4	19.3	8.8	3.5	1.8
30代 (N=97)	62.9	58.8	33.0	33.0	37.1	64.9	47.4	53.6	18.6	12.4	1.0	0.0
40代 (N=124)	45.2	59.7	35.5	46.8	50.8	53.2	30.6	41.9	14.5	13.7	2.4	0.8
50代 (N=114)	57.0	60.5	36.8	60.5	57.0	47.4	31.6	36.8	24.6	15.8	4.4	0.9
60代 (N=153)	54.2	40.5	47.7	85.0	72.5	34.6	38.6	43.1	27.5	20.9	1.3	0.0
70代以上 (N=198)	43.4	25.8	41.9	79.8	59.1	35.4	38.4	31.3	25.3	26.3	4.5	2.5

【男性】

	貯金や年金、 保険など経済的な準備 をしておく	働ける間は働く	ひとりでも続けられる趣味を持つ	できるだけ自分のことは自分でする	健康に気を配り、 体力づくりをする	家族と過ごす時間を大切に する	子どもの家族とのコミュニケー ションをよくする	助け合える友人を持つ	趣味・スポーツ活動などに積極 的に参加する	地域・社会活動などを通じて人との 関わりを持つ	その他	無回答
計 (N=554)	46.0	53.2	41.3	50.0	53.8	38.8	26.9	25.3	27.4	17.7	2.3	2.7
10代 (N=12)	66.7	66.7	50.0	33.3	50.0	58.3	25.0	66.7	41.7	16.7	0.0	0.0
20代 (N=44)	38.6	47.7	50.0	14.0	18.0	13.0	6.0	21.0	15.0	4.0	1.0	1.0
30代 (N=54)	46.3	50.0	27.8	27.8	42.6	57.4	35.2	24.1	18.5	7.4	1.9	0.0
40代 (N=84)	47.6	61.9	38.1	38.1	41.7	50.0	23.8	16.7	32.1	9.5	1.2	1.2
50代 (N=77)	48.1	75.3	42.9	55.8	61.0	32.5	22.1	26.0	24.7	19.5	2.6	0.0
60代 (N=119)	41.2	50.4	35.3	54.6	53.8	30.3	24.4	22.7	20.2	17.6	2.5	4.2
70代以上 (N=164)	48.2	42.1	48.2	63.4	64.0	37.2	33.5	22.6	31.7	26.8	3.0	4.9

D 子育て・教育について

問 19 あなたの子どもには、将来、どの程度までの教育を受けさせたいとお考えですか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。子どもがおられない方も、もし子どもがいたらと想定してお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

女の子の場合は、「大学」が49.2%、「短期大学・高等専門学校」が15.3%となっています。男の子の場合は「大学」が64.4%、「大学院」が5.3%となっています。

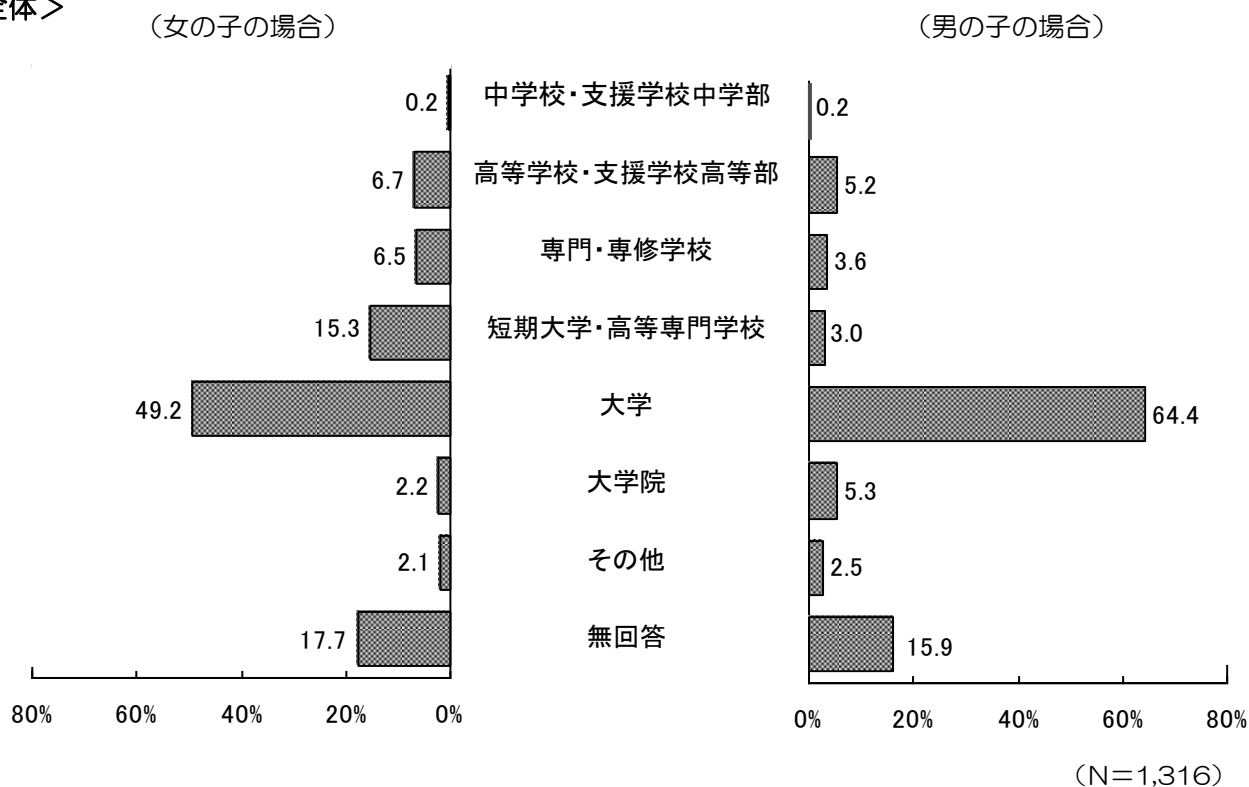
女の子の場合は、女性は「大学」が49.2%と最も高く、次いで「短期大学・高等専門学校」が15.8%となっており、男性は「大学」が49.3%と最も高く、次いで「短期大学・高等専門学校」が15.0%となっています。

性別・年代別でみると、「大学」は、女性では「10代」で約8割となっており、「10代」以降、ほぼ年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。男性では「10代」、「20代」で約7割となっており、ほぼ年代が上がるにつれて、低くなる傾向があります。

男の子の場合は、女性は「大学」が64.9%と最も高く、次いで「大学院」が5.2%となっており、男性は「大学」が64.1%と最も高く、次いで「高等学校・支援学校高等部」と「大学院」がともに5.6%となっています。

性別・年代別でみると、「大学」は、女性では「10代」で約9割、「20代」～「60代」で約7～8割となっており、男性では、すべての年代において約6～7割となっています。

<全体>



<性別・年代別>

(女の子の場合)

【女性】

	中学校・支援学校 中学部	高等学校・支援学校 高等部	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計 (N=754)	0.3	6.9	6.0	15.8	49.2	2.1	2.0	17.8
10代 (N=11)	0.0	9.1	9.1	0.0	81.8	0.0	0.0	0.0
20代 (N=57)	0.0	8.8	3.5	10.5	61.4	5.3	3.5	7.0
30代 (N=97)	1.0	8.2	4.1	16.5	59.8	1.0	1.0	8.2
40代 (N=124)	0.0	11.3	4.0	15.3	58.9	0.0	0.8	9.7
50代 (N=114)	0.0	7.0	6.1	10.5	59.6	3.5	1.8	11.4
60代 (N=153)	0.7	4.6	9.8	23.5	43.8	3.9	3.3	10.5
70代以上 (N=198)	0.0	4.5	5.6	15.2	30.8	1.0	2.0	40.9

【男性】

	中学校・支援学校 中学部	高等学校・支援学校 高等部	専門・専修学校	短期大学・高等専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計 (N=554)	0.2	6.5	6.9	15.0	49.3	2.3	2.2	17.7
10代 (N=12)	0.0	8.3	8.3	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0
20代 (N=44)	0.0	9.1	4.5	2.3	68.2	0.0	9.1	6.8
30代 (N=54)	0.0	7.4	11.1	13.0	59.3	1.9	0.0	7.4
40代 (N=84)	1.2	13.1	6.0	16.7	48.8	4.8	0.0	9.5
50代 (N=77)	0.0	6.5	3.9	15.6	61.0	2.6	2.6	7.8
60代 (N=119)	0.0	5.9	11.8	11.8	45.4	1.7	1.7	21.8
70代以上 (N=164)	0.0	2.4	4.3	20.1	37.2	2.4	2.4	31.1

(男の子の場合)

【女性】

	中学校・支援学校 中学部	高等学校・支援学校 高等部	専門・専修学校	短期大学・高等 専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計 (N=754)	0.1	4.9	3.2	2.8	64.9	5.2	2.4	16.6
10代 (N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	0.0	0.0	9.1
20代 (N=57)	0.0	5.3	0.0	7.0	68.4	8.8	1.8	8.8
30代 (N=97)	1.0	6.2	1.0	3.1	80.4	1.0	2.1	5.2
40代 (N=124)	0.0	8.9	3.2	2.4	68.5	5.6	1.6	9.7
50代 (N=114)	0.0	3.5	3.5	0.0	72.8	7.9	0.9	11.4
60代 (N=153)	0.0	2.6	3.9	4.6	66.0	6.5	4.6	11.8
70代以上 (N=198)	0.0	4.5	4.5	2.0	47.0	3.5	2.5	35.9

【男性】

	中学校・支援学校 中学部	高等学校・支援学校 高等部	専門・専修学校	短期大学・高等 専門学校	大学	大学院	その他	無回答
計 (N=554)	0.2	5.6	3.8	3.1	64.1	5.6	2.7	15.0
10代 (N=12)	0.0	8.3	8.3	16.7	58.3	8.3	0.0	0.0
20代 (N=44)	0.0	11.4	2.3	0.0	70.5	2.3	9.1	4.5
30代 (N=54)	0.0	9.3	7.4	3.7	70.4	3.7	0.0	5.6
40代 (N=84)	1.2	8.3	2.4	3.6	66.7	7.1	2.4	8.3
50代 (N=77)	0.0	6.5	6.5	1.3	68.8	5.2	5.2	6.5
60代 (N=119)	0.0	3.4	4.2	3.4	58.8	8.4	1.7	20.2
70代以上 (N=164)	0.0	2.4	1.8	3.0	61.0	4.3	1.8	25.6

問 20 あなたの子どもには、将来、どのような生き方をしてほしいと思いますか。女の子、男の子、どちらについてもお答えください。子どもがおられない方も、もし子どもがいたらと想定してお答えください。(〇はそれぞれ2つつ)

女の子の場合は、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」が38.9%、「本人の意思に任せる」が36.8%、「経済的に自立した生活をする」が27.4%となっています。

男の子の場合は、「経済的に自立した生活をする」が50.7%、「本人の意思に任せる」が31.3%、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」が26.4%となっています。

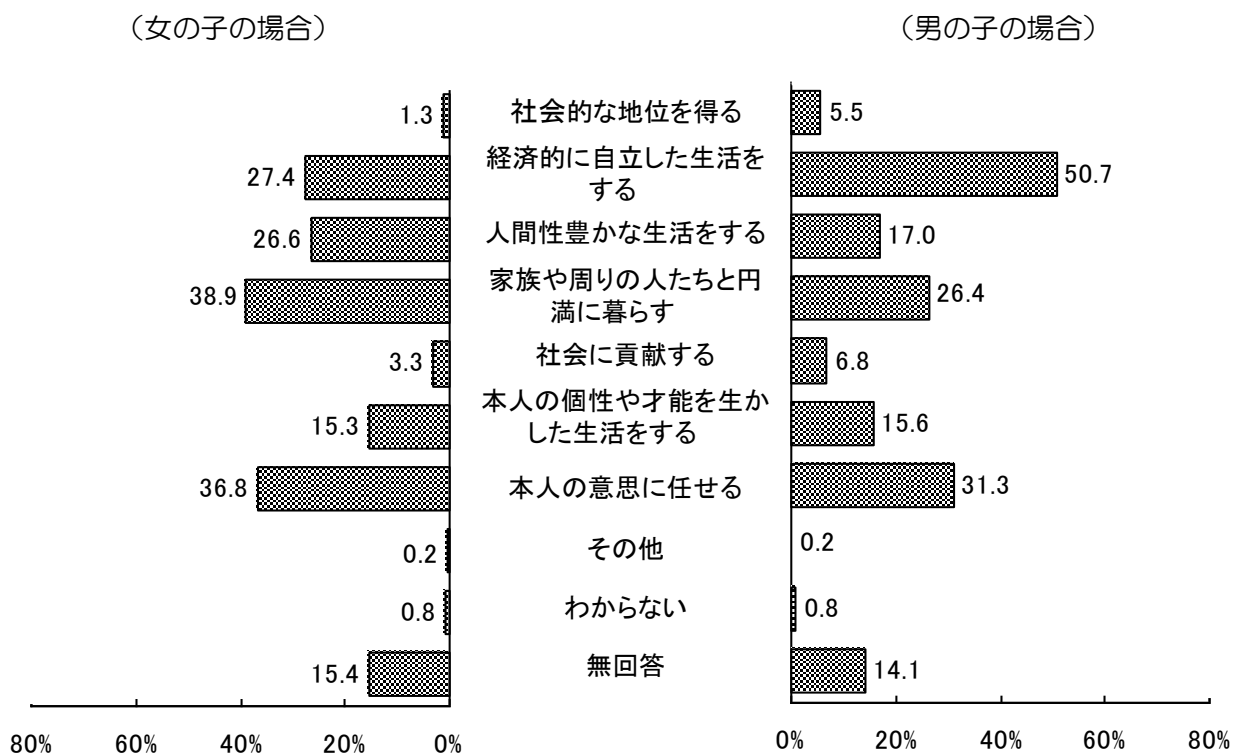
女の子の場合は、男女ともに「家族や周りの人たちと円満に暮らす」と「本人の意思に任せる」の割合が高くなっています。

性別・年代別でみると、「家族や周りの人たちと円満に暮らす」は、女性では「10代」～「30代」で約5割、「40代」～「60代」で約4割となっており、男性では「10代」で約6割、「30代」、「40代」で約5割となっています。また、「本人の意思に任せる」は、女性では「10代」、「20代」で約5～6割、男性では「20代」、「30代」、「50代」、「60代」で約4～5割となっています。

男の子の場合は、男女ともに「経済的に自立した生活をする」と「本人の意思に任せる」の割合が高くなっています。

性別・年代別でみると、「経済的に自立した生活をする」は、女性では「30代」～「60代」で約6～7割、男性では「20代」～「70代以上」で約4～5割となっています。また、「本人の意思に任せる」は、女性では「20代」、男性では「20代」、「50代」で、それぞれ約5割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

(女の子の場合)

【女性】

	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
計 (N=754)	1.3	32.1	24.3	39.8	3.1	15.0	36.2	0.3	0.8	15.5
10代 (N=11)	9.1	9.1	18.2	45.5	9.1	9.1	54.5	0.0	0.0	0.0
20代 (N=57)	1.8	14.0	28.1	45.6	0.0	19.3	57.9	0.0	1.8	5.3
30代 (N=97)	0.0	30.9	34.0	53.6	2.1	16.5	29.9	1.0	0.0	7.2
40代 (N=124)	3.2	44.4	26.6	37.9	4.0	21.8	33.1	0.0	0.0	9.7
50代 (N=114)	1.8	43.0	25.4	39.5	3.5	15.8	35.1	0.0	0.9	11.4
60代 (N=153)	0.0	36.6	23.5	42.5	3.3	15.0	41.2	0.0	0.7	8.5
70代以上 (N=198)	1.0	21.7	17.2	30.3	3.0	8.6	30.8	0.5	1.5	34.8

【男性】

	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
計 (N=554)	1.1	21.1	30.0	37.4	3.8	15.7	37.5	0.0	0.9	15.3
10代 (N=12)	0.0	25.0	41.7	58.3	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
20代 (N=44)	4.5	13.6	34.1	31.8	2.3	25.0	47.7	0.0	2.3	6.8
30代 (N=54)	0.0	20.4	44.4	48.1	0.0	20.4	37.0	0.0	0.0	5.6
40代 (N=84)	2.4	26.2	32.1	48.8	4.8	17.9	28.6	0.0	0.0	9.5
50代 (N=77)	1.3	29.9	29.9	33.8	3.9	22.1	44.2	0.0	1.3	7.8
60代 (N=119)	0.0	16.0	28.6	33.6	0.8	10.9	46.2	0.0	0.0	18.5
70代以上 (N=164)	0.6	20.1	23.2	32.3	6.1	11.0	30.5	0.0	1.8	26.2

(男の子の場合)

【女性】

	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
計 (N=754)	5.7	54.4	15.8	27.9	5.3	15.3	29.7	0.4	0.8	14.9
10代 (N=11)	0.0	36.4	18.2	27.3	9.1	18.2	36.4	0.0	0.0	9.1
20代 (N=57)	7.0	36.8	14.0	38.6	3.5	17.5	50.9	0.0	1.8	5.3
30代 (N=97)	7.2	59.8	19.6	33.0	7.2	19.6	25.8	1.0	0.0	5.2
40代 (N=124)	8.9	64.5	19.4	29.8	4.8	21.0	25.0	0.8	0.0	8.1
50代 (N=114)	6.1	65.8	14.0	36.0	4.4	15.8	23.7	0.0	0.9	10.5
60代 (N=153)	3.3	60.1	14.4	26.8	4.6	15.0	32.7	0.7	0.0	12.4
70代以上 (N=198)	4.5	40.4	14.1	17.2	6.1	8.6	29.3	0.0	2.0	31.3

【男性】

	社会的な地位を得る	経済的に自立した生活をする	人間性豊かな生活をする	家族や周りの人たちと円満に暮らす	社会に貢献する	本人の個性や才能を生かした生活をする	本人の意思に任せる	その他	わからない	無回答
計 (N=554)	5.4	45.8	18.8	24.4	8.8	16.1	33.8	0.0	0.7	12.8
10代 (N=12)	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0
20代 (N=44)	2.3	36.4	34.1	25.0	2.3	18.2	50.0	0.0	2.3	2.3
30代 (N=54)	5.6	48.1	24.1	29.6	9.3	18.5	35.2	0.0	0.0	5.6
40代 (N=84)	4.8	48.8	19.0	34.5	7.1	17.9	29.8	0.0	0.0	8.3
50代 (N=77)	2.6	51.9	22.1	14.3	10.4	22.1	45.5	0.0	0.0	6.5
60代 (N=119)	3.4	42.9	13.4	23.5	7.6	11.8	37.8	0.0	0.0	16.8
70代以上 (N=164)	7.9	47.0	14.6	20.7	10.4	13.4	23.8	0.0	1.8	21.3

問 21 学校の中で男女平等を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

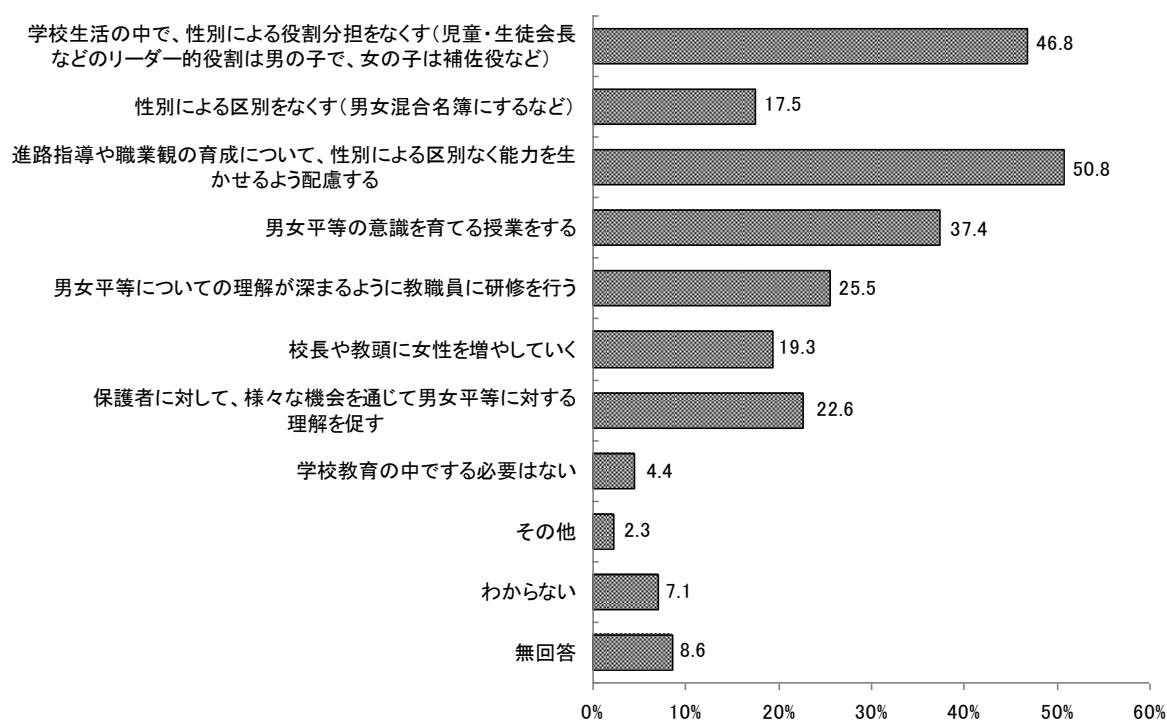
(〇はいくつでも)

「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」が50.8%、「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役など）」が46.8%となっています。

「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」は、女性が52.8%に対し、男性は48.0%、「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす」は、女性が48.8%に対し、男性は43.7%と、いずれも女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、「進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する」は、女性では「40代」～「60代」で約6割となっており、男性では「10代」、「50代」、「60代」で約6割となっています。また、「学校生活の中で、性別による役割分担をなくす」は、女性では「20代」～「60代」で5割以上、男性では「10代」、「50代」、「60代」で約5割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	役割をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役など）	学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（男女混合名簿にするなど）	性別による区別をなくす（男女混合名簿にするなど）	進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う	校長や教頭に女性を増やしていく	保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す	学校教育の中でする必要はない	その他	わからない	無回答
計（N＝754）	48.8	17.0	52.8	36.1	22.9	20.0	19.2	3.8	1.3	7.3	9.7	
10代（N＝11）	45.5	9.1	27.3	45.5	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
20代（N＝57）	52.6	31.6	40.4	29.8	24.6	31.6	19.3	5.3	5.3	15.8	1.8	
30代（N＝97）	57.7	12.4	54.6	40.2	22.7	32.0	10.3	3.1	4.1	6.2	1.0	
40代（N＝124）	57.3	15.3	56.5	41.1	25.0	24.2	21.0	4.0	1.6	5.6	2.4	
50代（N＝114）	54.4	17.5	57.9	38.6	31.6	25.4	25.4	4.4	0.0	4.4	6.1	
60代（N＝153）	51.0	19.6	63.4	39.9	24.2	16.3	26.1	5.2	0.7	7.2	5.9	
70代以上（N＝198）	33.3	14.1	43.4	27.8	15.2	8.1	14.6	2.5	0.0	8.6	26.3	

【男性】

	役割をなくす（児童・生徒会長などのリーダー的役割は男の子で、女の子は補佐役など）	学校生活の中で、性別による役割分担をなくす（男女混合名簿にするなど）	性別による区別をなくす（男女混合名簿にするなど）	進路指導や職業観の育成について、性別による区別なく能力を生かせるよう配慮する	男女平等の意識を育てる授業をする	男女平等についての理解が深まるように教職員に研修を行う	校長や教頭に女性を増やしていく	保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す	学校教育の中でする必要はない	その他	わからない	無回答
計（N＝554）	43.7	18.2	48.0	39.0	29.1	18.4	27.3	5.1	3.4	6.9	7.0	
10代（N＝12）	50.0	41.7	58.3	33.3	25.0	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	
20代（N＝44）	40.9	22.7	50.0	43.2	25.0	13.6	25.0	6.8	4.5	9.1	0.0	
30代（N＝54）	44.4	13.0	37.0	40.7	18.5	14.8	22.2	11.1	1.9	11.1	0.0	
40代（N＝84）	44.0	22.6	34.5	40.5	27.4	20.2	17.9	4.8	4.8	4.8	1.2	
50代（N＝77）	49.4	15.6	55.8	36.4	24.7	16.9	31.2	3.9	5.2	2.6	1.3	
60代（N＝119）	52.1	13.4	55.5	37.8	35.3	21.8	32.8	3.4	2.5	6.7	11.8	
70代以上（N＝164）	34.8	19.5	48.2	39.0	32.3	17.1	28.7	4.3	3.0	8.5	14.0	

E 就労について

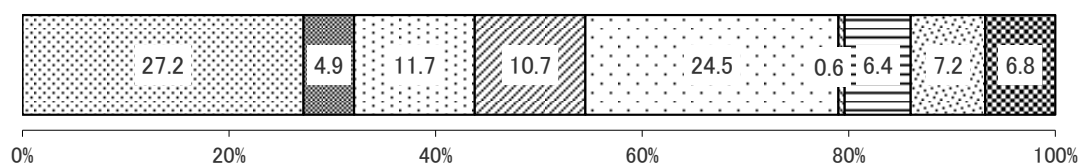
問 22 女性が仕事に就くことについて、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 27.2%と最も高く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が 24.5%となっています。

女性は「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 27.9%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が 28.0%に対し、男性は「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が 26.4%、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」が 19.9%と、いずれも女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、女性では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」は「30代」、「40代」で約4割、「50代」、「60代」で約3割となっています。また、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」は、「10代」が最も多く約6割、「50代」が約4割となっています。男性では「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」は「30代」で約4割、「40代」～「60代」で約3割となっています。また、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」は、すべての年代で約2～3割となっています。

<全体>

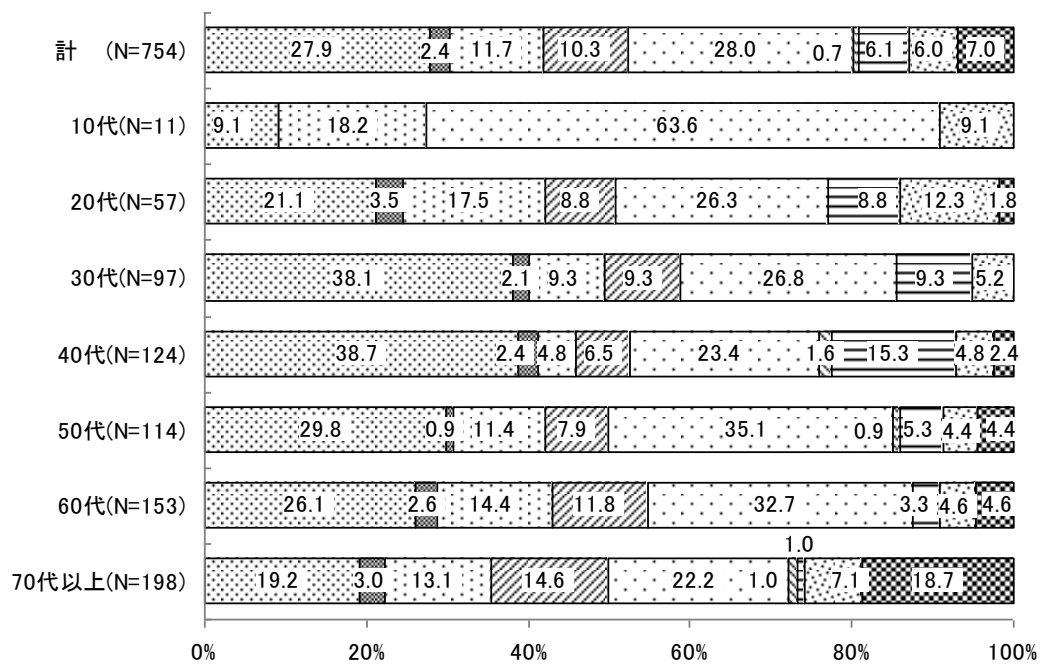


- ☐ 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- ☐ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
- ☐ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念する方がよい
- ☐ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
- ☐ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
- ☐ 仕事には就かない方がよい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

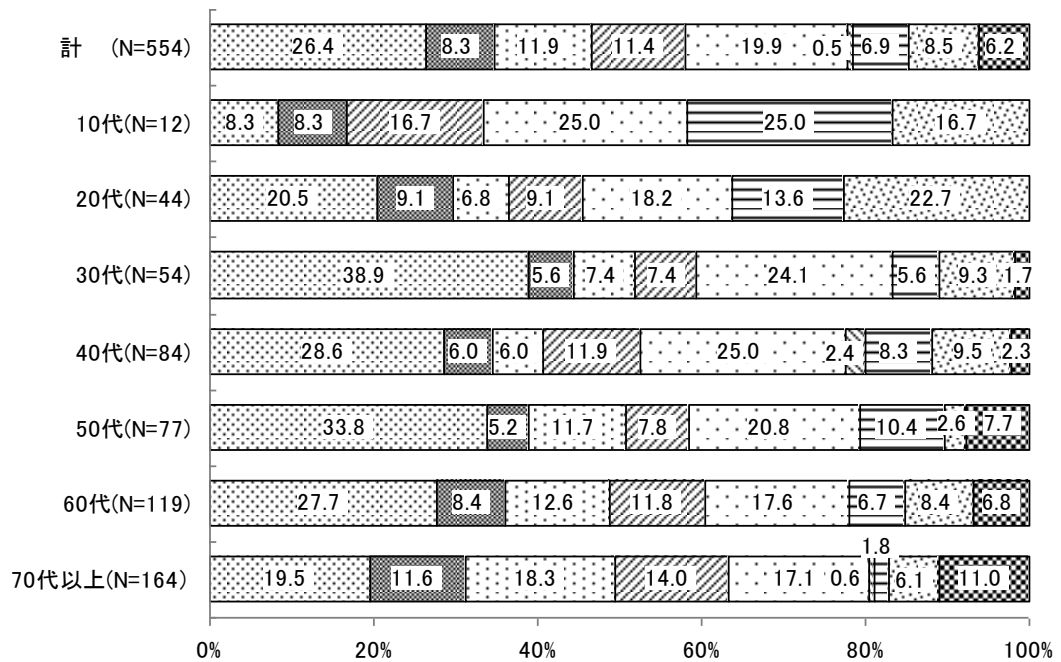
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- ☐ 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
- ☒ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
- ☐ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができた後家事や子育てに専念する方がよい
- ☒ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい
- ☐ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい
- ☒ 仕事には就かない方がよい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☒ 無回答

【女性全員、男性は「配偶者（パートナー）がおられる方」にお尋ねします。】

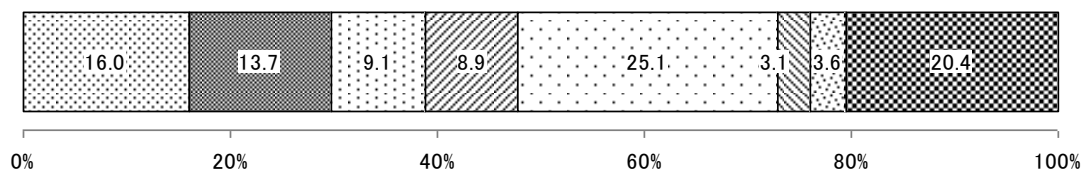
問 23 女性が仕事に就くことについて、実際はどれにあてはまりますか。女性のご自身について、男性は、配偶者（パートナー）についてお答えください。（○は1つ）

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が25.1%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が16.0%となっています。

女性は「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が25.1%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が18.2%となっています。男性は「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」が25.3%と最も高く、次いで「結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している（専念していた／専念するつもり）」が14.5%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」は「10代」～「50代」で約3～4割、「結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」は、「30代」が約4割となっています。男性では「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）」は「40代」～「50代」で約3～4割、「結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している（専念していた／専念するつもり）」は「30代」～「50代」で約2割となっています。

<全体>

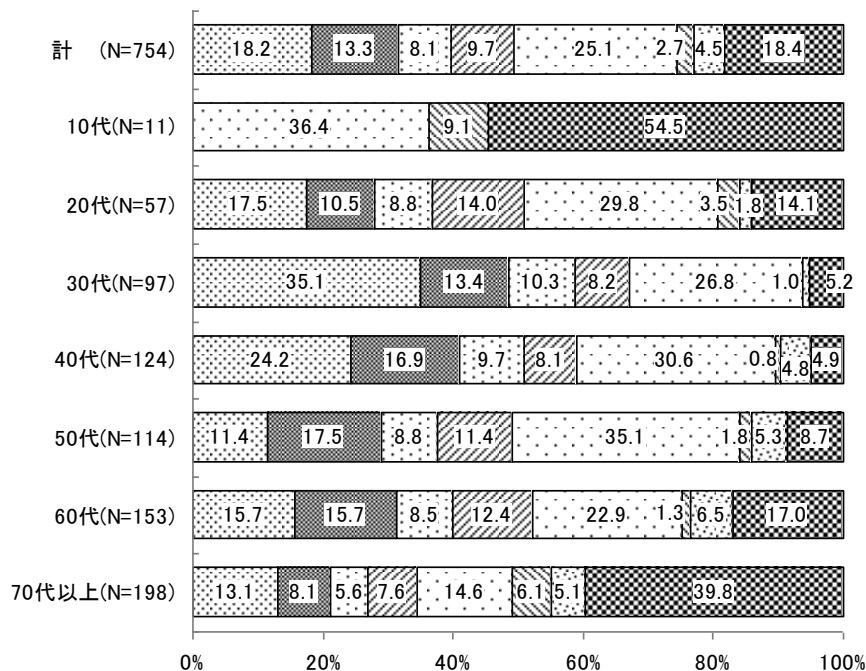


- ☐ 結婚や出産にかかわらず、仕事をしている（続けていた／続けるつもり）
- ☒ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している（専念していた／専念するつもり）
- ☐ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたらず家事や子育てに専念している（専念していた／専念するつもり）
- ☒ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）
- ☐ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている（続けていた／続けるつもり）
- ☒ 仕事に就いたことがない（就くつもりはない）
- ☐ その他
- ☒ 無回答

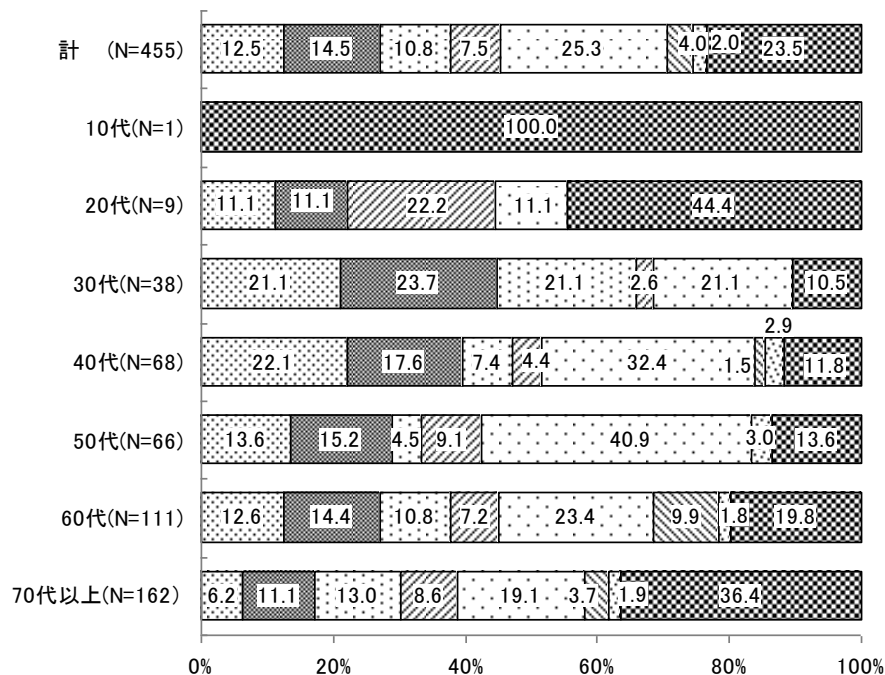
N = (1,209)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



□ 結婚や出産にかかわらず、仕事を続けている (続けていた/続けるつもり)

■ 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念している (専念していた/専念するつもり)

□ 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたなら家事や子育てに専念している (専念していた/専念するつもり)

□ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続けている (続けていた/続けるつもり)

□ 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続けている (続けていた/続けるつもり)

■ 仕事に就いたことはない (就くつもりはない)

□ その他

■ 無回答

【「働いていない女性の方」は「専業主婦」や「専業主夫」に該当する方です。】

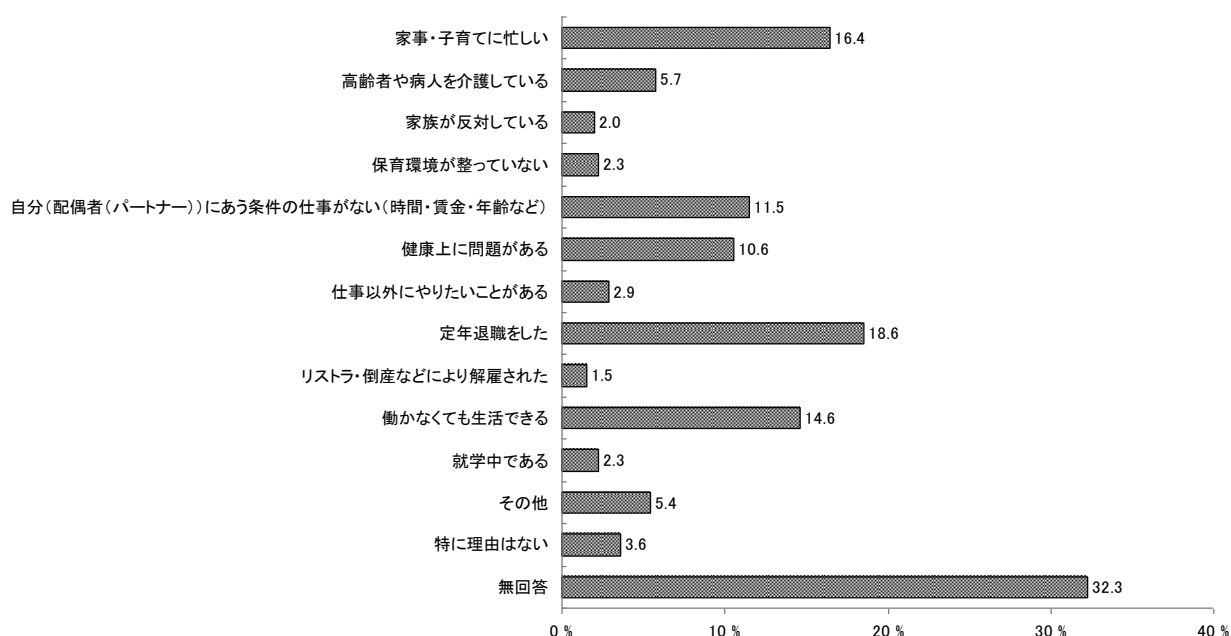
問 24 あなた（又は、あなたの配偶者（パートナー））が、収入を得る仕事に就いていないのはなぜですか。（〇はいくつでも）

「定年退職をした」が 18.6%と最も高く、次いで「家事・子育てに忙しい」が 16.4%となっています。

男女ともに、「定年退職をした」が最も高く、次いで「家事・子育てに忙しい」が高くなっていますが、「自分（配偶者（パートナー））にあう条件の仕事がない（時間・賃金・年齢など）」は女性が 13.0%に対し、男性は 5.3%、「働かなくても生活できる」は女性が 14.2%に対し、男性は 9.1%と、いずれも女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、男女ともに「家事・子育てに忙しい」は、「30 代」、「40 代」で高くなっています。

<全体>



(N=663)

<性別・年代別>

【女性】

	家事・子育てに忙しい	高齢者や病人を介護している	家族が反対している	保育環境が整っていない	自分（配偶者（パートナー））にあう条件の仕事がない（時間・賃金・年齢など）	健康上に問題がある	仕事以外にやりたいことがある	定年退職をした	リストラ・倒産などにより解雇された	働かなくても生活できる	就学中である	その他	特に理由はない	無回答
計（N=416）	14.9	6.7	3.1	2.6	13.0	12.3	2.9	17.1	2.2	14.2	3.4	6.0	3.1	33.2
10代（N=10）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	0.2	1.4
20代（N=24）	1.2	0.5	0.2	1.2	0.5	0.2	0.7	0.2	0.2	0.7	2.6	0.5	0.0	0.7
30代（N=37）	5.5	0.0	0.7	0.7	1.4	0.2	0.5	0.0	0.5	1.7	0.0	0.7	0.2	1.2
40代（N=35）	4.1	1.9	0.2	0.5	3.4	1.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.2	0.7	0.2	0.2
50代（N=37）	1.7	1.2	1.0	0.2	2.9	2.4	0.5	0.0	0.2	1.2	0.0	0.7	0.7	1.0
60代（N=105）	1.4	2.6	0.5	0.0	3.8	4.6	0.5	8.2	0.5	4.3	0.0	1.0	0.5	7.2
70代以上（N=168）	1.0	0.5	0.5	0.0	1.0	3.8	0.7	8.7	0.7	4.1	0.0	2.4	1.2	21.4

【男性】

	家事・子育てに忙しい	高齢者や病人を介護している	家族が反対している	保育環境が整っていない	自分（配偶者（パートナー））にあう条件の仕事がない（時間・賃金・年齢など）	健康上に問題がある	仕事以外にやりたいことがある	定年退職をした	リストラ・倒産などにより解雇された	働かなくても生活できる	就学中である	その他	特に理由はない	無回答
計（N=247）	11.3	2.4	0.0	1.0	5.3	4.6	1.7	12.5	0.2	9.1	0.2	2.6	2.6	18.3
10代（N=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N=1）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代（N=17）	2.4	0.0	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.0
40代（N=25）	3.6	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.2	0.0	1.0	0.2	0.0	0.5	0.5
50代（N=13）	1.0	0.2	0.0	0.0	1.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2	0.0	1.0
60代（N=71）	1.9	0.5	0.0	0.0	2.2	2.2	0.5	3.6	0.2	5.0	0.0	0.7	1.2	4.3
70代以上（N=120）	2.2	1.2	0.0	0.0	1.0	1.7	1.0	8.7	0.0	2.4	0.0	1.4	1.0	11.5

【働いている女性の方、男性の方にお尋ねします。】

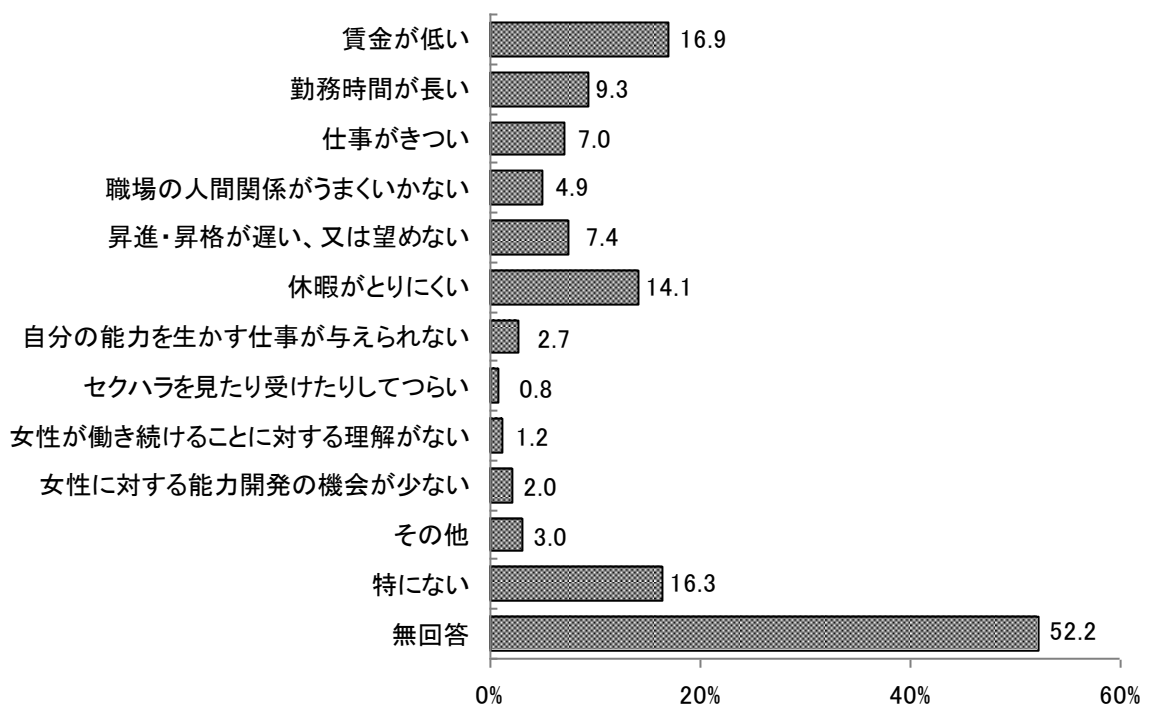
問 25 あなたは職場で悩んでいることや不安なことがありますか。(〇はいくつでも)

「賃金が低い」が 16.9%と最も高く、次いで「特にない」が 16.3%、「休暇がとりにくい」が 14.1%となっています。

男女ともに、「賃金が低い」、「特にない」、「休暇がとりにくい」が高く、性別による大きな差異はありません。

性別・年代別でみると、「賃金が低い」は、男女ともに「20代」～「40代」で約4～5割、「特にない」は、女性では「30代」～「60代」で、男性では、「50代」以上の年代で約3～4割となっています。また、「休暇がとりにくい」は、男女ともに「40代」以下の年代で3割を超えています。

<全体>



(N=651)

<性別・年代別>

【女性】

	賃金が低い	勤務時間が長い	仕事がつい	職場の人間関係がうまくいかない	昇進・昇格が遅い、又は望めない	休暇がとりにくい	自分の能力を生かす仕事を与えられない	セクハラを見たり受けたりしてつらい	女性が働き続けることに対する理解がない	女性に対する能力開発の機会が少ない	その他	特にない	無回答
計（N=320）	31.9	15.3	13.8	10.6	12.5	26.3	5.9	2.5	3.1	4.4	5.9	28.4	12.8
10代（N=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N=34）	52.9	35.3	17.6	26.5	14.7	38.2	5.9	2.9	8.8	8.8	2.9	17.6	5.9
30代（N=60）	40.0	15.0	18.3	3.3	16.7	31.7	6.7	1.7	5.0	5.0	8.3	25.0	3.3
40代（N=84）	35.7	13.1	13.1	13.1	19.0	31.0	9.5	3.6	2.4	6.0	10.7	28.6	3.6
50代（N=73）	30.1	16.4	16.4	13.7	9.6	24.7	5.5	4.1	1.4	4.1	4.1	38.4	5.5
60代（N=47）	12.8	8.5	8.5	4.3	2.1	12.8	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	34.0	31.9
70代以上（N=21）	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	71.4

【男性】

	賃金が低い	勤務時間が長い	仕事がつい	職場の人間関係がうまくいかない	昇進・昇格が遅い、又は望めない	休暇がとりにくい	自分の能力を生かす仕事を与えられない	セクハラを見たり受けたりしてつらい	女性が働き続けることに対する理解がない	女性に対する能力開発の機会が少ない	その他	特にない	無回答
計（N=330）	31.8	20.3	11.8	8.2	15.8	26.7	4.5	0.6	0.9	1.8	4.5	25.2	18.5
10代（N=2）	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
20代（N=29）	37.9	27.6	10.3	10.3	27.6	48.3	10.3	0.0	0.0	3.4	0.0	17.2	13.8
30代（N=49）	51.0	36.7	16.3	10.2	24.5	38.8	6.1	2.0	2.0	0.0	4.1	22.4	2.0
40代（N=80）	35.0	30.0	21.3	10.0	22.5	31.3	5.0	0.0	1.3	5.0	5.0	21.3	11.3
50代（N=75）	34.7	17.3	10.7	12.0	10.7	26.7	6.7	1.3	0.0	0.0	5.3	28.0	10.7
60代（N=59）	23.7	3.4	1.7	1.7	8.5	11.9	0.0	0.0	0.0	1.7	5.1	27.1	37.3
70代以上（N=36）	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	36.1	44.4

【働いている女性の方、男性の方にお尋ねします。】

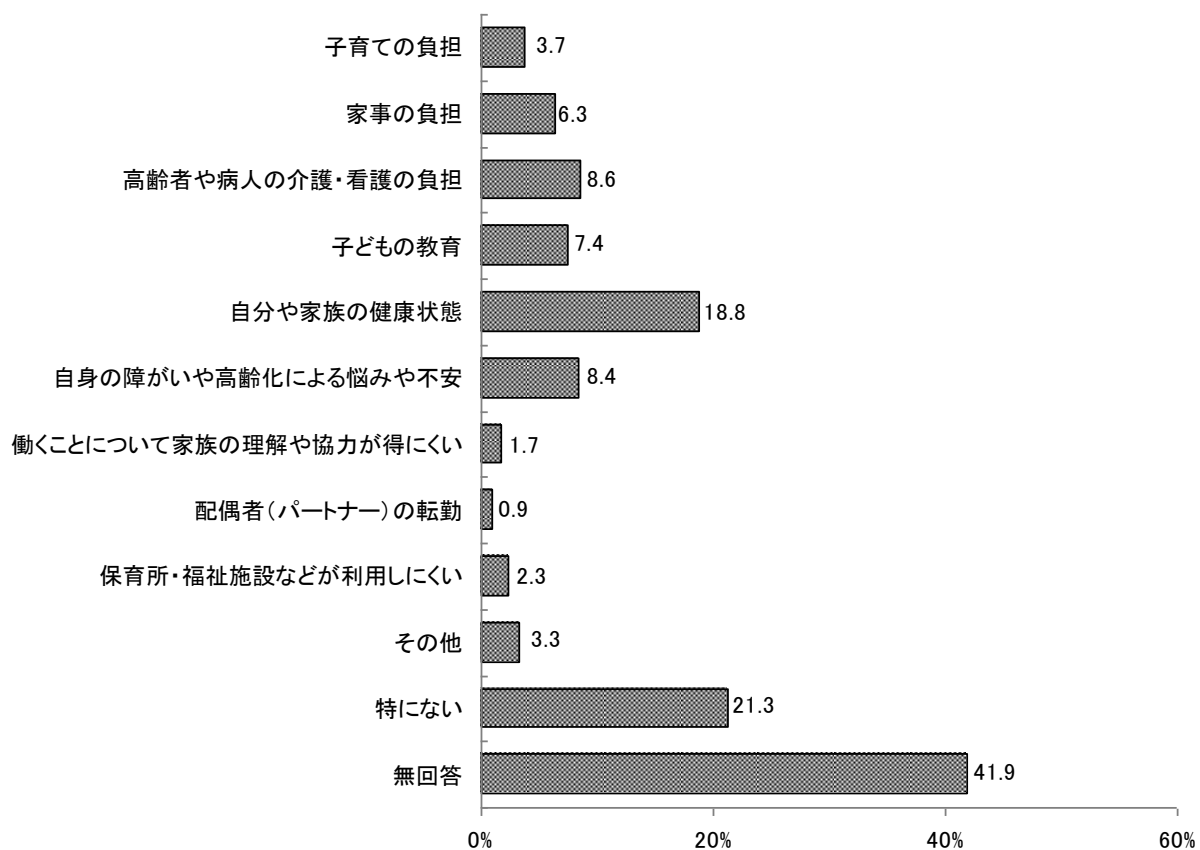
問 26 あなたは職場以外で悩んでいることや不安なことがありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が21.3%と最も高く、次いで「自分や家族の健康状態」が18.8%となっています。

女性は「特にない」が24.4%、「自分や家族の健康状態」が24.1%に対し、男性は「特にない」が35.5%、「自分や家族の健康状態」が25.2%となっており、いずれも男性が女性を上回っています。また、「家事の負担」は、女性が19.1%に対し、男性は3.3%と、女性が男性を大きく上回っています。

性別・年代別でみると、女性では「特にない」が「10代」、「20代」で高く、「自分や家族の健康状態」が「30代」～「60代」で約2～3割となっています。また、「家事の負担」が「20代」～「40代」が約2～3割となっています。男性では「特にない」が、「10代」、「20代」で高く、「自分や家族の健康状態」が「40代」～「70代以上」で約3割となっています。また、「家事の負担」が「30代」～「50代」で1割未満となっています。

<全体>



(N=651)

<性別・年代別>

【女性】

	子育ての負担	家事の負担	高齢者や病人の介護・看護の負担	子どもの教育	自分や家族の健康状態	自身の障がいや高齢化による悩みや不安	働くことについて家族の理解や協力が得にくい	配偶者（パートナー）の転勤	保育所・福祉施設などが利用しにくい	その他	特にない	無回答
計（N=320）	10.3	19.1	15.0	13.8	24.1	10.3	3.8	2.5	2.5	5.6	24.4	14.4
10代（N=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20代（N=34）	8.8	23.5	8.8	2.9	14.7	5.9	0.0	5.9	2.9	14.7	41.2	8.8
30代（N=60）	18.3	26.7	10.0	16.7	23.3	6.7	6.7	1.7	10.0	6.7	26.7	8.3
40代（N=84）	16.7	28.6	15.5	28.6	29.8	10.7	4.8	3.6	1.2	3.6	20.2	9.5
50代（N=73）	6.8	12.3	27.4	9.6	24.7	13.7	4.1	2.7	0.0	5.5	21.9	5.5
60代（N=47）	0.0	6.4	8.5	4.3	25.5	10.6	2.1	0.0	0.0	4.3	23.4	29.8
70代以上（N=21）	0.0	4.8	9.5	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1

【男性】

	子育ての負担	家事の負担	高齢者や病人の介護・看護の負担	子どもの教育	自分や家族の健康状態	自身の障がいや高齢化による悩みや不安	働くことについて家族の理解や協力が得にくい	配偶者（パートナー）の転勤	保育所・福祉施設などが利用しにくい	その他	特にない	無回答
計（N=330）	4.5	3.3	10.3	11.2	25.2	11.2	2.1	0.9	3.6	3.9	35.5	16.4
10代（N=2）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
20代（N=29）	3.4	0.0	0.0	0.0	13.8	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	62.1	10.3
30代（N=49）	10.2	6.1	6.1	16.3	18.4	8.2	2.0	0.0	12.2	4.1	38.8	10.2
40代（N=80）	7.5	3.8	13.8	23.8	28.8	10.0	5.0	2.5	3.8	7.5	33.8	10.0
50代（N=75）	1.3	6.7	22.7	13.3	26.7	12.0	0.0	1.3	1.3	5.3	26.7	13.3
60代（N=59）	1.7	0.0	5.1	0.0	30.5	15.3	1.7	0.0	1.7	0.0	35.6	22.0
70代以上（N=36）	2.8	0.0	0.0	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	30.6	41.7

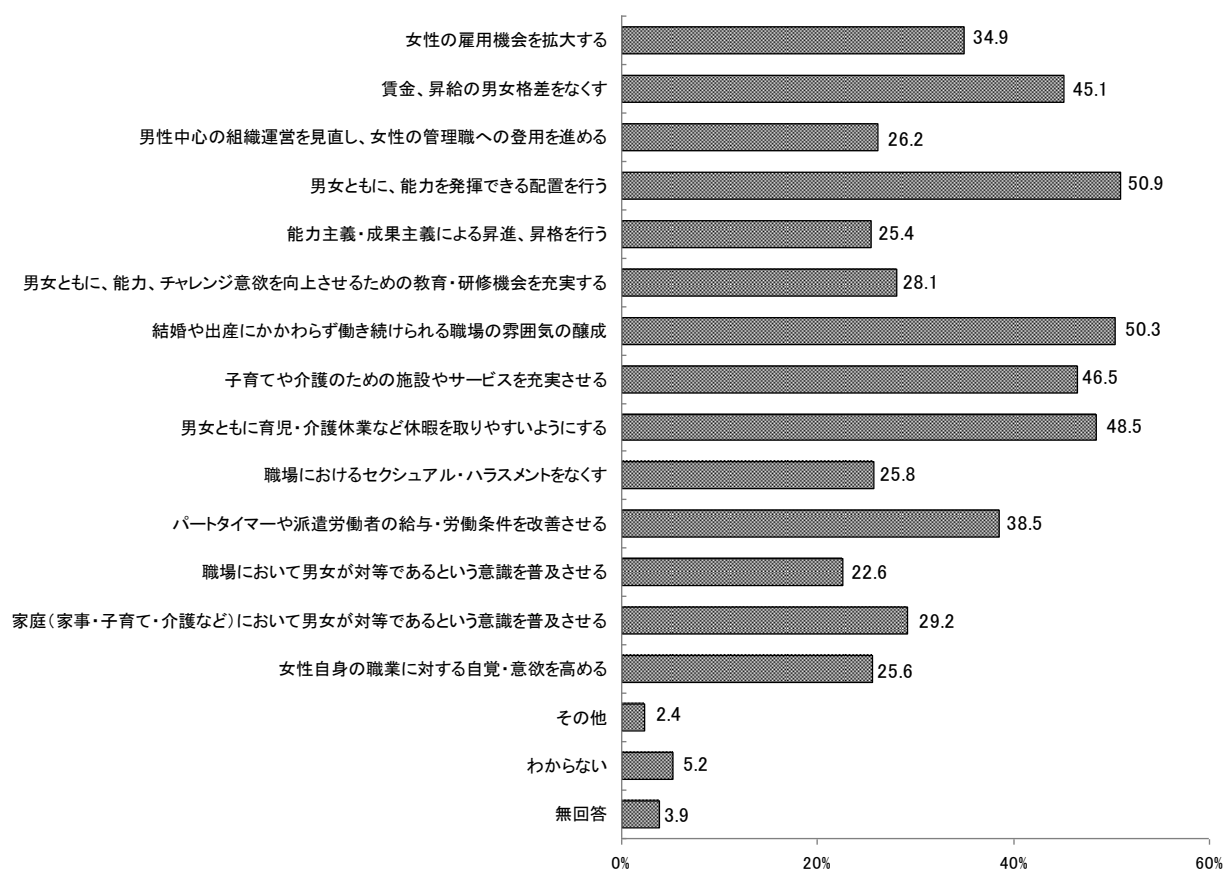
問 27 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」が50.9%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」が50.3%となっています。

女性は「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」が53.2%と最も高く、「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」が52.8%となっています。男性は「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」が53.2%と最も高く、次いで「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」が46.8%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」が「20代」～「60代」で5割以上となっており、また、「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」が「30代」で約7割のほか、「20代」、「40代」、「50代」で6割以上となっています。男性では「男女ともに、能力を発揮できる配置を行う」が「10代」、「20代」で6割以上、「30代」以上の年代で約5～6割となっています。また、「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成」が「10代」、「20代」で約6～7割のほか、すべての年代で4割以上となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	女性の雇用機会を拡大する	賃金、昇給の男女格差をなくす	男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	男女ともに、能力を発揮できる配置を行う	能力主義・成果主義による昇進、昇格を行う	男女ともに、能力、チャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する	結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気	子育てや介護のための施設やサービスを充実させる	男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる	職場において男女が対等であるという意識を普及させる	職場において男女が対等であるという意識を普及させる	家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる	女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	その他	わからない	無回答
計(N=754)	35.5	47.5	26.5	49.3	22.3	26.5	53.2	50.5	52.8	26.9	40.6	21.4	34.9	25.7	2.4	4.6	4.1		
10代(N=11)	27.3	54.5	27.3	45.5	9.1	18.2	45.5	36.4	54.5	36.4	9.1	18.2	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1		
20代(N=57)	29.8	73.7	33.3	50.9	24.6	26.3	63.2	49.1	64.9	29.8	38.6	29.8	31.6	24.6	5.3	3.5	0.0		
30代(N=97)	30.9	55.7	24.7	50.5	29.9	26.8	74.2	70.1	67.0	26.8	40.2	23.7	45.4	20.6	4.1	4.1	1.0		
40代(N=124)	36.3	54.8	27.4	51.6	31.5	25.8	63.7	54.8	52.4	33.1	38.7	24.2	50.8	33.1	1.6	2.4	0.8		
50代(N=114)	40.4	54.4	38.6	54.4	24.6	27.2	60.5	57.9	55.3	25.4	39.5	23.7	42.1	28.9	2.6	4.4	1.8		
60代(N=153)	41.8	40.5	24.2	52.3	17.6	31.4	51.6	55.6	59.5	27.5	54.2	19.6	29.4	26.8	0.7	2.0	2.0		
70代以上(N=198)	31.8	32.3	19.7	41.9	15.2	23.2	30.8	31.3	35.9	22.2	34.3	16.2	21.2	22.7	2.5	8.6	11.6		

【男性】

	女性の雇用機会を拡大する	賃金、昇給の男女格差をなくす	男性中心の組織運営を見直し、女性の管理職への登用を進める	男女ともに、能力を発揮できる配置を行う	能力主義・成果主義による昇進、昇格を行う	男女ともに、能力、チャレンジ意欲を向上させるための教育・研修機会を充実する	結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気	子育てや介護のための施設やサービスを充実させる	男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	職場におけるセクシュアル・ハラスメントをなくす	パートタイマーや派遣労働者の給与・労働条件を改善させる	職場において男女が対等であるという意識を普及させる	職場において男女が対等であるという意識を普及させる	家庭（家事・子育て・介護など）において男女が対等であるという意識を普及させる	女性自身の職業に対する自覚・意欲を高める	その他	わからない	無回答
計(N=554)	33.9	42.1	26.0	53.2	29.8	30.3	46.8	41.3	43.0	24.4	36.1	24.5	21.7	25.6	2.5	5.6	3.4		
10代(N=12)	41.7	58.3	25.0	66.7	50.0	33.3	66.7	41.7	66.7	58.3	41.7	41.7	25.0	41.7	0.0	16.7	0.0		
20代(N=44)	22.7	31.8	20.5	63.6	27.3	27.3	56.8	34.1	52.3	22.7	25.0	29.5	15.9	18.2	2.3	4.5	0.0		
30代(N=54)	24.1	31.5	16.7	48.1	37.0	27.8	44.4	50.0	44.4	22.2	29.6	22.2	20.4	18.5	1.9	3.7	0.0		
40代(N=84)	31.0	46.4	27.4	48.8	28.6	23.8	50.0	39.3	44.0	25.0	38.1	19.0	25.0	21.4	4.8	6.0	1.2		
50代(N=77)	31.2	44.2	27.3	57.1	29.9	32.5	48.1	42.9	37.7	20.8	32.5	23.4	20.8	31.2	5.2	5.2	1.3		
60代(N=119)	31.1	44.5	30.3	52.1	31.1	30.3	46.2	47.9	45.4	22.7	37.0	25.2	20.2	27.7	2.5	5.0	5.0		
70代以上(N=164)	44.5	42.1	26.2	52.4	26.2	34.1	41.5	36.0	38.4	25.6	40.9	25.6	23.2	26.8	0.6	6.1	6.7		

F 仕事と生活の調和について

問 28 あなたは、生活の中で仕事、家庭や地域活動、個人の生活で何を優先しますか。あなたの希望と現実（現状）に最も近いものをそれぞれお答えください。（〇はそれぞれ 1 つずつ）

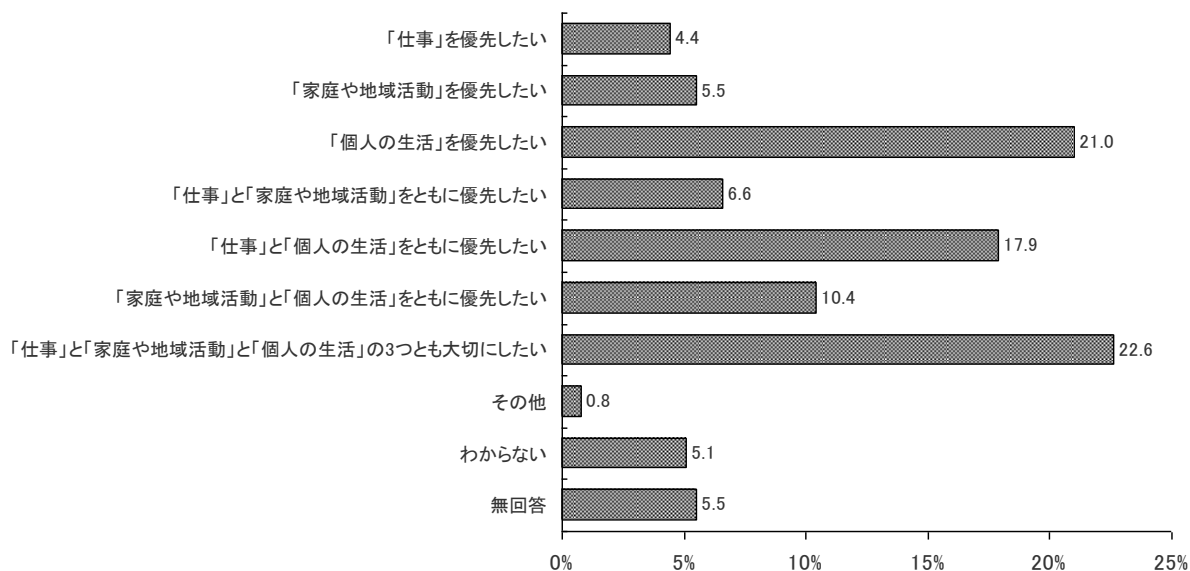
（１）希望

『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の３つとも大切にしたい』が 22.6%と最も高く、次いで『「個人の生活」を優先したい』が 21.0%となっています。

『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の３つとも大切にしたい』は、女性が 22.8%に対し、男性は 22.6%、『「個人の生活」を優先したい』は、女性が 21.5%に対し、男性は 20.4%と、いずれも女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、女性では『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の３つとも大切にしたい』が「10 代」、「30 代」、「40 代」で約 3～4 割、他の年代でも約 2 割となっています。また、『「個人の生活」を優先したい』がすべての年代で約 2～3 割となっています。男性では『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の３つとも大切にしたい』が「40 代」で約 3 割、他の年代でも約 2 割となっています。また、『「個人の生活」を優先したい』が「10 代」、「20 代」、「60 代」で約 3 割となっています。

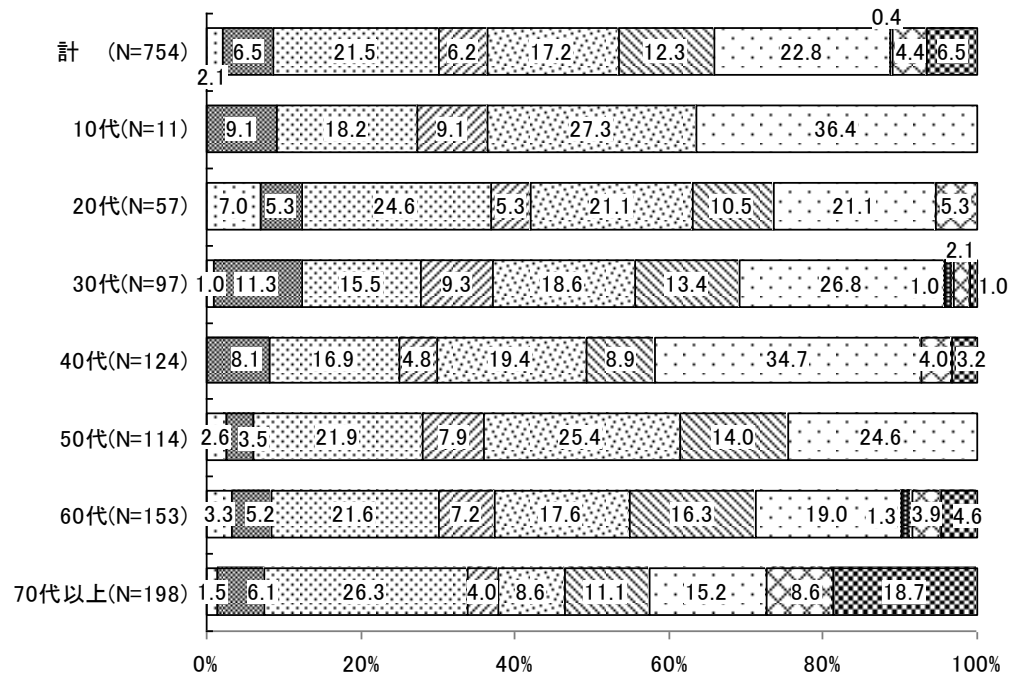
<全体>



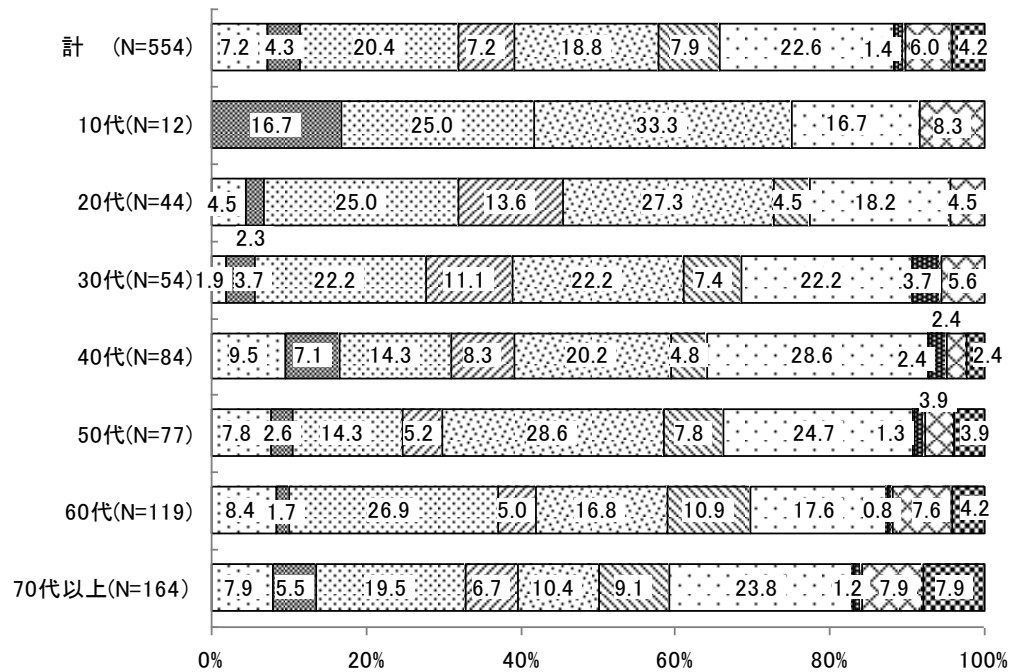
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- ☐ 「仕事」を優先したい
- ☐ 「家庭や地域活動」を優先したい
- ☐ 「個人の生活」を優先したい
- ☐ 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先したい
- ☐ 「仕事」と「個人の生活」をともに優先したい
- ☐ 「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先したい
- ☐ 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

（２）現実（現状）

『「仕事」を優先している』が24.2%と最も高く、次いで『「個人の生活」を優先している』が20.4%となっています。

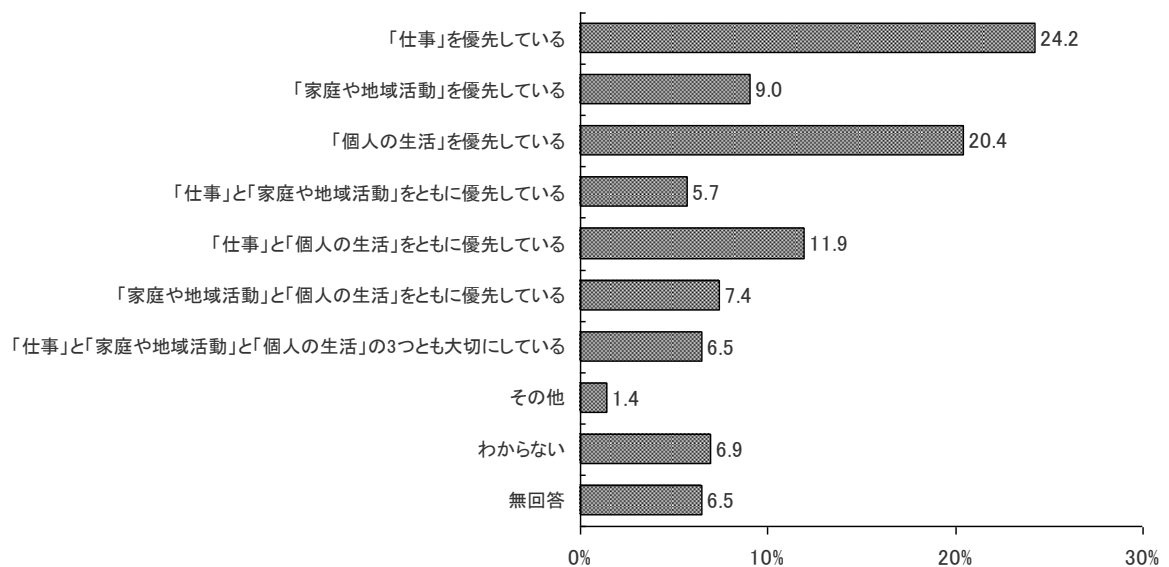
『「仕事」を優先している』は、女性が15.3%に対し、男性は36.1%と、男性が女性を大きく上回っており、『「個人の生活」を優先している』は、女性が23.1%に対し、男性は17.0%と女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、女性では『「仕事」を優先している』が、「20代」で約3割となっており、『「個人の生活」を優先している』が「60代」、「70代」で約3割となっています。男性では『「仕事」を優先している』が「30代」～「50代」で5割以上、『「個人の生活」を優先している』が「10代」が5割、「20代」、「70代」が約3割となっています。

希望と現実（現状）の比較

希望では、『「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしたい』が22.6%と最も高くなっているのに対し、現実（現状）では、『「仕事」を優先している』が24.2%と最も高くなっており、希望と現実（現状）にギャップが生じています。また、『「個人の生活」を優先したい（している）』は、男女ともに、2番目に高くなっており、希望と現実（現状）が合致しています。

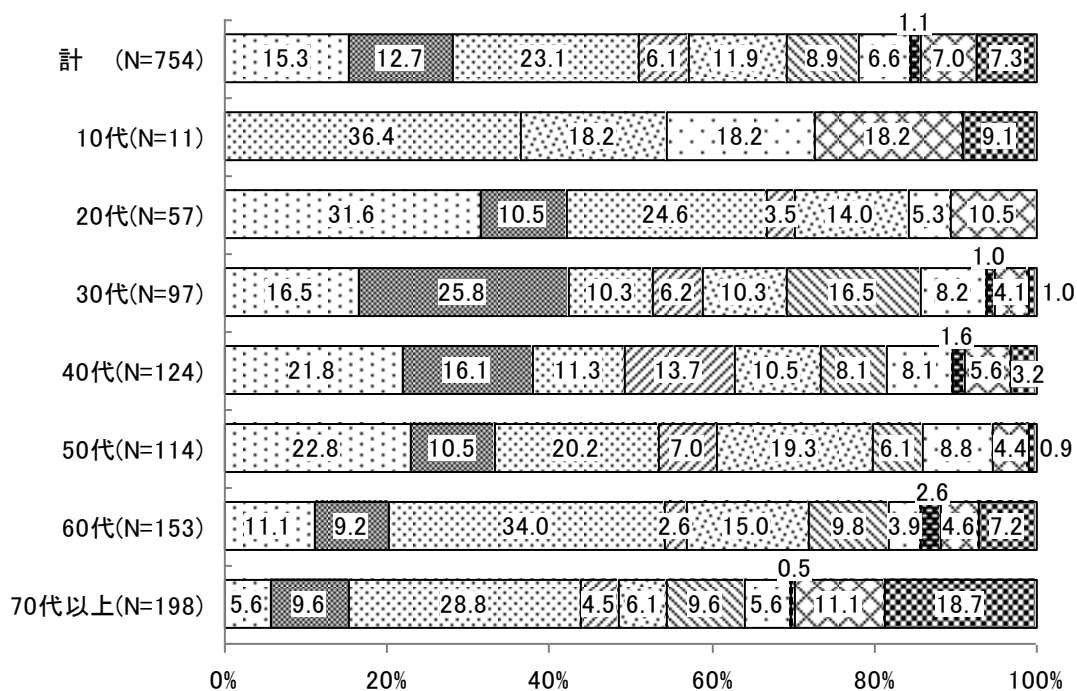
<全体>



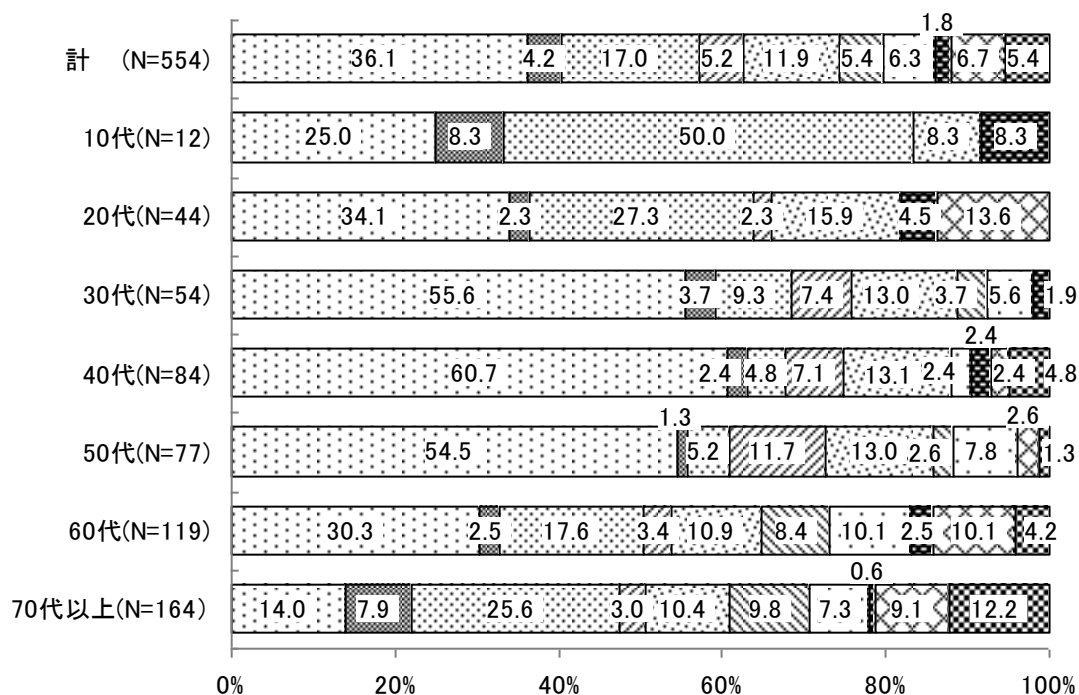
(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】



【男性】



- ☐ 「仕事」を優先している
- ☒ 「家庭や地域活動」を優先している
- ☐ 「個人の生活」を優先している
- ☒ 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先している
- ☐ 「仕事」と「家庭や地域活動」をともに優先している
- ☒ 「家庭や地域活動」と「個人の生活」をともに優先している
- ☐ 「仕事」と「家庭や地域活動」と「個人の生活」の3つとも大切にしている
- ☒ その他
- ☐ わからない
- ☒ 無回答

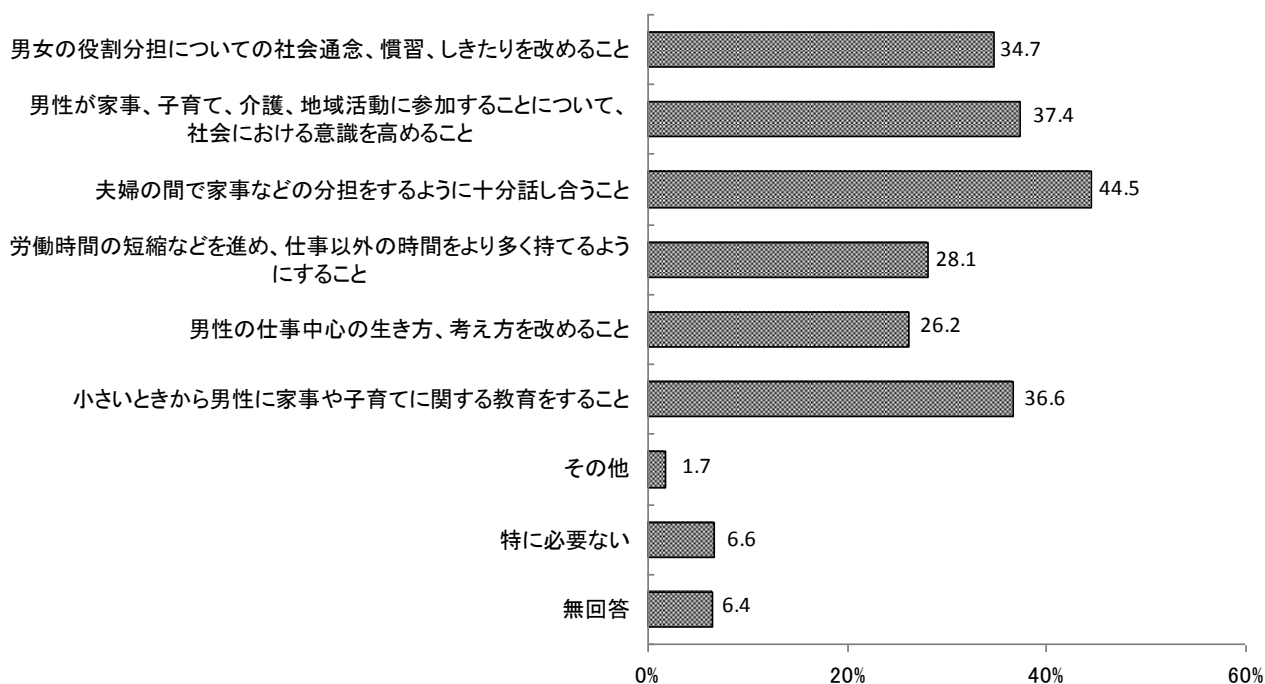
問 29 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が44.5%、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が37.4%、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が36.6%となっています。

女性は「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が47.7%、「小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること」が43.5%となっています。男性は「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が40.3%、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」と「男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること」が、ともに32.1%となっています。

性別・年代別でみると、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと」が、女性では「60代」で約6割、「10代」、「20代」、「50代」で約5割となっており、男性では「10代」、「50代」で約5割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること	夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること	その他	特に必要ない	無回答
計（N＝754）	36.7	41.4	47.7	26.9	27.9	43.5	0.9	4.6	6.6
10代（N＝11）	36.4	36.4	54.5	9.1	18.2	36.4	0.0	0.0	9.1
20代（N＝57）	29.8	45.6	54.4	38.6	31.6	33.3	1.8	8.8	0.0
30代（N＝97）	35.1	50.5	40.2	51.5	27.8	49.5	0.0	4.1	1.0
40代（N＝124）	45.2	50.0	38.7	32.3	32.3	56.5	1.6	4.0	3.2
50代（N＝114）	49.1	46.5	54.4	30.7	35.1	53.5	2.6	2.6	0.9
60代（N＝153）	37.9	41.8	57.5	16.3	32.7	43.8	0.0	2.0	5.2
70代以上（N＝198）	26.3	27.3	43.4	15.2	16.7	29.8	0.5	7.6	17.7

【男性】

	無回答	特に必要ない	その他	小さいときから男性に家事や子育てに関する教育をすること	男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと	男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加することについて、社会における意識を高めること	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
計（N=554）	6.0	9.0	2.7	27.4	24.2	30.0	40.3	32.1	32.1
10代（N=12）	8.3	16.7	0.0	25.0	8.3	33.3	50.0	50.0	16.7
20代（N=44）	0.0	9.1	2.3	29.5	29.5	34.1	40.9	34.1	34.1
30代（N=54）	0.0	9.3	1.9	27.8	16.7	53.7	38.9	35.2	18.5
40代（N=84）	7.1	11.9	3.6	19.0	25.0	34.5	31.0	28.6	26.2
50代（N=77）	2.6	5.2	2.6	31.2	19.5	35.1	49.4	42.9	42.9
60代（N=119）	7.6	9.2	2.5	32.8	24.4	25.2	37.8	26.1	35.3
70代以上（N=164）	9.1	8.5	3.0	25.6	28.0	19.5	42.1	30.5	32.9

G あらゆる暴力について

問 30 あなたは、配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者を含む）から、次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。女性も男性も、以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。

(1) あなたがされたこと（○はいくつでも）

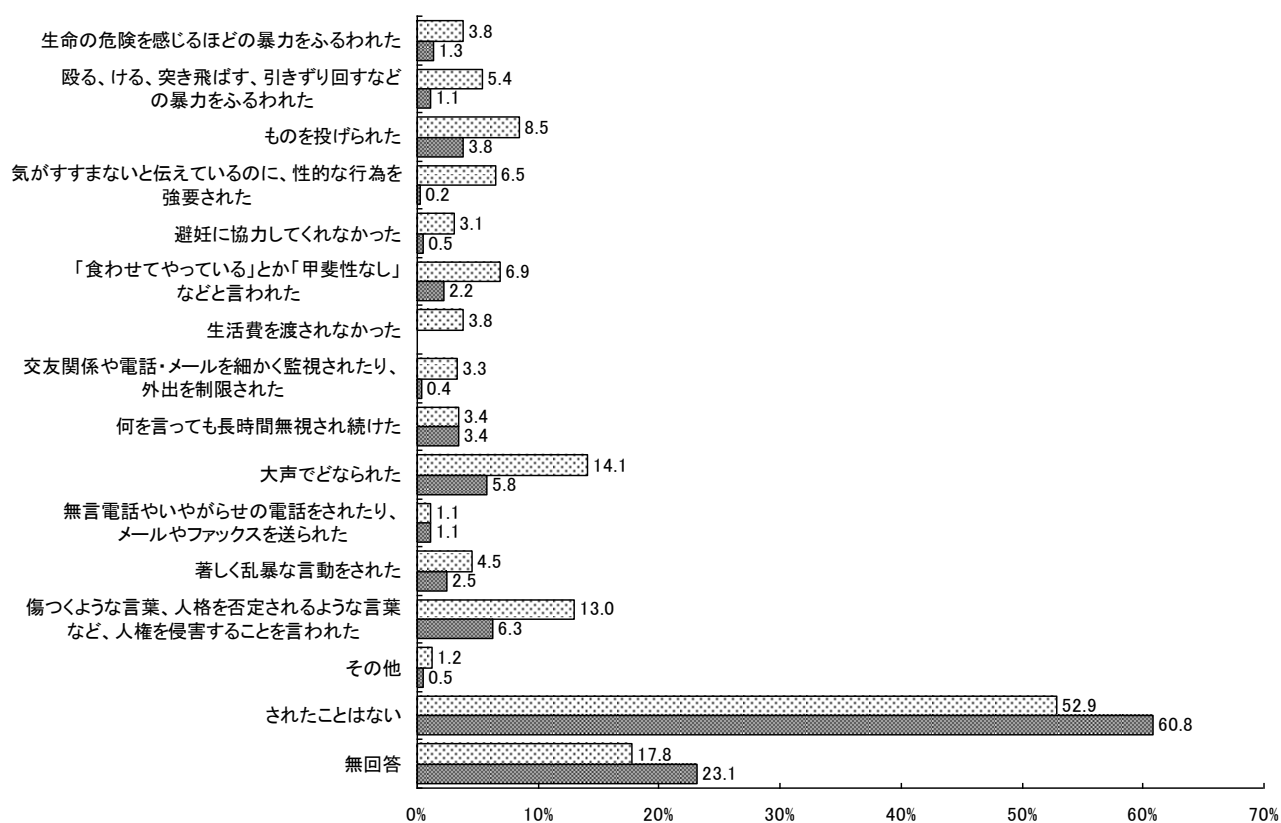
女性は「されたことはない」が52.9%で、「されたこと」は「大声でどなられた」が14.1%、「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が13.0%となっています。男性は「されたことはない」が60.8%で、「されたこと」は「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が6.3%、「大声でどなられた」が5.8%となっています。

DVを「されたことがある」は女性29.3%で、「されたことがある」は男性16.1%となり、女性が男性を大きく上回っています。また、「されたこと」のほぼすべての項目において、女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、女性では「大声でどなられた」が、「50代」で23.7%と最も高く、「20代」～「40代」で約2割となっています。

男性では「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が「30代」で14.8%と最も高くなっており、「大声でどなられた」が、「20代」～「50代」で約1割となっています。

<性別>



上段：女性（N=754）

下段：男性（N=554）

	されたことがある	されたことはない	無回答
女性	29.3%	52.9%	17.8%
男性	16.1%	60.8%	23.1%

(N=1,308)

※上記の「されたことがある」は、問30の(1)あなたがされたことの選択項目(1～14)の合計値

<性別・年代別>

【女性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるわれた	ものを投げられた	気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された	避妊に協力してくれなかった	「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言われた	生活費を渡されなかった	交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された	何を言っても長時間無視され続けた	大声でどなられた	無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやファックスを送られた	著しく乱暴な言動をされた	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言われた	その他	されたことはない	無回答
計 (N=754)	3.8	5.4	8.5	6.5	3.1	6.9	3.8	3.3	3.4	14.1	1.1	4.5	13.0	1.2	52.9	17.8
10代 (N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	18.2
20代 (N=57)	3.5	15.8	8.8	10.5	7.0	3.5	1.8	8.8	0.0	15.8	3.5	8.8	10.5	1.8	57.9	17.5
30代 (N=97)	3.1	4.1	7.2	3.1	1.0	3.1	1.0	4.1	3.1	16.5	1.0	4.1	15.5	1.0	61.9	6.2
40代 (N=124)	4.0	6.5	12.1	8.9	5.6	16.1	7.3	4.8	5.6	18.5	0.8	5.6	20.2	3.2	54.0	8.1
50代 (N=114)	6.1	9.6	10.5	7.9	2.6	13.2	6.1	6.1	4.4	23.7	1.8	11.4	24.6	1.8	44.7	13.2
60代 (N=153)	3.3	3.3	9.2	5.9	2.6	5.2	4.6	0.7	2.0	9.8	1.3	1.3	8.5	0.0	57.5	17.0
70代以上 (N=198)	3.5	2.0	5.6	5.6	2.0	2.0	2.0	1.0	4.0	8.1	0.0	1.5	5.6	0.5	46.0	32.8

【男性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるわれた	ものを投げられた	気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された	避妊に協力してくれなかった	「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言われた	生活費を渡されなかった	交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された	何を言っても長時間無視され続けた	大声でどなられた	無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやファックスを送られた	著しく乱暴な言動をされた	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言われた	その他	されたことはない	無回答
計 (N=554)	1.3	1.1	3.8	0.2	0.5	2.2	0.0	0.4	3.4	5.8	1.1	2.5	6.3	0.5	60.8	23.1
10代 (N=12)	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	58.3	25.0
20代 (N=44)	0.0	2.3	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	4.5	0.0	75.0	18.2
30代 (N=54)	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	9.3	0.0	3.7	14.8	0.0	64.8	11.1
40代 (N=84)	3.6	1.2	7.1	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	3.6	8.3	2.4	4.8	4.8	1.2	72.6	10.7
50代 (N=77)	0.0	2.6	3.9	0.0	1.3	2.6	0.0	1.3	10.4	7.8	1.3	3.9	9.1	0.0	49.4	26.0
60代 (N=119)	0.0	0.8	1.7	0.0	0.8	1.7	0.0	0.0	1.7	3.4	0.8	0.8	5.0	1.7	62.2	25.2
70代以上 (N=164)	1.2	0.0	1.8	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	2.4	4.3	1.2	1.8	4.3	0.0	54.3	31.7

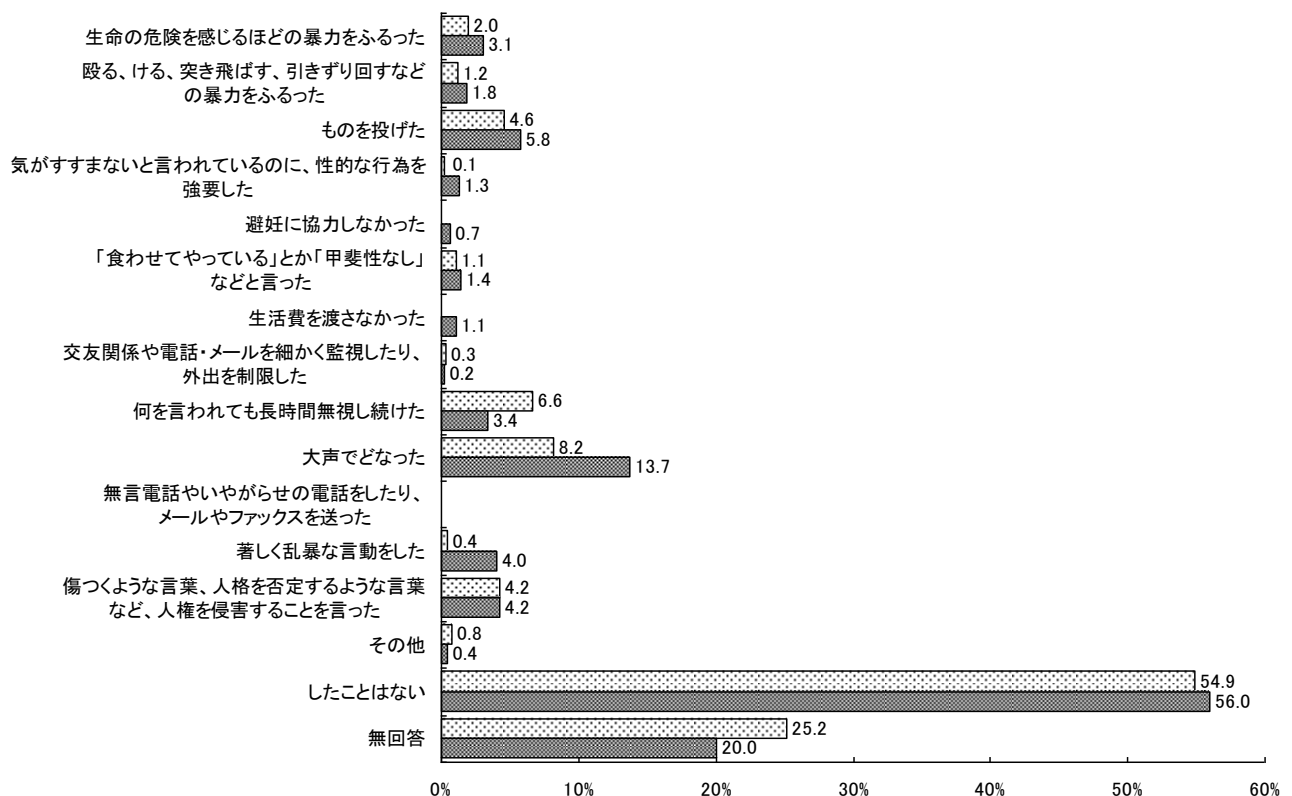
(2) あなたがしたこと（○はいくつでも）

女性は「したことはない」が 54.9%で、「したこと」では「大声でどなった」が 8.2%、「何を言われても長時間無視し続けた」が 6.6%となっています。男性は「したことはない」が 56.0%で、「したこと」では「大声でどなった」が 13.7%、「ものを投げた」が 5.8%となっています。

DVを「したことがある」女性は 19.9%で、「したことがある」男性は 24.0%と、男性が女性を上回っています。また、「したこと」のほぼすべての項目において、男性が女性を上回っています。

性別・年代別にみると、女性では「大声でどなった」が「40代」で 14.5%と最も高く、「何を言われても長時間無視し続けた」が、「60代」で 10.5%となっています。男性では「大声でどなった」が「10代」が 25.0%、「50代」で 19.5%となっており、「傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った」が「10代」で 25.0%となっています。

<性別>



上段：女性（N=754）

下段：男性（N=554）

	したことがある	したことはない	無回答
女性	19.9%	54.9%	25.2%
男性	24.0%	56.0%	20.0%

(N=1,308)

※上記の「したことがある」は、問 30 の（2）あなたがしたことを選択項目（1～14）の合計値

<性別・年代別>

【女性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるった	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるった	ものを投げた	気がすまないと言われているのに、性的な行為を強要した	避妊に協力しなかった	「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言った	生活費を渡さなかった	交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した	何を言われても長時間無視し続けた	大声でどなった	無言電話やいやがらせの電話をしたり、メールやファックスを送った	著しく乱暴な言動をした	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った	その他	したことはない	無回答
計 (N=754)	2.0	1.2	4.6	0.1	0.0	1.1	0.0	0.3	6.6	8.2	0.0	0.4	4.2	0.8	54.9	25.2
10代 (N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	18.2
20代 (N=57)	1.8	5.3	5.3	0.0	0.0	1.8	0.0	3.5	3.5	10.5	0.0	3.5	3.5	1.8	66.7	19.3
30代 (N=97)	1.0	2.1	5.2	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	3.1	7.2	0.0	0.0	6.2	0.0	68.0	15.5
40代 (N=124)	4.8	0.8	6.5	0.8	0.0	2.4	0.0	0.0	7.3	14.5	0.0	0.8	8.1	0.8	58.1	11.3
50代 (N=114)	0.9	1.8	5.3	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	7.9	10.5	0.0	0.0	4.4	0.9	52.6	21.9
60代 (N=153)	2.6	0.0	4.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	10.5	5.9	0.0	0.0	2.6	0.7	53.6	24.8
70代以上 (N=198)	1.0	0.5	3.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	5.6	5.1	0.0	0.0	2.5	1.0	43.9	42.9

【男性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるった	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるった	ものを投げた	気がすまないと言われているのに、性的な行為を強要した	避妊に協力しなかった	「食わせてやっている」とか「甲斐性なし」などと言った	生活費を渡さなかった	交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した	何を言われても長時間無視し続けた	大声でどなった	無言電話やいやがらせの電話をしたり、メールやファックスを送った	著しく乱暴な言動をした	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った	その他	したことはない	無回答
計 (N=554)	3.1	1.8	5.8	1.3	0.7	1.4	1.1	0.2	3.4	13.7	0.0	4.0	4.2	0.4	56.0	20.0
10代 (N=12)	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0	16.7	25.0	0.0	41.7	25.0
20代 (N=44)	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3	15.9
30代 (N=54)	1.9	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	3.7	3.7	0.0	70.4	16.7
40代 (N=84)	3.6	4.8	4.8	1.2	0.0	2.4	1.2	1.2	1.2	14.3	0.0	4.8	4.8	1.2	65.5	16.7
50代 (N=77)	6.5	3.9	6.5	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	10.4	19.5	0.0	3.9	6.5	0.0	42.9	19.5
60代 (N=119)	3.4	0.0	6.7	2.5	0.0	0.8	0.8	0.0	2.5	15.1	0.0	5.0	3.4	0.8	52.9	18.5
70代以上 (N=164)	2.4	1.2	5.5	1.2	1.8	1.8	1.2	0.0	3.7	14.0	0.0	3.0	3.0	0.0	50.0	25.0

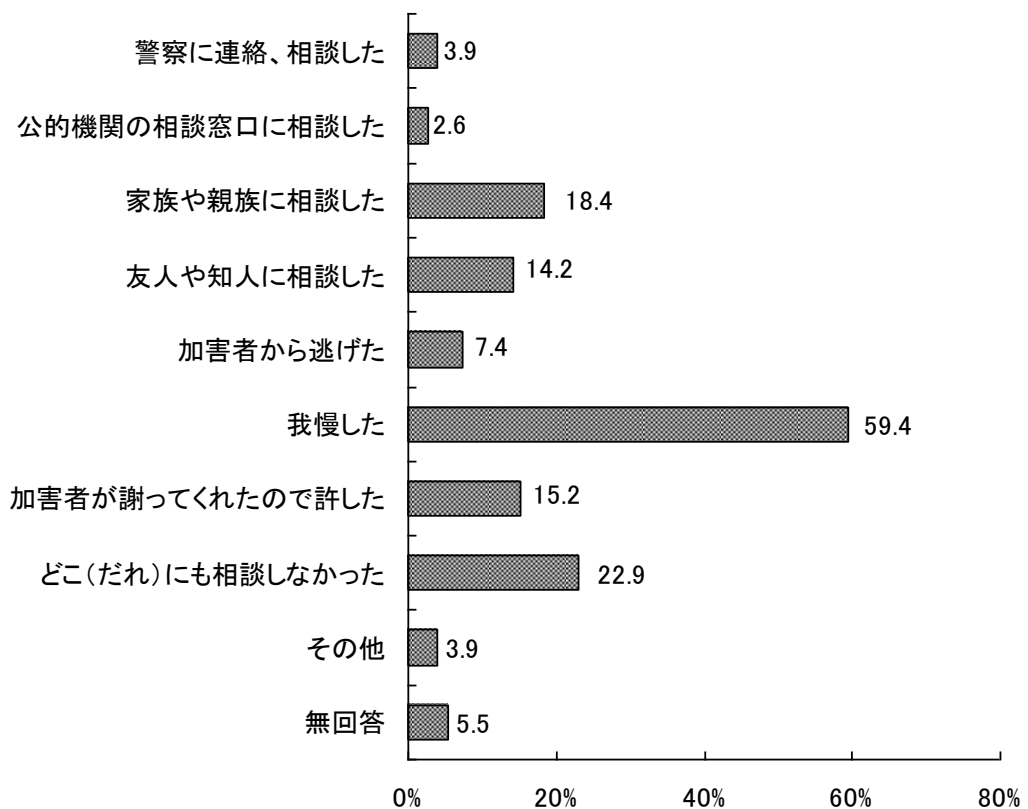
問 30-1 上記の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。
(○はいくつでも)

「我慢した」が59.4%と最も高く、次いで「どこ（だれ）にも相談しなかった」が22.9%、「家族や親族に相談した」が18.4%となっています。

女性は、「我慢した」が57.0%と最も高く、次いで「どこ（だれ）にも相談しなかった」が21.3%、「家族や親族に相談した」が20.8%となっています。男性も女性と同様に「我慢した」が65.2%で最も高くなっています。

性別・年代別でみると、女性は「我慢した」が「20代」、「50代」～「70代以上」で約6割となっています。「友人や知人に相談した」が「20代」で約4割となり、「家族や親族に相談した」が「40代」、「50代」で約3割となっています。男性はすべての年代で「我慢した」が最も高くなっており、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が「10代」を除くすべての年代で約3割となっています。

<全体>



(N=310)

<性別・年代別>

【女性】

	警察に連絡、相談した	公的機関の相談窓口 に相談した	家族や親族に相談した	友人や知人に相談した	加害者から逃げた	我慢した	加害者が謝ってくれたので許した	どこ（だれ）にも相談しなかった	その他	無回答
計（N＝221）	4.1	3.6	20.8	18.1	9.0	57.0	14.9	21.3	2.7	4.5
10代（N＝0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N＝14）	0.0	0.0	14.3	35.7	21.4	57.1	21.4	28.6	7.1	0.0
30代（N＝31）	6.5	3.2	16.1	22.6	6.5	51.6	25.8	16.1	0.0	0.0
40代（N＝47）	4.3	4.3	27.7	27.7	8.5	48.9	21.3	14.9	6.4	2.1
50代（N＝48）	4.2	6.3	27.1	25.0	12.5	64.6	12.5	18.8	2.1	4.2
60代（N＝39）	5.1	5.1	12.8	7.7	7.7	56.4	7.7	23.1	2.6	7.7
70代以上（N＝42）	2.4	0.0	19.0	0.0	4.8	61.9	7.1	31.0	0.0	9.5

【男性】

	警察に連絡、相談した	公的機関の相談窓口相談した	家族や親族に相談した	友人や知人に相談した	加害者から逃げた	我慢した	加害者が謝ってくれたので許した	どこ（だれ）にも相談しなかった	その他	無回答
計（N＝89）	3.4	0.0	12.4	4.5	3.4	65.2	15.7	27.0	6.7	7.9
10代（N＝2）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N＝3）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0
30代（N＝13）	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	53.8	38.5	30.8	0.0	0.0
40代（N＝14）	0.0	0.0	21.4	7.1	0.0	57.1	21.4	28.6	14.3	14.3
50代（N＝19）	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	73.7	10.5	26.3	5.3	5.3
60代（N＝15）	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	86.7	13.3	26.7	13.3	6.7
70代以上（N＝23）	8.7	0.0	26.1	4.3	13.0	47.8	4.3	26.1	4.3	13.0

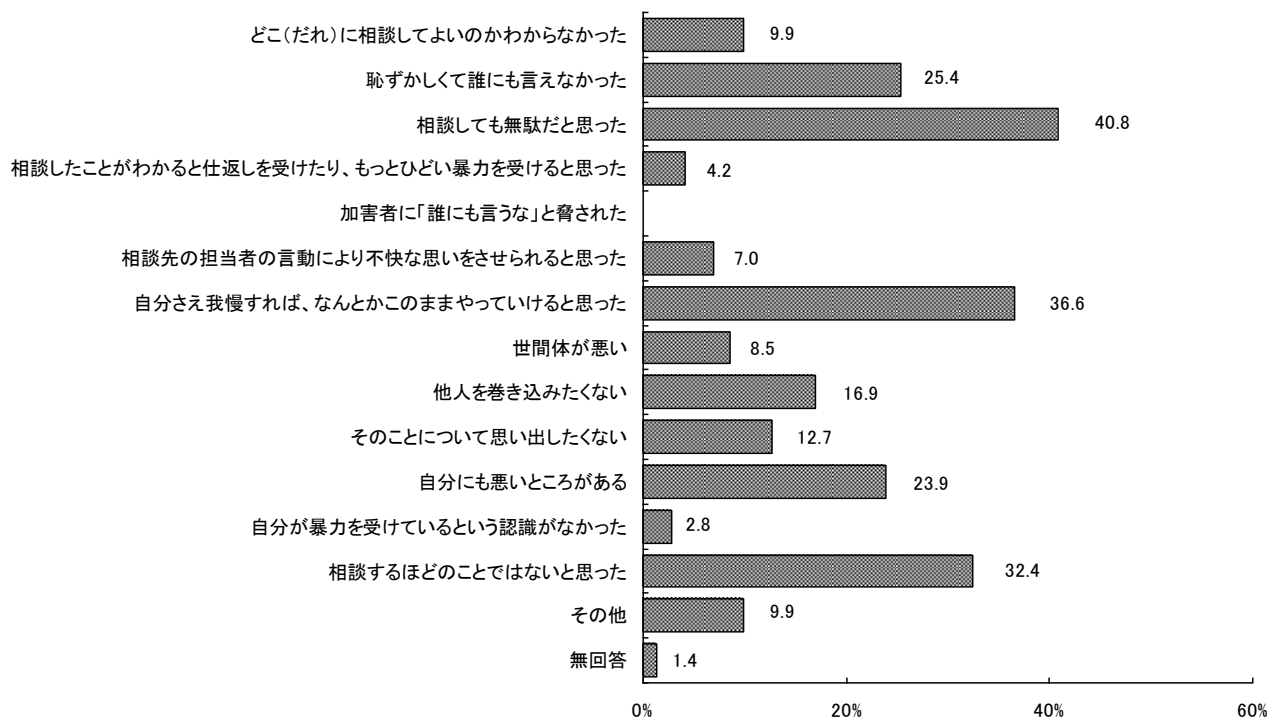
問 30-2 問 30-1 で「8 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。
(〇はいくつでも)

「相談しても無駄だと思った」が 40.8%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が 36.6%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「相談先の担当者の言動により不快な思いをさせられると思った」が「20 代」で 50.0%、「自分にも悪いところがある」が「30 代」で 60.0%、「相談しても無駄だと思った」と「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が「50 代」でともに 55.6%と高い割合を示しています。

男性では「相談するほどのことではないと思った」が「20 代」で 100%、「50 代」で 80.0%、「60 代」で 50.0%となっています。

<全体>



(N=71)

<性別・年代別>

【女性】

	どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談しても無駄だと思った	ひどい暴力を受けると思った	相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっと	加害者に「誰にも言うな」と脅された	相談先の担当者の言動により不快な思いをさせられると思った	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	世間体が悪い	他人を巻き込みたくない	そのことについて思い出したくない	自分にも悪いところがある	自分が暴力を受けているという認識がなかった	相談するほどのことではないと思った	その他	無回答
計（N=47）	12.8	25.5	51.1	4.3	0.0	6.4	44.7	8.5	14.9	10.6	19.1	2.1	27.7	6.4	2.1	
10代（N=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N=4）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
30代（N=5）	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
40代（N=7）	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
50代（N=9）	44.4	44.4	55.6	22.2	0.0	0.0	55.6	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0
60代（N=9）	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	11.1	44.4	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0
70代以上（N=13）	7.7	23.1	69.2	0.0	0.0	0.0	53.8	7.7	7.7	7.7	30.8	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0

【男性】

	どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談しても無駄だと思った	ひどい暴力を受けると思った	相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっと	加害者に「誰にも言うな」と脅された	相談先の担当者の言動により不快な思いをさせられると思った	自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	世間体が悪い	他人を巻き込みたくない	そのことについて思い出したくない	自分にも悪いところがある	自分が暴力を受けているという認識がなかった	相談するほどのことではないと思った	その他	無回答
計（N=24）	4.2	25.0	20.8	4.2	0.0	8.3	20.8	8.3	20.8	16.7	33.3	4.2	41.7	16.7	0.0	0.0
10代（N=0）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代（N=1）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
30代（N=4）	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
40代（N=4）	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
50代（N=5）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
60代（N=4）	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
70代以上（N=6）	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0

【10代から20代に交際相手のおられる（おられた）方にお尋ねします。】

問 31 あなたは10代、20代に交際相手から次のようなことを「されたこと」「したこと」がありますか。女性も男性も、以下の「されたこと」と「したこと」の両方にお答えください。

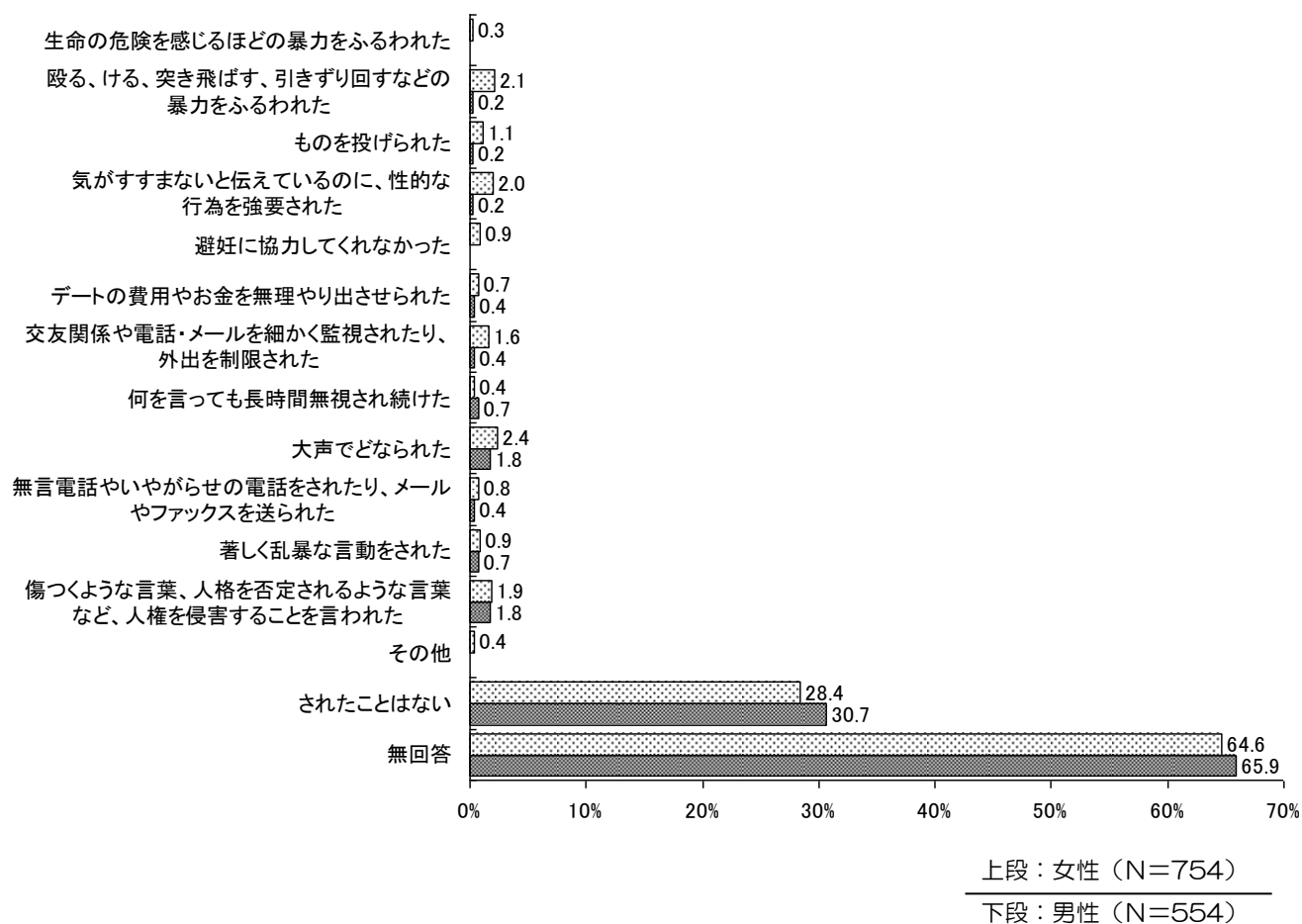
(1) あなたがされたこと（〇はいくつでも）

女性は「されたことはない」が28.4%で、「されたこと」は「大声でどなられた」が2.4%、「殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるわれた」が2.1%となっています。男性は「されたことはない」が30.7%で、「されたことは」「大声でどなられた」と「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」がともに1.8%となっています。

デートDVを「されたことがある」女性は7.0%で、「されたことがある」男性は3.4%と、女性が男性を上回っています。また、「されたこと」については、「何を言っても長時間無視され続けた」を除く他の項目において、女性が男性を上回っています。

性別・年代別でみると、女性では「気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された」が「20代」で12.3%と最も高く、男性では「傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた」が「30代」で5.6%と最も高くなっています。

<性別>



	されたことがある	されたことはない	無回答
女性	7.0%	28.4%	64.6%
男性	3.4%	30.7%	65.9%

(N=1,308)

※上記の「されたことがある」は、問31の(1)あなたがされたことの選択項目(1～13)の合計値

<性別・年代別>

【女性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるわれた	ものを投げられた	気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された	避妊に協力してくれなかった	デートの費用やお金を無理やり出させられた	交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された	何を言っても長時間無視され続けた	大声でどなられた	無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやファックスを送られた	著しく乱暴な言動をされた	傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた	その他	されたことはない	無回答
計 (N=754)	0.3	2.1	1.1	2.0	0.9	0.7	1.6	0.4	2.4	0.8	0.9	1.9	0.4	28.4	64.6
10代 (N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	9.1
20代 (N=57)	0.0	10.5	7.0	12.3	8.8	0.0	10.5	1.8	10.5	5.3	5.3	8.8	0.0	47.4	24.6
30代 (N=97)	0.0	2.1	0.0	1.0	1.0	0.0	3.1	1.0	2.1	0.0	2.1	2.1	2.1	26.8	62.9
40代 (N=124)	0.0	4.8	1.6	2.4	0.8	1.6	1.6	0.8	2.4	1.6	0.8	3.2	0.0	37.9	52.4
50代 (N=114)	0.9	1.8	0.0	2.6	0.0	2.6	0.9	0.0	3.5	0.9	0.9	2.6	0.0	28.1	64.0
60代 (N=153)	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	28.8	69.9
70代以上 (N=198)	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1	83.8

【男性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるわれた	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるわれた	ものを投げられた	気がすまないと伝えているのに、性的な行為を強要された	避妊に協力してくれなかった	デートの費用やお金を無理やり出させられた	交友関係や電話・メールを細かく監視されたり、外出を制限された	何を言っても長時間無視され続けた	大声でどなられた	無言電話やいやがらせの電話をされたり、メールやファックスを送られた	著しく乱暴な言動をされた	傷つくような言葉、人格を否定されるような言葉など、人権を侵害することを言われた	その他	されたことはない	無回答
計 (N=554)	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.4	0.4	0.7	1.8	0.4	0.7	1.8	0.0	30.7	65.9
10代 (N=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	58.3
20代 (N=44)	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	0.0	56.8	38.6
30代 (N=54)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	1.9	1.9	1.9	3.7	5.6	0.0	44.4	44.4
40代 (N=84)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.2	1.2	0.0	0.0	29.8	66.7
50代 (N=77)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	24.7	72.7
60代 (N=119)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	33.6	64.7
70代以上 (N=164)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	1.8	0.0	0.0	1.2	0.0	19.5	78.0

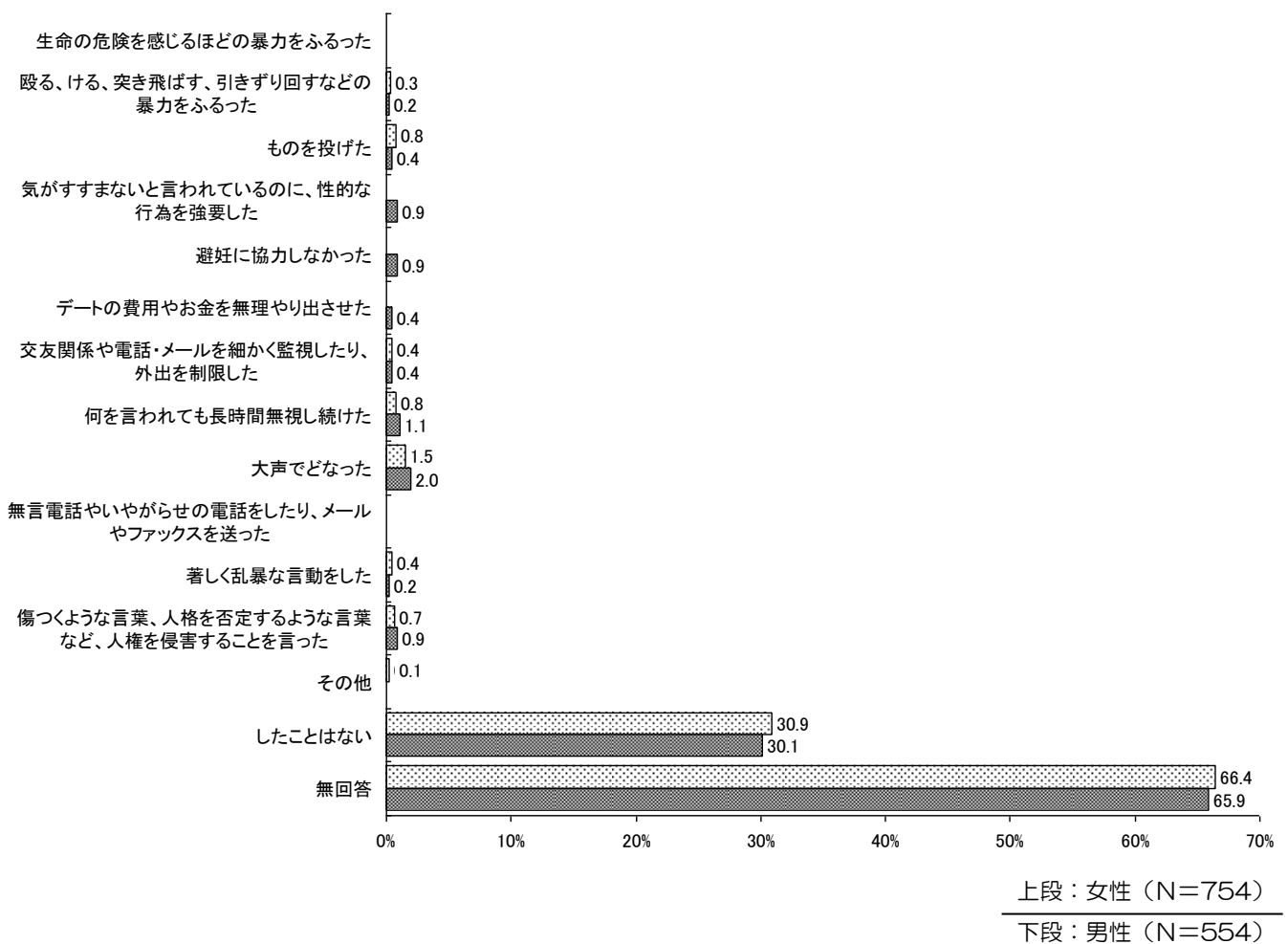
(2) あなたがしたこと（○はいくつでも）

女性は「したことはない」が 30.9%で、「したこと」は「大声でどなった」が 1.5%、「ものを投げた」と「何を言われても長時間無視し続けた」が、ともに 0.8%となっています。男性は「したことはない」が 30.1%で、「したこと」は「大声でどなった」が 2.0%、「何を言われても長時間無視し続けた」が 1.1%となっています。

デートDVを「したことがある」女性は 2.7%で、「したことがある」男性は 4.0%と、男性が女性を上回っています。

「大声でどなった」は、男女ともに「20代」が高く、女性 10.5%、男性 4.5%となっています。

<性別>



	したことがある	したことはない	無回答
女性	2.7%	30.9%	66.4%
男性	4.0%	30.1%	65.9%

(N=1,308)

※上記の「したことがある」は、問 31 の（2）あなたがしたことを選択項目（1～13）の合計値

<性別・年代別>

【女性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるった	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるった	ものを投げた	強要した	気がすまないとされているのに、性的な行為を強要した	避妊に協力しなかった	デートの費用やお金を無理やり出させた	交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した	何を言われても長時間無視し続けた	大声でどなった	無言電話やいやがらせの電話をしたり、メールやファックスを送った	著しく乱暴な言動をした	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った	その他	したことはない	無回答
計 (N=754)	0.0	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	1.5	0.0	0.4	0.7	0.1	30.9	66.4
10代 (N=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	18.2
20代 (N=57)	0.0	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	3.5	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0	59.6	29.8
30代 (N=97)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	32.0	63.9
40代 (N=124)	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	41.9	54.8
50代 (N=114)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	29.8	67.5
60代 (N=153)	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	28.8	69.9
70代以上 (N=198)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	84.8

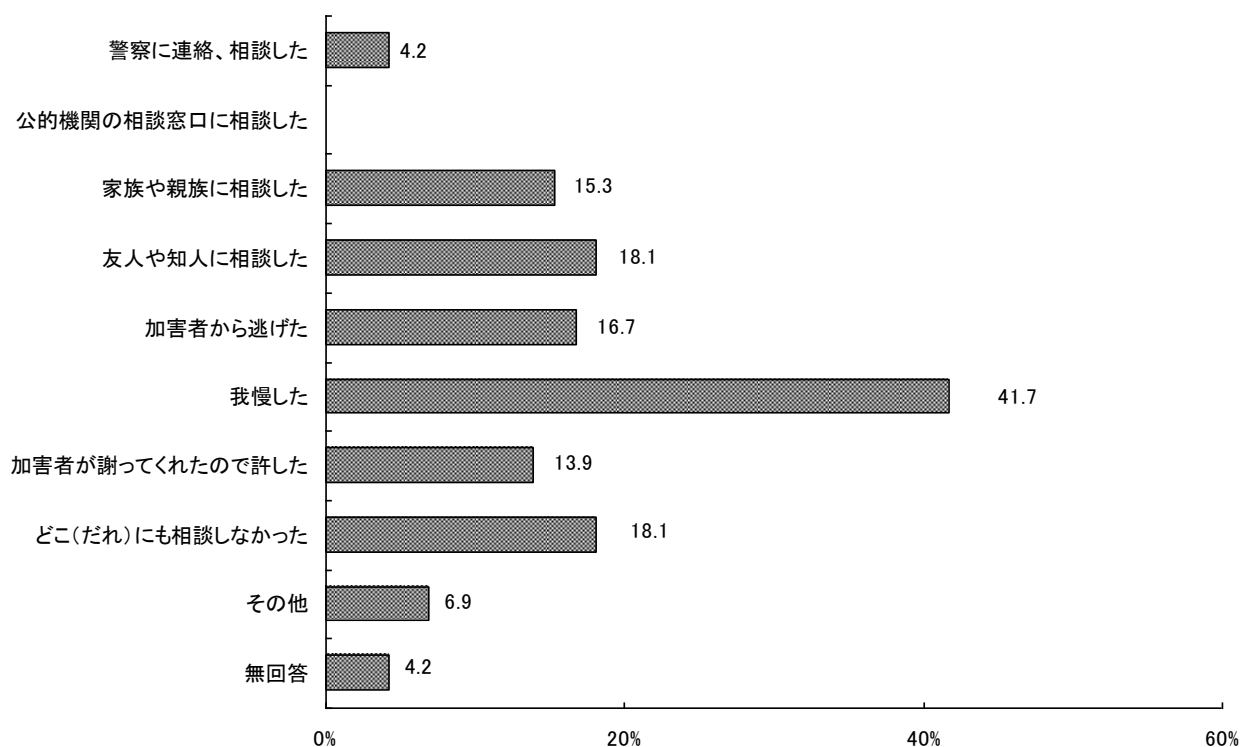
【男性】

	生命の危険を感じるほどの暴力をふるった	殴る、ける、突き飛ばす、引きずり回すなどの暴力をふるった	ものを投げた	強要した	気がすまないとされているのに、性的な行為を強要した	避妊に協力しなかった	デートの費用やお金を無理やり出させた	交友関係や電話・メールを細かく監視したり、外出を制限した	何を言われても長時間無視し続けた	大声でどなった	無言電話やいやがらせの電話をしたり、メールやファックスを送った	著しく乱暴な言動をした	傷つくような言葉、人格を否定するような言葉など、人権を侵害することを言った	その他	したことはない	無回答
計 (N=554)	0.0	0.2	0.4	0.9	0.9	0.9	0.4	0.4	1.1	2.0	0.0	0.2	0.9	0.0	30.1	65.9
10代 (N=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	58.3
20代 (N=44)	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0	2.3	2.3	4.5	0.0	0.0	2.3	0.0	54.5	36.4
30代 (N=54)	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	1.9	3.7	0.0	0.0	1.9	0.0	50.0	44.4
40代 (N=84)	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	27.4	66.7
50代 (N=77)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	24.7	72.7
60代 (N=119)	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.8	0.0	0.0	31.9	65.5
70代以上 (N=164)	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	18.9	78.0

問31-1 上記の行為を受けられた方にお尋ねします。そのような行為を受けられてどうしましたか。
(〇はいくつでも)

「我慢した」が41.7%と最も高く、次いで「友人や知人に相談した」と「どこ（だれ）にも相談しなかった」がともに18.1%となっています。

＜全体＞



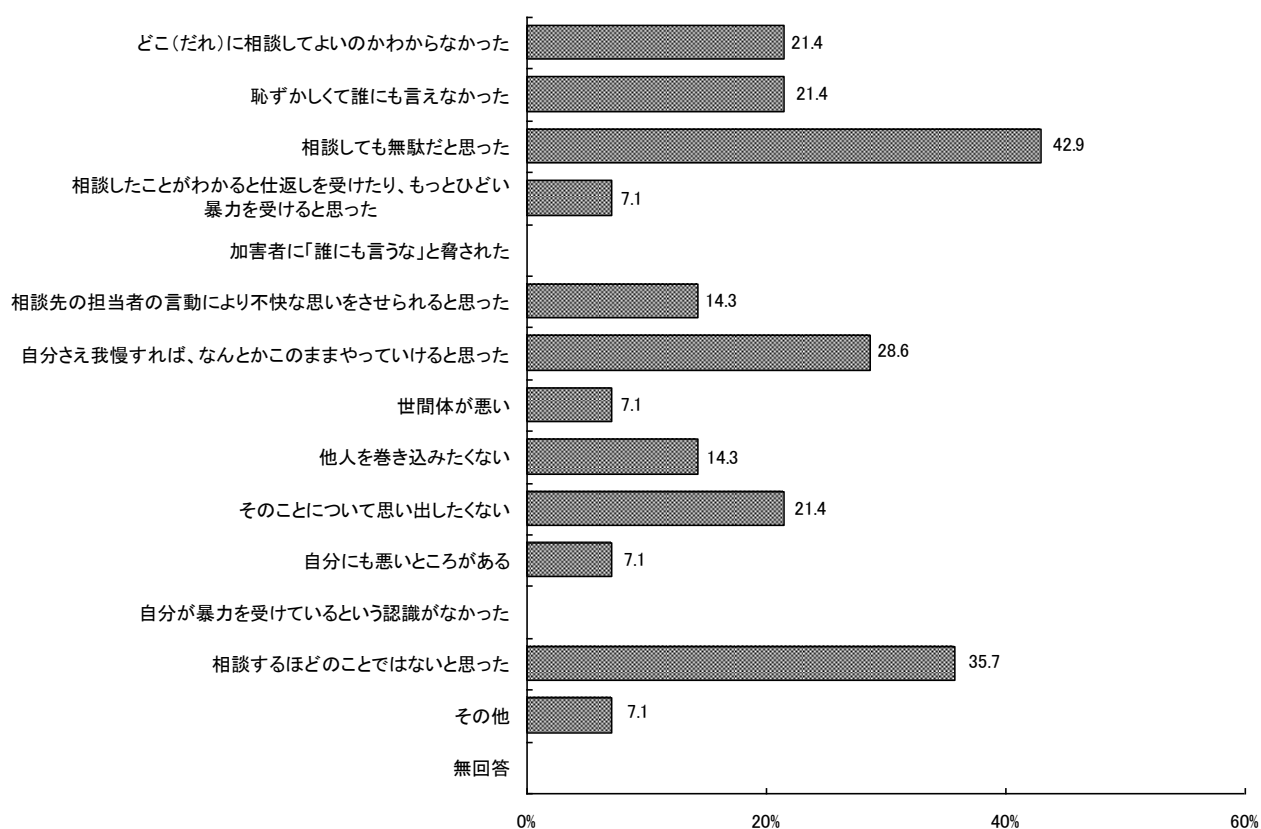
(N=72)

問 31-2 問 31-1 で「8 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えられた方にお尋ねします。あなたがどこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。

（〇はいくつでも）

「相談しても無駄だと思った」が 42.9%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」が 35.7%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が 28.6%となっています。

<全体>



（N=14）

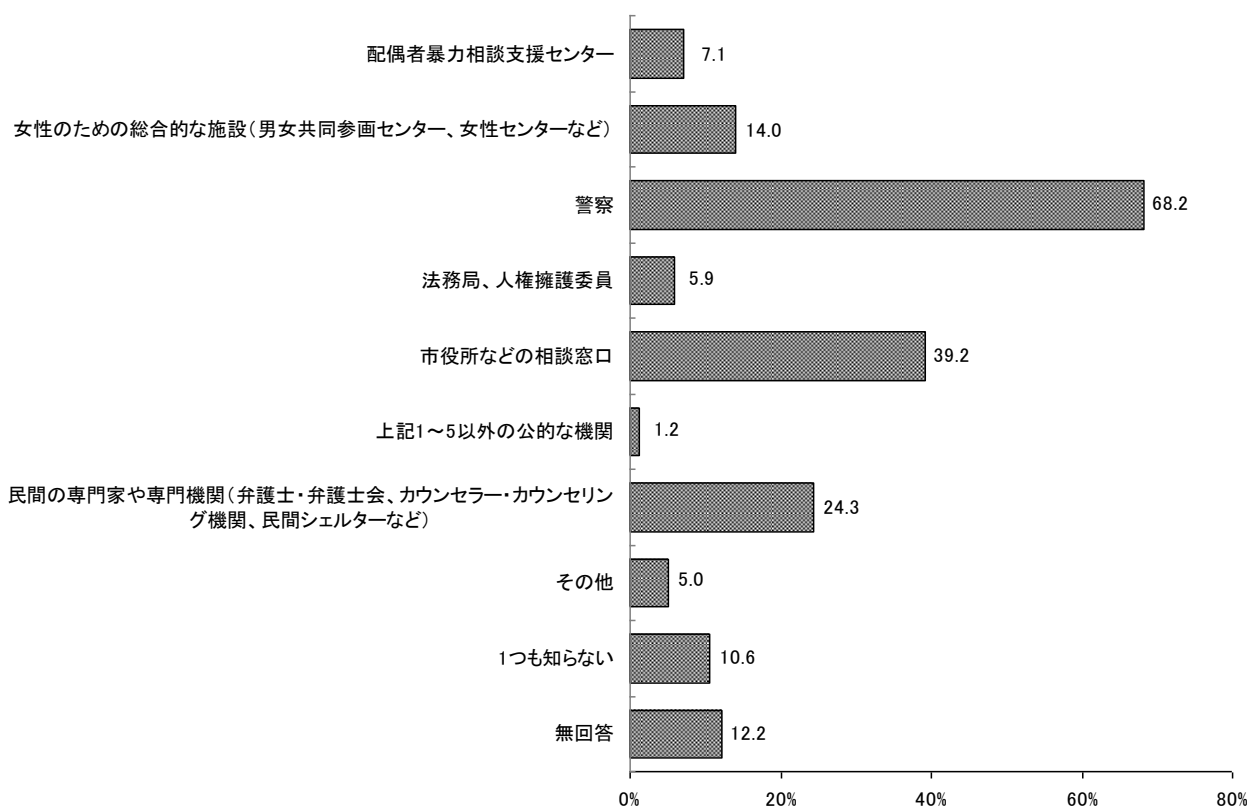
問 32 あなたは配偶者（パートナー）など親密な関係にある人（事実婚や元配偶者を含む）からの暴力（殴る、ける、無視するなど身体的、心理的な暴力）について、相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

「警察」が68.2%と最も高く、次いで「市役所などの相談窓口」が39.2%、「民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）」が24.3%となっています。

男女ともに、「警察」が約7割と最も高く、次いで「市役所などの相談窓口」が約4割となっています。

性別・年代別でみると、「警察」が、女性の「20代」～「40代」、男性の「10代」、「30代」～「50代」で、それぞれ約8割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	配偶者暴力相談支援センター	女性のための総合的な施設（男女共同参画センター、女性センターなど）	警察	法務局、人権擁護委員	市役所などの相談窓口	上記1～5以外の公的な機関	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセセリグ機関、民間シエルターなど）	その他	1つも知らない	無回答
計（N=754）	7.3	18.7	67.1	2.5	39.3	0.8	24.3	0.7	9.9	11.4
10代（N=11）	9.1	9.1	72.7	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
20代□（N=57）	1.8	12.3	78.9	3.5	29.8	0.0	17.5	1.8	8.8	7.0
30代□（N=97）	8.2	23.7	79.4	2.1	44.3	1.0	21.6	0.0	9.3	3.1
40代□（N=124）	7.3	32.3	82.3	1.6	37.1	0.8	37.1	0.0	8.1	0.8
50代□（N=114）	3.5	15.8	72.8	1.8	50.9	0.9	41.2	0.0	7.0	5.3
60代□（N=153）	11.1	17.6	69.9	2.6	41.2	0.7	24.8	2.0	9.2	8.5
70代以上（N=198）	7.6	12.6	42.4	3.5	33.3	1.0	10.6	0.5	13.1	29.8

【男性】

	配偶者暴力相談支援センター	女性のための総合的な施設（男女共同参画センター、女性センターなど）	警察	法務局、人権擁護委員	市役所などの相談窓口	上記1～5以外の公的な機関	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセセリグ機関、民間シエルターなど）	その他	1つも知らない	無回答
計（N=554）	7.0	7.8	69.9	10.5	39.5	1.8	24.2	0.4	11.6	13.0
10代（N=12）	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0
20代□（N=44）	2.3	4.5	65.9	4.5	45.5	4.5	25.0	0.0	18.2	0.0
30代□（N=54）	9.3	11.1	77.8	3.7	37.0	0.0	24.1	0.0	14.8	3.7
40代□（N=84）	9.5	14.3	83.3	7.1	51.2	1.2	36.9	1.2	6.0	6.0
50代□（N=77）	9.1	6.5	81.8	18.2	49.4	0.0	37.7	0.0	10.4	5.2
60代□（N=119）	1.7	5.9	71.4	13.4	38.7	1.7	19.3	0.0	10.9	15.1
70代以上（N=164）	9.8	6.7	54.3	11.0	29.9	2.4	15.2	0.6	12.2	26.2

問 33 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けられたことがありますか。又、それはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

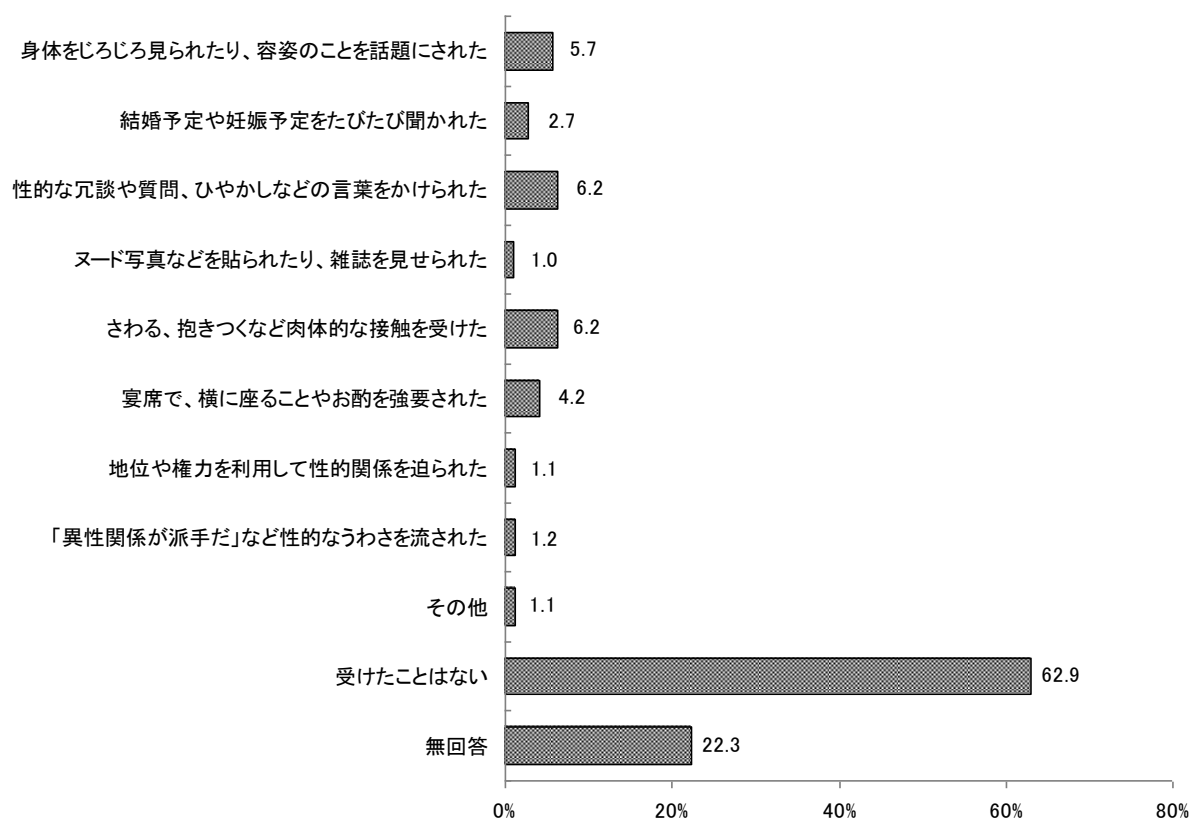
「受けたことはない」が62.9%と最も高く、また、「無回答」22.3%を除く14.8%が、セクシュアル・ハラスメントを「受けたことがある」と回答しています。

「性的な冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた」と「さわる、抱きつくなど肉体的な接触を受けた」が、ともに6.2%と最も高く、次いで「身体をじろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた」が5.7%となっています。

女性は「さわる、抱きつくなど肉体的な接触を受けた」が9.9%、「性的な冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた」が9.5%となっています。男性は「身体をじろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた」が2.0%、「性的な冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた」が1.6%となっています。

性別・年代別にみると、「性的な冗談や質問、ひやかしなどの言葉をかけられた」が女性では「40代」で22.6%、男性では「30代」で5.6%と、それぞれが最も高くなっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	と身体を じろじろ 見られたり、 容姿のこ とを話題に された	結婚予定 や妊娠予定 をたびたび 聞かれた	性的な冗談 や質問、ひ やかしの言 葉をかけら れた	見せられ た写真など を貼られた り、雑誌を	さわる、抱 きつくなど 肉体的な接 触を受けた	宴席で、横 に座ること やお酌を強 要された	地位や権力 を利用して 性的関係を 迫られた	「異性関係 が派手だ」 などの性的 なうわさを 流された	その他	受けたこと はない	無回答
計（N=754）	8.5	4.0	9.5	1.3	9.9	6.9	1.7	1.2	1.6	58.6	19.2
10代（N=11）	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	81.8	0.0
20代□（N=57）	12.3	3.5	10.5	0.0	19.3	1.8	7.0	5.3	1.8	61.4	10.5
30代□（N=97）	10.3	9.3	10.3	1.0	13.4	11.3	1.0	0.0	2.1	68.0	4.1
40代□（N=124）	17.7	8.9	22.6	2.4	17.7	12.9	4.0	0.8	2.4	57.3	2.4
50代□（N=114）	10.5	4.4	13.2	1.8	12.3	12.3	0.9	1.8	0.9	62.3	9.6
60代□（N=153）	4.6	1.3	4.6	0.7	5.9	5.2	0.7	1.3	2.0	64.1	18.3
70代以上（N=198）	2.5	0.0	2.5	1.0	2.0	0.5	0.0	0.0	1.0	46.5	47.0

【男性】

	と身体を じろじろ 見られたり、 容姿のこ とを話題に された	結婚予定 や妊娠予定 をたびたび 聞かれた	性的な冗談 や質問、ひ やかしの言 葉をかけら れた	見せられ た写真など を貼られた り、雑誌を	さわる、抱 きつくなど 肉体的な接 触を受けた	宴席で、横 に座ること やお酌を強 要された	地位や権力 を利用して 性的関係を 迫られた	「異性関係 が派手だ」 などの性的 なうわさを 流された	その他	受けたこと はない	無回答
計（N=554）	2.0	0.9	1.6	0.5	1.1	0.5	0.2	1.3	0.4	69.1	26.0
10代（N=12）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
20代□（N=44）	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.2	4.5
30代□（N=54）	3.7	3.7	5.6	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	1.9	85.2	3.7
40代□（N=84）	3.6	1.2	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	79.8	10.7
50代□（N=77）	3.9	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	79.2	16.9
60代□（N=119）	0.8	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	65.5	30.3
70代以上（N=164）	1.2	0.6	1.2	0.6	1.8	0.6	0.6	0.6	0.0	49.4	48.2

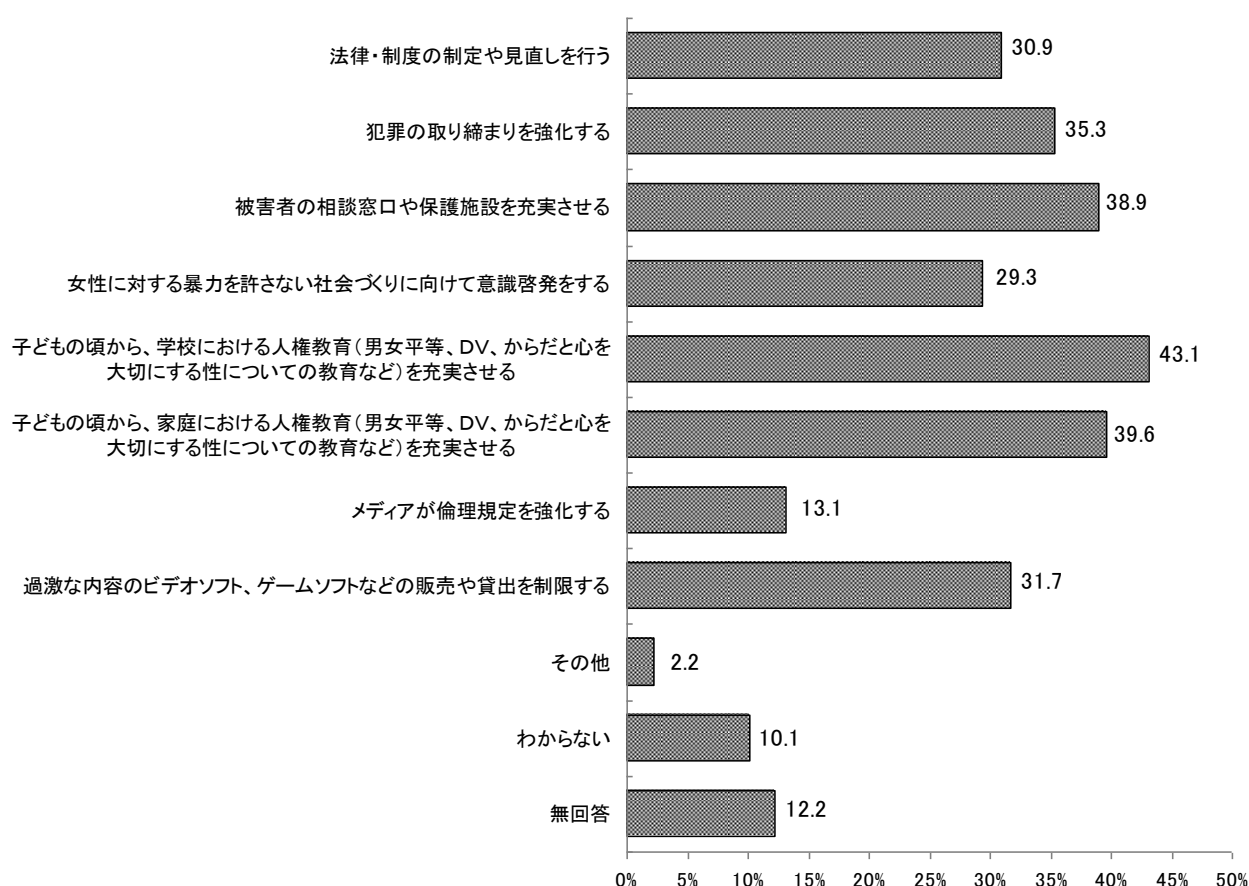
問 34 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など、女性に対する暴力をなくすためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「子どもの頃から、学校における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる」が43.1%と最も高く、次いで「子どもの頃から、家庭における人権教育（男女平等、DV、からだと心を大切にする性についての教育など）を充実させる」が39.6%、「被害者の相談窓口や保護施設を充実させる」が38.9%となっています。

「子どもの頃から、学校における人権教育を充実させる」は、女性が46.4%に対し、男性は38.6%、「子どもの頃から、家庭における人権教育を充実させる」は、女性が42.0%に対し、男性は36.5%となっています。

性別・年代別にみると、「子どもの頃から、学校における人権教育を充実させる」が、女性の「20代」～「60代」で約5～6割、男性の「40代」、「50代」で約5割となっています。また、「子どもの頃から、家庭における人権教育を充実させる」が、女性の「20代」～「60代」で約5割、男性の「30代」～「60代」で約4割となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	被害者の相談窓口や保護施設を充実させる	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	子ども（男女平等、DV、学校における人権教育）の頃から、学校などにおける人権教育を充実させる	子ども（男女平等、DV、学校における人権教育）の頃から、家庭における人権教育を大切にする性についての教育など）を充実させる	メディアが倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する	その他	わからない	無回答
計（N=754）	30.4	37.0	41.5	31.6	46.4	42.0	13.8	36.7	2.7	8.9	11.0
10代（N=11）	36.4	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
20代□（N=57）	24.6	38.6	35.1	36.8	54.4	54.4	15.8	19.3	5.3	14.0	1.8
30代□（N=97）	42.3	49.5	50.5	38.1	52.6	47.4	18.6	38.1	4.1	6.2	2.1
40代□（N=124）	41.9	46.0	50.8	37.1	55.6	53.2	16.1	46.8	3.2	6.5	0.8
50代□（N=114）	41.2	41.2	53.5	38.6	52.6	46.5	17.5	40.4	3.5	6.1	4.4
60代□（N=153）	29.4	34.6	45.1	32.0	49.0	46.4	15.7	43.8	2.6	7.8	7.2
70代以上（N=198）	13.1	24.2	22.7	20.2	31.8	24.7	6.1	29.3	0.5	12.6	31.8

【男性】

	法律・制度の制定や見直しを行う	犯罪の取り締まりを強化する	被害者の相談窓口や保護施設を充実させる	女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする	子ども（男女平等、DV、学校における人権教育）の頃から、学校などにおける人権教育を充実させる	子ども（男女平等、DV、学校における人権教育）の頃から、家庭における人権教育を大切にする性についての教育など）を充実させる	メディアが倫理規定を強化する	過激な内容のビデオソフト、ゲームソフトなどの販売や貸出を制限する	その他	わからない	無回答
計（N=554）	31.6	33.0	35.6	26.5	38.6	36.5	12.1	24.7	1.6	11.7	13.5
10代（N=12）	50.0	33.3	41.7	33.3	41.7	25.0	16.7	16.7	0.0	25.0	0.0
20代□（N=44）	34.1	38.6	45.5	25.0	36.4	34.1	15.9	9.1	0.0	18.2	2.3
30代□（N=54）	38.9	40.7	40.7	25.9	38.9	42.6	9.3	22.2	0.0	7.4	1.9
40代□（N=84）	40.5	41.7	36.9	29.8	50.0	38.1	16.7	20.2	4.8	11.9	4.8
50代□（N=77）	40.3	33.8	36.4	28.6	46.8	42.9	22.1	28.6	1.3	9.1	5.2
60代□（N=119）	27.7	29.4	34.5	30.3	35.3	39.5	5.0	27.7	2.5	8.4	14.3
70代以上（N=164）	21.3	26.8	30.5	21.3	31.7	29.9	9.8	28.7	0.6	14.0	29.3

H 男女共同参画社会づくりについて

問 35 八尾市でおこなっている男女共同参画社会を進めるための事業について、知っているものはどれですか。（〇はいくつでも）

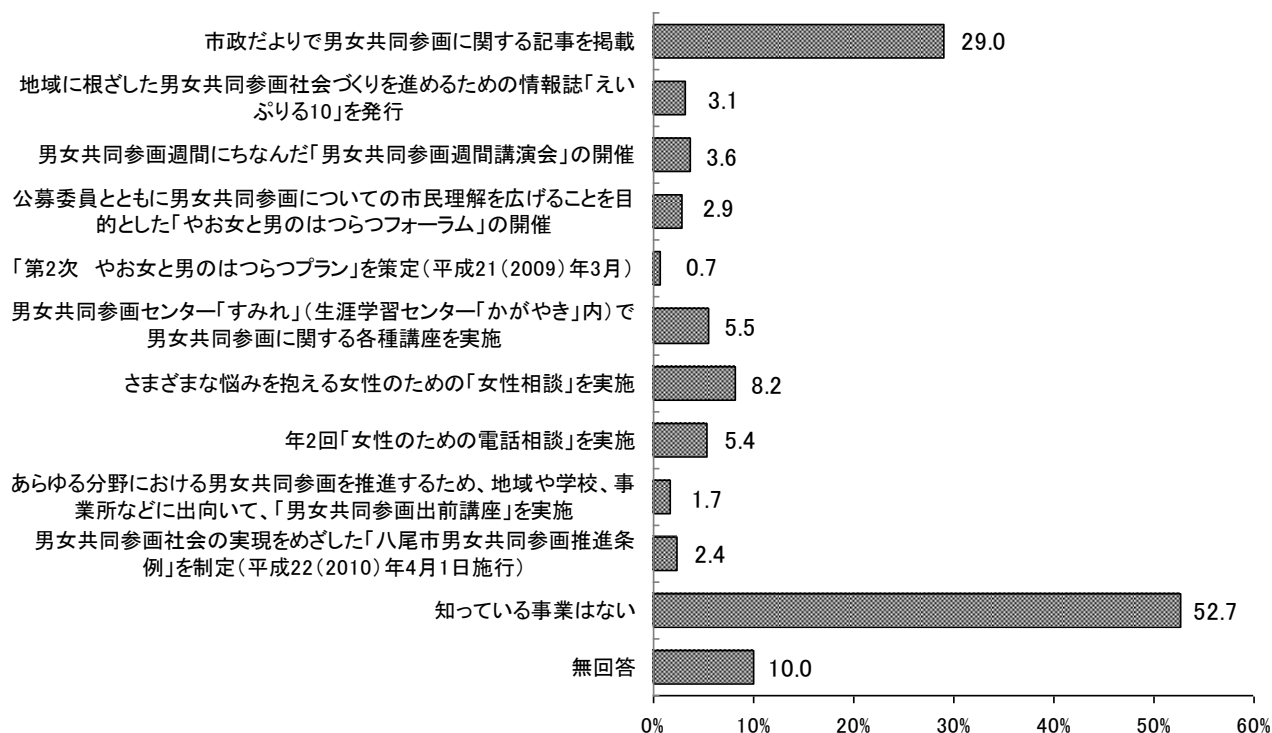
「市政だよりで男女共同参画に関する記事を掲載」が29.0%となっているほか、「さまざまな悩みを抱える女性のための「女性相談」を実施」が8.2%、「男女共同参画センター「すみれ」（生涯学習センター「かがやき」内）で男女共同参画に関する各種講座を実施」が5.5%となっています。

但し、「知っている事業はない」が約5割を占めています。

女性は「市政だよりで男女共同参画に関する記事を掲載」が28.9%と最も高く、次いで「さまざまな悩みを抱える女性のための「女性相談」を実施」が12.2%となっています。男性は「市政だよりで男女共同参画に関する記事を掲載」が29.4%と最も高く、次いで「男女共同参画センター「すみれ」（生涯学習センター「かがやき」内）で男女共同参画に関する各種講座を実施」が5.4%となっています。

性別・年代別でみると、女性では「市政だよりで男女共同参画に関する記事を掲載」が「20代」を除く他の年代において約3～4割、「さまざまな悩みを抱える女性のための「女性相談」を実施」が「40代」、「50代」で約2割となっています。男性では「市政だよりで男女共同参画に関する記事を掲載」が「40代」以上の年代で約3～4割、「知っている事業はない」が「10代」で100%となっています。

<全体>



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	掲載	市政だよりで男女共同参画に関する記事を	地域に根ざした男女共同参画社会づくりを進めるための情報誌「えいぷりる10」を	画週間講演会」の開催	男女共同参画週間にちなんだ「男女共同参	女と男のはたらきつづき」の開催	市民理解を深めることを目的とした「や	公募委員とともに男女共同参画について	を策定（平成21（2009）年3月）	「第2次 やお女と男のはたらきつづき」	画に参画する各種講座を実施	男女共同参画センター「かがやき」内」で男女共同参	性相談」を実施	さまざまな悩みを抱える女性のための「女	年2回「女性のための電話相談」を実施	あらかゆる分野における男女共同参画を推進	市男女共同参画推進条例」を制定（平成22（2010）年4月1日施行）	男女共同参画社会の実現をめざした「八尾	知っている事業はない	無回答
計（N=754）	28.9	2.7	3.1	3.1	0.4	5.7	12.2	7.7	1.3	1.7	50.1	9.3								
10代（N=11）	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0								
20代□（N=57）	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	3.5	1.8	0.0	82.5	0.0								
30代□（N=97）	29.9	0.0	4.1	2.1	0.0	6.2	9.3	2.1	2.1	1.0	60.8	2.1								
40代□（N=124）	30.6	2.4	3.2	4.8	0.0	8.1	19.4	14.5	1.6	3.2	52.4	1.6								
50代□（N=114）	27.2	3.5	0.9	4.4	0.9	5.3	20.2	7.9	0.0	1.8	54.4	1.8								
60代□（N=153）	35.3	2.0	4.6	2.6	0.0	6.5	9.2	5.9	1.3	1.3	45.8	7.8								
70代以上（N=198）	27.8	5.1	3.5	3.0	1.0	4.0	11.1	8.6	1.5	2.0	34.8	26.3								

【男性】

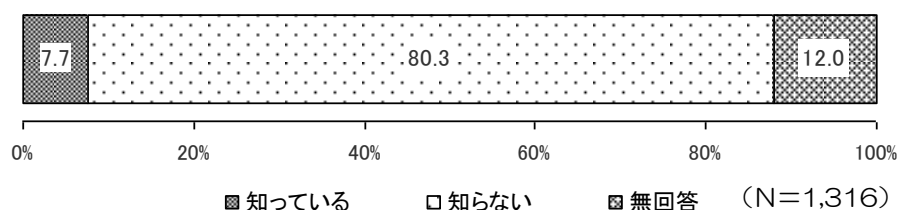
	掲載	市政だよりで男女共同参画に関する記事を	地域に根ざした男女共同参画社会づくりを進めるための情報誌「えいぷりる10」を	画週間講演会」の開催	男女共同参画週間にちなんだ「男女共同参	女と男のはたらきつづき」の開催	市民理解を深めることを目的とした「や	公募委員とともに男女共同参画について	を策定（平成21（2009）年3月）	「第2次 やお女と男のはたらきつづき」	画に参画する各種講座を実施	男女共同参画センター「かがやき」内」で男女共同参	性相談」を実施	さまざまな悩みを抱える女性のための「女	年2回「女性のための電話相談」を実施	あらかゆる分野における男女共同参画を推進	市男女共同参画推進条例」を制定（平成22（2010）年4月1日施行）	男女共同参画社会の実現をめざした「八尾	知っている事業はない	無回答
計（N=554）	29.4	3.8	4.5	2.7	1.1	5.4	2.9	2.3	2.2	3.4	56.0	10.8								
10代（N=12）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0								
20代□（N=44）	6.8	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4	4.5								
30代□（N=54）	18.5	7.4	1.9	3.7	1.9	5.6	0.0	0.0	1.9	3.7	74.1	1.9								
40代□（N=84）	26.2	1.2	2.4	1.2	1.2	3.6	1.2	1.2	1.2	2.4	64.3	3.6								
50代□（N=77）	35.1	5.2	3.9	2.6	1.3	3.9	5.2	5.2	3.9	6.5	57.1	5.2								
60代□（N=119）	33.6	1.7	7.6	2.5	0.0	6.7	2.5	3.4	1.7	5.0	52.9	10.1								
70代以上（N=164）	37.2	5.5	6.1	3.7	1.2	7.9	4.9	2.4	3.0	2.4	36.0	23.2								

問 36 男女共同参画を推進することを目的に、市民の交流、情報提供、学習及び相談の場として、八尾市男女共同参画センター「すみれ」（生涯学習センター「かがやき」4階内）を設置しています。あなたは、八尾市男女共同参画センター「すみれ」を知っていますか。（○は1つ）

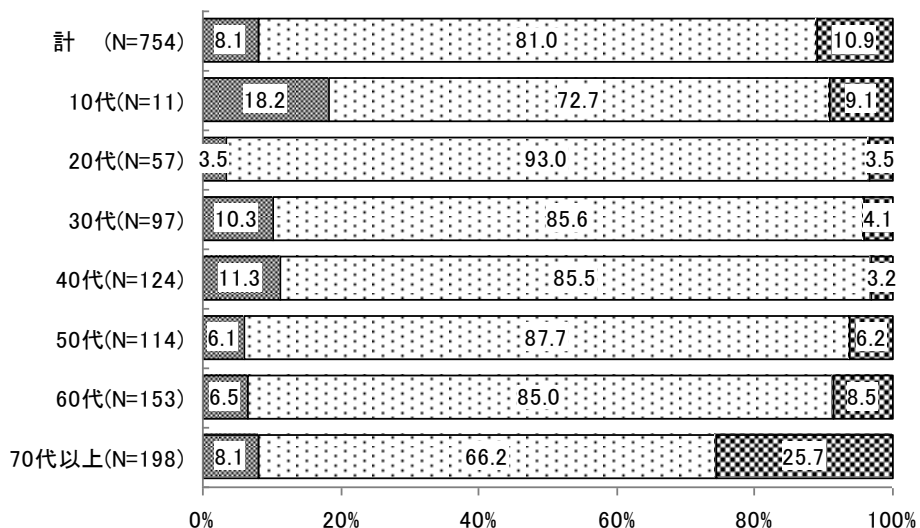
「知っている」が7.7%で、女性は8.1%、男性は7.2%と、女性の方が高くなっています。

性別・年代別でみると、「知っている」は、女性では「10代」が18.2%、男性では「70代以上」が8.5%と、それぞれが最も高くなっています。また、女性では「20代」～「60代」、男性では「20代」～「40代」の約9割が、「知らない」と回答しており、男性の「10代」に至っては、「知らない」が100%となっています。

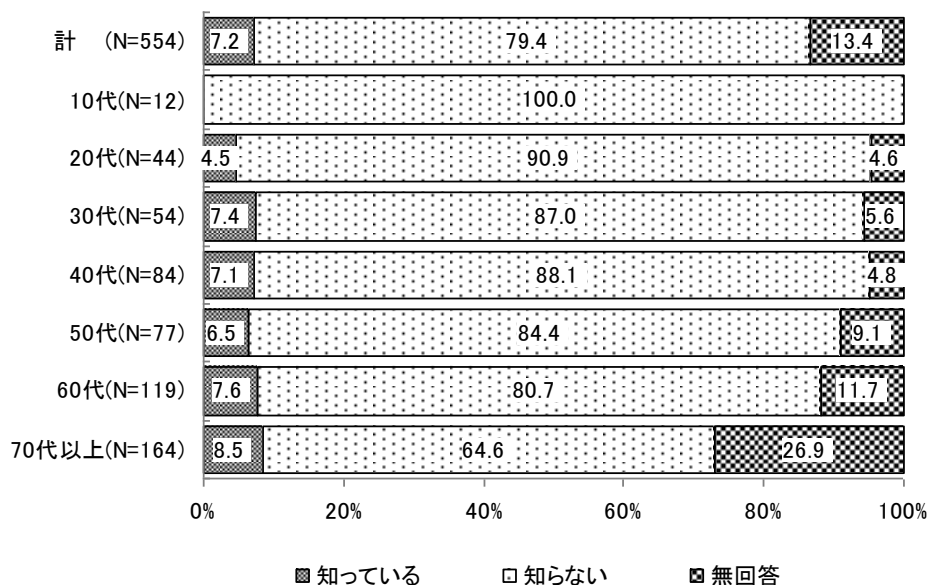
<全体>



【女性】



【男性】

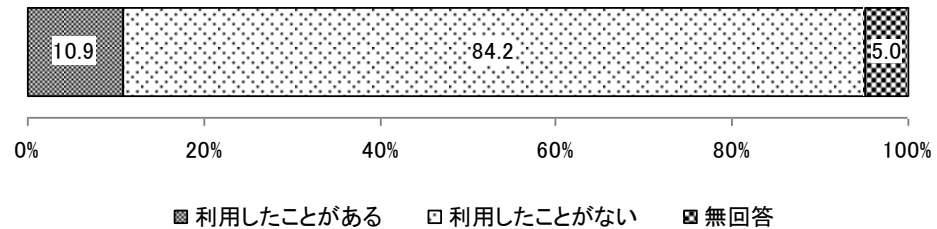


【問 36 で「1 知っている」と答えられた方にお尋ねします。】

問 36-1 八尾市男女共同参画センター「すみれ」を利用したことがありますか。(○は 1 つ)

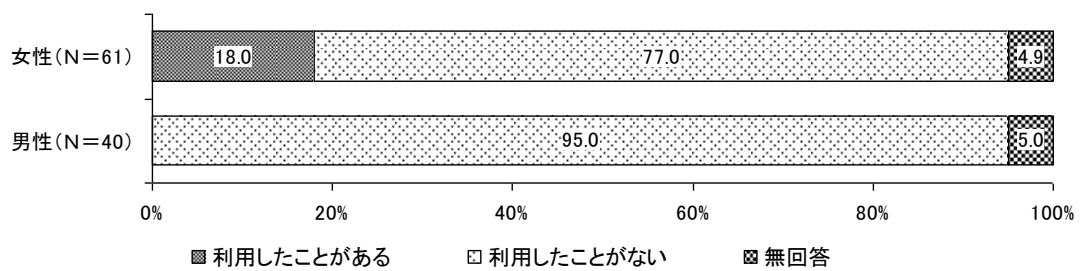
「利用したことがある」が 10.9%で、女性は 18.0%、男性は 0%となっています。

<全体>



(N=101)

<性別>



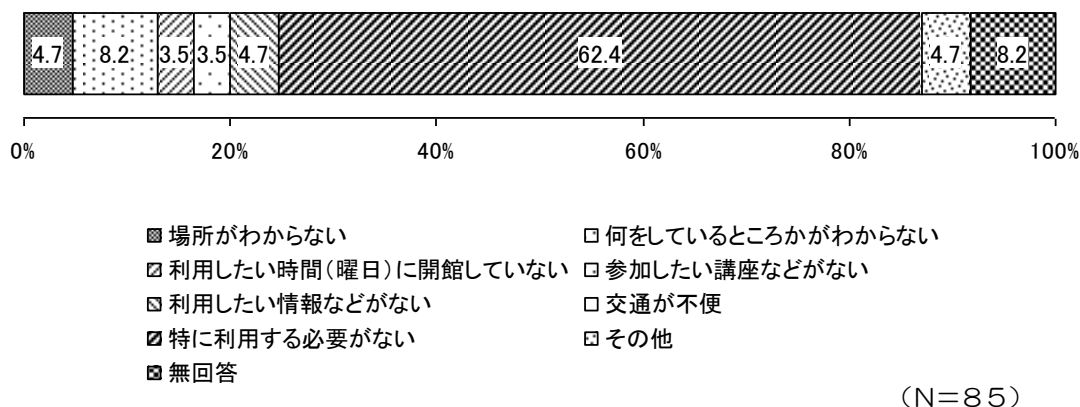
【問 36—1 で「2 利用したことがない」と答えられた方にお尋ねします。】

問 36-2 その理由はなぜですか。(〇は 1 つ)

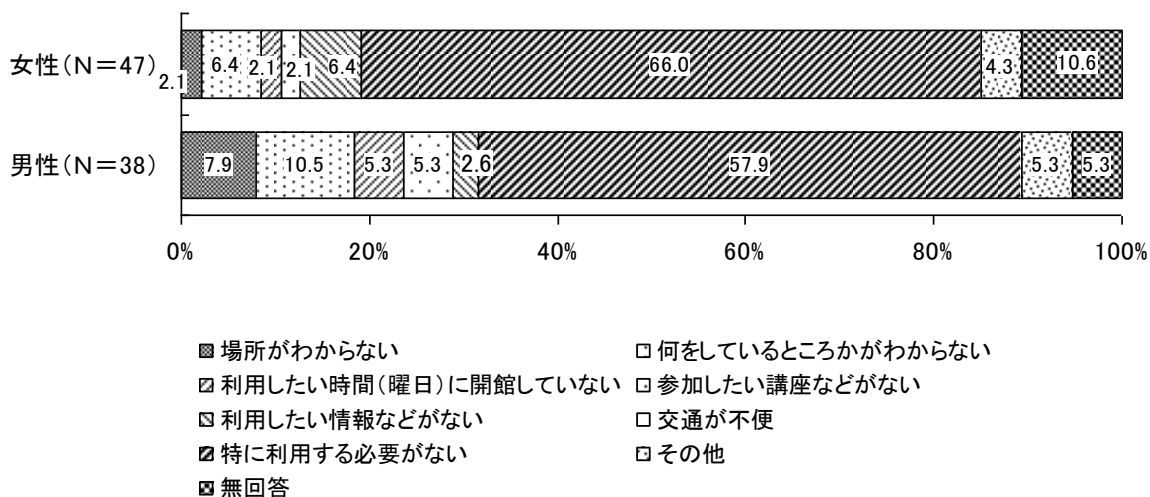
「特に利用する必要がない」が 62.4%と最も高く、次いで「何をしているところかがわからない」が 8.2%となっています。

女性は「特に利用する必要がない」が 66.0%、「何をしているところかがわからない」と「利用したい情報などが無い」が、ともに 6.4%となっています。男性は「特に利用する必要がない」が 57.9%、「何をしているところかがわからない」が 10.5%となっています。

<全体>



<性別>



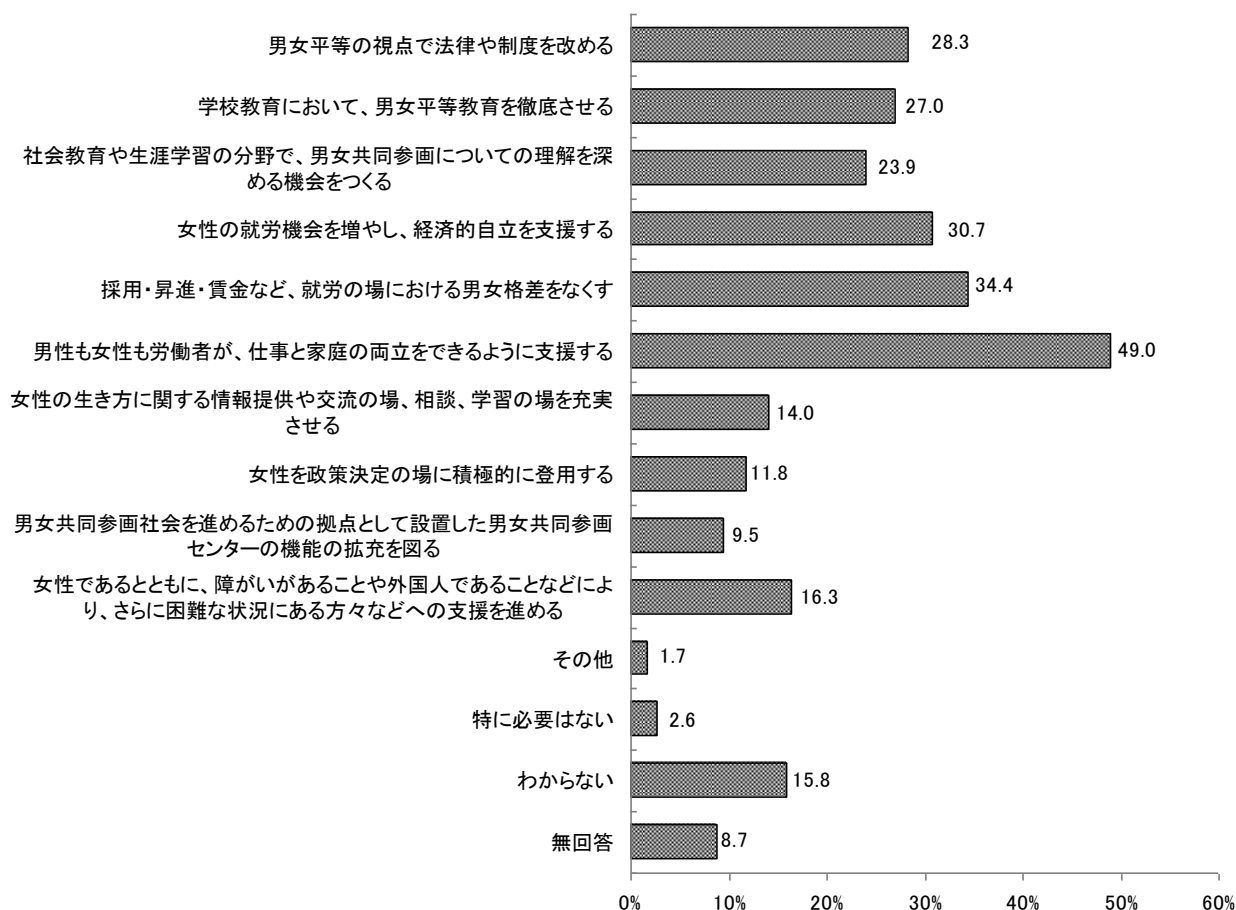
問 37 男女共同参画を進めていく上で、行政（国・府・市）は、どのようなことに力を入れるのがよいと思いますか。（〇はいくつでも）

「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」が 49.0%と最も高く、次いで「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」が 34.4%となっています。

女性は「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」が 53.7%、「女性の就労機会を増やし、経済的自立を支援する」が 36.1%となっています。男性は「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」が 43.0%、「採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす」が 32.9%となっています。

性別・年代別でみると、「男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する」が、女性では「30代」、「40代」が約7割、「20代」、「50代」が約6割となっており、男性では「10代」、「30代」～「50代」で5割以上となっています。

＜全体＞



(N=1,316)

<性別・年代別>

【女性】

	男女平等の視点で法律や制度を改める	学校教育において、男女平等教育を徹底させる	社会教育や生涯学習の分野で、男女共同参画についての理解を深める機会をつくる	女性の就労機会を増やし、経済的自立を支援する	採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす	男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する	女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、学習の場を充実させる	女性を政策決定の場に積極的に登用する	男女共同参画社会を進めるための拠点として設置した男女共同参画センターの機能の拡充を図る	女性であるとともに、障がいがあることや外国人であることなどにより、さらに困難な状況にある方々などへの支援を進める	その他	特に必要はない	わからない	無回答
計（N=754）	25.6	25.1	23.3	36.1	35.7	53.7	16.4	11.5	7.3	18.8	1.6	1.9	15.9	8.5
10代（N=11）	18.2	9.1	27.3	27.3	36.4	54.5	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0
20代□（N=57）	24.6	17.5	21.1	31.6	49.1	63.2	12.3	15.8	5.3	22.8	0.0	1.8	15.8	0.0
30代□（N=97）	33.0	26.8	18.6	41.2	43.3	69.1	18.6	12.4	5.2	20.6	2.1	2.1	11.3	1.0
40代□（N=124）	27.4	37.1	28.2	46.0	47.6	65.3	24.2	12.9	5.6	21.0	2.4	0.0	13.7	0.8
50代□（N=114）	37.7	27.2	27.2	44.7	47.4	58.8	22.8	15.8	10.5	21.9	1.8	0.9	7.9	2.6
60代□（N=153）	27.5	30.1	24.2	35.9	28.8	54.9	15.7	10.5	5.9	19.0	2.0	2.0	14.4	6.5
70代以上（N=198）	13.1	14.6	20.2	24.2	19.2	32.3	9.1	7.6	9.1	14.1	1.0	3.5	24.7	24.7

【男性】

	男女平等の視点で法律や制度を改める	学校教育において、男女平等教育を徹底させる	社会教育や生涯学習の分野で、男女共同参画についての理解を深める機会をつくる	女性の就労機会を増やし、経済的自立を支援する	採用・昇進・賃金など、就労の場における男女格差をなくす	男性も女性も労働者が、仕事と家庭の両立をできるように支援する	女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、学習の場を充実させる	女性を政策決定の場に積極的に登用する	男女共同参画社会を進めるための拠点として設置した男女共同参画センターの機能の拡充を図る	女性であるとともに、障がいがあることや外国人であることなどにより、さらに困難な状況にある方々などへの支援を進める	その他	特に必要はない	わからない	無回答
計（N=554）	32.3	29.8	24.7	23.5	32.9	43.0	10.5	12.1	12.5	12.8	1.8	3.6	15.2	8.8
10代（N=12）	25.0	33.3	25.0	33.3	50.0	50.0	25.0	16.7	33.3	16.7	0.0	8.3	16.7	0.0
20代□（N=44）	40.9	27.3	25.0	18.2	34.1	47.7	11.4	13.6	13.6	4.5	4.5	6.8	13.6	2.3
30代□（N=54）	29.6	22.2	25.9	22.2	31.5	55.6	9.3	11.1	7.4	13.0	0.0	9.3	13.0	0.0
40代□（N=84）	32.1	32.1	20.2	28.6	36.9	51.2	10.7	15.5	7.1	11.9	4.8	4.8	11.9	2.4
50代□（N=77）	39.0	31.2	27.3	23.4	35.1	51.9	7.8	11.7	9.1	15.6	1.3	1.3	9.1	3.9
60代□（N=119）	34.5	32.8	23.5	28.6	35.3	38.7	10.9	12.6	12.6	16.0	0.0	1.7	17.6	6.7
70代以上（N=164）	26.8	28.7	26.2	18.3	26.8	31.7	10.4	9.8	16.5	11.6	1.8	2.4	18.9	21.3

